

四街道市
子育て支援に関するアンケート調査
報告書

令和 6 年 3 月

四 街 道 市

* 目 次 *

	頁
第1章 調査の概要	3
1 調査の目的	3
2 調査の方法	3
3 回収結果	3
4 設問項目	3
5 調査結果の見方	7
6 前回調査との比較について	7
7 標本誤差	8
第2章 調査結果	9
【1】就学前児童調査結果	11
1 子どもと家庭の状況	11
問1 居住地区	11
問2 子どもの生年月日	11
問3 子どもの人数	12
問3-1 多胎児の有無	12
問3-1 末子の年齢	12
問4 回答者	13
問5 回答者の配偶関係	13
問6 家族の同居・近居の状況	14
問7 子育てを主に行っている人	14
問8 日常的に子育てに関わっている人	15
問9 日頃のサポートの状況	15
問9-1 祖父母等からのサポートの状況	16
問9-2 友人・知人からのサポートの状況	16
問10 子育てする中で悩んだり不安に感じたりすること	17
問11 子育てをする上での相談先	18
2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	19
問12 利用の有無	19
問12-1 利用している事業、施設所在地、利用状況、希望時間数	19
問12-2 利用している理由	26
問12-3 利用している事業の満足度	27
問12-4 利用中の事業所を選択した理由	28
問12-5 利用していない理由	29

	頁
問 13 希望する教育・保育事業、施設所在地	30
問 13-1 利用を強く希望する教育・保育事業	32
問 14 こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望	32
3 地域の子育て支援事業の利用状況	33
問 15 利用状況	33
問 16 利用希望	34
問 17 子育て支援サービス・事業の認知度、利用状況、利用意向	35
4 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	37
問 18 利用希望	37
問 19 幼稚園利用者の長期休暇期間中の利用意向	40
5 子どもの病気の際の対応	41
問 20 病気・ケガにより事業が利用できなかったことの有無	41
問 20-1 対処方法	41
問 20-2 病児・病後児保育施設等の利用意向	42
問 20-3 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由	43
6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	44
問 21 一時的に預けたことの有無	44
問 21-1 一時的な預かりを利用していない理由	45
問 22 一時的な預かりの利用希望	46
問 22-1 一時的な預かりで希望する事業形態	47
問 23 宿泊を伴う一時的な預かりの有無	48
問 23-1 祖父母等の親族・知人にみてもらう場合の困難度	49
7 小学校就学後の放課後の過ごし方	50
問 24 放課後に過ごさせたい場所(低学年)	50
問 25 放課後に過ごさせたい場所(高学年)	52
問 26 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中のこどもルームの利用希望	54
8 保護者の就労状況	57
問 27 父親・母親の就労状況	57
問 27-1 1週あたりの就労日数、1日あたりの勤務時間	58
問 27-2 家を出る時刻、帰宅する時刻	59
問 27-3 パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望	60
問 27-4 就労していない、就労したことがない人の今後の就労希望	60
9 職場の両立支援制度等	63
問 28 育児休業の取得状況・取得していない理由	63
問 28-1 育児休業取得後の状況	65
問 28-2 職場に復帰した時期	65
問 28-3 職場に復帰したときの子どもの年齢、希望と異なる理由	66

	頁
問 28-4 1歳になるまでの育児休業の取得意向	67
問 28-5 3歳まで休暇を取得できる場合の意向	68
問 28-6 短時間勤務制度の利用状況	68
問 28-7 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由	69
問 29 育児休業給付等の認知度	70
10 子育てに関する市への意見等	71
問 30 住まいの地域における子育て支援や環境の満足度	71
問 31 充実を図ってほしい市のサービス	73
問 32 支援の充実のための自己負担額引き上げについて	75
問 33 配食事業の利用意向	76
問 33-1 利用したい状況	76
問 34 子育て世帯訪問支援事業の利用意向	77
問 34-1 利用したいメニュー、希望する利用頻度	77
【2】小学生調査結果	79
1 子どもと家庭の状況	79
問 1 居住地区	79
問 2 子どもの学年	79
問 3 子どもの人数	80
問 3-1 多胎児の有無	80
問 3-2 末子の年齢	80
問 4 回答者	81
問 5 回答者の配偶関係	81
問 6 家族の同居・近居の状況	82
問 7 子育てを主に行っている人	82
問 8 日常的に子育てに関わっている人	83
問 9 日頃のサポートの状況	83
問 9-1 祖父母等からのサポートの状況	84
問 9-2 友人・知人からのサポートの状況	84
問 10 子育てする中で悩んだり不安に感じたりすること	85
問 11 子育てをする上での相談先	86
問 12 子どもの朝食の状況	87
問 12-1 朝食をとらせていない理由	87
問 13 子どもの夕食の状況	87
問 14 子どもの虫歯の状況	88

	頁
2 放課後の過ごし方	89
問 15 放課後に過ごさせたい場所(低学年)	89
問 16 放課後に過ごさせたい場所(高学年)	91
問 17 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中のこどもルームの利用希望	93
問 18 こどもルームの利用を希望しない理由	96
3 子どもの病気の際の対応	97
問 19 病気・ケガにより学校やこどもルーム（学童保育所）を休んだことの有無	97
問 19-1 対処方法	97
問 19-2 病児・病後児保育施設等の利用意向	98
問 19-3 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由	99
4 保護者の就労状況	100
問 20 父親・母親の就労状況	100
問 20-1 1週あたりの就労日数、1日あたりの勤務時間	101
問 20-2 家を出る時刻、帰宅する時刻	102
問 20-3 パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望	103
問 20-4 就労していない、就労したことがない人の今後の就労希望	103
5 家庭の経済状況等	106
問 21 家庭の主観的経済状況	106
問 21-1 経済的理由から支払いができなかった経験	107
問 22 特に必要としている公的な支援	108
問 23 子ども食堂の認知	109
問 24 子ども食堂の利用意向	110
問 25 無料塾の認知	111
問 26 無料塾の利用意向	112
問 27 配食事業の利用意向	113
問 27-1 利用したい状況	113
問 28 子育て世帯訪問支援事業の利用意向	114
問 28-1 利用したいメニュー、希望する利用頻度	114
6 子育てに関する市への意見等	116
問 29 住まいの地域における子育て支援や環境の満足度	116
問 30 充実を図ってほしい市のサービス	118
問 31 支援の充実のための自己負担額引き上げについて	120

資料編（調査票）	121
-----------------------	------------

*** 第 1 章 調査の概要 ***

第1章 調査の概要

1 調査の目的

この調査は、令和7年度から令和11年度までを計画期間とする「四街道市こども計画」策定に向けて、市民の教育・保育・子育て支援に関する現在の利用状況や今後の利用希望を把握し、市が確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出することを目的として実施しました。

2 調査の方法

- (1) 調査地域：四街道市全域
- (2) 調査対象：【就学前児童調査】市内在住の小学校就学前の子どもの保護者 1,000人
【小学生調査】市内在住の小学生の保護者 1,000人
- (3) 抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出
- (4) 調査方法：郵送配付・郵送及びWEBアンケートシステム回収
- (5) 調査期間：令和5年12月12日～12月27日

3 回収結果

	就学前児童調査	小学生調査
配布数	1,000	1,000
回収数	531	560
回収率	53.1%	56.0%

4 設問項目

(1) 就学前児童調査

調査項目	
1. 子どもと家庭の状況	
問1	居住地区
問2	子どもの生年月日
問3	子どもの人数
問3-1	多胎児の有無
問3-2	末子の年齢
問4	回答者
問5	回答者の配偶関係

調査項目	
問6	家族の同居・近居の状況
問7	子育てを主に行っている人
問8	日常的に子育てに関わっている人
問9	日頃のサポートの状況
問9-1	祖父母等からのサポートの状況
問9-2	友人・知人からのサポートの状況
問10	子育てする中で悩んだり不安に感じたりすること
問11	子育てをする上での相談先
2. 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	
問12	利用の有無
問12-1	利用している事業、施設所在地、利用状況、希望時間数
問12-2	利用している理由
問12-3	利用している事業の満足度
問12-4	利用中の事業所を選択した理由
問12-5	利用していない理由
問13	希望する教育・保育事業、施設所在地
問13-1	利用を強く希望する教育・保育事業
問14	こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望
3. 地域の子育て支援事業の利用状況	
問15	利用状況
問16	利用希望
問17	子育て支援サービス・事業の認知度、利用状況、利用意向
4. 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望	
問18	利用希望
問19	幼稚園利用者の長期休暇期間中の利用意向
5. 子どもの病気の際の対応	
問20	病気・ケガにより事業が利用できなかったことの有無
問20-1	対処方法
問20-2	病児・病後児保育施設等の利用意向
問20-3	病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由
6. 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	
問21	一時的に預けたことの有無
問21-1	一時的な預かりを利用していない理由
問22	一時的な預かりの利用希望
問22-1	一時的な預かりで希望する事業形態
問23	宿泊を伴う一時的な預かりの有無
問23-1	祖父母等の親族・知人にみてもらう場合の困難度

調査項目	
7. 小学校就学後の放課後の過ごし方	
問 24	放課後に過ごさせたい場所(低学年)
問 25	放課後に過ごさせたい場所(高学年)
問 26	土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中のこどもルームの利用希望
8. 保護者の就労状況	
問 27	父親・母親の就労状況
問 27-1	1週あたりの就労日数、1日あたりの勤務時間
問 27-2	家を出る時刻、帰宅する時刻
問 27-3	パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望
問 27-4	就労していない、就労したことがない人の今後の就労希望
9. 職場の両立支援制度等	
問 28	育児休業の取得状況・取得していない理由
問 28-1	育児休業取得後の状況
問 28-2	職場に復帰した時期
問 28-3	職場に復帰したときの子どもの年齢、希望と異なる理由
問 28-4	1歳になるまでの育児休業の取得意向
問 28-5	3歳まで休暇を取得できる場合の意向
問 28-6	短時間勤務制度の利用状況
問 28-7	短時間勤務制度を利用しなかった（できなかった）理由
問 29	育児休業給付等の認知度
10. 子育てに関する市への意見等	
問 30	住まいの地域における子育て支援や環境の満足度
問 31	充実を図ってほしい市のサービス
問 32	支援の充実のための自己負担額引き上げについて
問 33	配食事業の利用意向
問 33-1	利用したい状況
問 34	子育て世帯訪問支援事業の利用意向
問 34-1	利用したいメニュー、希望する利用頻度

(2) 小学生調査

調査項目	
1. 子どもと家庭の状況	
問 1	居住地区
問 2	子どもの学年
問 3	子どもの人数
問 3-1	多胎児の有無
問 3-2	末子の年齢

調査項目	
問4	回答者
問5	回答者の配偶関係
問6	家族の同居・近居の状況
問7	子育てを主に行っている人
問8	日常的に子育てに関わっている人
問9	日頃のサポートの状況
問9-1	祖父母等からのサポートの状況
問9-2	友人・知人からのサポートの状況
問10	子育てする中で悩んだり不安に感じたりすること
問11	子育てをする上での相談先
問12	子どもの朝食の状況
問12-1	朝食をとらせていない理由
問13	子どもの夕食の状況
問14	子どもの虫歯の状況
2. 放課後の過ごし方	
問15	放課後に過ごさせたい場所(低学年)
問16	放課後に過ごさせたい場所(高学年)
問17	土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中のこどもルームの利用希望
問18	こどもルームの利用を希望しない理由
3. 子どもの病気の際の対応	
問19	病気・ケガにより学校やこどもルーム(学童保育所)を休んだことの有無
問19-1	対処方法
問19-2	病児・病後児保育施設等の利用意向
問19-3	病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由
4. 保護者の就労状況	
問20	父親・母親の就労状況
問20-1	1週あたりの就労日数、1日あたりの勤務時間
問20-2	家を出る時刻、帰宅する時刻
問20-3	パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望
問20-4	就労していない、就労したことがない人の今後の就労希望
5. 家庭の経済状況等	
問21	家庭の主観的経済状況
問21-1	経済的理由から支払いができなかった経験
問22	特に必要としている公的な支援
問23	子ども食堂の認知
問24	子ども食堂の利用意向
問25	無料塾の認知

調査項目	
問 26	無料塾の利用意向
問 27	配食事業の利用意向
問 27-1	利用したい状況
問 28	子育て世帯訪問支援事業の利用意向
問 28-1	利用したいメニュー、希望する利用頻度
6. 子育てに関する市への意見等	
問 29	住まいの地域における子育て支援や環境の満足度
問 30	充実を図ってほしい市のサービス
問 31	支援の充実のための自己負担額引き上げについて

5 調査結果の見方

- ・調査結果の数値は、原則として回答率（％）で表記しています。
- ・表では、原則として上段は実数、下段は割合（％）（小数第一位まで）として表記してあります。表中に「－」と表示してあるのは、回答者がいなかった場合です。
- ・回答率（％）は、その設問の回答者数を基数として算出しています。そのため、複数回答の場合、選択肢ごとの割合を合計すると 100.0％を超えることがあります。
- ・回答率（％）は、小数第二位を四捨五入により端数処理しています。そのため、属性ごとの回答比率の合計が、合計欄の数値と一致しないことがあります。
- ・アンケート調査票の選択肢の文章が長い場合、図・表の中では要約して短く表現している場合があります。
- ・各設問において、性別や年代など基本属性に「無回答」があるため、全体の数値と各項目の数値の合計が一致しない場合があります。

6 前回調査との比較について

この報告書では、本文中で以下の調査結果との比較を行っています。なお、今回の調査と以下の調査では設問文や選択肢の一部が異なっている場合があることから、調査結果の比較に当たっては留意が必要です。

「四街道市子育て支援に関するアンケート調査」【平成 31 年度（前回）調査】	
対 象	【就学前児童調査】市内在住の小学校就学前の子どもの保護者 1,000 人
	【小学生調査】市内在住の小学生の保護者 1,000 人
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査期間	平成 30 年 11 月 9 日～11 月 27 日
回収状況	【就学前児童調査】 65.0%
	【小学生調査】 66.6%

7 標本誤差

今回の無作為抽出法による場合、調査結果の数値（％）をそのまま全調査対象者の回答として単純に置き換えると、多少の誤差が生じます。

統計学的には、以下の数式によって標本誤差率を計算して、全調査対象者の回答を推測します。

〈標本誤差算出式〉

標本誤差率 =	$\pm 2 \times \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$	N = 母集団数 n = 回収数 p = 回答の比率
---------	---	----------------------------------

N = 母集団数（令和5年11月1日時点の住民基本台帳人口。就学前児童4,650人、小学生5,377人）

n = 回収数（就学前児童531人、小学生560人）

p = 回答の比率

この調査の標本誤差は、下表のとおりです。

		回答の比率 (p)				
		10%または 90%	20%または 80%	30%または 70%	40%または 60%	50%
標本誤差率	就学前児童	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.6%	±3.6%
	小学生	±2.2%	±2.9%	±3.3%	±3.5%	±3.6%

※表の見方の例

就学前児童調査問30「お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、いかがですか」の設問に、「1（満足度が低い）」と回答した人が全体（n=650）の10%であったとします。

この場合、標本誤差は±2.2%であるため、四街道市の就学前児童の保護者で「満足度が低い」と考えている人の割合が7.8%～12.2%の間にあることが、95%の信頼度でいえることとなります。

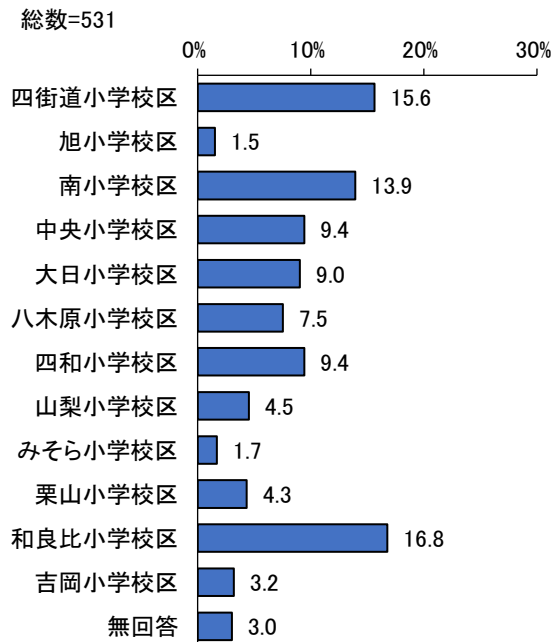
* 第 2 章 調 査 結 果 *

【1】就学前児童調査結果

1 子どもと家庭の状況

問1 居住地区

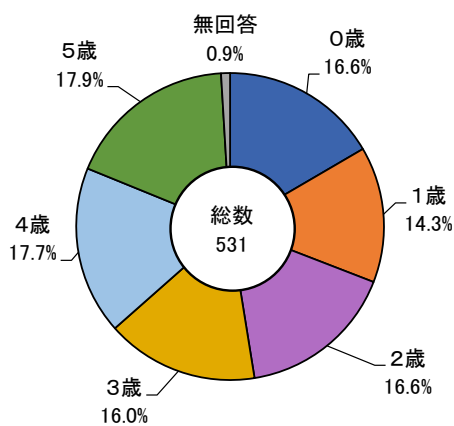
お住まいはどちらになりますか。(〇は1つ)



「和良比小学校区」が16.8%で最も多く、「四街道小学校区」が15.6%、「南小学校区」が13.9%で続いています。

問2 子どもの生年月日

あて名のお子さんの生年月日は、次のうちどちらに該当しますか。(〇は1つ)

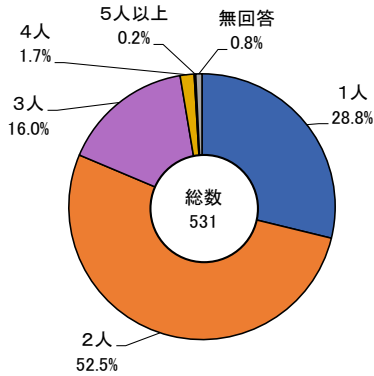


「5歳児」が17.9%、「4歳児」が17.7%となっており、各歳とも14%～18%の範囲に収まっています。

生年月日	年齢	割合
令和4年4月2日～令和5年4月1日	0歳	16.6%
令和3年4月2日～令和4年4月1日	1歳	14.3%
令和2年4月2日～令和3年4月1日	2歳	16.6%
平成31年4月2日～令和2年4月1日	3歳	16.0%
平成30年4月2日～平成31年4月1日	4歳	17.7%
平成29年4月2日～平成30年4月1日	5歳	17.9%

問3 子どもの人数

あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。(〇は1つ)

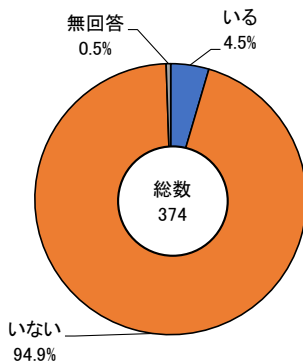


「2人」が52.5%で最も多く、「1人」が28.8%、「3人」が16.0%で続いています。

問3-1 多胎児の有無

問3で子どもの人数が2人以上と回答した人に対する設問

あて名のお子さんを含め、きょうだいの中にふたご、みつご等多胎児のお子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

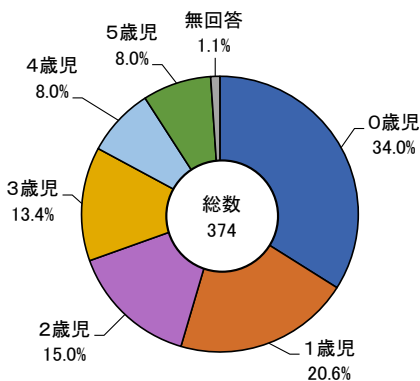


子どもの人数が2人以上であると回答した人に対して、きょうだいの中に多胎児がいるかどうかを聞いたところ、「いる」が4.5%、「いない」が94.9%となっています。

問3-1 末子の年齢

問3で子どもの人数が2人以上と回答した人に対する設問

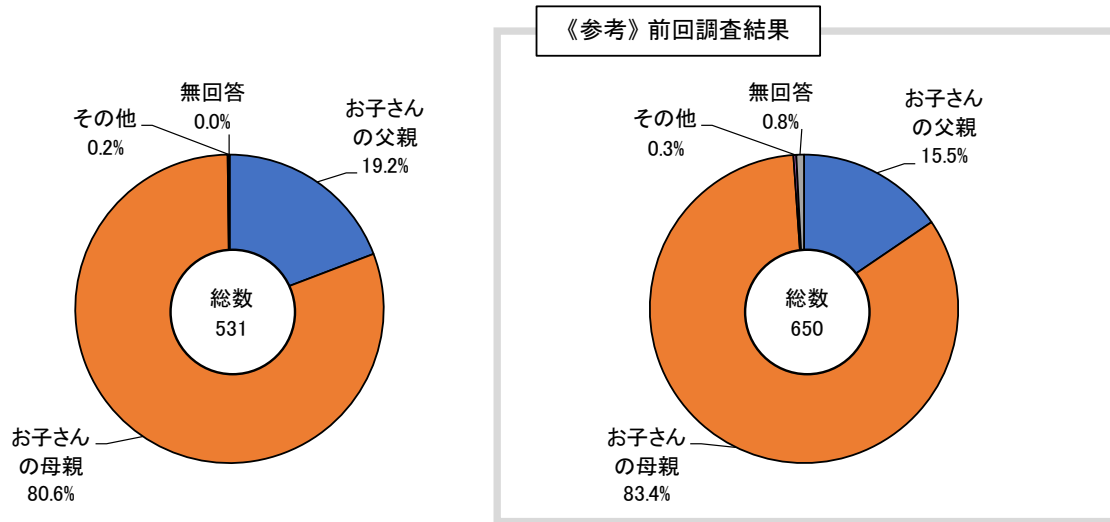
一番下のお子さん(末子)の生年月日はどちらになりますか。(〇は1つ)



子どもの人数が2人以上であると回答した人に対して、末子の年齢を聞いたところ、「0歳児」が34.0%で最も多く、「1歳児」が20.6%、「2歳児」が15.0%で続いています。

問4 回答者

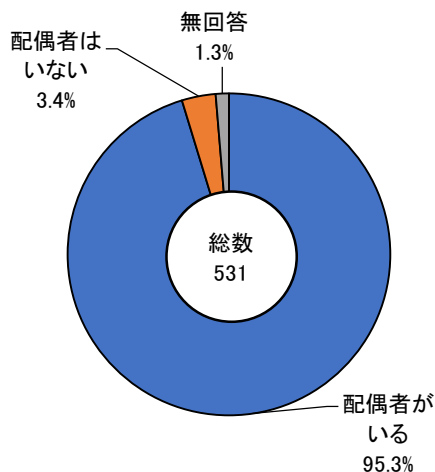
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)



「お子さんの母親」が80.6%を占めており、「お子さんの父親」は19.2%となっています。前回調査では「お子さんの母親」が83.4%、「お子さんの父親」が15.5%となっており、今回調査の「お子さんの父親」は前回調査をやや上回っています。

問5 回答者の配偶関係

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

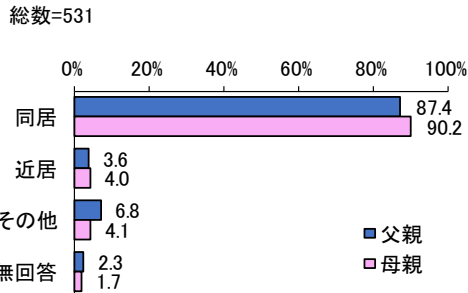


「配偶者がいる」が95.3%を占めており、「配偶者がいない」は3.4%となっています。

問6 家族の同居・近居の状況

あて名のお子さんと父母、祖父母の同居・近居（おおむね30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。（父親、母親：○は1つ、祖父母：あてはまるものすべてに○）

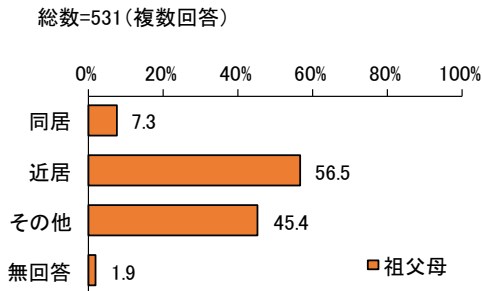
①父親・母親



父親については、「同居」が87.4%を占めており、「近居」は3.6%となっています。

母親については、「同居」が90.2%を占めており、「近居」は4.0%となっています。

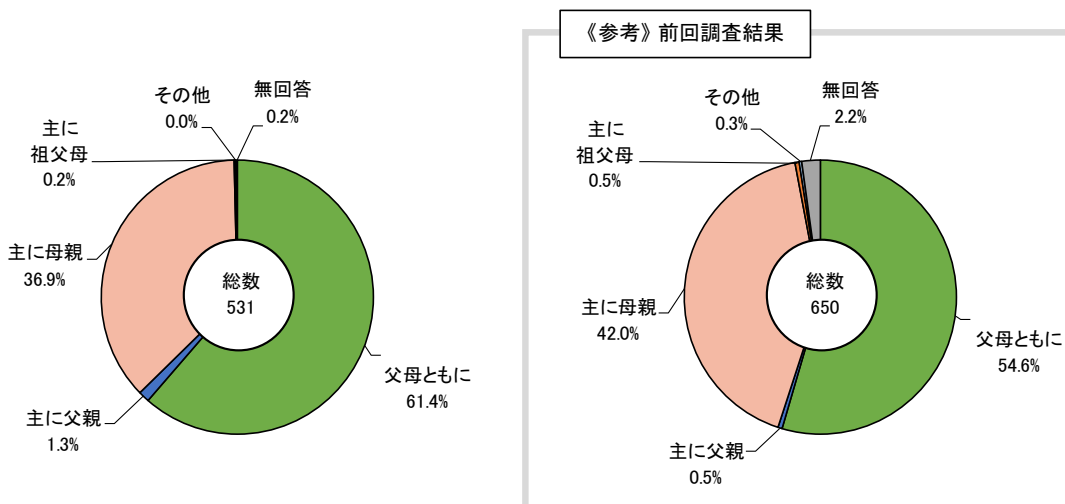
②祖父母



祖父母については、「近居」が56.5%で最も多く、「同居」は7.3%です。なお、「その他」は45.4%です。

問7 子育てを主に行っている人

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っている方はどなたですか。（○は1つ）

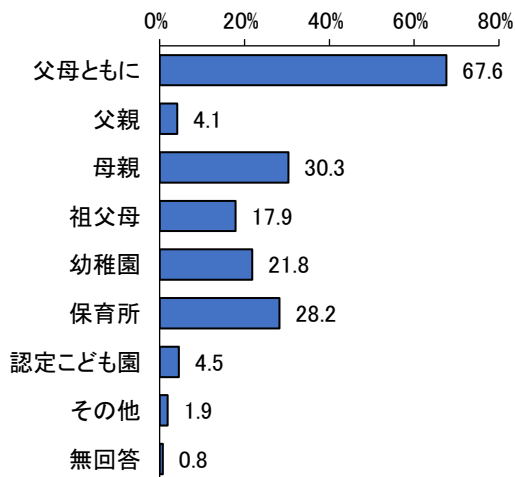


「父母ともに」が61.4%で最も多く、「主に母親」が36.9%が続いています。前回調査では「父母ともに」が54.6%で、今回調査の「父母ともに」は前回調査を約7ポイント上回っています。

問8 日常的に子育てに関わっている人

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

総数=531

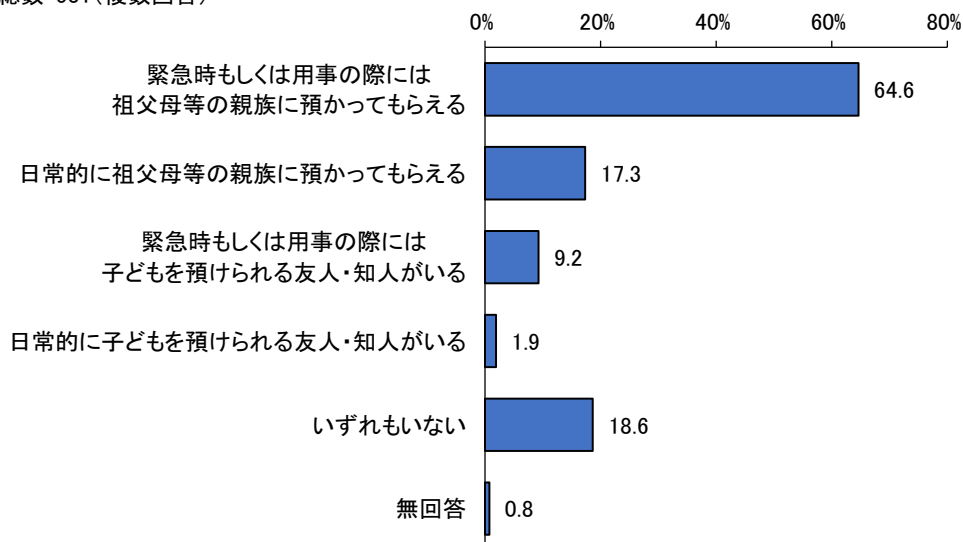


「父母ともに」が 67.6%で最も多く、「母親」が 30.3%、「保育所」が 28.2%で続いています。

問9 日頃のサポートの状況

日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

総数=531 (複数回答)

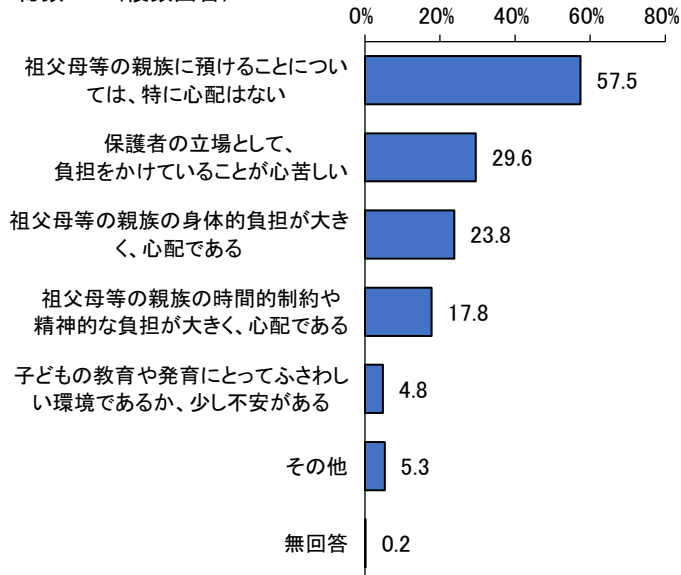


「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が 64.6%で最も多く、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が 17.3%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が 9.2%で続いています。なお、「いずれもない」は 18.6%です。

問9-1 祖父母等からのサポートの状況

問9で祖父母等の親族に預かってもらえると回答した人に対する設問
祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

総数=416(複数回答)

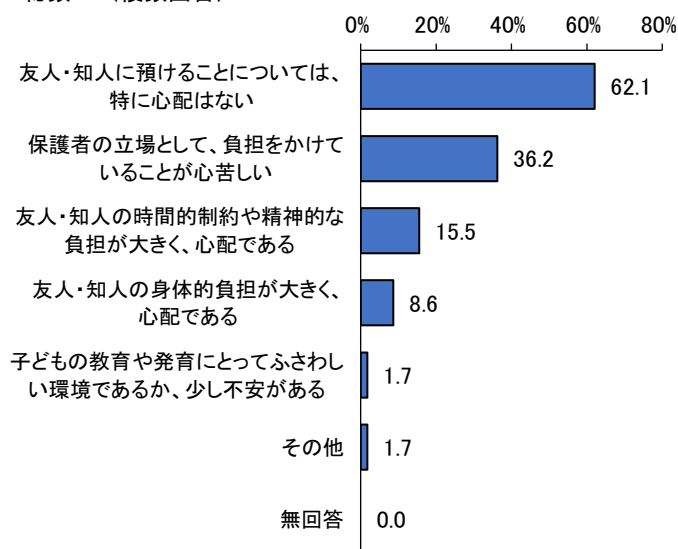


祖父母等に預かってもらえると回答した人に対して、祖父母等からのサポートの状況について聞いたところ、「祖父母等の親族に預けることについては、特に心配はない」が57.5%で最も多く、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が29.6%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が23.8%で続いています。

問9-2 友人・知人からのサポートの状況

問9で友人・知人に預かってもらえると回答した人に対する設問
友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

総数=58(複数回答)

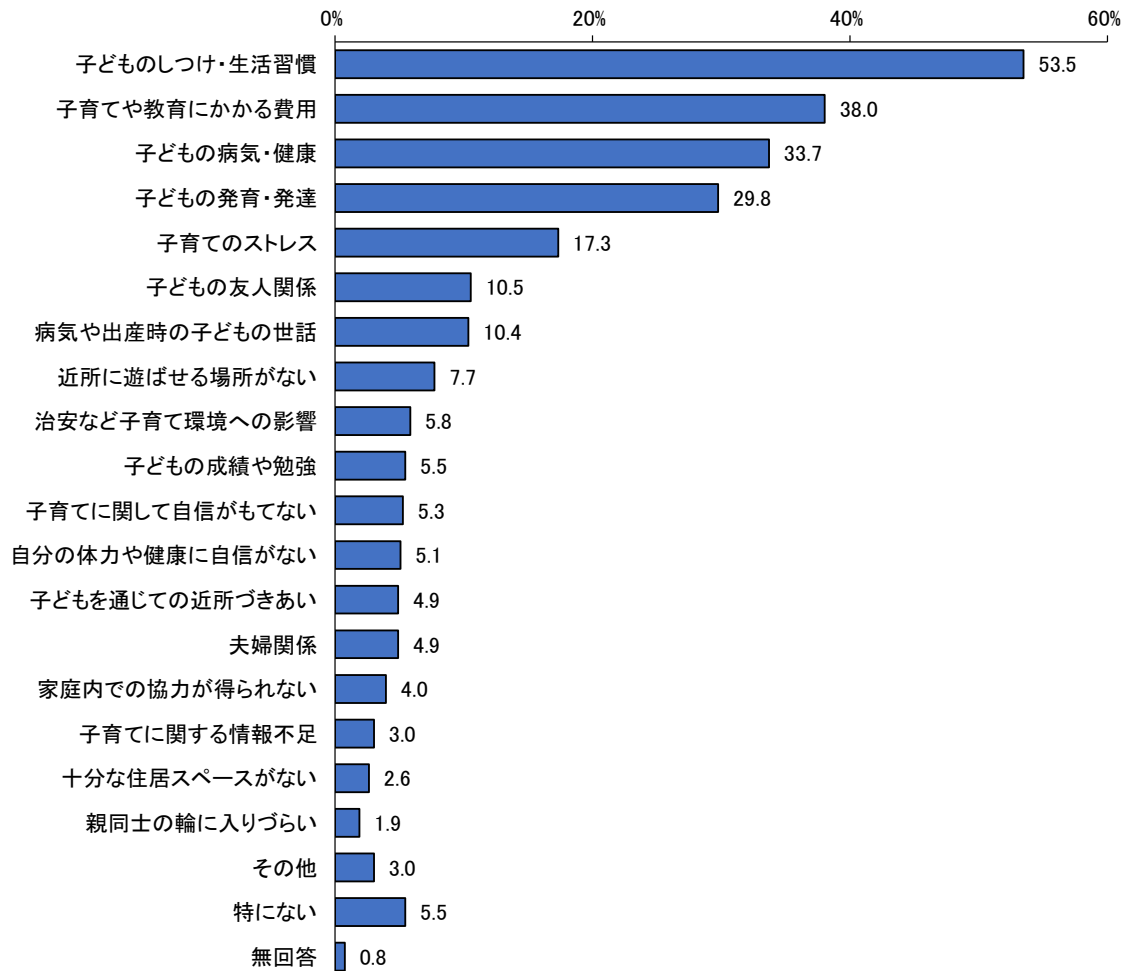


友人・知人に預かってもらえると回答した人に対して、友人・知人からのサポートの状況について聞いたところ、「友人・知人に預けることについては、特に心配はない」が62.1%で最も多く、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が36.2%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が15.5%で続いています。

問10 子育てする中で悩んだり不安に感じたりすること

あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困ったりしましたか。(〇は3つまで)

総数=531(複数回答)

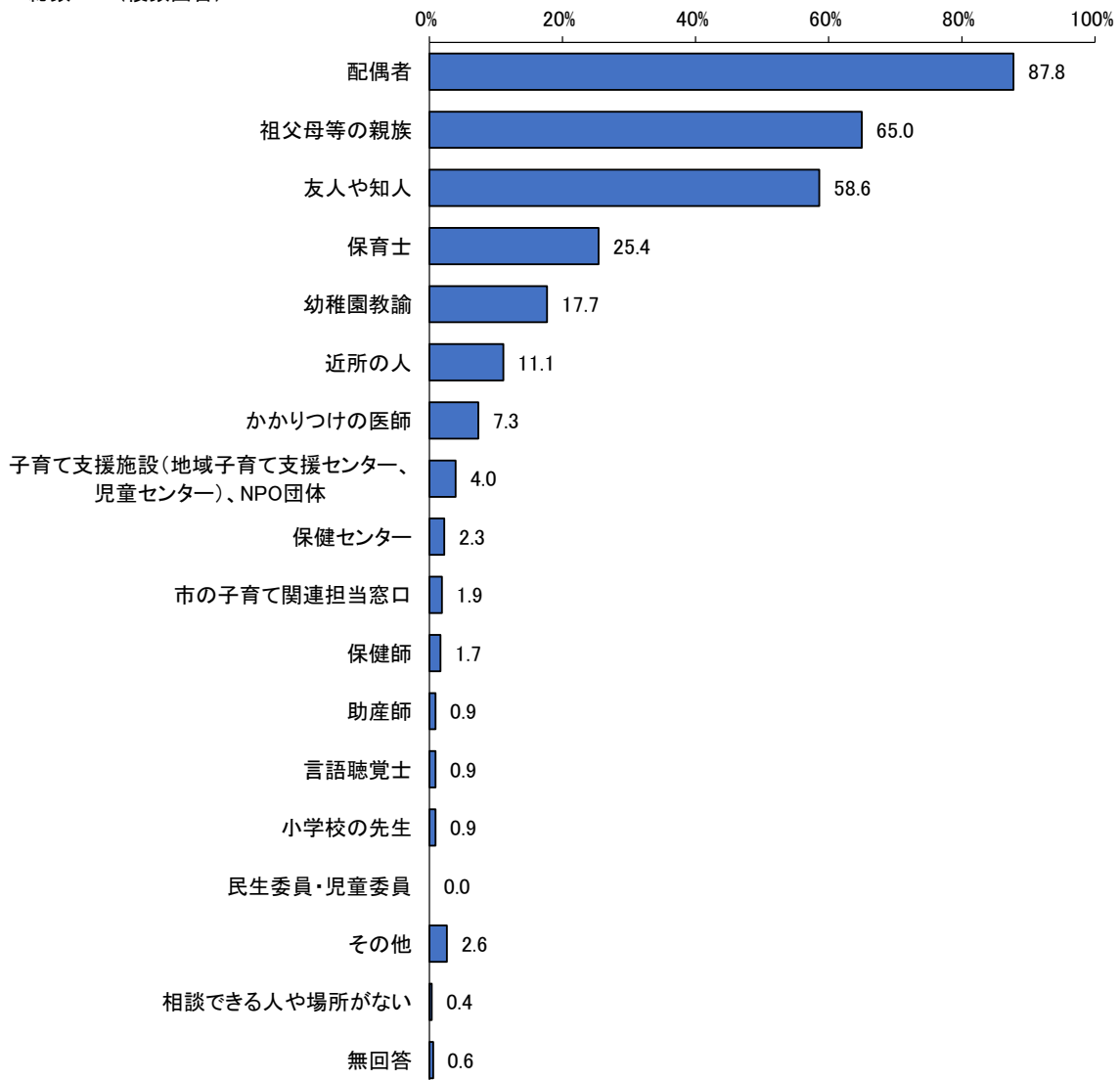


「子どものしつけ・生活習慣」が53.5%で最も多く、「子育てや教育にかかる費用」が38.0%、「子どもの病気・健康」が33.7%で続いています。悩んだり不安に感じたり、困ったりすることが「特にない」は5.5%です。

問11 子育てをする上での相談先

あて名のお子さんの子育て（教育）をする上で、気軽に相談できる人や、相談できる場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

総数=531（複数回答）

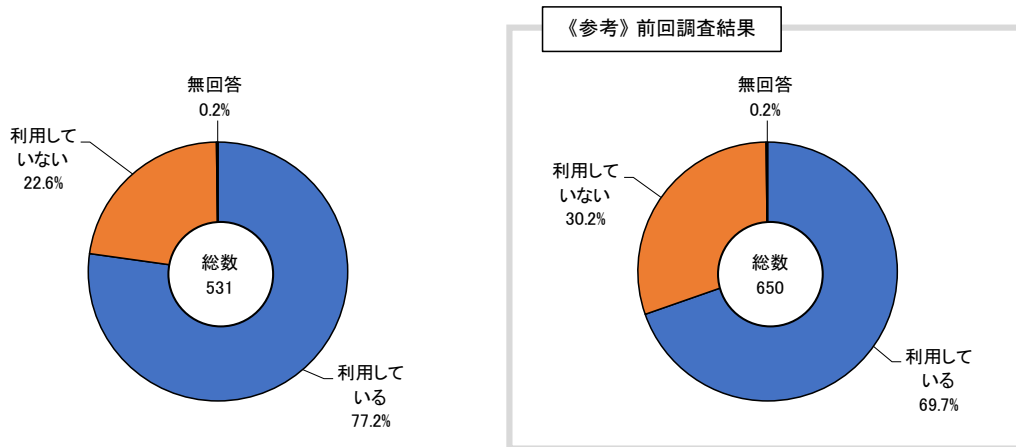


「配偶者」が87.8%で最も多く、「祖父母等の親族」が65.0%、「友人や知人」が58.6%で続いています。「相談できる人や場所がない」は0.4%です。

2 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問12 利用の有無

あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(〇は1つ)



「利用している」が77.2%を占めており、「利用していない」は22.6%となっています。前回調査では「利用している」が69.7%、「利用していない」が30.2%となっており、今回調査の「利用している」は前回調査を約8ポイント上回っています。

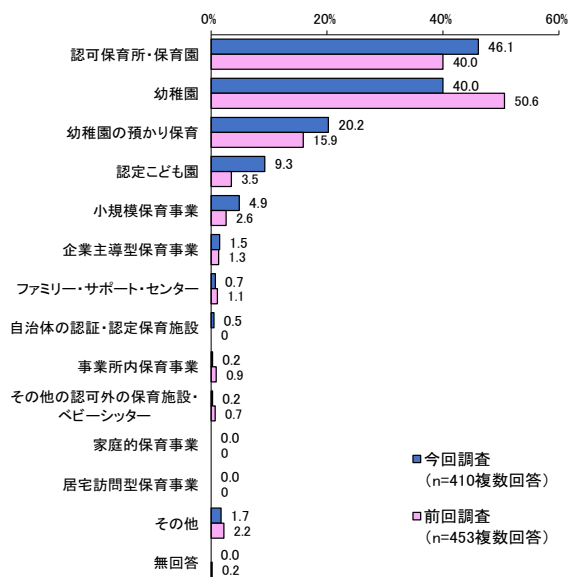
問12-1 利用している事業、施設所在地、利用状況、希望時間数

問12で定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対する設問

あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

また、選択した事業について、施設の所在と現在の利用状況、希望する利用日数や利用時間をお答えください。

①利用している事業



現在、定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対して、利用している事業について聞いたところ、「認可保育所・保育園」が46.1%で最も多く、「幼稚園」が40.0%、「幼稚園の預かり保育」が20.2%で続いています。

前回調査では「幼稚園」が50.6%、「認可保育所・保育園」が40.0%となっており、今回調査の「幼稚園」は前回調査を約11ポイント下回っているのに対し、「認可保育所・保育園」は前回調査を約6ポイント上回っています。

○利用している事業（居住地区別）

	全体	幼稚園	預かり保育 幼稚園の	認可保育所・ 保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内 保育事業	認定保育施設・ 自治体の認証・ 認定保育施設	企業主導型 保育事業	居宅訪問型保育 事業	その他の認可外 の保育施設・ ベビースタター	ファミリー・ センター・ サポーター	その他	無回答	
全体	410 100.0	164 40.0	83 20.2	189 46.1	38 9.3	20 4.9	0 0.0	1 0.2	2 0.5	6 1.5	0 0.0	1 0.2	3 0.7	7 1.7	0 0.0	
学校区	四街道小学校区	65 100.0	21 32.3	14 21.5	30 46.2	10 15.4	7 10.8	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0	1 1.5	0 0.0
	旭小学校区	7 100.0	5 71.4	4 57.1	2 28.6	0 0.0	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	南小学校区	64 100.0	26 40.6	7 10.9	28 43.8	8 12.5	2 3.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.6	0 0.0	0 0.0	2 3.1	1 1.6	0 0.0
	中央小学校区	40 100.0	15 37.5	8 20.0	21 52.5	3 7.5	2 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	大日小学校区	38 100.0	17 44.7	9 23.7	17 44.7	2 5.3	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.6	1 0.0
	八木原小学校区	28 100.0	14 50.0	8 28.6	10 35.7	3 10.7	1 3.6	0 0.0	0 0.0	1 3.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.6	2 7.1	0 0.0
	四和小学校区	34 100.0	16 47.1	9 26.5	13 38.2	2 5.9	2 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	山梨小学校区	14 100.0	5 35.7	3 21.4	8 57.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 7.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	みそら小学校区	9 100.0	3 33.3	1 11.1	6 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	栗山小学校区	15 100.0	6 40.0	2 13.3	6 40.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0
	和良比小学校区	68 100.0	22 32.4	12 17.6	38 55.9	6 8.8	4 5.9	0 0.0	1 1.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0
	吉岡小学校区	15 100.0	8 53.3	5 33.3	4 26.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	13 100.0	6 46.2	1 7.7	6 46.2	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

利用している事業を居住地区別にみると、中央小学校区、和良比小学校区では「認可保育所・保育園」が5割台で最も多くなっており、特に和良比小学校区（55.9%）では「幼稚園」（32.4%）を約24ポイント上回っています。四和小学校区では「幼稚園」（47.1%）が最も多くなっており、「認可保育所・保育園」（38.2%）を約9ポイント上回っています。このほか、四街道小学校区では「認定こども園」が15.4%、「小規模保育事業」が10.8%であり、いずれも全体の割合を5ポイント以上上回っています。

○利用している事業（年齢別）

	全体	幼稚園	預かり保育 幼稚園の	認可保育所・ 保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内 保育事業	認定保育施設・ 自治体の認証・ 認定保育施設	企業主導型 保育事業	居宅訪問型保育 事業	その他の認可外 の保育施設・ ベビースタター	ファミリー・ センター・ サポーター	その他	無回答	
全体	410 100.0	164 40.0	83 20.2	189 46.1	38 9.3	20 4.9	0 0.0	1 0.2	2 0.5	6 1.5	0 0.0	1 0.2	3 0.7	7 1.7	0 0.0	
子どもの年齢	0歳	29 100.0	2 6.9	4 13.8	22 75.9	2 6.9	3 10.3	0 0.0	0 0.0	1 3.4	1 3.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 10.3	0 0.0
	1歳	38 100.0	0 0.0	3 7.9	33 86.8	0 0.0	5 13.2	0 0.0	0 0.0	2 5.3	2 5.3	0 0.0	1 2.6	1 2.6	1 2.6	0 0.0
	2歳	67 100.0	19 28.4	6 9.0	32 47.8	4 6.0	11 16.4	0 0.0	1 1.5	1 1.5	3 4.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.5	0 0.0
	3歳	83 100.0	42 50.6	20 24.1	33 39.8	6 7.2	1 1.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 2.4	0 0.0
	4歳	94 100.0	46 48.9	20 21.3	37 39.4	13 13.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	0 0.0
	5歳	95 100.0	53 55.8	29 30.5	30 31.6	13 13.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 1.1	2 2.1	0 0.0
	無回答	4 100.0	2 50.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

※年齢別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

利用している事業を年齢別にみると、3歳から5歳では「幼稚園」が5割前後で「認可保育所・保育園」を上回っています。

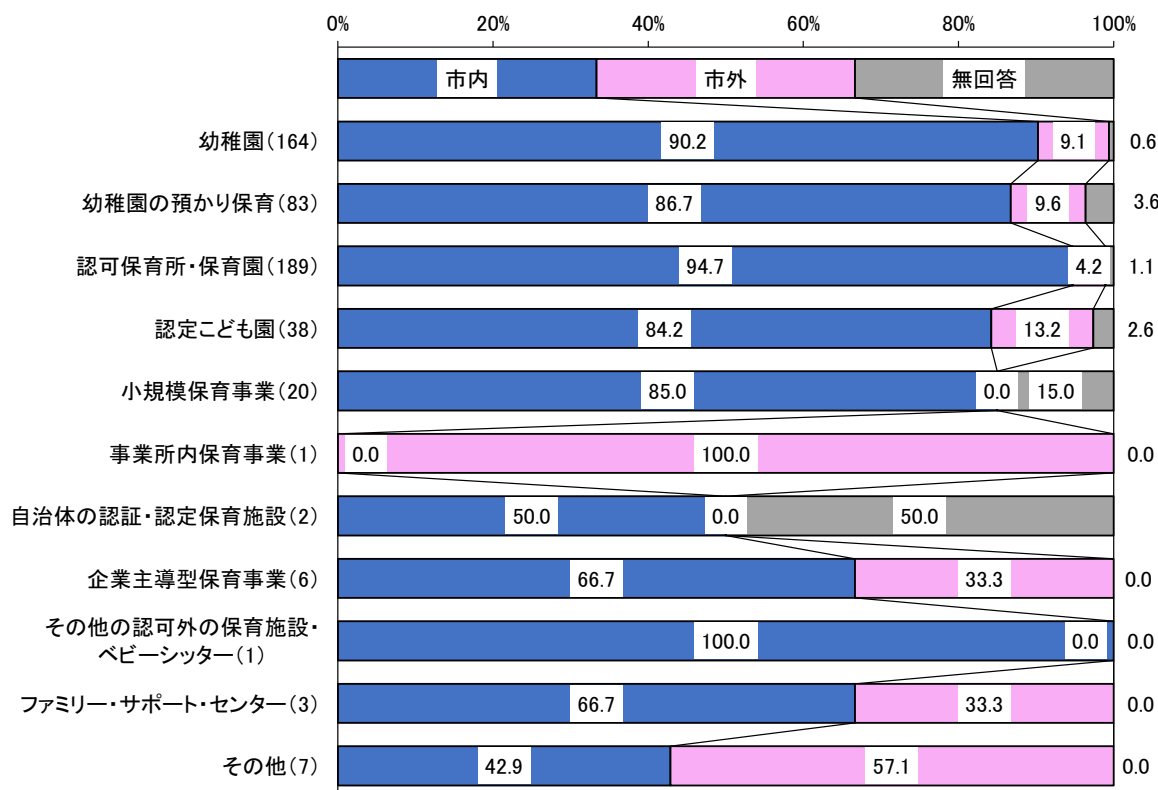
○利用している事業（母親の就労状況別）

	全体	幼稚園	預かり保育 幼稚園の	認可保育所・ 保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内 保育事業	自治体の認証・ 認定保育施設	企業主導型 保育事業	居宅訪問型保育 事業	その他の認可外 の保育施設・ ベビーシッター	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答
全体	410 100.0	164 40.0	83 20.2	189 46.1	38 9.3	20 4.9	0 0.0	1 0.2	2 0.5	6 1.5	0 0.0	1 0.2	3 0.7	7 1.7	0 0.0
母親の 就労 状況	フルタイム	168 100.0	21 12.5	25 14.9	130 77.4	11 6.5	13 7.7	0 0.0	1 0.6	0 0.0	1 0.6	0 0.0	2 1.2	1 0.6	0 0.0
	パートタイム	121 100.0	50 41.3	39 32.2	48 39.7	15 12.4	5 4.1	0 0.0	0 0.0	1 0.8	4 3.3	0 0.0	1 0.8	1 0.8	0 0.0
	働いていない	106 100.0	86 81.1	14 13.2	5 4.7	12 11.3	1 0.9	0 0.0	0 0.0	1 0.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 3.8	4 0.0
	無回答	15 100.0	7 46.7	5 33.3	6 40.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 6.7	0 0.0	0 0.0	0 6.7	1 0.0

※母親の就労状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

利用している事業を母親の就労状況別にみると、フルタイム勤務の母親では「認可保育所・保育園」(77.4%)が幼稚園(12.5%)を大幅に上回っています。働いていない母親では、「幼稚園」が81.1%を占めています。このほか、パートタイム勤務の母親では「幼稚園の預かり保育」が32.2%であり、回答者全体の割合を12ポイント上回っています。

②利用している場所

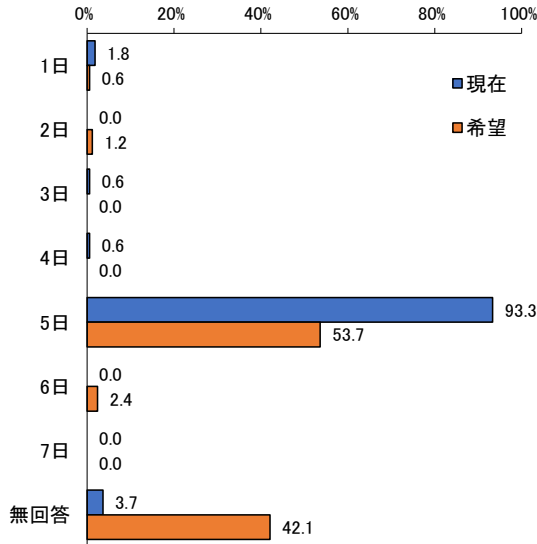


現在、定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対して、利用している事業の場所について聞いたところ、幼稚園、幼稚園の預かり保育、認可保育所・保育園のいずれも「市内」が9割前後となっています。

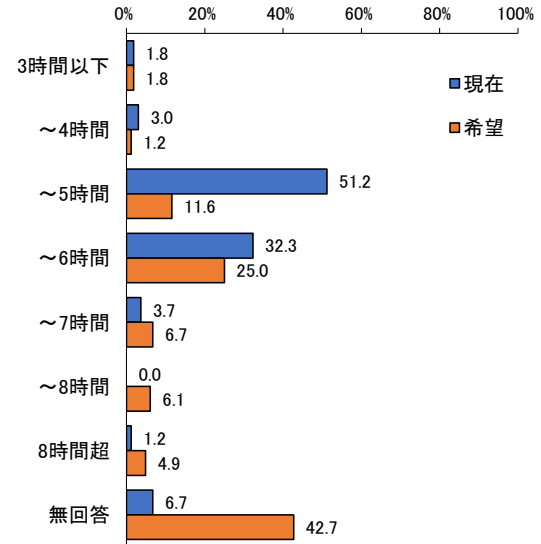
③利用時間（現在・希望）

(1) 幼稚園（総数=164）

●1週あたりの日数

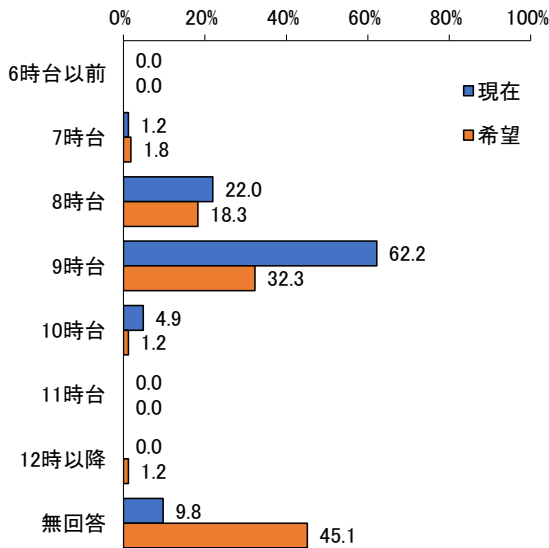


●1日あたりの利用時間

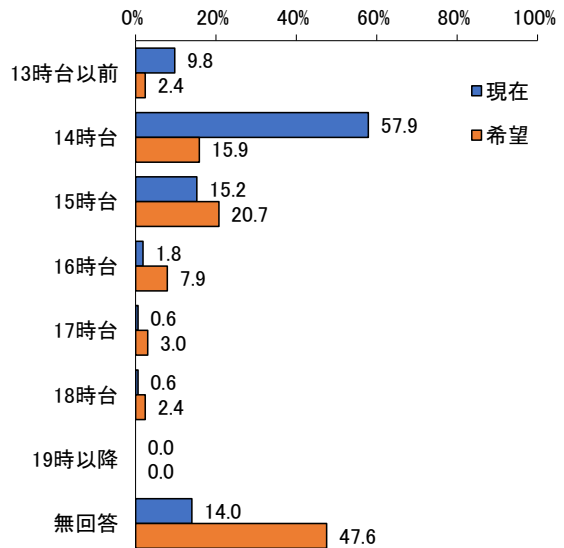


幼稚園を利用していると回答した人の1週あたりの利用日数は「5日」が93.3%を占めています。1日あたりの利用時間については、「～5時間」が51.2%で最も多く、「～6時間」が32.3%で続きます。なお、希望する利用時間としては、「～6時間」が25.0%で最も多くなっています。

●開始時間



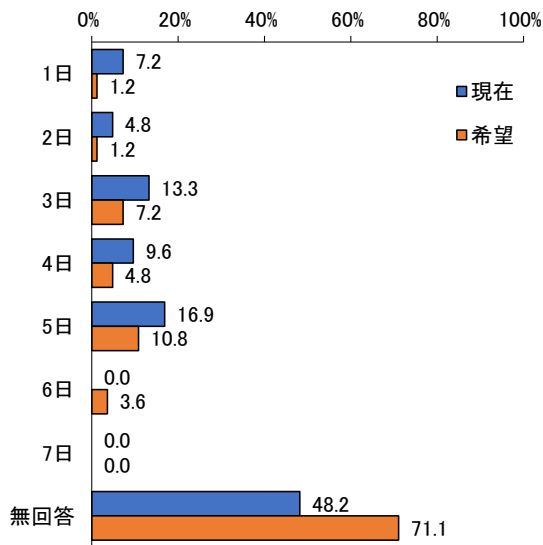
●終了時間



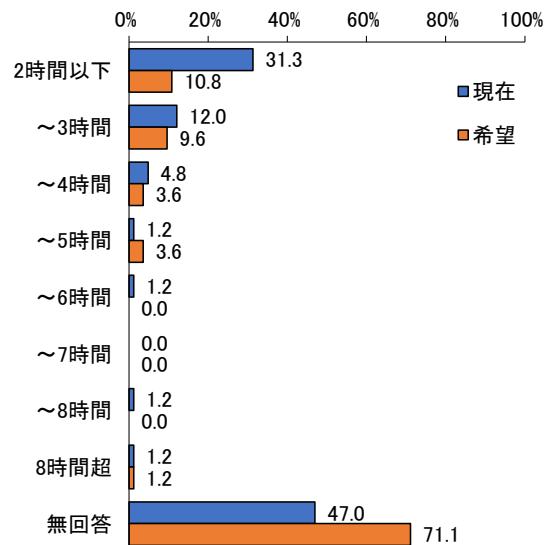
利用開始時間は「9時台」が62.2%を占めており、「8時台」が22.0%が続いています。終了時間は「14時台」が57.9%で最も多く、「15時台」が15.2%が続きます。なお、希望する終了時間としては、「15時台」が20.7%で最も多くなっています。

(2) 幼稚園の預かり保育（総数=83）

●1週あたりの日数

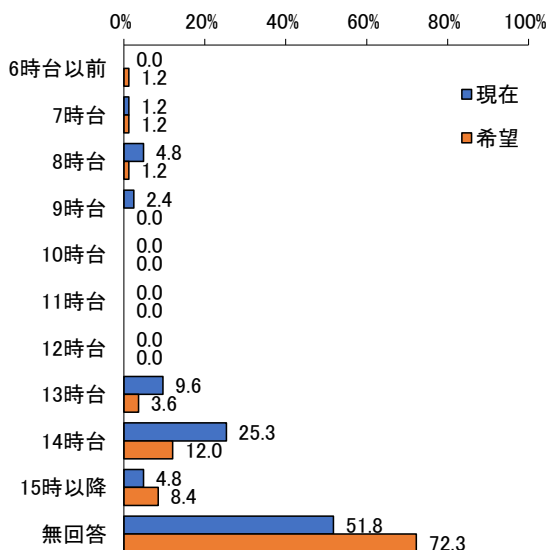


●1日あたりの利用時間

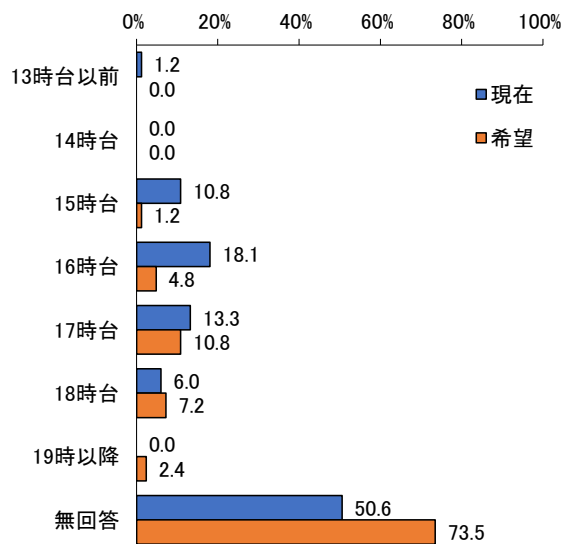


幼稚園の預かり保育を利用していると回答した人の1週あたりの利用日数は「5日」が16.9%で最も多く、「3日」が13.3%が続いています。1日あたりの利用時間については、「2時間以下」が31.3%で最も多く、「～3時間」が12.0%が続きます。なお、希望する利用時間としては、「2時間以下」が10.8%で最も多く、「～3時間」が9.6%が続いています。

●開始時間



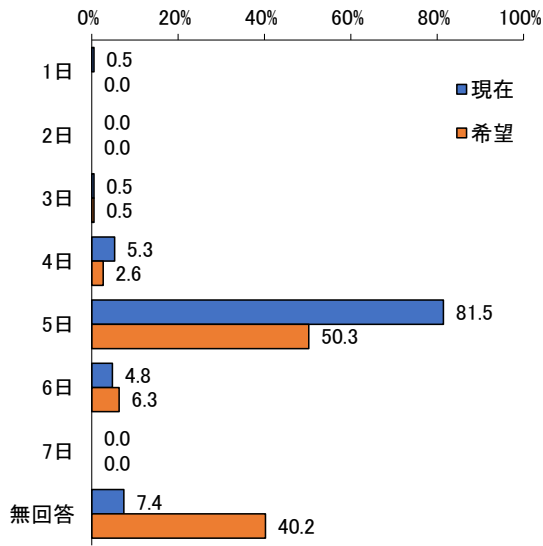
●終了時間



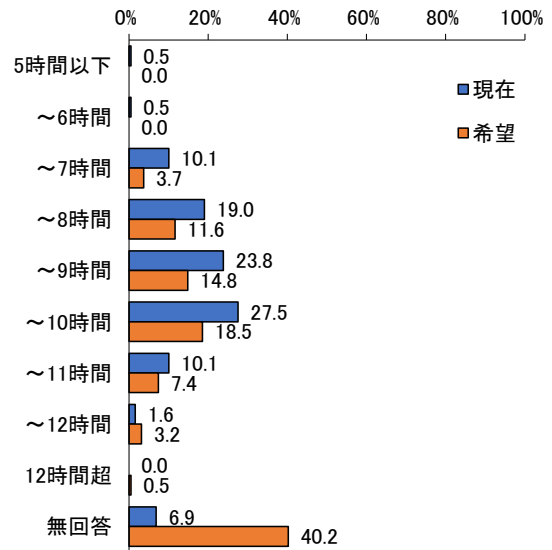
利用開始時間は「14時台」が25.3%で最も多く、「13時台」が9.6%が続いています。終了時間は「16時台」が18.1%で最も多く、「17時台」が13.3%が続きます。なお、希望する終了時間としては、「17時台」が10.8%で最も多くなっています。

(3) 認可保育所・保育園（総数=189）

●1週あたりの日数

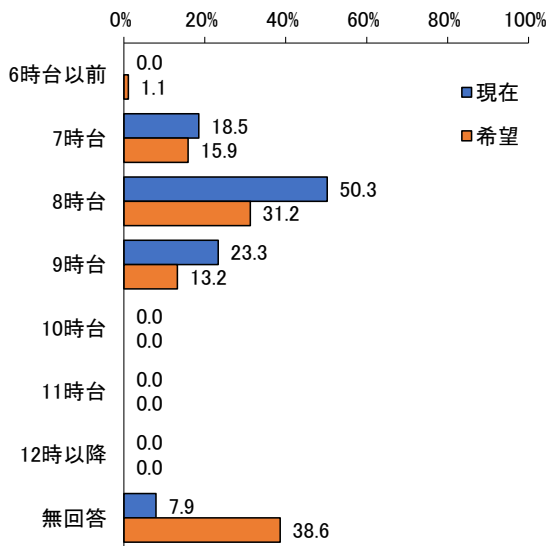


●1日あたりの利用時間

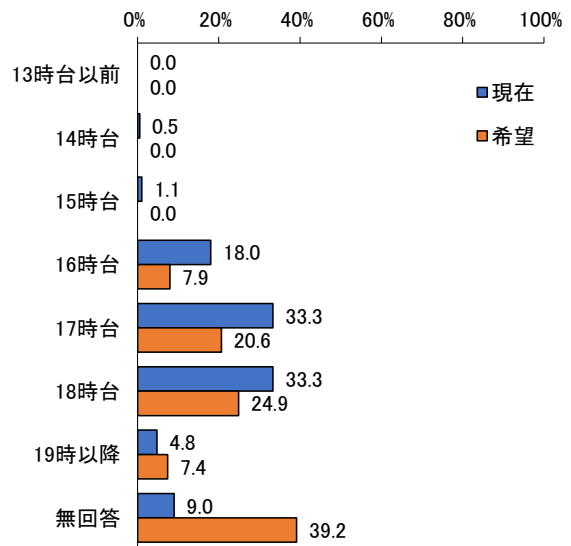


認可保育所・保育園を利用していると回答した人の1週あたりの利用日数は「5日」が81.5%を占めています。1日あたりの利用時間については、「～10時間」が27.5%で最も多く、「～9時間」が23.8%で続きます。なお、希望する利用時間としては、「～10時間」が18.5%で最も多くなっています。

●開始時間



●終了時間



利用開始時間は「8時台」が50.3%で最も多く、「9時台」が23.3%が続いています。終了時間は「17時台」と「18時台」がそれぞれ33.3%で最も多く、「16時台」が18.0%で続きます。

第2章 調査結果

(4) 上記以外の教育・保育事業

● 1週あたりの日数

	全体	現在									希望							
		1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答	
認定こども園	38 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 2.6	32 84.2	1 2.6	0 0.0	4 10.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	26 68.4	1 2.6	0 0.0	11 28.9	
小規模保育事業	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 75.0	1 5.0	0 0.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 40.0	2 10.0	1 5.0	9 45.0	
事業所内 保育事業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
自治体の認証・ 認定保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	
企業主導型保育事業	6 100.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	2 33.3	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	
その他の認可外の保育 施設・ベビーシッター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	
ファミリー・サポート・ センター	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	
その他	7 100.0	1 14.3	3 42.9	0 0.0	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	1 14.3	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	

● 1日あたりの利用時間

	全体	現在								希望							
		3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	8時間超	無回答	3時間以下	4時間	5時間	6時間	7時間	8時間	8時間超	無回答
認定こども園	38 100.0	0 0.0	0 0.0	14 36.8	3 7.9	3 7.9	2 5.3	16 42.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 15.8	2 5.3	4 10.5	5 13.2	9 23.7	12 31.6
小規模保育事業	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 30.0	10 50.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 20.0	7 35.0	9 45.0
事業所内 保育事業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
自治体の認証・ 認定保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
企業主導型保育事業	6 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	2 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	50.0	3 50.0
その他の認可外の保育 施設・ベビーシッター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
ファミリー・サポート・ センター	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
その他	7 100.0	3 42.9	1 14.3	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	3 42.9

● 開始時間

	全体	現在								希望							
		6時台以前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答	6時台以前	7時台	8時台	9時台	10時台	11時台	12時以降	無回答
認定こども園	38 100.0	0 0.0	5 13.2	7 18.4	20 52.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	6 15.8	0 0.0	4 10.5	9 23.7	13 34.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 31.6
小規模保育事業	20 100.0	0 0.0	5 25.0	11 55.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 20.0	0 0.0	15 75.0	3 15.0	6 30.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	9 45.0
事業所内 保育事業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
自治体の認証・ 認定保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
企業主導型保育事業	6 100.0	0 0.0	0 0.0	5 83.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0
その他の認可外の保育 施設・ベビーシッター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
ファミリー・サポート・ センター	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
その他	7 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	3 42.9	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	2 28.6	0 0.0	0 0.0	3 42.9

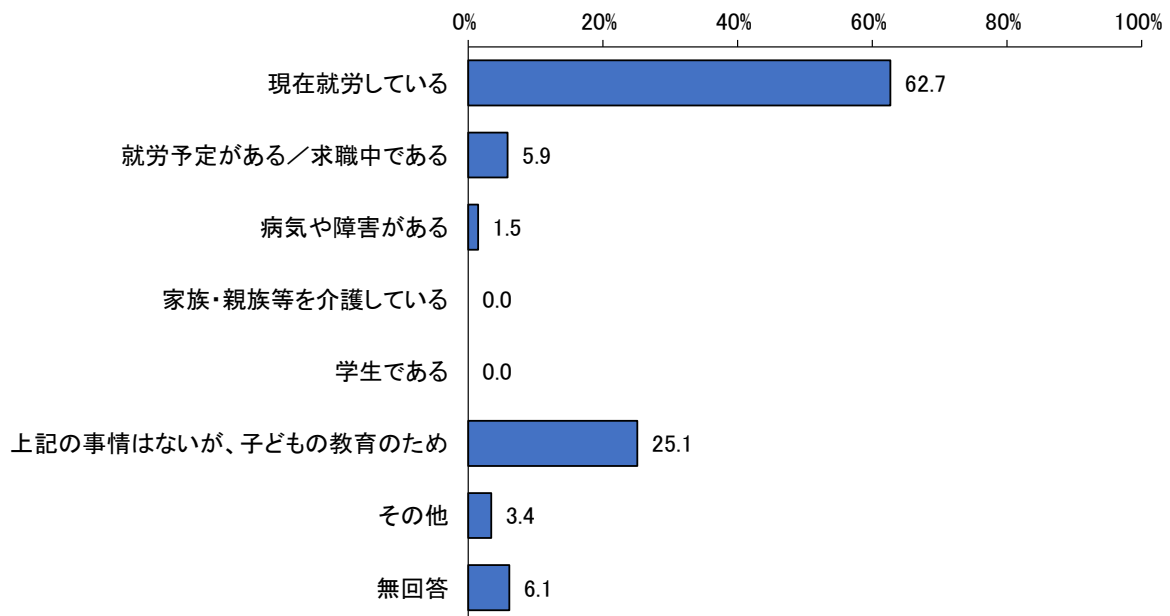
● 終了時間

	全体	現在								希望							
		13時台以前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答	13時台以前	14時台	15時台	16時台	17時台	18時台	19時以降	無回答
認定こども園	38 100.0	0 0.0	13 34.2	3 7.9	4 10.5	2 5.3	9 23.7	0 0.0	7 18.4	0 0.0	6 15.8	3 7.9	7 18.4	2 5.3	7 18.4	0 0.0	13 34.2
小規模保育事業	20 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 25.0	4 20.0	7 35.0	0 0.0	4 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	15 75.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	9 45.0
事業所内 保育事業	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
自治体の認証・ 認定保育施設	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
企業主導型保育事業	6 100.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 50.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	3 50.0
その他の認可外の保育 施設・ベビーシッター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
ファミリー・サポート・ センター	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0
その他	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 28.6	0 0.0	2 28.6	1 14.3	1 14.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 42.9

問 12-2 利用している理由

問 12 で定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対する設問
平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

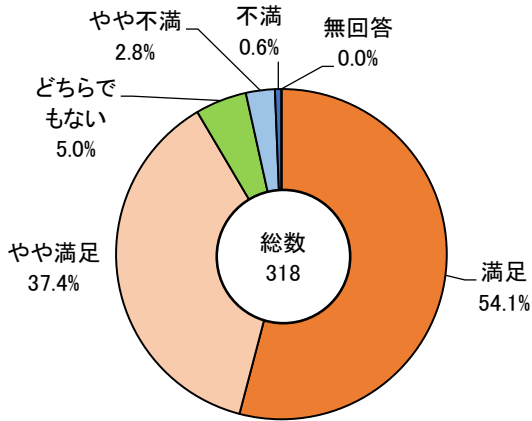
総数=410(複数回答)



現在、定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対して、事業を利用している理由を聞いたところ、「現在就労している」が62.7%で最も多く、「上記の事情はないが、子どもの教育のため」が25.1%、「就労予定がある／求職中である」が5.9%が続いています。

問 12-3 利用している事業の満足度

問 12 で定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対する設問
 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまるものすべてに○）
 また、選択した事業について、施設の所在と現在の利用状況、希望する利用日数や利用時間をお答えください。



現在、定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対して、利用中の事業の満足度を聞いたところ、「満足」が54.1%で最も多く、「やや満足」が37.4%で続いています。“満足している”（「満足」「やや満足」の合計）は91.5%、“不満である”（「やや不満」「不満」の合計）は3.4%であり、回答者の大半が現在利用中の事業に満足していることがわかります。

○満足度（事業別）

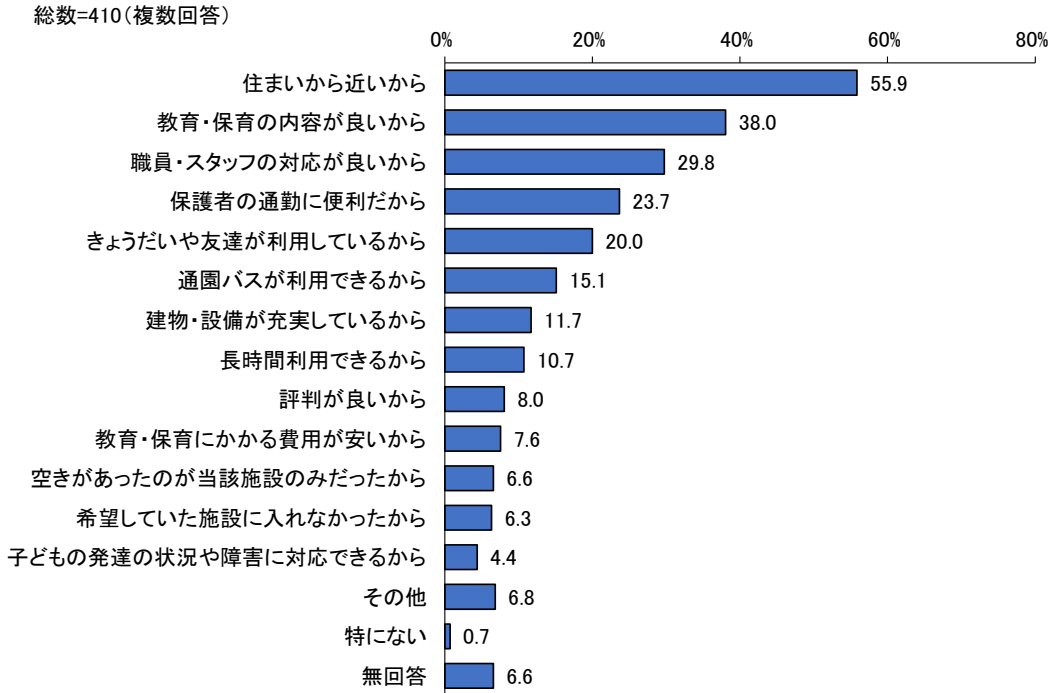
		全体	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	無回答	満足している	不満である
全体		318	172	119	16	9	2	0	291	11
		100.0	54.1	37.4	5.0	2.8	0.6	0.0	91.5	3.5
利用している事業	幼稚園	122	65	46	7	3	1	0	111	4
		100.0	53.3	37.7	5.7	2.5	0.8	0.0	91.0	3.3
	幼稚園の預かり保育	6	4	2	0	0	0	0	6	0
		100.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	認可保育所・保育園	148	78	60	6	3	1	0	138	4
		100.0	52.7	40.5	4.1	2.0	0.7	0.0	93.2	2.7
	認定こども園	27	18	8	0	1	0	0	26	1
		100.0	66.7	29.6	0.0	3.7	0.0	0.0	96.3	3.7
小規模保育事業	12	5	3	3	1	0	0	8	1	
	100.0	41.7	25.0	25.0	8.3	0.0	0.0	66.7	8.3	
企業主導型保育事業	1	0	0	0	1	0	0	0	1	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	
その他	2	2	0	0	0	0	0	2	0	
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	

※幼稚園、認可保育所・保育園で最も多い割合に網掛けをしています。

利用している事業別にみると、“満足している”は認可保育所・保育園で93.2%、幼稚園で91.0%となっています。特に、「満足」の割合は幼稚園で53.3%、認可保育所・保育園で52.7%であり、利用中の教育・保育事業が高く評価されていることがわかります。「どちらでもない」や“不満である”という回答は、各事業とも少数となっています。

問12-4 利用中の事業所を選択した理由

問12で定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対する設問
 現在利用している教育・保育の事業所を選択した理由をお答えください。
 (〇はいくつでも)



現在、定期的な教育・保育事業を利用していると回答した人に対して、利用中の事業所を選択した理由について聞いたところ、「住まいから近いから」が55.9%で最も多く、「教育・保育の内容が良いから」が38.0%、「職員・スタッフの対応が良いから」が29.8%で続いています。

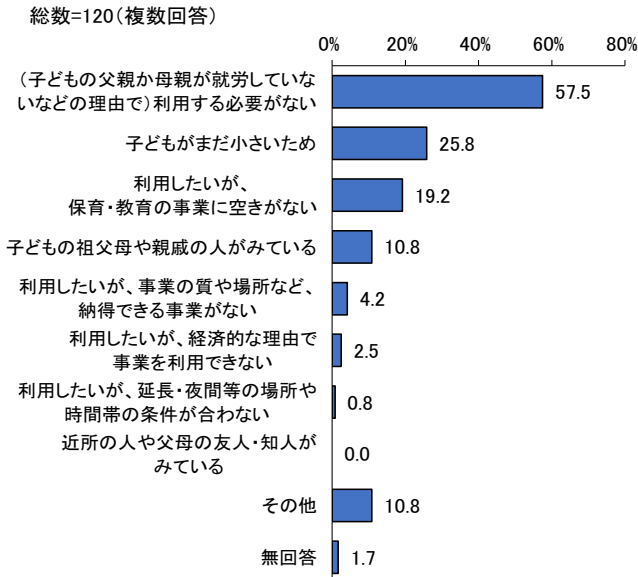
○事業所を選択した理由（事業別）

上段：回答数 下段：割合 (%)	全体	住まいから近いから	保護者の通勤に便利だから	教育・保育の内容が良いから	教育・保育にかかる費用が安いから	長時間利用できるから	職員・スタッフの対応が良いから	建物・設備が充実しているから	評判が良いから	きょうだいや友達が利用しているから	状況や障害に対応できるから	子どもの発達の状況や障害に対応できるから	通園バスが利用できるから	施設に入れたかったから	希望していた施設に入れなかったから	空きがあったのが当該施設のみだったから	その他	特にない	無回答
全体	410 100.0	229 55.9	97 23.7	156 38.0	31 7.6	44 10.7	122 29.8	48 11.7	33 8.0	82 20.0	18 4.4	62 15.1	26 6.3	27 6.6	28 6.8	3 0.7	27 6.6		27 6.6
幼稚園	164 100.0	99 54.3	17 10.4	82 50.0	23 14.0	10 6.1	60 36.6	11 6.7	19 11.6	40 24.4	14 8.5	57 34.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 6.1	0 0.0	0 0.0	7 4.3
幼稚園の預かり保育	83 100.0	42 50.6	23 27.7	36 43.4	9 10.8	7 8.4	31 37.3	5 6.0	9 10.8	23 27.7	6 7.2	17 20.5	2 2.4	3 3.6	7 8.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
認可保育所・保育園	189 100.0	111 58.7	67 35.4	45 23.8	3 1.6	21 11.1	41 21.7	28 14.8	11 5.8	30 15.9	1 0.5	22 11.6	1 1.1	2 2.2	10 5.3	3 1.6	10 5.3	0 0.0	17 9.0
認定こども園	38 100.0	21 55.3	7 18.4	21 55.3	4 10.5	9 23.7	14 36.8	5 13.2	3 7.9	11 28.9	2 5.3	5 13.2	1 2.6	2 5.3	5 13.2	0 0.0	5 13.2	0 0.0	2 5.3
小規模保育事業	20 100.0	9 45.0	9 45.0	7 35.0	0 0.0	2 10.0	8 40.0	3 15.0	2 10.0	2 10.0	2 10.0	0 0.0	0 0.0	4 20.0	6 30.0	1 5.0	1 5.0	0 0.0	0 0.0
事業所内保育事業	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
自治体の認証・認定保育施設	2 100.0	2 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
企業主導型保育事業	6 100.0	2 33.3	2 33.3	2 33.3	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	16.7	16.7	16.7	1 16.7	1 16.7
その他の認可外の保育施設・ベビーシッター	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
ファミリー・サポート・センター	3 100.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他	7 100.0	2 28.6	1 14.3	1 71.4	0 0.0	1 14.3	1 57.1	2 28.6	1 14.3	0 0.0	0 0.0	3 42.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 14.3	1 14.3	0 0.0	14.3

※幼稚園、幼稚園の預かり保育、認可保育所・保育園について、他の事業の割合を5ポイント以上上回っている場合に網掛けをしています。

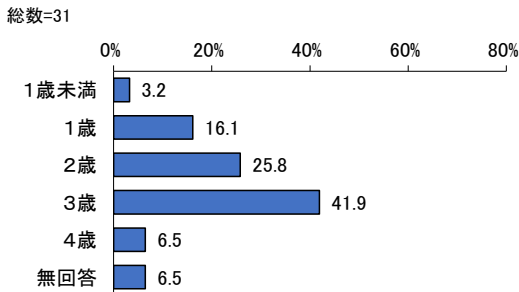
問12-5 利用していない理由

問12で定期的な教育・保育事業を利用していないと回答した人に対する設問
教育・保育の事業を利用されていない理由をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)



現在、定期的な教育・保育事業を利用していないと回答した人に対して、その理由を聞いたところ、「(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が57.5%で最も多く、「子どもがまだ小さいため」が25.8%、「利用したいが、保育・教育の事業に空きがない」が19.2%で続いています。

【利用しようとする子どもの年齢】



「子どもがまだ小さいため」と回答した人に対して、利用したいと考える年齢を聞いたところ、「3歳」が41.9%を占めて最も多く、「2歳」が25.8%で続いています。

○満足度 (事業別)

子どもの年齢	全体	理由									
		で利用する必要がない	(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で)親戚の人がみている	子どもの祖父母や友人・知人がみている	近所の人や父母の友人・知人がみている	利用したいが、保育・教育の事業に空きがない	利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない	利用したいが、延長・夜間等の場所や時間帯の条件が合わない	納得できる事業がない	利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない	子どもがまだ小さいため
全体	120	69	13	0	23	3	1	5	31	13	2
	100.0	57.5	10.8	0.0	19.2	2.5	0.8	4.2	25.8	10.8	1.7
1歳	59	30	3	0	13	1	1	3	17	6	1
	100.0	50.8	5.1	0.0	22.0	1.7	1.7	5.1	28.8	10.2	1.7
	38	25	6	0	6	1	0	1	10	4	0
	100.0	65.8	15.8	0.0	15.8	2.6	0.0	2.6	26.3	10.5	0.0
	21	14	4	0	3	0	0	1	4	2	1
	100.0	66.7	19.0	0.0	14.3	0.0	0.0	4.8	19.0	9.5	4.8
3歳	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※年齢別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

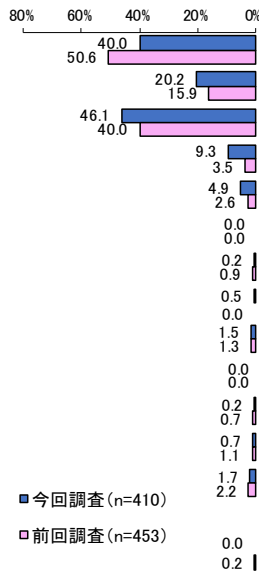
利用していない理由を年齢別にみると、1歳と2歳では「(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が6割台で、回答者全体の割合を8ポイント以上上回っています。

問 13 希望する教育・保育事業、施設所在地

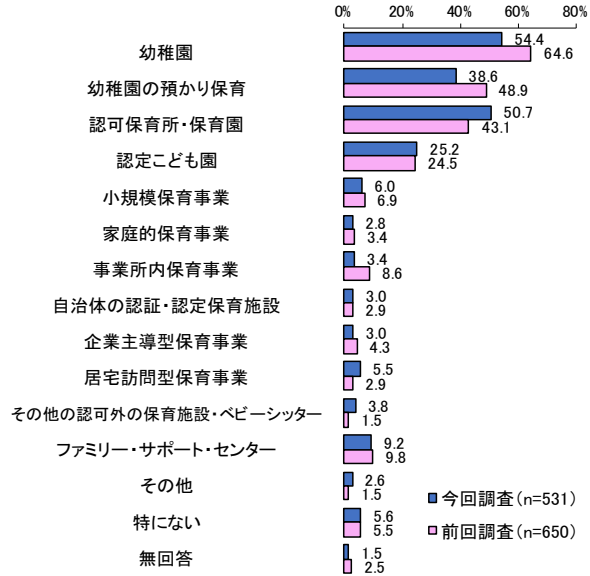
あて名のお子さんに関して、現在、利用している、利用していないにかかわらず、「定期的
に利用したい」と考える教育・保育事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、
一定の利用料が発生します。(〇はいくつでも)

①利用を希望する事業

《現在利用中の事業【再掲】(複数回答)》



《今後利用したい事業(複数回答)》



「幼稚園」が54.4%で最も多く、「認可保育所・保育園」が50.7%、「幼稚園の預かり保育」が38.6%で続いています。「特にない」は5.6%です。前回調査と比較すると、今回調査の「認可保育所・保育園」は前回調査を約8ポイント上回っています。

○希望する事業 (年齢別)

		全体	幼稚園	預かり保育	認可保育所・保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内保育事業	自治体の認証・認定保育施設	企業主導型保育事業	居宅訪問型保育事業	その他の認可外の保育施設・ベビーシッター	ファミリー・サポート・センター	その他	特にない	無回答
全体		531	289	205	269	134	32	15	18	16	16	29	20	49	14	30	8
		100.0	54.4	38.6	50.7	25.2	6.0	2.8	3.4	3.0	3.0	5.5	3.8	9.2	2.6	5.6	1.5
子どもの年齢	0歳	88	41	29	65	29	9	2	2	4	1	8	4	7	4	4	1
		100.0	46.6	33.0	73.9	33.0	10.2	2.3	2.3	4.5	1.1	9.1	4.5	8.0	4.5	4.5	1.1
	1歳	76	42	30	45	20	7	5	3	3	2	3	2	6	2	4	2
		100.0	55.3	39.5	59.2	26.3	9.2	6.6	3.9	3.9	2.6	3.9	2.6	7.9	2.6	5.3	2.6
	2歳	88	46	31	39	25	6	1	3	0	2	5	4	8	1	4	0
		100.0	52.3	35.2	44.3	28.4	6.8	1.1	3.4	0.0	2.3	5.7	4.5	9.1	1.1	4.5	0.0
	3歳	85	50	33	44	15	5	6	4	4	5	5	5	10	2	4	1
	100.0	58.8	38.8	51.8	17.6	5.9	7.1	4.7	4.7	5.9	5.9	5.9	11.8	2.4	4.7	1.2	
4歳	94	52	36	42	26	2	0	4	4	4	4	5	3	10	1	4	1
	100.0	55.3	38.3	44.7	27.7	2.1	0.0	4.3	4.3	4.3	5.3	3.2	10.6	1.1	6.4	1.1	
5歳	95	55	44	32	17	2	1	2	1	2	3	2	7	4	7	2	
	100.0	57.9	46.3	33.7	17.9	2.1	1.1	2.1	1.1	2.1	3.2	2.1	7.4	4.2	7.4	2.1	
無回答	5	3	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	1	
	100.0	60.0	40.0	40.0	40.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	20.0	

※年齢別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

希望する事業を年齢別にみると、0歳では「認可保育所・保育園」(73.9%)が全体を約23ポイント、「認定こども園」(33.0%)が全体を約8ポイント上回っています。

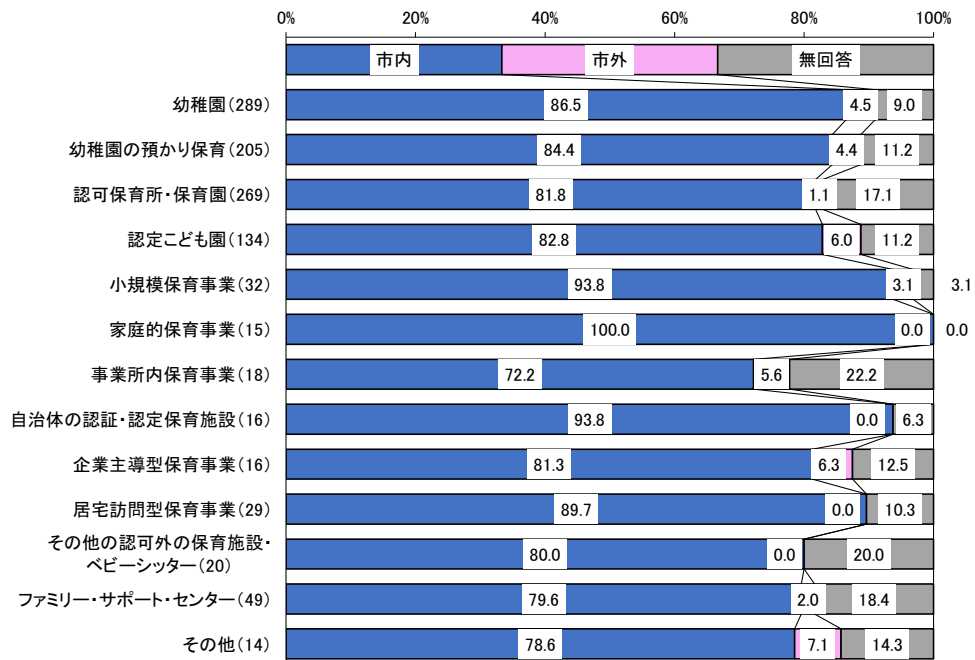
○希望する事業（居住地区別）

	全体	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可保育所・ 保育園	認定こども園	小規模保育事業	家庭的保育事業	事業所内 保育事業	自治体の認証・ 認定保育施設	企業主導型 保育事業	居宅訪問型保育 事業	その他の認可外 の保育施設・ ベビーシッター	ファミリー・ サポート・ センター	その他	特にな い	無回 答	
全体	531 100.0	289 54.4	205 38.6	269 50.7	134 25.2	32 6.0	15 2.8	18 3.4	16 3.0	16 3.0	29 5.5	20 3.8	49 9.2	14 2.6	30 5.6	8 1.5	
学校区	四街道小学校区	83 100.0	43 51.8	31 37.3	43 51.8	28 33.7	4 4.8	2 2.4	0 0.0	2 2.4	1 1.2	3 3.6	4 4.8	2 2.4	2 2.4	4 4.8	
	旭小学校区	8 100.0	6 75.0	3 37.5	4 50.0	3 37.5	3 37.5	3 12.5	1 25.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	2 25.0	1 12.5	0 0.0	0 0.0	
	南小学校区	74 100.0	38 51.4	30 40.5	34 45.9	20 27.0	3 4.1	2 2.7	4 5.4	3 4.1	3 4.1	7 9.5	4 5.4	11 14.9	1 1.4	2 2.7	0 0.0
	中央小学校区	50 100.0	32 64.0	26 52.0	24 48.0	14 28.0	1 2.0	2 4.0	2 4.0	1 2.0	2 4.0	4 8.0	3 6.0	4 8.0	2 4.0	4 8.0	0 0.0
	大日小学校区	48 100.0	30 62.5	21 43.8	21 43.8	11 22.9	3 6.3	1 2.1	1 2.1	1 2.1	1 2.1	2 4.2	2 4.2	5 10.4	2 4.2	3 6.3	0 0.0
	八木原小学校区	40 100.0	20 50.0	15 37.5	21 52.5	5 12.5	3 7.5	0 0.0	1 2.5	0 0.0	0 0.0	0 5.0	0 0.0	4 10.0	2 5.0	5 12.5	1 2.5
	四和小学校区	50 100.0	28 56.0	23 46.0	26 52.0	11 22.0	2 4.0	1 2.0	1 2.0	2 4.0	1 2.0	3 6.0	1 2.0	4 8.0	1 2.0	3 6.0	0 0.0
	山梨小学校区	24 100.0	12 50.0	6 25.0	15 62.5	2 8.3	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	1 4.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2
	みそら小学校区	9 100.0	5 55.6	4 44.4	6 66.7	3 33.3	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0
	栗山小学校区	23 100.0	16 69.6	10 43.5	11 47.8	5 21.7	1 4.3	1 4.3	3 13.0	3 13.0	3 13.0	0 0.0	0 0.0	1 4.3	4 17.4	1 4.3	0 0.0
	和良比小学校区	89 100.0	40 44.9	27 30.3	48 53.9	23 25.8	7 7.9	2 2.2	2 2.2	1 1.1	1 1.1	5 5.6	3 3.4	8 9.0	1 1.1	7 7.9	0 0.0
	吉岡小学校区	17 100.0	9 52.9	5 29.4	6 35.3	4 23.5	1 5.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.9	0 0.0	3 17.6	0 0.0
	無回答	16 100.0	10 62.5	4 25.0	10 62.5	5 31.3	3 18.8	1 6.3	2 12.5	1 6.3	2 12.5	2 12.5	2 12.5	4 25.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5

※居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

希望する事業を居住地区別にみると、中央小学校区、大日小学校区では「幼稚園」と「幼稚園の預かり保育」の割合が両者ともに全体よりも高くなっています。

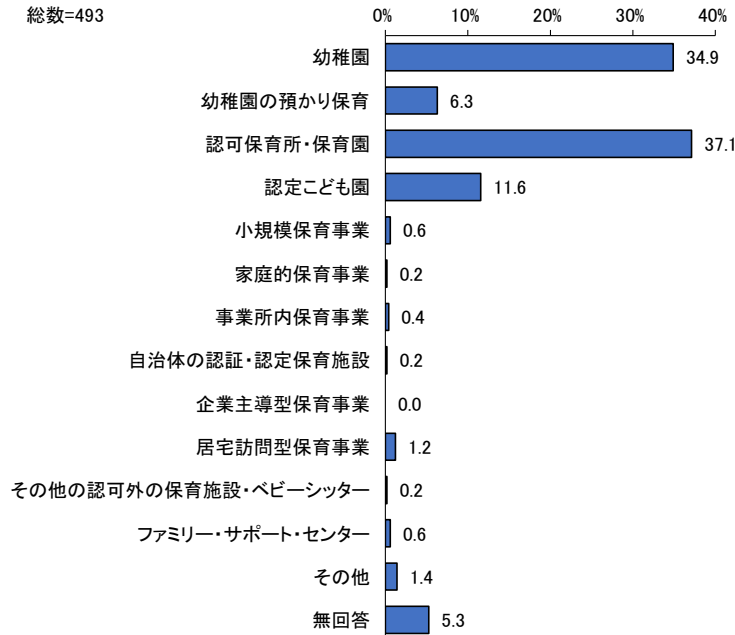
②利用したい場所



定期的に教育・保育事業を利用したいと回答した人に対して、希望する事業の場所について聞いたところ、各事業とも「市内」が7割以上となっています。

問 13-1 利用を強く希望する教育・保育事業

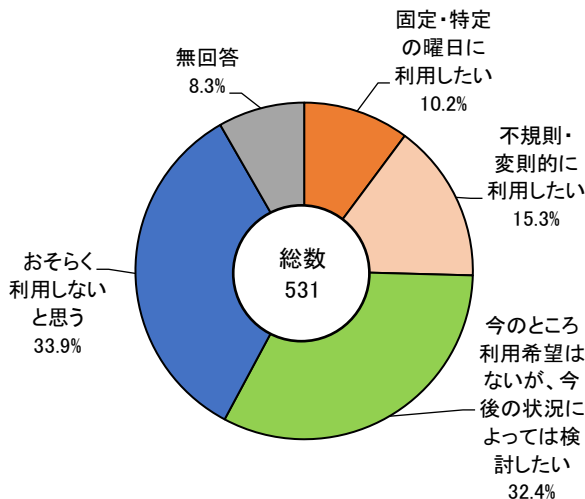
問 13 で定期的な教育・保育事業を利用したいと回答した人に対する設問
 あなたが○をつけた中で、最も利用したいものはどれですか。下の枠内に「1」～「13」
 の番号を1つだけ記入してください。



定期的に教育・保育事業を利用したいと回答した人に対して、最も利用したい事業について聞いたところ、「認可保育所・保育園」が37.1%で最も多く、「幼稚園」が34.9%、「認定こども園」が11.6%が続いています。

問 14 こども誰でも通園制度（仮称）の利用希望

こども誰でも通園制度（仮称）が実施される場合、利用を希望しますか。希望する場合は、併せて利用の頻度及び理由を記入してください。（○は1つ）

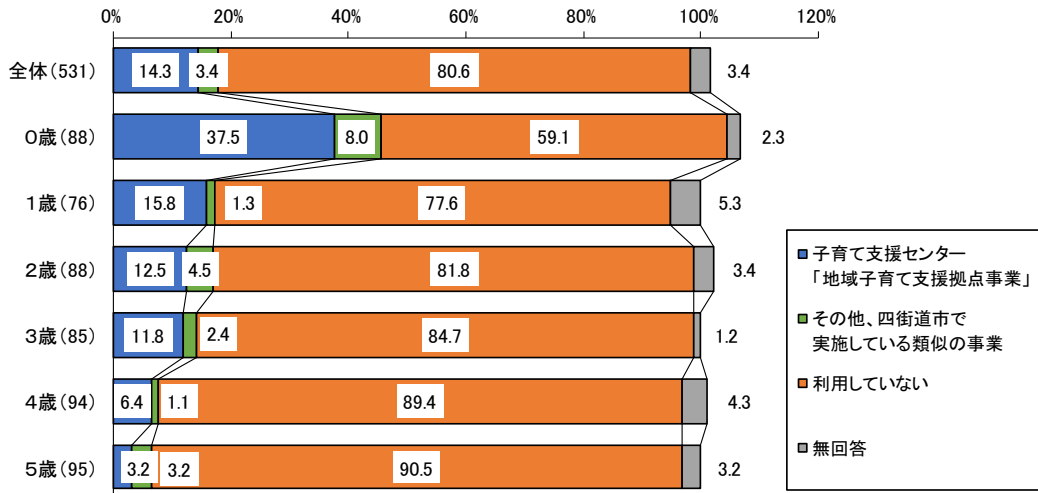


こども誰でも通園制度（仮称）について「おそらく利用しないと思う」が33.9%で最も多く、「今のところ利用希望はないが、今後の状況によっては検討したい」が32.4%が続いています。

3 地域の子育て支援事業の利用状況

問 15 利用状況

あて名のお子さんは、現在、子育て支援センターなど（親子が集まって過ごしたり、相談したり、情報提供を受けたりする場）を利用していますか。利用している場合は、おおよその利用回数（頻度）を[]内に数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

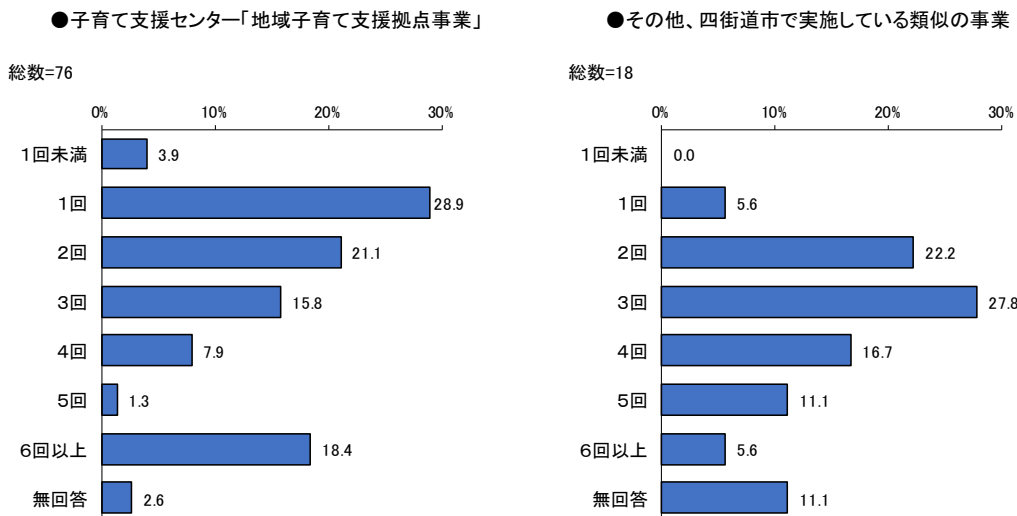


※複数回答方式のため、選択肢ごとの割合を合計すると 100%を超えます。

全体では、「子育て支援センター」「地域子育て支援拠点事業」が 14.3%、「その他、四街道市で実施している類似の事業」が 3.4%となっています。

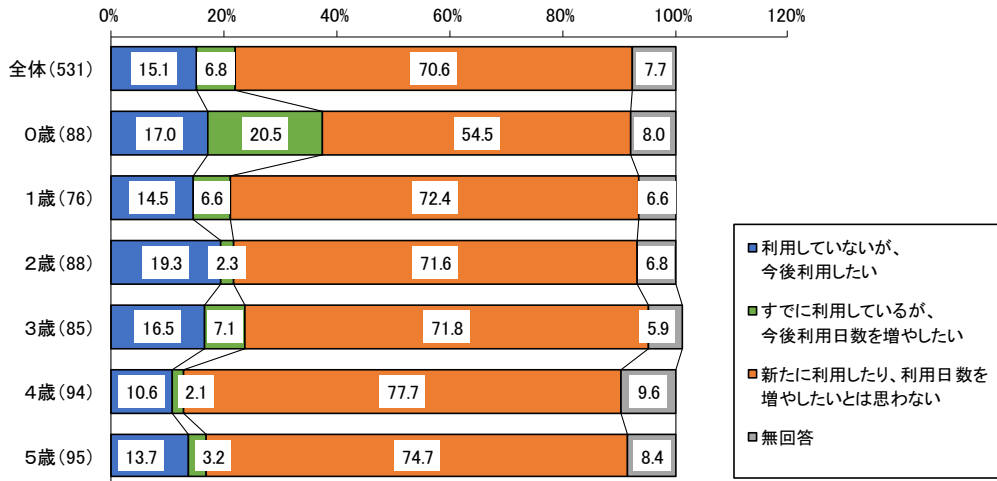
利用している事業を年齢別にみると、0歳では「子育て支援センター」「地域子育て支援拠点事業」が 4割弱となっています。

【月間利用回数（事業別）】



問 16 利用希望

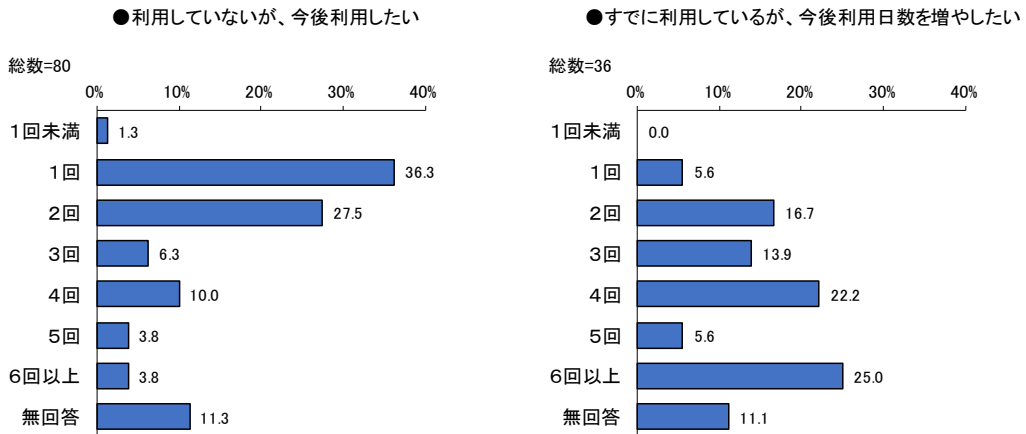
問 15 のような子育て支援センターなどについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。利用したい場合は、おおよその利用回数（頻度）を[]内に数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○）



※複数回答方式のため、選択肢ごとの割合を合計すると 100%を超えます。

全体では、「利用していないが、今後利用したい」が 15.1%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 6.8%で続いています。年齢別にみると、「利用していないが、今後利用したい」は 2歳（19.3%）で最も多くなっています。

【月間利用希望回数】



○利用希望(利用状況別)

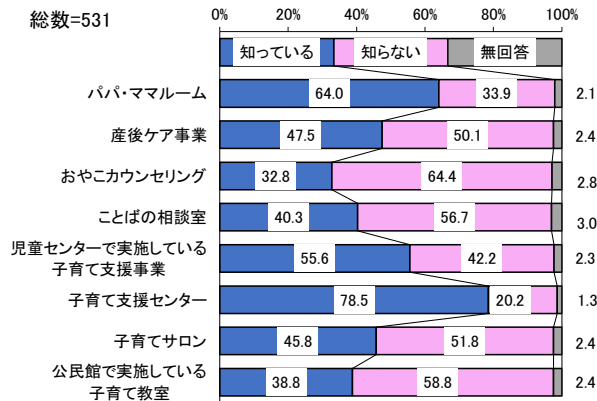
		全体	利用していないが、今後利用したい	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	無回答
全体		531	80	36	375	41
		100.0	15.1	6.8	70.6	7.7
利用状況	子育て支援センター「地域子育て支援拠点事業」	76	2	33	34	7
	その他、四街道市で実施している類似の事業	18	0	5	10	3
		100.0	0.0	27.8	55.6	16.7
	利用していない	428	77	1	333	18
		100.0	18.0	0.2	77.8	4.2
	18	1	0	3	14	
	100.0	5.6	0.0	16.7	77.8	

※利用状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

問17 子育て支援サービス・事業の認知度、利用状況、利用意向

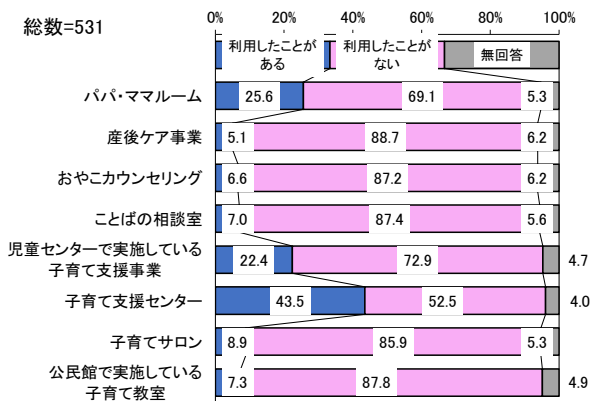
下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

①認知度



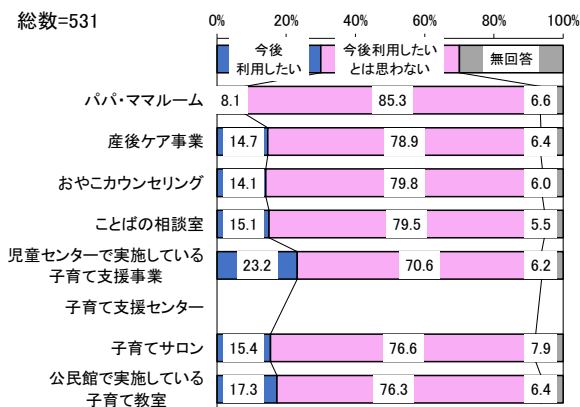
「知っている」という回答は、「子育て支援センター」で78.5%、「パパ・ママルーム」で64.0%であるほか、「児童センターで実施している子育て支援事業」では5割台となっています。一方、「おやこカウンセリング」「公民館で実施している子育て教室」は3割台にとどまっています。

②利用状況



「これまでに利用したことがある」という回答は、「子育て支援センター」で43.5%、「パパ・ママルーム」で25.6%、「児童センターで実施している子育て支援事業」で22.4%となっています。一方、「産後ケア事業」「おやこカウンセリング」「ことばの相談室」「子育てサロン」「公民館で実施している子育て教室」では1割に達していません。

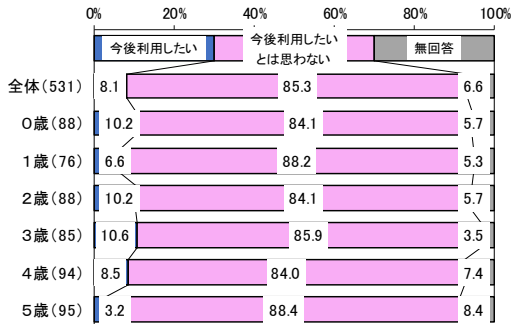
③利用意向



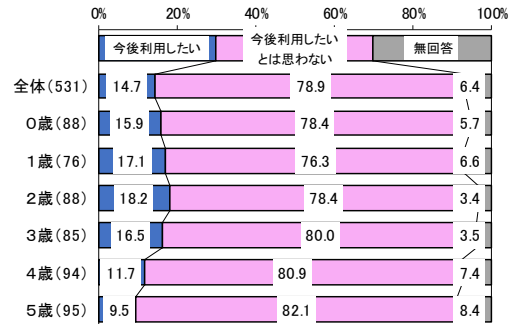
「今後利用したい」という回答は、「児童センターで実施している子育て支援事業」で23.2%、「公民館で実施している子育て教室」で17.3%となっていますが、すべてのサービス・事業では3割に達していません。

○利用意向（年齢別）

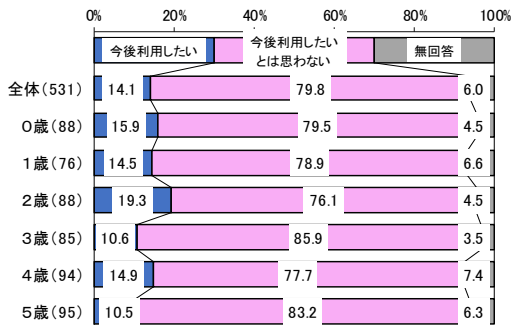
(1) パパ・ママルーム



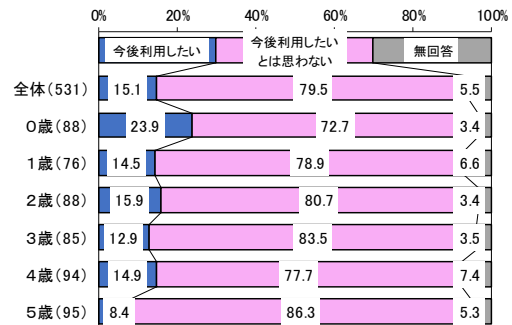
(2) 産後ケア事業



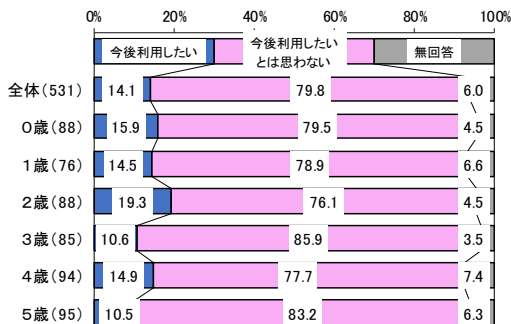
(3) およこカウンセリング



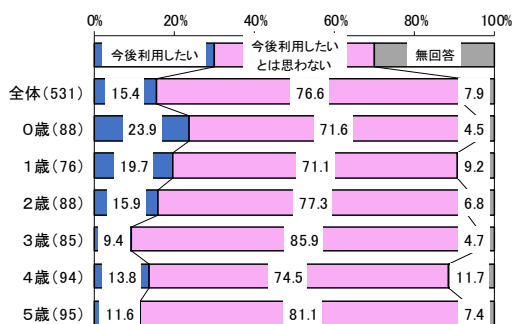
(4) ことばの相談室



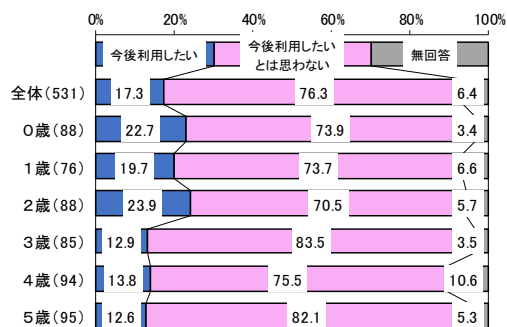
(5) 児童センターで実施している子育て支援事業



(7) 子育てサロン



(8) 公民館で実施している子育て教室



今後の利用意向を年齢別にみると、「ことばの相談室」や「子育てサロン」の「今後利用したい」の割合は0歳で最も多くなっており、おおむね年代とともに減少しています。

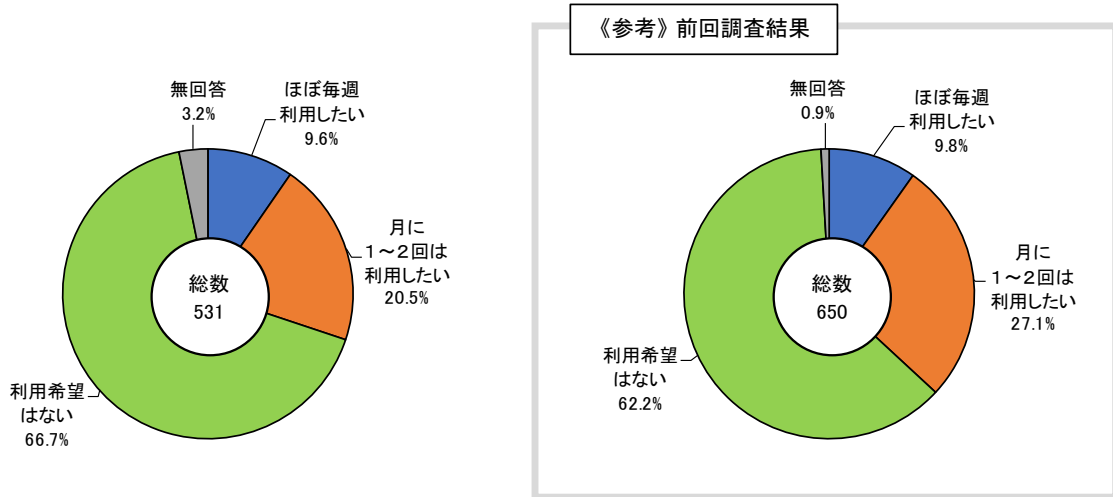
4 土曜・休日や長期休暇中の定期的な教育・保育事業の利用希望

問 18 利用希望

あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。(〇は1つ)

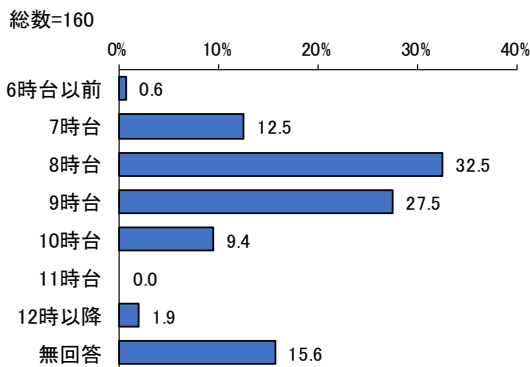
①土曜日

(1) 利用意向

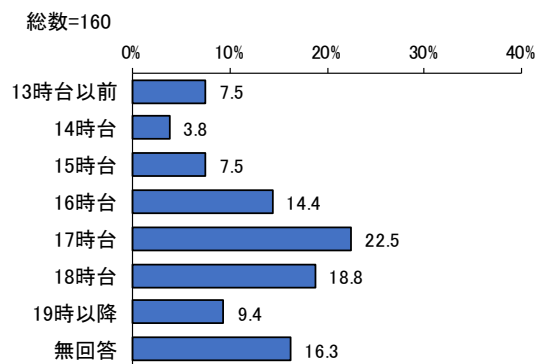


「ほぼ毎週利用したい」が9.6%、「月に1～2回は利用したい」が20.5%であり、「利用希望はない」は66.7%です。“利用したい”（「ほぼ毎週利用したい」「月に1～2回は利用したい」の合計）は30.1%となっています。前回調査では“利用したい”が36.9%、「利用希望はない」が62.2%となっており、今回調査の“利用したい”は前回調査を約7ポイント下回っています。

(2) 利用したい時間帯(開始時間)



(3) 利用したい時間帯(終了時間)



土曜日に定期的な教育・保育事業を“利用したい”と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が32.5%で最も多くなっており、「9時台」が27.5%が続いています。また、利用終了時間は「17時台」が22.5%で最も多くなっており、「18時台」が18.8%が続いています。

○土曜日の利用希望(事業別)

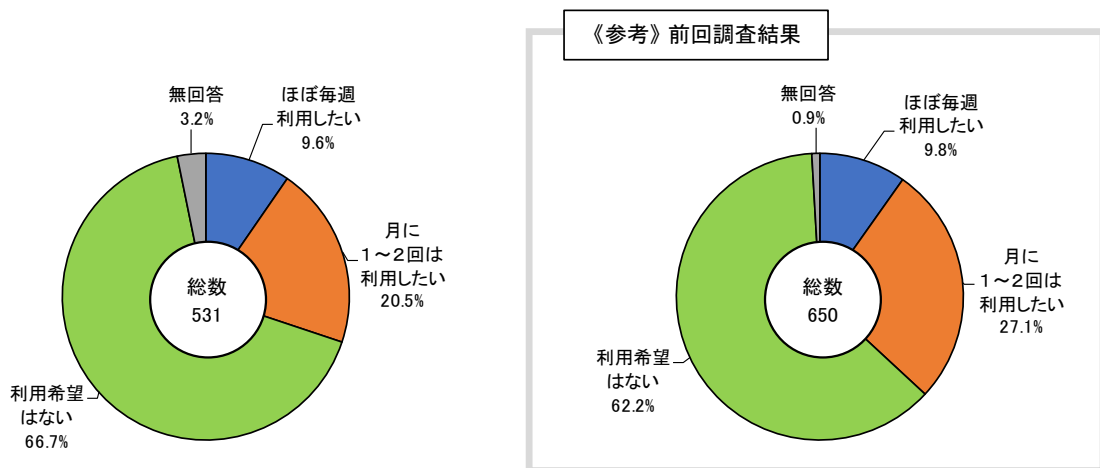
	全体	利用したい ほぼ毎週	月に 1~2回は 利用したい	利用希望 はない	無回答	
全体	531 100.0	51 9.6	109 20.5	354 66.7	17 3.2	
学校区	幼稚園	289 100.0	23 8.0	61 21.1	199 68.9	6 2.1
	幼稚園の預かり保育	205 100.0	19 9.3	57 27.8	126 61.5	3 1.5
	認可保育所・保育園	269 100.0	39 14.5	60 22.3	158 58.7	12 4.5
	認定こども園	134 100.0	18 13.4	37 27.6	76 56.7	3 2.2
	小規模保育事業	32 100.0	4 12.5	10 31.3	18 56.3	0 0.0
	家庭的保育事業	15 100.0	4 26.7	5 33.3	6 40.0	0 0.0
	事業所内保育事業	18 100.0	2 11.1	8 44.4	8 44.4	0 0.0
	自治体の認証・認定 保育施設	16 100.0	2 12.5	6 37.5	7 43.8	1 6.3
	企業主導型保育事業	16 100.0	1 6.3	8 50.0	7 43.8	0 0.0
	居宅訪問型保育事業	29 100.0	5 17.2	13 44.8	11 37.9	0 0.0
	その他の認可外の保 育施設・ベビーシッ プ	20 100.0	2 10.0	11 55.0	7 35.0	0 0.0
	ファミリー・サポー ト・センター	49 100.0	3 6.1	20 40.8	24 49.0	2 4.1
	その他	14 100.0	2 14.3	2 14.3	10 71.4	0 0.0
	特になし	30 100.0	1 3.3	2 6.7	25 83.3	2 6.7
	無回答	8 100.0	0 0.0	1 12.5	6 75.0	1 12.5

※事業別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

利用を希望する事業別にみると、ファミリー・サポート・センターの利用希望者の“利用したい”の割合が47.0%、認可保育所・保育園、認定こども園、小規模な保育施設の利用希望者の“利用したい”の割合が4割前後となっています。一方、幼稚園の利用希望者では「利用希望はない」が68.9%となっています。

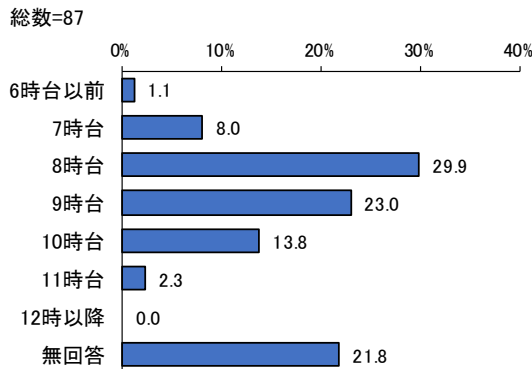
②日曜・祝日

(1) 利用意向

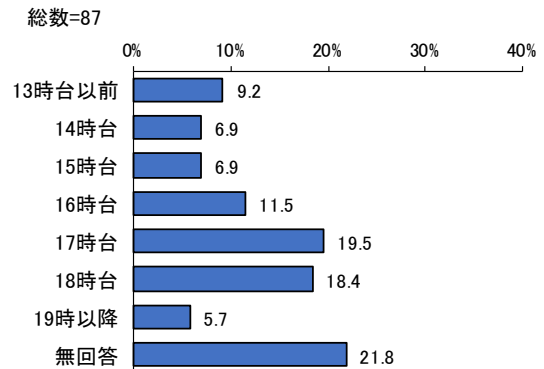


「ほぼ毎週利用したい」が9.6%、「月に1~2回は利用したい」が20.5%であり、「利用希望はない」は66.7%です。“利用したい”（「ほぼ毎週利用したい」「月に1~2回は利用したい」の合計）は30.1%となっています。前回調査では“利用したい”が36.9%、「利用希望はない」が62.2%となっています。

(2) 利用したい時間帯(開始時間)



(3) 利用したい時間帯(終了時間)



日曜・祝日に定期的な教育・保育事業を“利用したい”と回答した人の希望する利用開始時間は、「8時台」が29.9%で最も多くなっており、「9時台」が23.0%が続いています。また、利用終了時間は「17時台」が19.5%で最も多くなっており、「18時台」が18.4%が続いています。

○日曜・祝日の利用希望(事業別)

	全体	利用したい ほぼ毎週	月に 利用した 1〜2回	利用 希望は ない	無 回答	
全体	531 100.0	16 3.0	71 13.4	369 69.5	75 14.1	
学区	幼稚園	289 100.0	7 2.4	40 13.8	201 69.6	41 14.2
	幼稚園の預かり保育	205 100.0	6 2.9	38 18.5	136 66.3	25 12.2
	認可保育所・保育園	269 100.0	11 4.1	45 16.7	177 65.8	36 13.4
	認定こども園	134 100.0	8 6.0	23 17.2	88 65.7	15 11.2
	小規模保育事業	32 100.0	1 3.1	6 18.8	23 71.9	2 6.3
	家庭的保育事業	15 100.0	1 6.7	4 26.7	9 60.0	1 6.7
	事業所内保育事業	18 100.0	1 5.6	6 33.3	10 55.6	1 5.6
	自治体の認証・認定 保育施設	16 100.0	0 0.0	6 37.5	7 43.8	3 18.8
	企業主導型保育事業	16 100.0	0 0.0	7 43.8	9 56.3	0 0.0
	居宅訪問型保育事業	29 100.0	1 3.4	13 44.8	15 51.7	0 0.0
	その他の認可外の保 育施設・ベビーシッ プ	20 100.0	1 5.0	10 50.0	9 45.0	0 0.0
	ファミリー・サポー ト・センター	49 100.0	0 0.0	16 32.7	30 61.2	3 6.1
	その他	14 100.0	0 0.0	1 7.1	11 78.6	2 14.3
	特になし	30 100.0	1 3.3	1 3.3	23 76.7	5 16.7
	無回答	8 100.0	0 0.0	0 0.0	7 87.5	1 12.5

利用を希望する事業別にみると、居宅訪問型保育事業の利用希望者の“利用したい”の割合が4割台であり、回答者全体の割合を30ポイント以上上回っています。

※事業別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

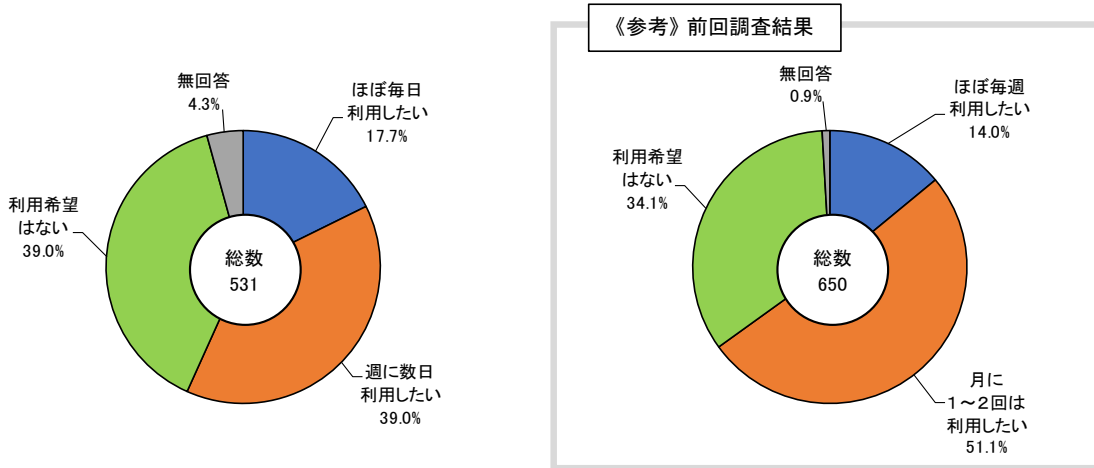
問 19 幼稚園利用者の長期休暇期間中の利用意向

幼稚園を利用している人に対する設問

あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

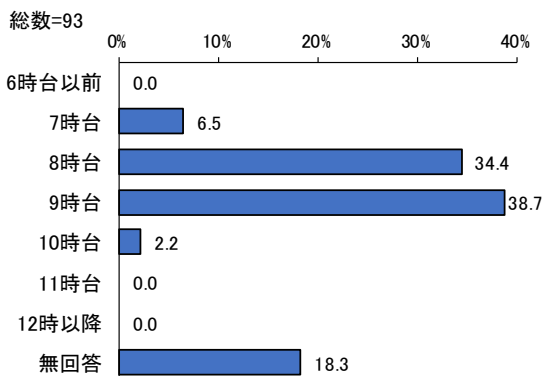
(○は1つ)

(1) 利用意向

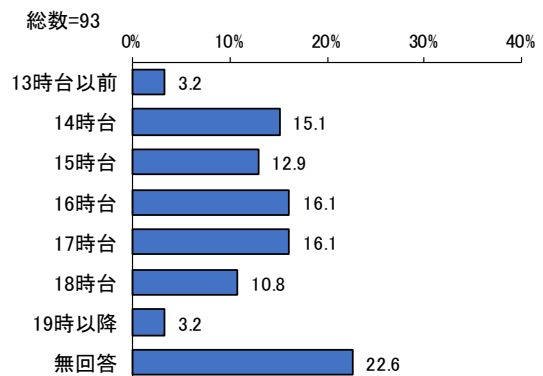


「ほぼ毎日利用したい」が17.7%、「週に数日利用したい」が39.0%であり、「利用希望はない」は39.0%です。“利用したい”（「ほぼ毎日利用したい」「週に数日は利用したい」の合計）は56.7%となっています。前回調査では“利用したい”が65.1%、「利用希望はない」が34.1%となっており、今回調査の“利用したい”は前回調査を約8ポイント下回っています。

(2) 利用したい時間帯(開始時間)



(3) 利用したい時間帯(終了時間)



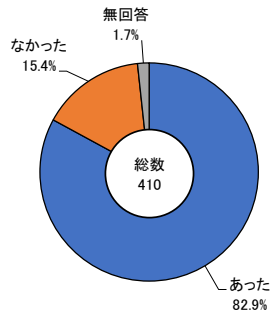
夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中に“利用したい”と回答した人の希望する利用開始時間は、「9時台」が38.7%で最も多くなっており、「8時台」が34.4%が続いています。また、利用終了時間は「16時台」と「17時台」がそれぞれ16.1%で最も多くなっており、「14時台」が15.1%が続いています。

5 子どもの病気の際の対応

問20 病気・ケガにより事業が利用できなかったことの有無

教育・保育事業を利用している人に対する設問

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありましたか。(〇は1つ)



「あった」が82.9%を占めており、「なかった」は15.4%となっています。

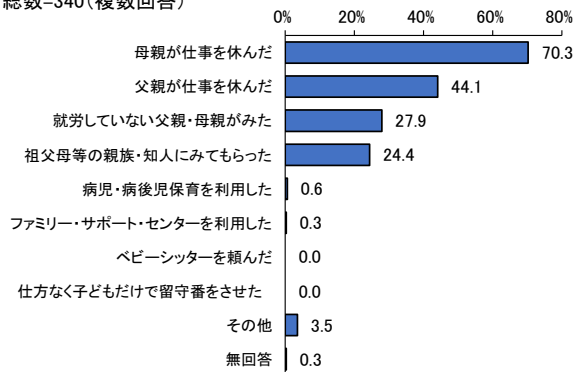
問20-1 対処方法

問20で通常の教育・保育事業が利用できなかったことがあったと回答した人に対する設問

この1年間、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法をお答えください。

(あてはまるものすべてに〇をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。)

総数=340(複数回答)



この1年間に、病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことがあったと回答した人に対して、その際の対処方法を聞いたところ、「母親が仕事を休んだ」が70.3%で最も多く、「父親が仕事を休んだ」が44.1%、「就労していない父親・母親がみた」が27.9%、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が24.4%で続いています。

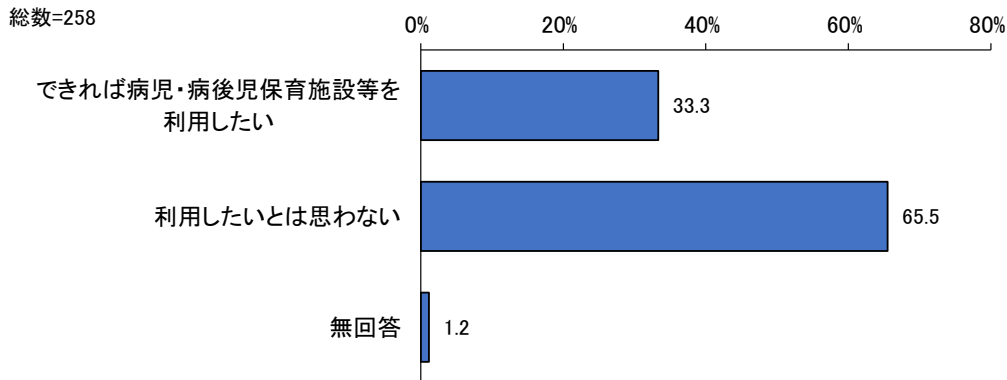
〇年間対処日数(対処方法別)

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日以上	無回答
父親が仕事を休んだ	150	18	23	22	4	24	2	8	0	0	23	5	0	4	17		
母親が仕事を休んだ	239	4	10	14	9	29	3	9	4	0	57	25	31	22	22		
就労していない父親・母親がみた	95	4	2	8	1	9	3	7	1	0	12	13	12	17	6		
祖父母等の親族・知人にみてもらった	83	10	12	9	3	13	0	3	1	0	14	3	6	2	7		
病児・病後児保育※を利用した	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
ファミリー・サポート・センターを利用した	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
その他	12	0	1	1	0	1	1	1	0	0	1	2	0	2	3		

※「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」「就労していない父親・母親がみた」「祖父母等の親族・知人にみてもらった」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

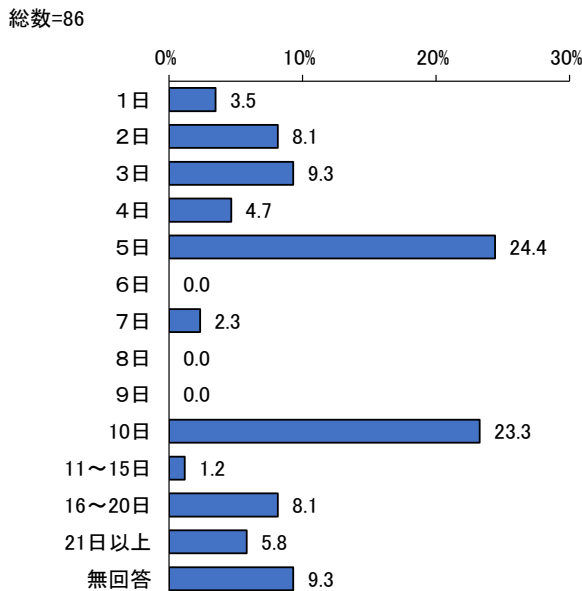
問 20-2 病児・病後児保育施設等の利用意向

問 20-1 で父親または母親が仕事を休んだと回答した人に対する設問
 その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。利用したいと思った場合は、おおよその利用日数を□内に数字でご記入ください。(○は1つ)



この1年間に、病気やケガで通常の教育・保育事業を利用できなかったことがあり、父親または母親が仕事を休んで対処したと回答した人に対して、その際に病児・病後児のための保育施設を利用したかどうかを聞いたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が33.3%、「利用したいとは思わない」が65.5%となっています。

【利用希望日数】



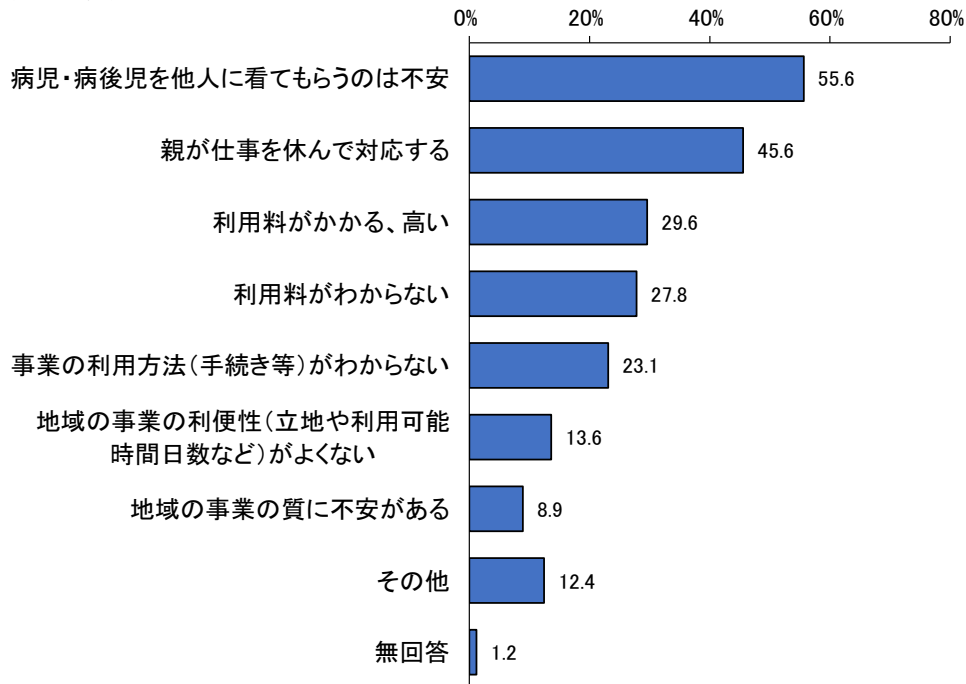
病児・病後児のための保育施設を利用しなかったと回答した人の利用希望日数については、「5日」が24.4%で最も多く、「10日」が23.3%が続いています。

問 20-3 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問 20-2 で病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わないと回答した人に対する設問

利用したいとは思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

総数=169(複数回答)



病児・病後児のための保育施設を利用したいとは思わないと回答した人に対して、その理由を聞いたところ、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が55.6%で最も多く、「親が仕事を休んで対応する」が45.6%、「利用料がかかる、高い」が29.6%、「利用料がわからない」が27.8%で続いています。

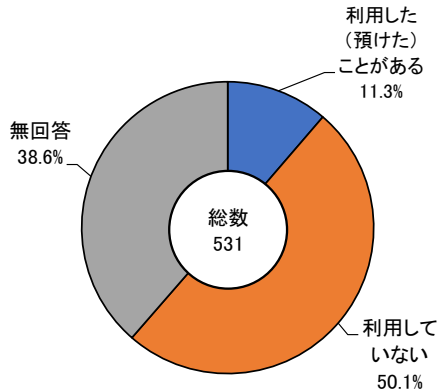
6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 21 一時的に預けたことの有無

この1年間で、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、あて名のお子さんを家族以外の誰かに一時的に預けたことはありましたか。

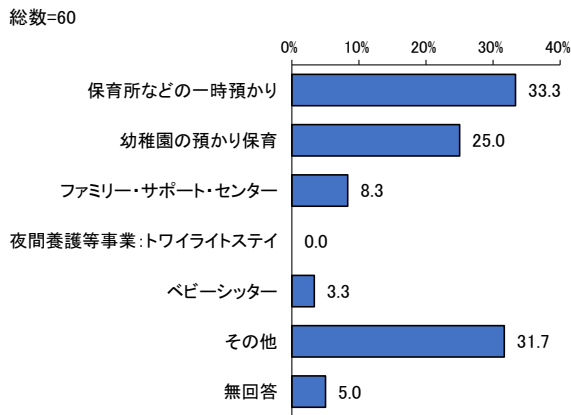
(あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。)

①預けたことの有無



「利用した(預けた)ことがある」が11.3%、「利用していない」が50.1%となっています。

②利用した事業



この1年間に、あて名の子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことがあったと回答した人に対して、その際に利用した事業について聞いたところ、「保育所などの一時預かり」が33.3%で最も多く、「幼稚園の預かり保育」が25.0%、「ファミリー・サポート・センター」が8.3%が続いています。

○年間利用日数(事業別)

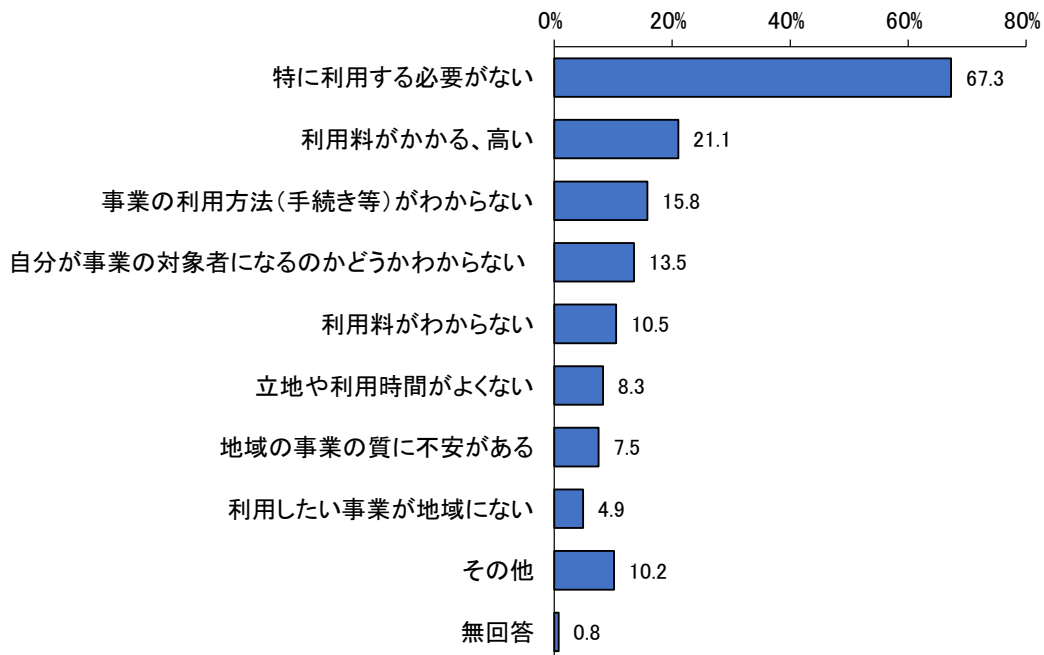
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日以上	無回答
全体	60	2	4	1	1	5	1	0	0	0	4	1	1	7	33		
	100.0	3.3	6.7	1.7	1.7	8.3	1.7	0.0	0.0	0.0	6.7	1.7	1.7	11.7	55.0		
保育所などの一時預かり	20	2	0	1	2	5	1	0	0	0	5	0	1	3	0		
	100.0	10.0	0.0	5.0	10.0	25.0	5.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	5.0	15.0	0.0		
幼稚園の預かり保育	15	0	3	2	2	0	2	0	0	0	3	0	0	3	0		
	100.0	0.0	20.0	13.3	13.3	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	20.0	0.0		
ファミリー・サポート・センター	5	3	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0		
	100.0	60.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
ベビーシッター	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
その他	19	2	5	1	0	3	0	0	0	0	2	1	0	3	2		
	100.0	10.5	26.3	5.3	0.0	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	5.3	0.0	15.8	10.5		

※「全体」「幼稚園の預かり保育」「保育所などの一時預かり」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

問 21-1 一時的な預かりを利用していない理由

問 21 でこの1年間に私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、子どもを家族以外の誰かに一時的に預けたことがなかったと回答した人に対する設問
現在利用していない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

総数=266(複数回答)



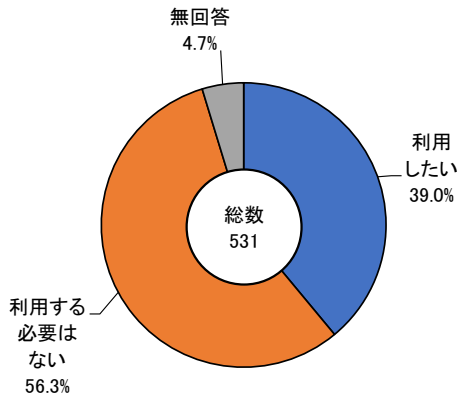
一時的な預かりを利用していないと回答した人に対して、その理由を聞いたところ、「特に利用する必要がない」が67.3%で最も多く、「利用料がかかる・高い」が21.1%、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が15.8%で続いています。

問 22 一時的な預かりの利用希望

あて名のお子さんについて、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。

(あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。)

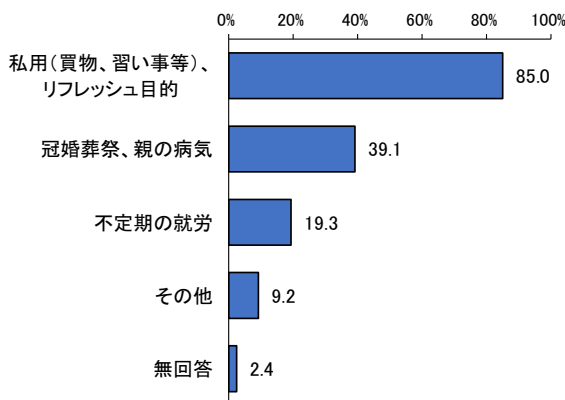
①希望の有無



「利用したい」が39.0%、「利用する必要はない」が56.3%となっています。

②利用を希望する理由

総数=207(複数回答)



一時的な預かりを利用したいと回答した人に対して、利用を希望する理由について聞いたところ、「私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的」が85.0%を占めて最も多く、「冠婚葬祭、親の病気」が39.1%、「不定期の就労」が19.3%が続いています。

○年間利用希望日数(理由別)

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	無回答
全体	207	1	1	2	1	10	2	1	1	1	18	10	7	30	122
	100.0	0.5	0.5	1.0	0.5	4.8	1.0	0.5	0.5	0.5	8.7	4.8	3.4	14.5	58.9
私用(買物、習い事等)、リフレッシュ目的	176	5	5	13	3	26	6	3	0	0	28	43	5	31	8
	100.0	2.8	2.8	7.4	1.7	14.8	3.4	1.7	0.0	0.0	15.9	24.4	2.8	17.6	4.5
冠婚葬祭、親の病気	81	9	11	6	1	15	3	3	2	0	13	5	1	7	5
	100.0	11.1	13.6	7.4	1.2	18.5	3.7	3.7	2.5	0.0	16.0	6.2	1.2	8.6	6.2
不定期の就労	40	3	1	2	2	5	1	0	0	0	5	6	3	9	3
	100.0	7.5	2.5	5.0	5.0	12.5	2.5	0.0	0.0	0.0	12.5	15.0	7.5	22.5	7.5
その他	19	0	0	3	0	2	2	2	0	0	4	2	2	0	2
	100.0	0.0	0.0	15.8	0.0	10.5	10.5	10.5	0.0	0.0	21.1	10.5	10.5	0.0	10.5

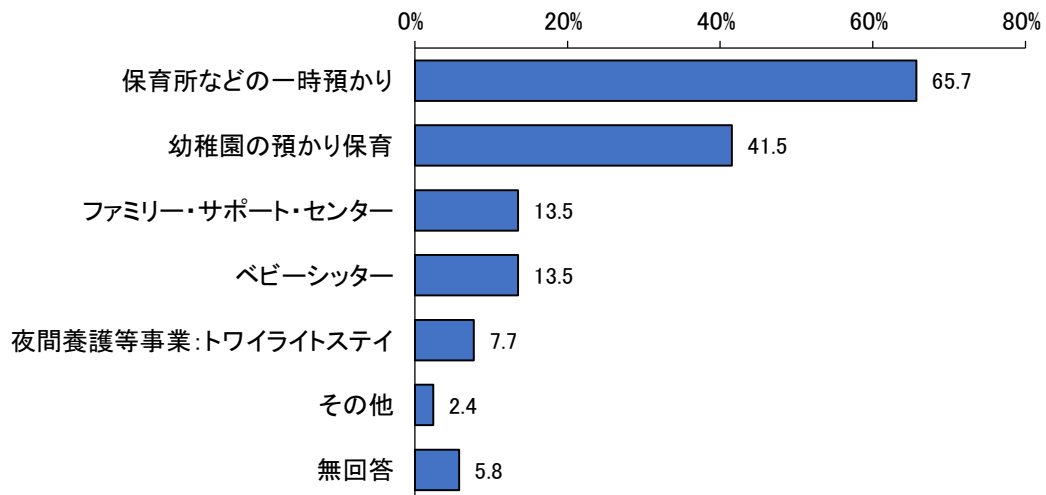
※最も多い日数の割合に網掛けをしています。

問 22-1 一時的な預かりで希望する事業形態

問 22 で一時的な預かりを利用したいと回答した人に対する設問

問 22 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

総数=207(複数回答)



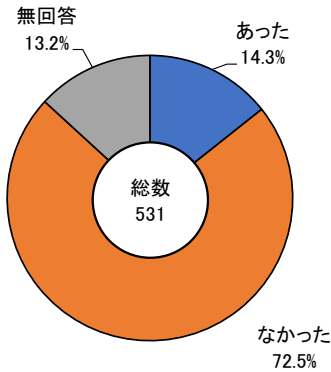
一時的な預かりを利用したいと回答した人に対して、希望する事業形態について聞いたところ、「保育所などの一時預かり」が 65.7%で最も多く、「幼稚園の預かり保育」が 41.5%、「ファミリー・サポート・センター」と「ベビーシッター」がそれぞれ 13.5%で続いています。

問 23 宿泊を伴う一時的な預かりの有無

この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含まれます）。

（あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。）

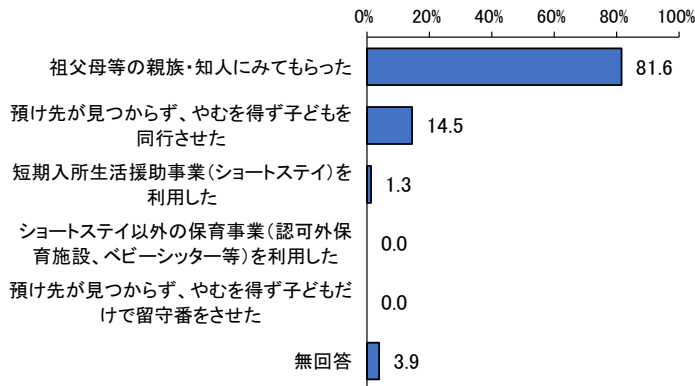
①預けたことの有無



「あった」が14.3%、「なかった」が72.5%となっています。

②対処方法

総数=76(複数回答)



この1年間に、あて名の子どもを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことがあったと回答した人に対して、その際の対処方法について聞いたところ、「祖父母等の親族・知人にみてもらった」が81.6%を占めて最も多くなっています。このほか、「預け先が見つからず、やむを得ず子どもを同行させた」が14.5%となっています。

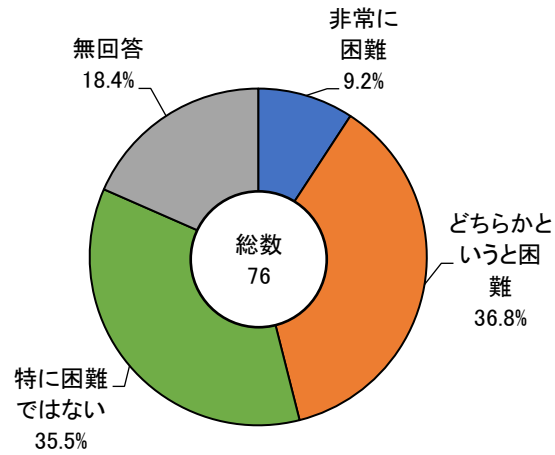
○年間利用希望日数（対処方法別）

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日以上	無回答
全体	76	2	0	2	1	0	0	0	0	0	5	0	0	2	64
祖父母等の親族・知人にみてもらった	62	14	10	7	3	5	1	1	0	0	6	4	2	3	6
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
預け先が見つからず、やむを得ず子どもを同行させた	11	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4

※「全体」「祖父母等の親族・知人にみてもらった」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

問 23-1 祖父母等の親族・知人にみてもらう場合の困難度

問 23 で祖父母等の親族・知人にみてもらったと回答した人に対する設問
その場合の困難度はどの程度でしたか。(〇は1つ)



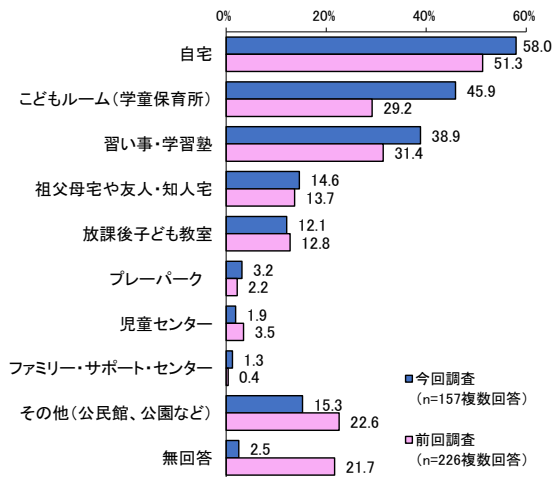
祖父母等の親族・知人にみてもらったと回答した人に対して、その場合の困難度を聞いたところ、「非常に困難」が 9.2%、「どちらかという困難」が 36.8%であり、ほぼ半数の回答者が困難を感じていることがわかります。「特に困難ではない」は 35.5%です。

7 小学校就学後の放課後の過ごし方

問 24 放課後に過ごさせたい場所(低学年)

あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけて、[]内に数字でご記入ください。）

① 過ごさせたい場所（低学年）



5歳以上の未就学児の保護者に対して、小学校低学年（1～3年生）の放課後に過ごさせたい場所を聞いたところ、「自宅」が58.0%で最も多く、「子どもルーム（学童保育所）」が45.9%、「習い事・学習塾」が38.9%で続いています。

前回調査では「自宅」が51.3%、「子どもルーム（学童保育所）」が29.2%、「習い事・学習塾」が31.4%となっており、今回調査の「子どもルーム（学童保育所）」は前回調査を約17ポイント上回っています。

○ 過ごさせたい場所（母親の就労状況別）

	全体	自宅	祖父母宅や友人・知人宅	習い事・学習塾	児童センター	子ども放課後教室	子どもルーム(学童保育所)	プレーパーク	ファミリー・サポート・センター	(公民館、公園など)	その他	無回答
全体	157 100.0	91 58.0	23 14.6	61 38.9	3 1.9	19 12.1	72 45.9	5 3.2	2 1.3	24 15.3	4 2.5	
母親の就労状況	フルタイム	50 100.0	15 30.0	9 18.0	11 22.0	1 2.0	7 14.0	34 68.0	1 2.0	1 2.0	2 4.0	2 4.0
	パートタイム	52 100.0	29 55.8	7 13.5	21 40.4	1 1.9	4 7.7	24 46.2	3 5.8	0 0.0	6 11.5	2 3.8
	働いていない	51 100.0	44 86.3	6 11.8	27 52.9	1 2.0	7 13.7	13 25.5	1 2.0	1 2.0	15 29.4	0 0.0
	無回答	4 100.0	3 75.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0

※母親の就労状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

小学校低学年（1～3年生）の放課後に過ごさせたい場所を母親の就労状況別にみると、母親がフルタイム就労の場合は「子どもルーム（学童保育所）」が68.0%を占めており、回答者全体の割合を約22ポイント上回っています。

母親がパートタイム就労の場合は「自宅」（55.8%）が最も多く、「子どもルーム（学童保育所）」（46.2%）、「習い事・学習塾」（40.4%）が続いています。

母親が働いていない場合は「自宅」が86.3%を占めており、回答者全体の割合を約28ポイント上回っているほか、「習い事・学習塾」（52.9%）、「その他（公民館、公園など）」（29.4%）が続いています。

②週間利用日数（過ごさせたい場所別）【低学年】

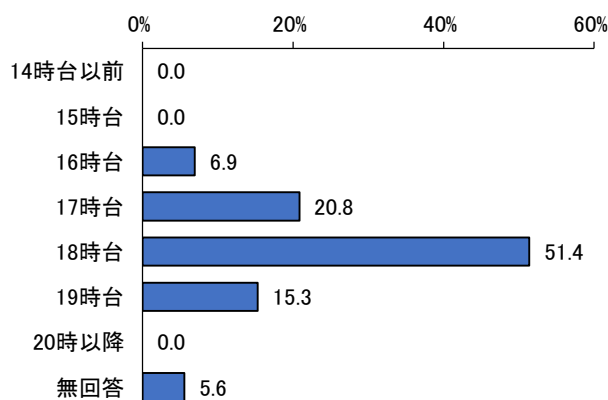
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	91 100.0	7 7.7	14 15.4	17 18.7	10 11.0	33 36.3	0 0.0	2 2.2	8 8.8
祖父母宅や 友人・知人宅	23 100.0	9 39.1	4 17.4	2 8.7	1 4.3	3 13.0	0 0.0	0 0.0	4 17.4
習い事・学習塾	61 100.0	21 34.4	27 44.3	6 9.8	3 4.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0	4 6.6
児童センター	3 100.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3
放課後子ども教室	19 100.0	7 36.8	3 15.8	2 10.5	2 10.5	3 15.8	0 0.0	0 0.0	2 10.5
こどもルーム (学童保育所)	72 100.0	0 0.0	8 11.1	13 18.1	9 12.5	39 54.2	1 1.4	0 0.0	2 2.8
プレーパーク	5 100.0	3 60.0	1 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0
ファミリー・サポート・ センター	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0
その他 (公民館、公園など)	24 100.0	7 29.2	3 12.5	4 16.7	1 4.2	5 20.8	0 0.0	0 0.0	4 16.7

※「自宅」「習い事・学習塾」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもルーム(学童保育所)」「その他(公民館、公園など)」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

過ごさせたい場所別に週間利用日数をみると、最も多いのは自宅で「5日」(36.3%)、習い事・学習塾で「2日」(44.3%)、祖父母宅や友人・知人宅で「1日」(39.1%)、こどもルーム(学童保育所)で「5日」(54.2%)、その他(公民館、公園など)で「1日」(29.2%)となっています。

●こどもルームの利用時間（下校時から）

総数=72

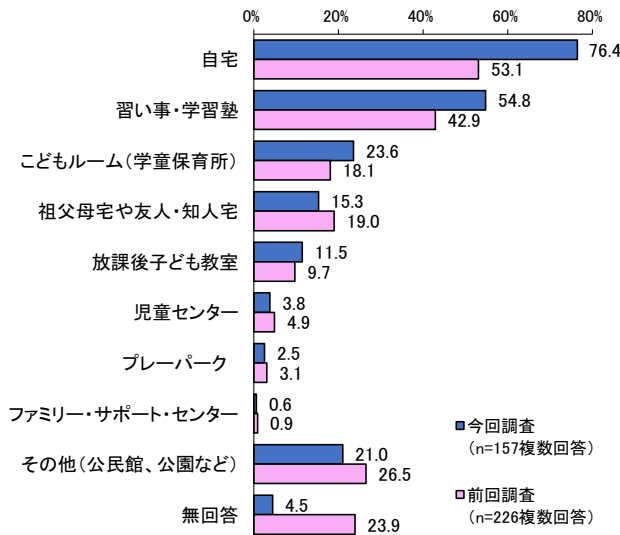


こどもルーム(学童保育所)の下校時からの利用時間は「18時台」が51.4%で最も多く、「17時台」が20.8%が続いています。

問 25 放課後に過ごさせたい場所(高学年)

あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。（あてはまるものすべてに○をつけて、□内に数字でご記入ください。）

① 過ごさせたい場所（高学年）



5歳以上の未就学児の保護者に対して、小学校高学年（4～6年生）の放課後に過ごさせたい場所を聞いたところ、「自宅」が76.4%で最も多く、「習い事・学習塾」が54.8%、「こどもルーム（学童保育所）」が23.6%で続いています。

前回調査では「自宅」が53.1%、「習い事・学習塾」が42.9%、「その他（公民館、公園など）」が26.5%となっており、今回調査の「自宅」は前回調査を約23ポイント上回っています。

○ 過ごさせたい場所（母親の就労状況別）

		全体	自宅	友人・知人宅や祖父母宅	習い事・学習塾	児童センター	放課後子ども教室	こどもルーム(学童保育所)	プレーパーク	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体		157 100.0	120 76.4	24 15.3	86 54.8	6 3.8	18 11.5	37 23.6	4 2.5	1 0.6	33 21.0	7 4.5
母親の就労状況	フルタイム	50 100.0	33 66.0	8 16.0	20 40.0	1 2.0	6 12.0	17 34.0	1 2.0	1 2.0	3 6.0	3 6.0
	パートタイム	52 100.0	41 78.8	6 11.5	31 59.6	2 3.8	4 7.7	11 21.2	3 5.8	0 0.0	11 21.2	3 5.8
	働いていない	51 100.0	42 82.4	9 17.6	33 64.7	3 5.9	8 15.7	9 17.6	0 0.0	0 0.0	17 33.3	1 2.0
	無回答	4 100.0	4 100.0	1 25.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0

※母親の就労状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

小学校高学年（4～6年生）の放課後に過ごさせたい場所を母親の就労状況別にみると、母親がフルタイム就労の場合は「自宅」(66.0%)が最も多く、「こどもルーム(学童保育所)」(34.0%)が続いています。

母親がパートタイム就労、働いていない場合は「自宅」が8割前後で最も多く、「習い事・学習塾」が6割前後で続いています。

②週間利用日数（過ごさせたい場所別）【高学年】

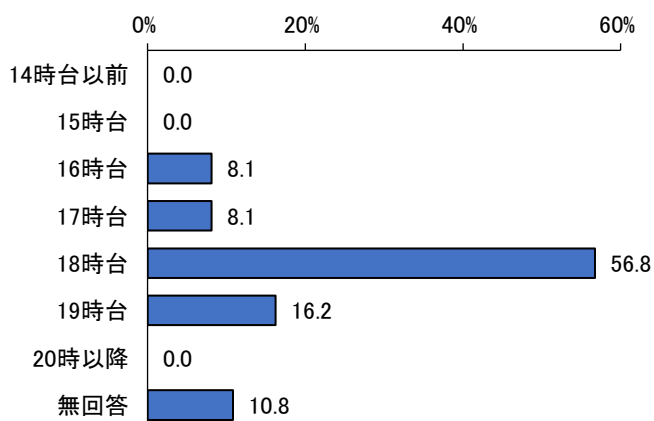
	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	120 100.0	8 6.7	27 22.5	24 20.0	9 7.5	40 33.3	0 0.0	2 1.7	10 8.3
祖父母宅や 友人・知人宅	24 100.0	9 37.5	5 20.8	1 4.2	1 4.2	4 16.7	0 0.0	0 0.0	4 16.7
習い事・学習塾	86 100.0	21 24.4	35 40.7	18 20.9	5 5.8	1 1.2	0 0.0	0 0.0	6 7.0
児童センター	6 100.0	3 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 33.3	0 0.0	0 0.0	1 16.7
放課後子ども教室	18 100.0	7 38.9	1 5.6	3 16.7	2 11.1	4 22.2	0 0.0	0 0.0	1 5.6
こどもルーム (学童保育所)	37 100.0	4 10.8	4 10.8	7 18.9	5 13.5	13 35.1	0 0.0	0 0.0	4 10.8
プレーパーク	4 100.0	2 50.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0
ファミリー・サポート・ センター	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
その他 (公民館、公園など)	33 100.0	10 30.3	5 15.2	7 21.2	2 6.1	4 12.1	0 0.0	0 0.0	5 15.2

※「自宅」「習い事・学習塾」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもルーム（学童保育所）」
「その他（公民館、公園など）」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

過ごさせたい場所別に週間利用日数をみると、最も多いのは自宅で「5日」（33.3%）、習い事・学習塾で「2日」（40.7%）、祖父母宅や友人・知人宅で「1日」（37.5%）、こどもルーム（学童保育所）で「5日」（35.1%）、その他（公民館、公園など）で「1日」（30.3%）となっています。

●こどもルームの利用時間（下校時から）

総数=37



こどもルーム（学童保育所）の下校時からの利用時間は「18時台」が56.8%で最も多く、「19時台」が16.2%で続いています。

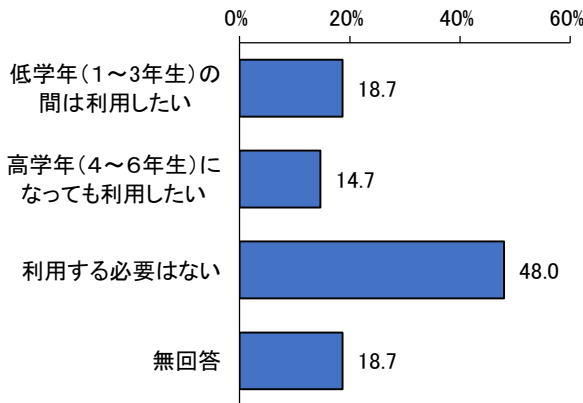
問 26 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中のこどもルームの利用希望

問 24 または問 25 で「こどもルーム（学童保育所）」を選択した人に対する設問
 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期
 休暇期間中に、こどもルーム（学童保育所）の利用希望はありますか。なお、これらの事業
 の利用には、一定の利用料が発生します。（〇は1つ）

①土曜日

(1) 利用意向

総数=75

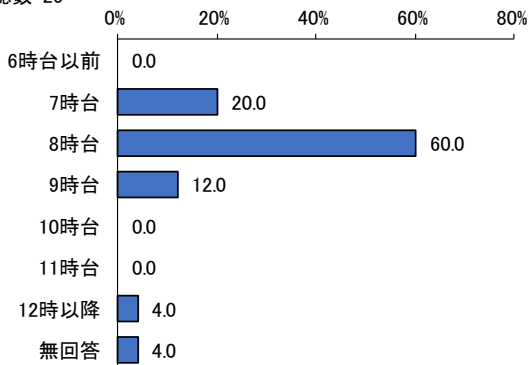


小学校入学後の放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、土曜日の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が18.7%、「高学年になっても利用したい」が14.7%であり、「利用する必要はない」は48.0%です。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は33.4%となっています。

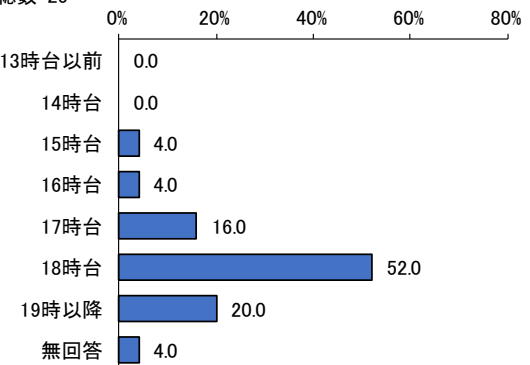
(2) 利用したい時間帯(開始時間)

総数=25



(3) 利用したい時間帯(終了時間)

総数=25

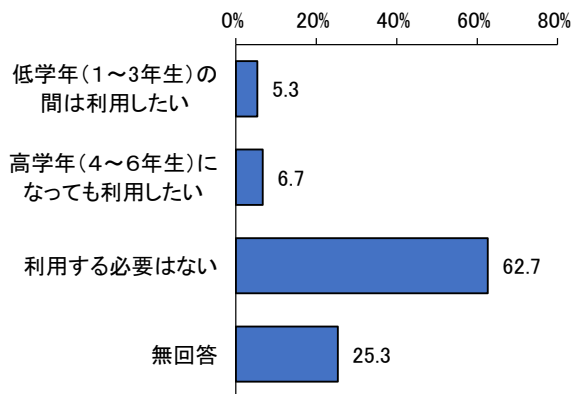


土曜日にこどもルームを“利用したい”と回答した人は25人であり、希望する利用開始時間は「8時台」が60.0%（15人）で最も多くなっています。また、利用終了時間は「18時台」が52.0%（13人）で最も多くなっています。

②日曜・祝日

(1) 利用意向

総数=75

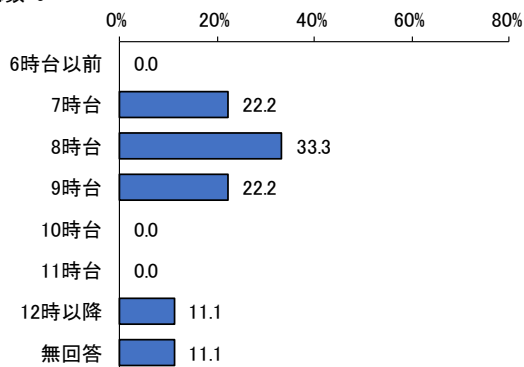


小学校入学後の放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、日曜・祝日の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が5.3%、「高学年になっても利用したい」が6.7%であり、「利用する必要はない」は62.7%です。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は12.0%となっています。

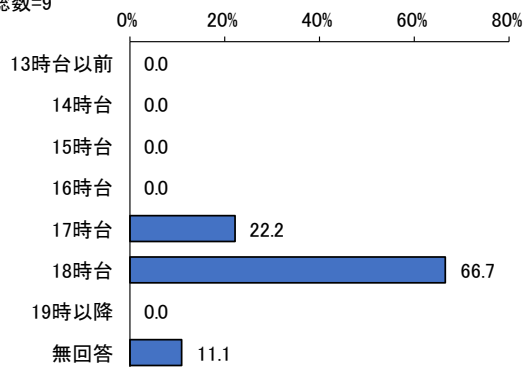
(2) 利用したい時間帯(開始時間)

総数=9



(3) 利用したい時間帯(終了時間)

総数=9

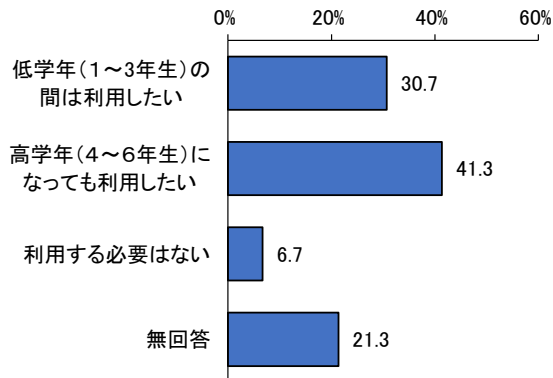


日曜・祝日にこどもルームを“利用したい”と回答した人は9人であり、希望する利用開始時間は「8時台」が33.3%（3人）で最も多くなっています。また、利用終了時間は「18時台」が66.7%（6人）で最も多くなっています。

③夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

(1) 利用意向

総数=75

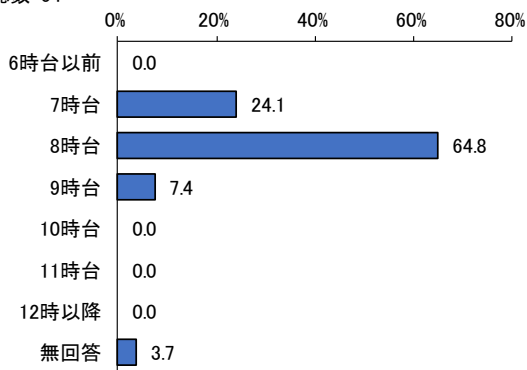


小学校入学後の放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が30.7%、「高学年になっても利用したい」が41.3%であり、「利用する必要はない」は6.7%です。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は72.0%となっています。

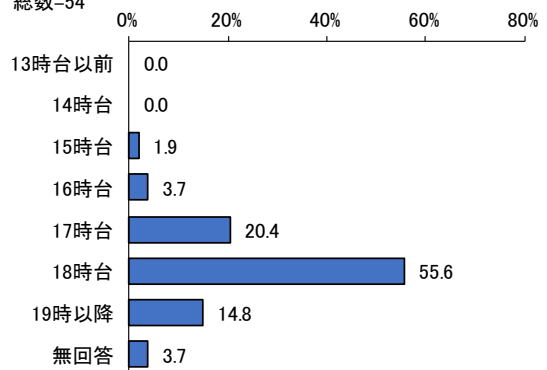
(2) 利用したい時間帯(開始時間)

総数=54



(3) 利用したい時間帯(終了時間)

総数=54



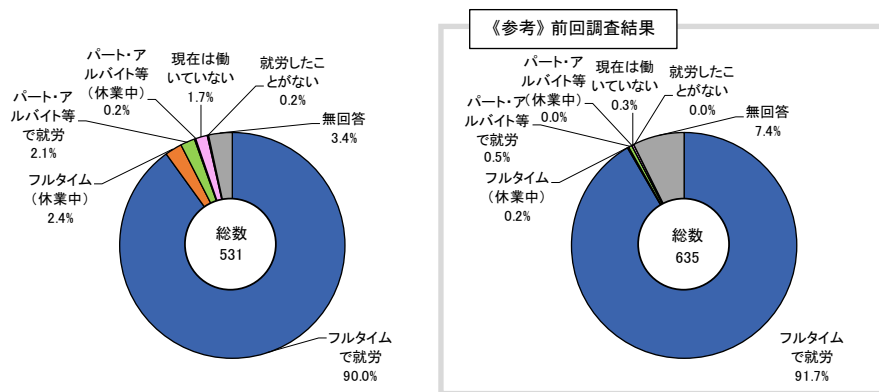
夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中にこどもルームを“利用したい”と回答した人は54人であり、希望する利用開始時間は、「8時台」が64.8%（35人）で最も多くなっています。また、利用終了時間は「18時台」が55.6%（30人）で最も多くなっています。

8 保護者の就労状況

問 27 父親・母親の就労状況

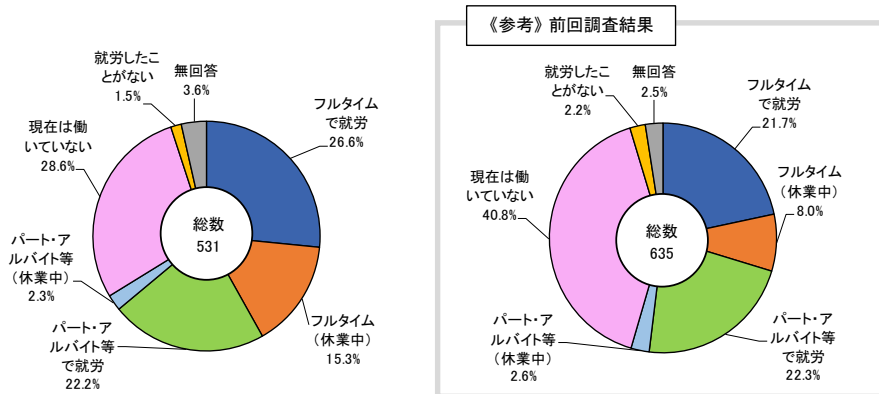
あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。
 (○は1つ)

①父親



「フルタイムで就労」が90.0%を占めており、このほかの回答はいずれも1割に達していません。前回調査でも「フルタイムで就労」が91.7%となっています。

②母親



「現在は働いていない」が28.6%で最も多く、「フルタイムで就労」が26.6%、「パート・アルバイト等で就労」が22.2%が続いています。前回調査では「フルタイムで就労」が21.7%で、今回調査の「フルタイムで就労」は前回調査を約5ポイント上回っています。

- ・フルタイムで就労：「フルタイムで就労しており、(産休)・育休・介護休業中ではない」
- ・フルタイム(休業中)：「フルタイムで就労していたが、(産休)・育休・介護休業中である」
- ・パート・アルバイト等で就労：「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、(産休)・育休・介護休業中ではない」
- ・パート・アルバイト等(休業中)：「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、(産休)・育休・介護休業中である」
- ・現在は働いていない：「以前は就労していたが、現在は働いていない」
- ・就労したことがない：「これまでに就労したことがない」

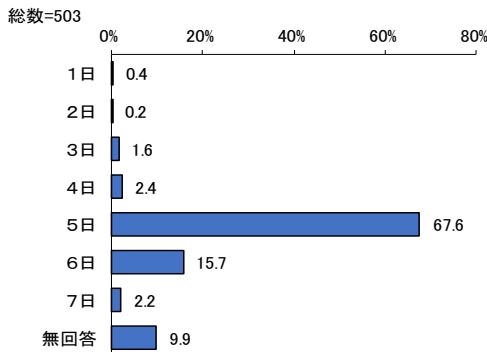
問 27-1 1週あたりの就労日数、1日あたりの勤務時間

問 27 で就労していると回答した人に対する設問

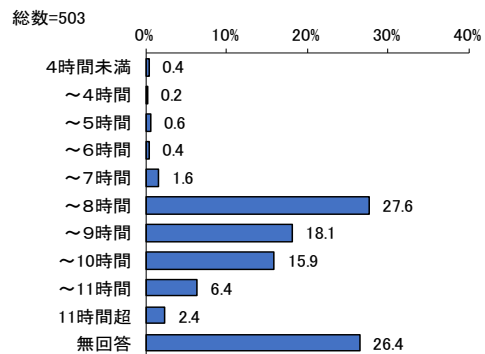
「1週あたりの就労日数」と「1日あたりの勤務時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や勤務時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（□内に数字でご記入ください）

①父親

(1)1週あたりの就労日数



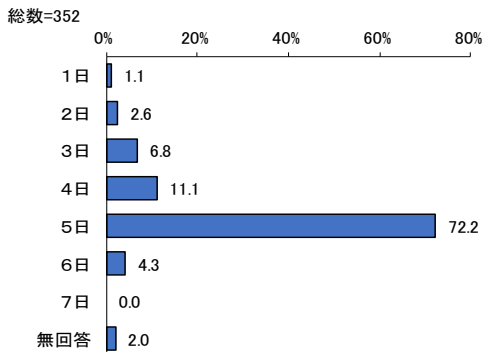
(2)1日あたりの勤務時間



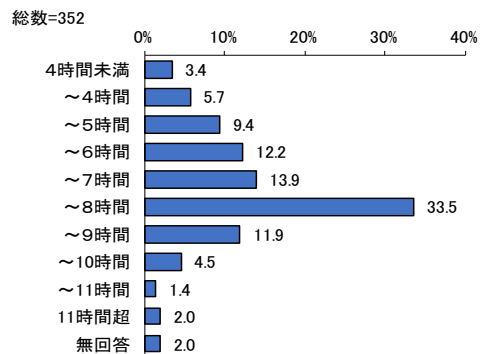
現在就労していると回答した父親に対して、1週あたりの就労日数と1日あたりの勤務時間を聞いたところ、就労日数は「5日」が67.6%で最も多く、「6日」が15.7%で続いています。勤務時間は「～8時間」が27.6%で最も多く、「～9時間」が18.1%、「～10時間」が15.9%で続いています。

②母親

(1)1週あたりの就労日数



(2)1日あたりの勤務時間



現在就労していると回答した母親に対して、1週あたりの就労日数と1日あたりの勤務時間を聞いたところ、就労日数は「5日」が72.2%で最も多く、「4日」が11.1%、「3日」が6.8%で続いています。勤務時間は「～8時間」が33.5%で最も多く、「～7時間」が13.9%、「～6時間」が12.2%で続いています。

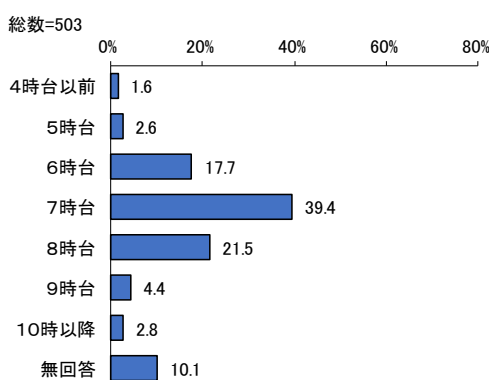
問 27-2 家を出る時刻、帰宅する時刻

問 27 で就労していると回答した人に対する設問

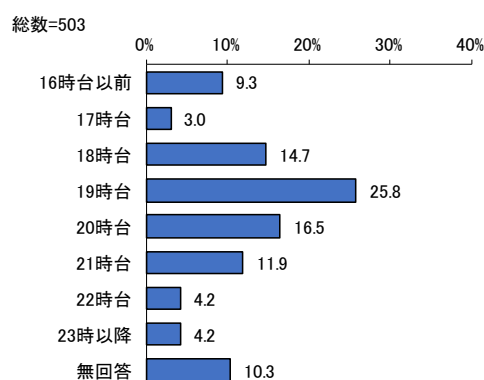
「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。（[]内に数字でご記入ください。時刻は24時間制でご記入ください（例・18時））

①父親

(1)家を出る時刻



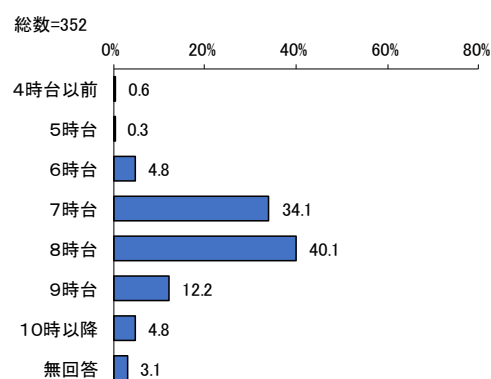
(2)帰宅時刻



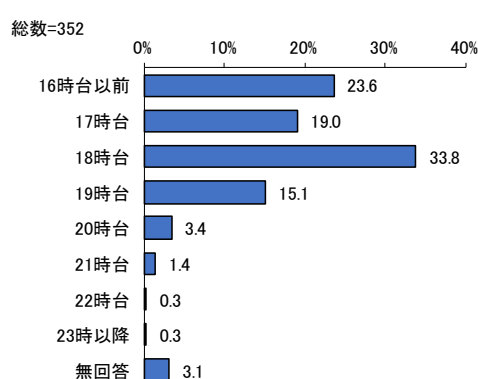
現在就労していると回答した父親に対して、家を出る時刻と帰宅時刻を聞いたところ、家を出る時刻は「7時台」が39.4%で最も多く、「8時台」が21.5%、「6時台」が17.7%が続いています。帰宅時刻については、「19時台」が25.8%で多く、「20時台」が16.5%が続いています。

②母親

(1)家を出る時刻



(2)帰宅時刻



現在就労していると回答した母親に対して、家を出る時刻と帰宅時刻を聞いたところ、家を出る時刻は「8時台」が40.1%で最も多く、「7時台」が34.1%が続いています。帰宅時刻については、「18時台」が33.8%で最も多く、「16時台以前」が23.6%、「17時台」が19.0%が続いています。

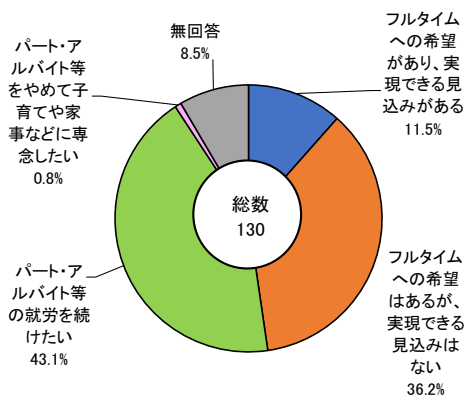
問 27-3 パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望

問 27 でパート・アルバイト等で就労していると回答した人に対する設問
フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

①父親

パート・アルバイト等で就労していると回答した父親に対して、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、回答者 12 人のうち 3 人が「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」と回答しています。

②母親



パート・アルバイト等で就労していると回答した母親に対して、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 43.1%で最も多く、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が 36.2%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が 11.5%で続いています。

問 27-4 就労していない、就労したことがない人の今後の就労希望

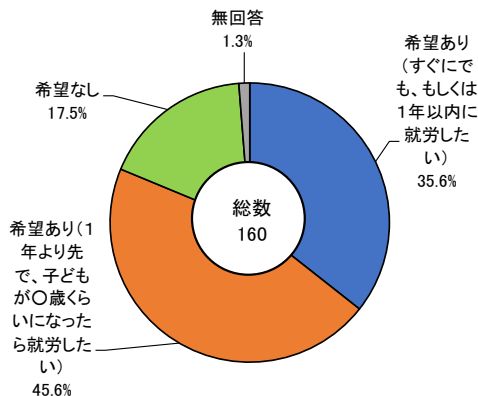
問 27 で就労していない、就労したことがないと回答した人に対する設問
今後の就労についての希望をお聞かせください。

(1～3のうち〇は1つ、□内に数字でご記入ください)

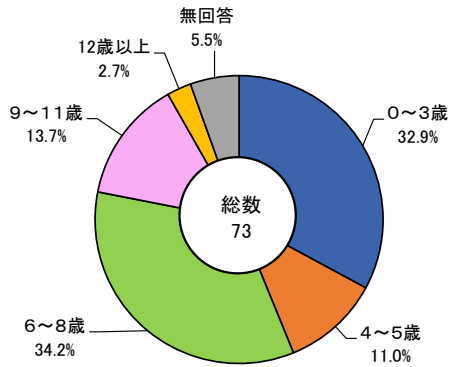
①父親

現在就労していないと回答した父親に対して、今後の就労希望を聞いたところ、回答者 10 人のうち 6 人が「希望あり (すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)」と回答しています。

②母親



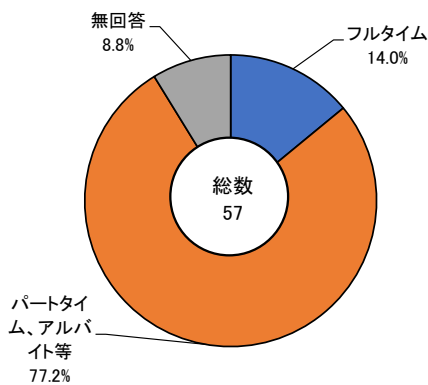
現在就労していないと回答した母親に対して、今後の就労希望を聞いたところ、「希望あり (1年より先で、子どもが〇歳くらいになったら就労したい)」が 45.6%で最も多く、「希望あり (すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい)」が 35.6%、「希望なし」が 17.5%で続いています。



子どもが大きくなってから就労したいと回答した母親が希望する子どもの年齢は、「6～8歳」が34.2%で最も多く、「0～3歳」が32.9%で続いています。

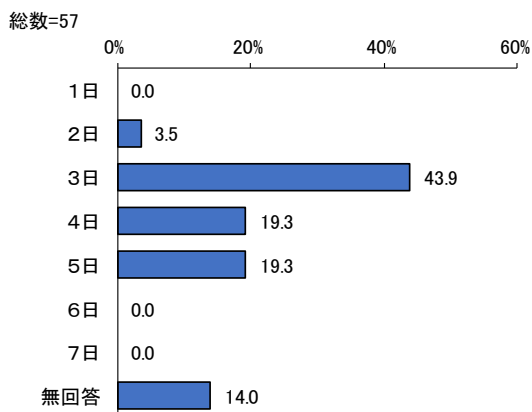
(1) 1年以内に就労したい母親

●就労形態

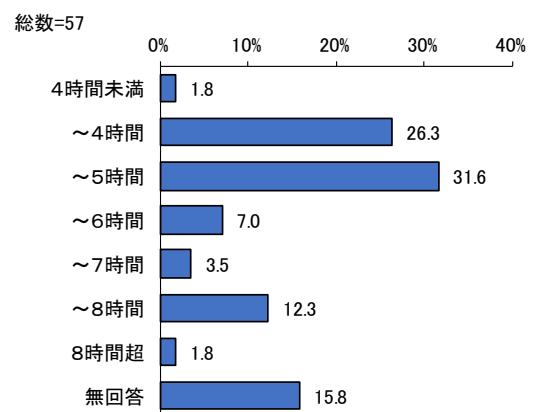


すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が77.2%を占めており、「フルタイム」は14.0%です。

●就労日数(1週あたり)



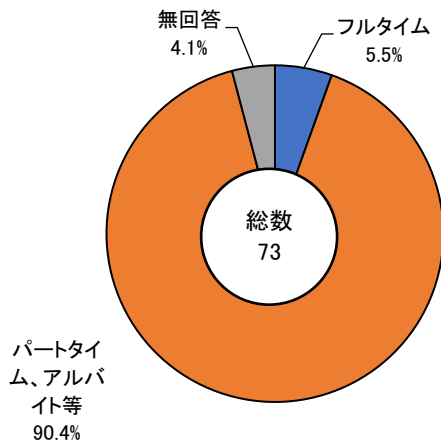
●就労時間数(1日あたり)



パートタイム・アルバイト等の場合の就労日数は「3日」が43.9%、「4日」と「5日」がそれぞれ19.3%であり、就労時間数は「~5時間」が31.6%、「~4時間」が26.3%となっています。

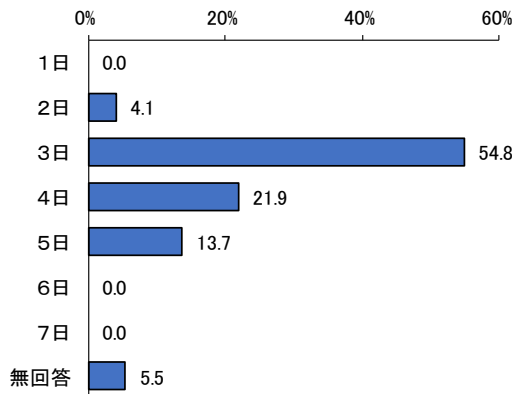
(2) 1年より先で就労したい母親

●就労形態

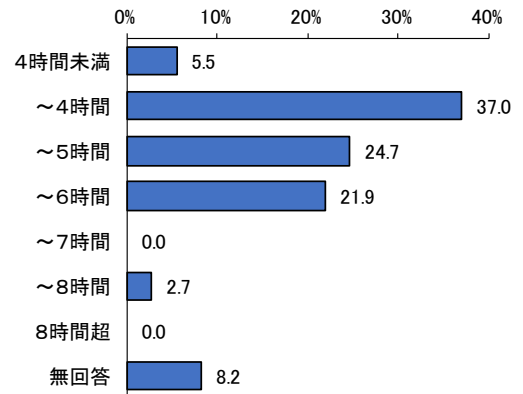


1年より先で就労したいと回答した母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が90.4%を占めており、「フルタイム」は5.5%です。

●就労日数(1週あたり)
総数=73



●就労時間数(1日あたり)
総数=73



パートタイム・アルバイト等の場合の就労日数は「3日」が54.8%、「4日」が21.9%であり、就労時間数は「～4時間」が37.0%となっています。

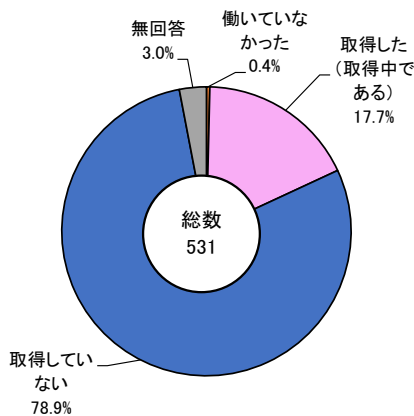
9 職場の両立支援制度等

問28 育児休業の取得状況・取得していない理由

あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、該当する数字をご記入ください。

①父親

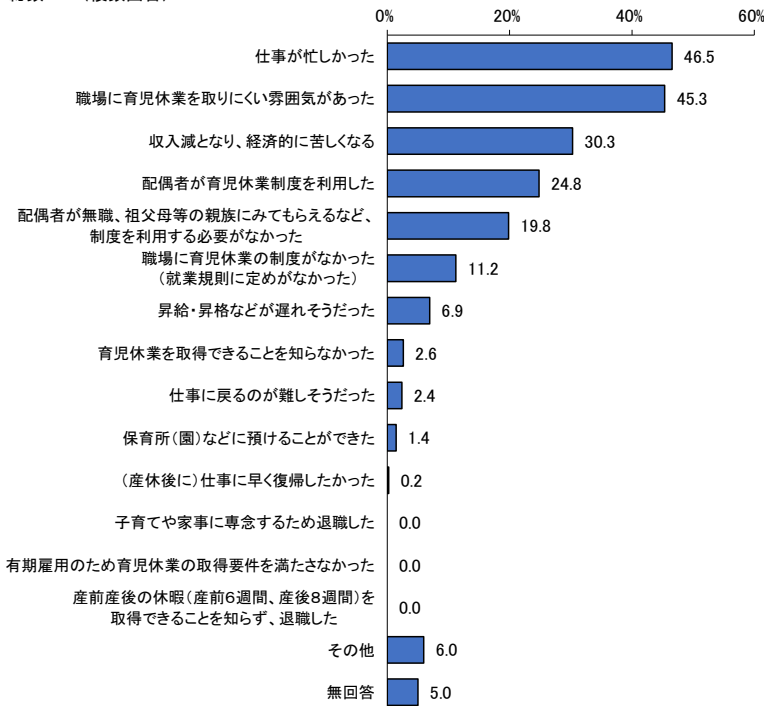
(1) 取得状況



「取得していない」が78.9%を占めて最も多くなっており、「取得した(取得中である)」が17.7%、「働いていなかった」が0.4%となっています。

(2) 取得していない理由

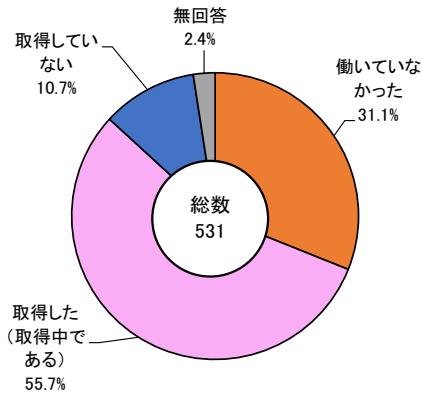
総数=419(複数回答)



育児休業を取得していないと回答した父親に対して、その理由を聞いたところ、「仕事が忙しかった」が46.5%で最も多く、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が45.3%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が30.3%で続いています。

②母親

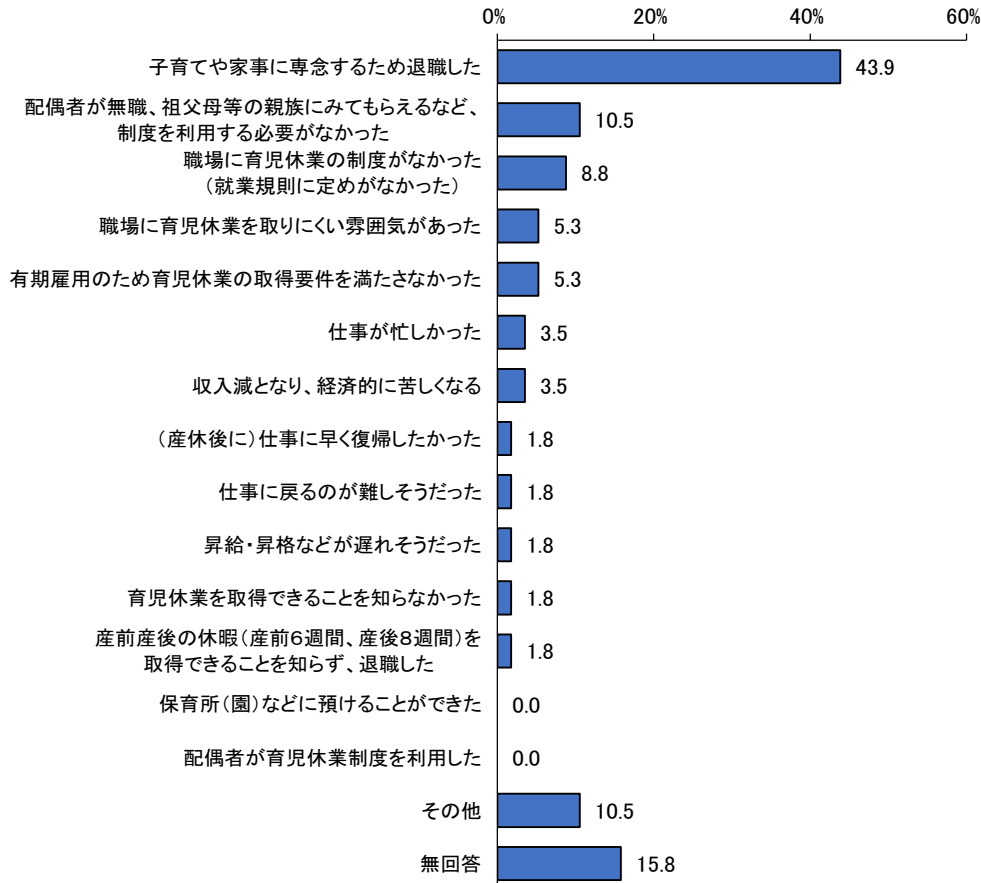
(1) 取得状況



「取得した(取得中である)」が55.7%で最も多くなっており、「働いていなかった」が31.1%、「取得していない」が10.7%で続いています。

(2) 取得していない理由

総数=57(複数回答)



育児休業を取得していないと回答した母親に対して、その理由を聞いたところ、「子育てや家事に専念するため退職した」が43.9%で最も多く、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が10.5%、「職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めがなかった)」が8.8%で続いています。

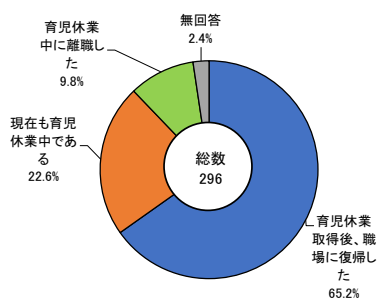
問 28-1 育児休業取得後の状況

問 28 で育児休業を取得した（取得中である）と回答した人に対する設問
育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（〇は1つ）

①父親

育児休業を取得した（取得中である）と回答した父親（94人）に対して、職場への復帰状況を聞いたところ、93人が「育児休業取得後、職場に復帰した」を選択しています。

②母親

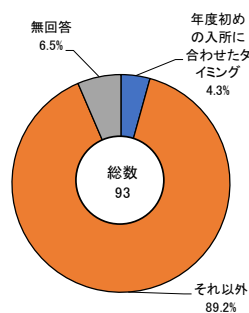


育児休業を取得した（取得中である）と回答した母親に対して、職場への復帰状況を聞いたところ、「育児休業取得後、職場に復帰した」が65.2%で最も多く、「現在も育児休業中である」が22.6%、「育児休業中に離職した」が9.8%で続いています。

問 28-2 職場に復帰した時期

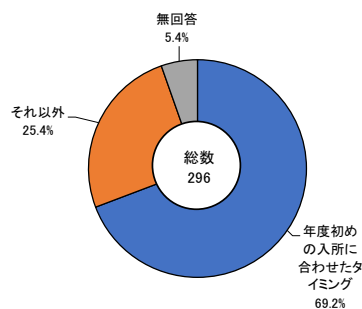
問 28-1 で育児休業から復帰／復帰予定と回答した人に対する設問
育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（〇は1つ）

①父親



育児休業から復帰、復帰予定と回答した父親に対して、職場への復帰のタイミングについて聞いたところ、「年度初めの（保育所）入所に合わせたタイミング」を選択した人は4人であり、回答者93人のうち89.2%（83人）が「それ以外」を選択しています。

②母親



育児休業から復帰、復帰予定と回答した母親に対して、職場への復帰のタイミングについて聞いたところ、「年度初めの（保育所）入所に合わせたタイミング」が69.2%、「それ以外」が25.4%となっています。

問 28-3 職場に復帰したときの子どもの年齢、希望と異なる理由

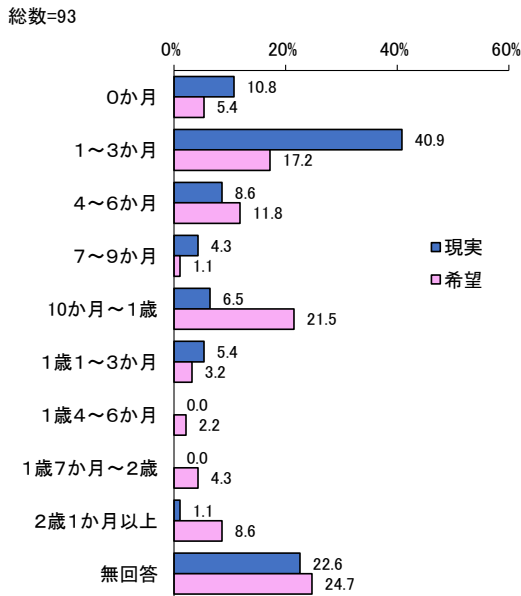
問 28-1 で育児休業から復帰／復帰予定と回答した人に対する設問

育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。

(□内に数字でご記入ください)

①父親

(1) 職場に復帰したときの子どもの年齢



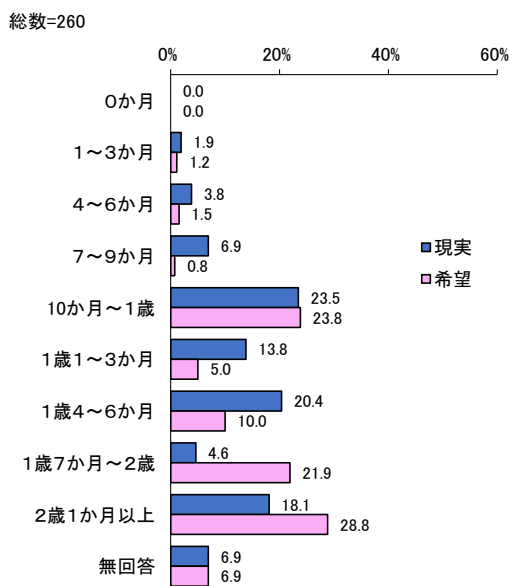
育児休業から復帰、復帰予定と回答した父親に対して、職場に復帰したときの子どもの年齢を聞いたところ、実際の復帰時期としては「1～3か月」が40.9%となっています。希望していた復帰時期については、「10か月～1歳」が21.5%、「1～3か月」が17.2%となっています。

(2) 実際の復帰時期が希望と異なった理由

育児休業からの実際の復帰時期が希望よりも早かったと回答した父親は49人で、そのうち25人が「経済的な理由で早く復帰する必要があるため」と回答しています。一方、希望よりも遅く復帰した父親は4人で、そのうち1人が「希望する保育所に入れなかったため」と回答しています。

②母親

(1) 職場に復帰したときの子どもの年齢



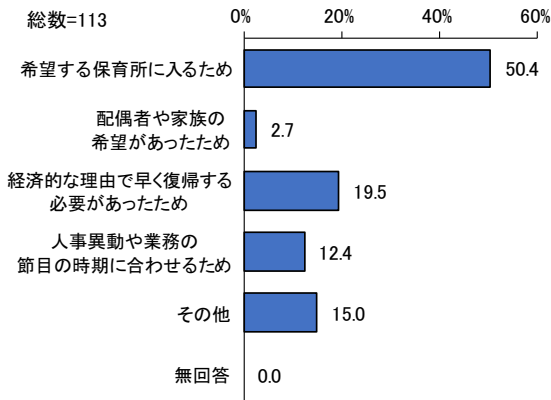
育児休業から復帰、復帰予定と回答した母親に対して、職場に復帰したときの子どもの年齢を聞いたところ、実際の復帰時期としては「10か月～1歳」が23.5%で最も多く、「1歳4～6か月」が20.4%で続きます。希望していた復帰時期については、「2歳1か月以上」が28.8%で最も多く、「10か月～1歳」が23.8%で続きます。

子どもが10か月になる前に復帰した母親の割合は12.7%ですが、この期間内の復帰を希望した母親の割合は3.5%に過ぎません。

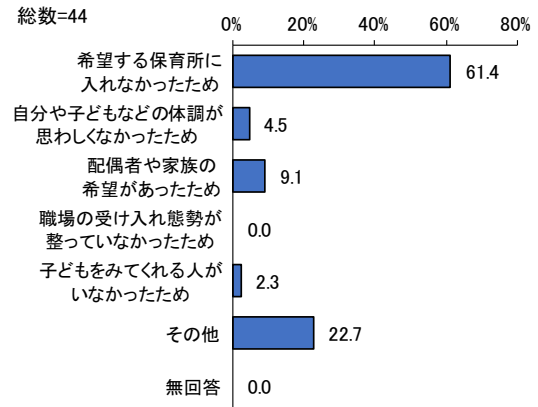
一方、子どもが1歳6か月を迎えた後に復帰を希望する母親の割合は22.7%ですが、実際にこの期間に復帰したのは50.8%となっています。

(2) 実際の復帰時期が希望と異なった理由

●希望よりも早く復帰した理由



●希望よりも遅く復帰した理由



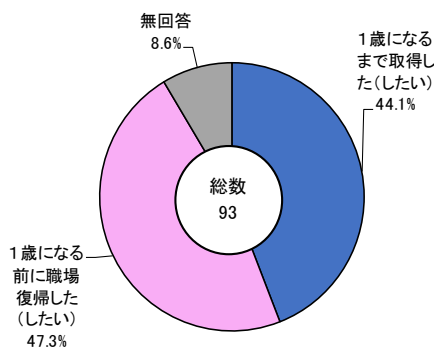
育児休業からの実際の復帰時期が希望と異なった母親に対して、その理由を聞いたところ、希望よりも早く復帰した理由としては「希望する保育所に入るため」が50.4%となっています。一方、希望よりも遅く復帰した母親は44人であり、復帰した理由としては「希望する保育所に入れなかったため」が61.4% (27人) となっています。

問 28-4 1歳になるまでの育児休業の取得意向

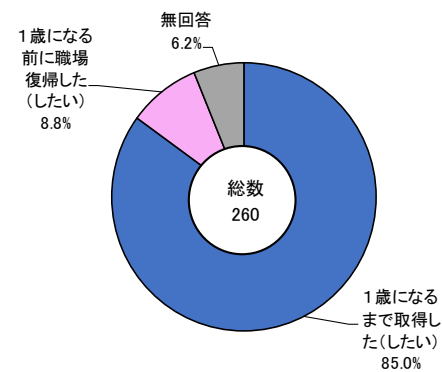
問 28-1 で育児休業から復帰/復帰予定と回答した人に対する設問

もし、あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しましたか。(〇は1つ)

●父親



●母親

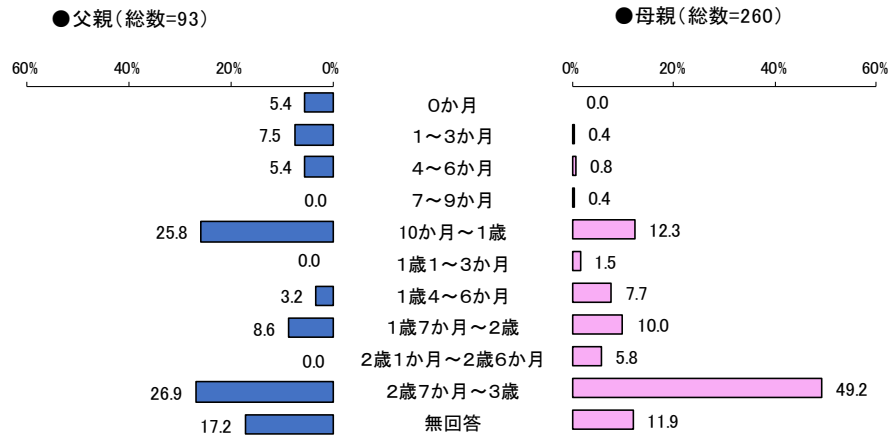


育児休業から復帰、復帰予定と回答した父親に対して、1歳になったときに必ず預けられる保育所等があった場合の育児休業の取得意向について聞いたところ、「1歳になる前に職場復帰した(したい)」が47.3%、「1歳になるまで取得した(したい)」が44.1%と拮抗しています。

母親については、「1歳になるまで取得した(したい)」が85.0%を占めており、「1歳になる前に職場復帰した(したい)」が8.8%となっています。

問 28-5 3歳まで休暇を取得できる場合の意向

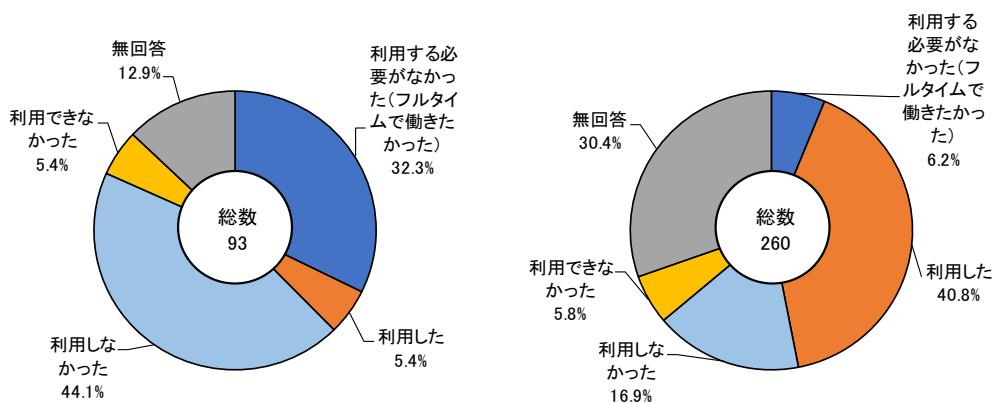
問 28-1 で育児休業から復帰／復帰予定と回答した人に対する設問
 もし、お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、あて名のお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。
 (□内に数字でご記入ください)



育児休業から復帰、復帰予定と回答した父親に対して、勤務先に3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の育児休業の取得意向について聞いたところ、「2歳7か月～3歳」が26.9%となっています。母親については、「2歳7か月～3歳」が49.2%で最も多く、「10か月～1歳」が12.3%で続いています。

問 28-6 短時間勤務制度の利用状況

問 28-1 で育児休業から復帰したと回答した人に対する設問
 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(○は1つ)
 ●父親 ●母親

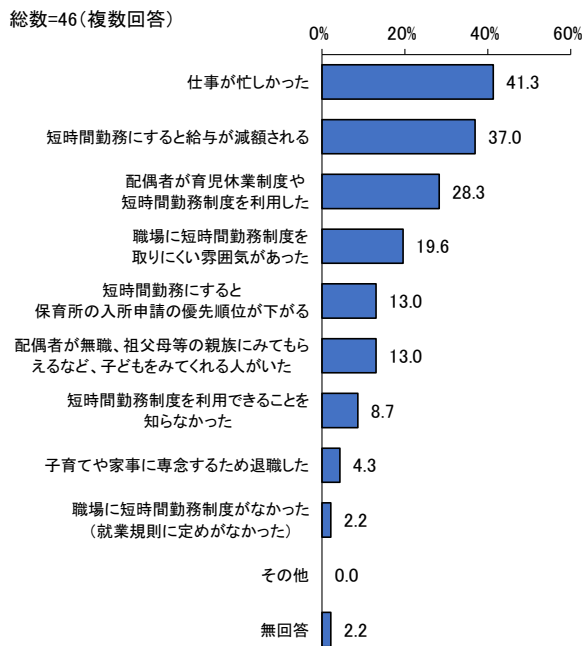


育児休業から復帰したと回答した父親に対して、復帰時の短時間勤務制度の利用状況について聞いたところ、「利用しなかった」が44.1%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった)」が32.3%となっています。母親については、「利用した」が40.8%で最も多く、「利用しなかった」が16.9%で続いています。

問 28-7 短時間勤務制度を利用しなかった（できなかつた）理由

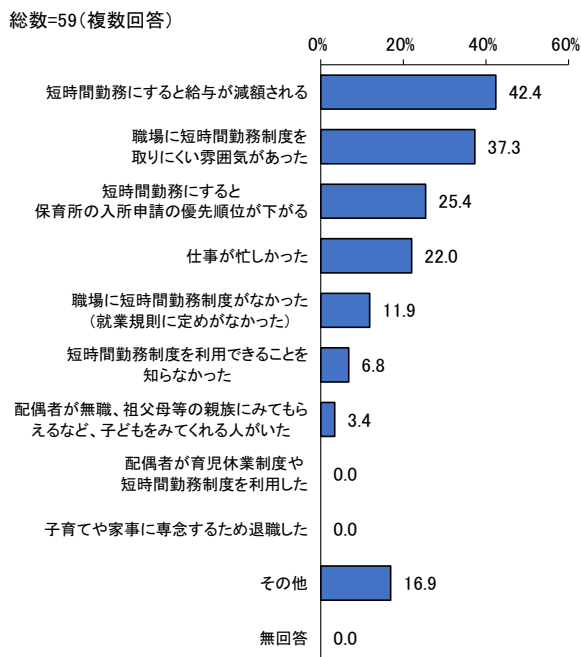
問 28-6 で短時間勤務制度を利用しなかった、利用できなかつたと回答した人に対する設問
短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかつた）理由をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

①父親



短時間勤務制度を利用しなかった、利用できなかつたと回答した父親に対して、その理由を聞いたところ、「仕事が忙しかった」が41.3%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が37.0%、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が28.3%となっています。

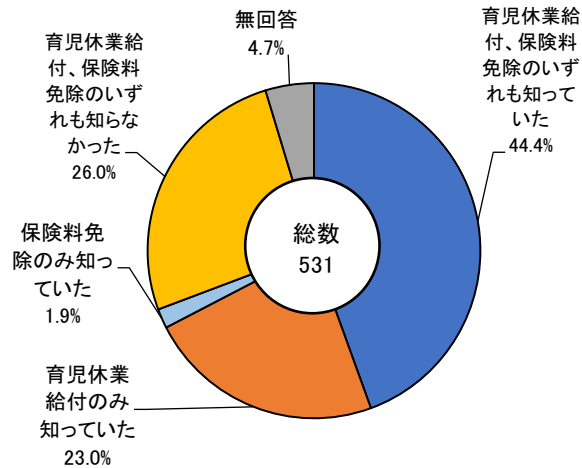
②母親



母親については、「短時間勤務にすると給与が減額される」が42.4%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が37.3%、「短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる」が25.4%で続いています。

問 29 育児休業給付等の認知度

子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。(〇は1つ)

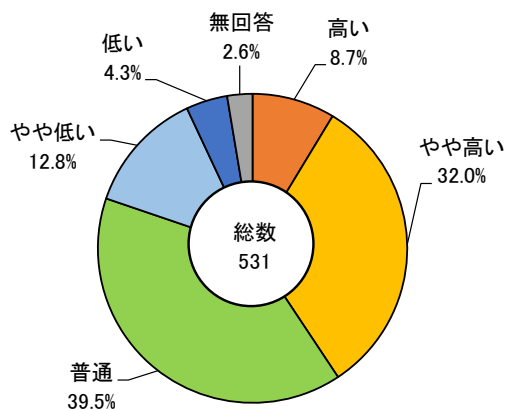


「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が44.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が23.0%、「保険料免除のみ知っていた」が1.9%であり、いずれかの制度を知っていたという回答が約7割となっています。「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」は26.0%です。

10 子育てに関する市への意見等

問30 住まいの地域における子育て支援や環境の満足度

お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、いかがですか。(〇は1つ)



「普通」が39.5%で最も多くなっており、「やや高い」「高い」を合わせた割合は40.7%、「低い」「やや低い」を合わせた割合は17.1%となっています。

回答を数値化（高い＝5点、やや高い＝4点、普通＝3点、やや低い＝2点、低い＝1点）して平均を算出すると3.3点となります。

○満足度（居住地区別）

	全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点	
全体	531 100.0	46 8.7	170 32.0	210 39.5	68 12.8	23 4.3	14 2.6	216 40.7	210 39.5	91 17.1	3.3	
学校区	四街道小学校区	83 100.0	5 6.0	25 30.1	32 38.6	14 16.9	4 4.8	3 3.6	30 36.1	32 38.6	18 21.7	3.2
	旭小学校区	8 100.0	0 0.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 62.5	3 37.5	0 0.0	3.6
	南小学校区	74 100.0	5 6.8	25 33.8	28 37.8	10 13.5	4 5.4	2 2.7	30 40.5	28 37.8	14 18.9	3.2
	中央小学校区	50 100.0	2 4.0	17 34.0	22 44.0	6 12.0	0 0.0	3 6.0	19 38.0	22 44.0	6 12.0	3.3
	大日小学校区	48 100.0	3 6.3	15 31.3	20 41.7	5 10.4	3 6.3	2 4.2	18 37.5	20 41.7	8 16.7	3.2
	八木原小学校区	40 100.0	4 10.0	16 40.0	16 40.0	3 7.5	0 0.0	1 2.5	20 50.0	16 40.0	3 7.5	3.5
	四和小学校区	50 100.0	5 10.0	14 28.0	19 38.0	8 16.0	3 6.0	1 2.0	19 38.0	19 38.0	11 22.0	3.2
	山梨小学校区	24 100.0	2 8.3	3 12.5	14 58.3	3 12.5	2 8.3	0 0.0	5 20.8	14 58.3	5 20.8	3.0
	みそら小学校区	9 100.0	0 0.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2	0 0.0	0 0.0	4 44.4	3 33.3	2 22.2	3.2
	栗山小学校区	23 100.0	4 17.4	5 21.7	9 39.1	1 4.3	3 13.0	1 4.3	9 39.1	9 39.1	4 17.4	3.3
	和良比小学校区	89 100.0	13 14.6	32 36.0	32 36.0	10 11.2	1 1.1	1 1.1	45 50.6	32 36.0	11 12.4	3.5
	吉岡小学校区	17 100.0	2 11.8	5 29.4	6 35.3	2 11.8	2 11.8	0 0.0	7 41.2	6 35.3	4 23.5	3.2
	無回答	16 100.0	1 6.3	4 25.0	6 37.5	4 25.0	1 6.3	0 0.0	5 31.3	6 37.5	5 31.3	3.0

満足「普通」「不満」の居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

満足度を居住地区別にみると、多くの地区で「満足」（「高い」「やや高い」の合計）が最も多くなっています。

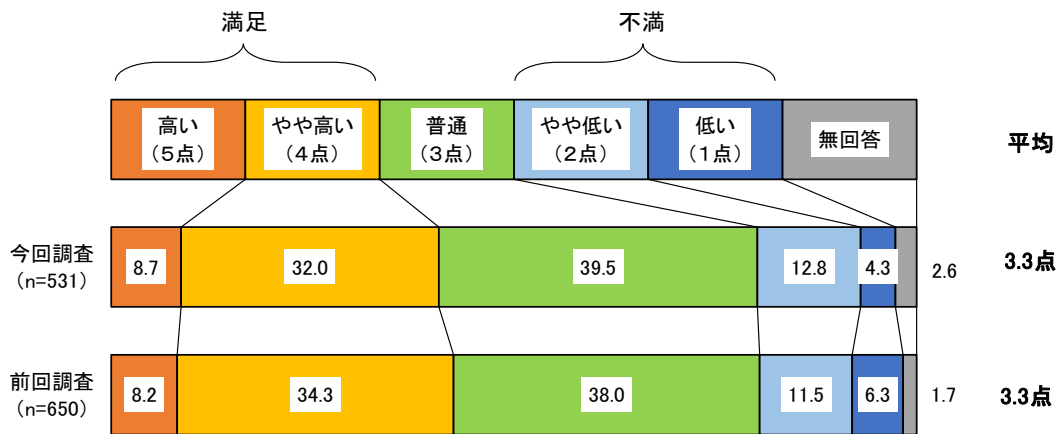
○満足度（年齢別）

		全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点
全体		531 100.0	46 8.7	170 32.0	210 39.5	68 12.8	23 4.3	14 2.6	216 40.7	210 39.5	91 17.1	3.3
子どもの年齢	0歳	88 100.0	9 10.2	28 31.8	35 39.8	9 10.2	4 4.5	3 3.4	37 42.0	35 39.8	13 14.8	3.3
	1歳	76 100.0	5 6.6	22 28.9	33 43.4	10 13.2	4 5.3	2 2.6	27 35.5	33 43.4	14 18.4	3.2
	2歳	88 100.0	7 8.0	30 34.1	33 37.5	12 13.6	3 3.4	3 3.4	37 42.0	33 37.5	15 17.0	3.3
	3歳	85 100.0	10 11.8	35 41.2	27 31.8	11 12.9	2 2.4	0 0.0	45 52.9	27 31.8	13 15.3	3.5
	4歳	94 100.0	7 7.4	32 34.0	35 37.2	13 13.8	4 4.3	3 3.2	39 41.5	35 37.2	17 18.1	3.3
	5歳	95 100.0	7 7.4	23 24.2	45 47.4	11 11.6	6 6.3	3 3.2	30 31.6	45 47.4	17 17.9	3.2
	無回答	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	2 40.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	3.0

※ “満足” “普通” “不満” の年齢別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

満足度を年齢別にみると、0～4歳では“満足”が最も多くなっており、3歳では“満足”が5割強となっています。一方、5歳では「普通」が47.4%であり、“満足”（31.6%）を大きく上回っています。

○前回調査結果との比較

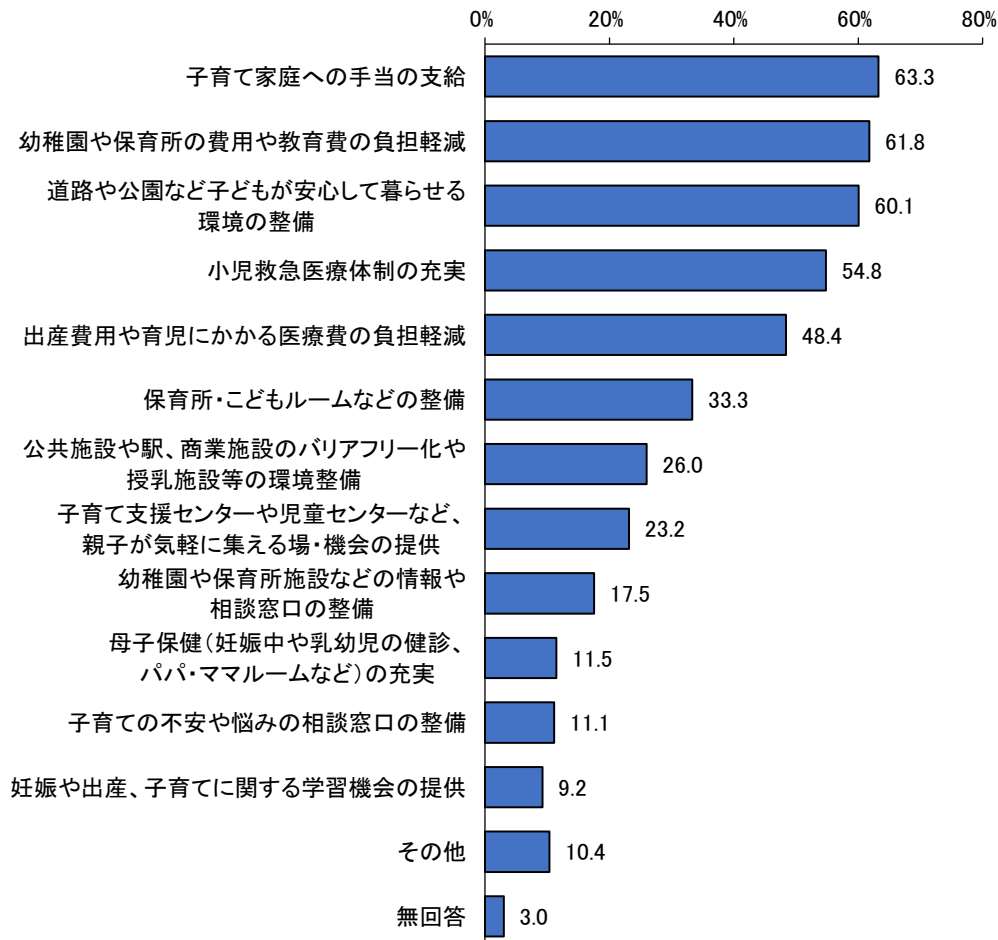


前回調査では“満足”が42.5%、“不満”が17.8%であり、今回調査もほぼ横ばいの結果となっています。

問 31 充実を図ってほしい市のサービス

今後、市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。
 (あてはまるものすべてに○)

総数=531(複数回答)



「子育て家庭への手当の支給」が 63.3%で最も多く、「幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減」が 61.8%、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が 60.1%で続いています。

○充実を図ってほしい市のサービス（居住地区別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなど）の充実	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童に集える場・機会の提供	心して暮らせる環境の整備	道路や公園など子どもが安心して遊べる環境の整備	授乳施設等の環境整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答
全体	531 100.0	61 11.5	177 33.3	123 23.2	319 60.1	138 26.0	59 11.1	93 17.5	49 9.2	257 48.4	328 61.8	336 63.3	291 54.8	55 10.4	16 3.0		
学区	四街道小学校区	83 100.0	8 9.6	23 27.7	17 20.5	39 47.0	15 18.1	8 9.6	9 10.8	9 10.8	34 41.0	46 55.4	44 53.0	39 47.0	9 10.8	2 2.4	
	旭小学校区	8 100.0	3 37.5	3 37.5	2 25.0	2 25.0	2 25.0	4 50.0	1 12.5	1 12.5	3 37.5	3 37.5	4 50.0	5 62.5	0 0.0	0 0.0	
	南小学校区	74 100.0	7 9.5	26 35.1	23 31.1	43 58.1	20 27.0	6 8.1	7 9.5	4 5.4	31 41.9	42 56.8	44 59.5	37 50.0	9 12.2	3 4.1	
	中央小学校区	50 100.0	7 14.0	15 30.0	17 34.0	36 72.0	14 28.0	8 16.0	10 20.0	6 12.0	21 42.0	29 58.0	28 56.0	28 56.0	10 20.0	1 2.0	
	大日小学校区	48 100.0	6 12.5	11 22.9	10 20.8	36 75.0	14 29.2	4 8.3	8 16.7	8 16.7	25 52.1	28 58.3	35 72.9	25 52.1	4 8.3	3 6.3	
	八木原小学校区	40 100.0	5 12.5	13 32.5	6 15.0	27 67.5	13 32.5	6 15.0	5 12.5	3 7.5	21 52.5	28 70.0	27 67.5	26 65.0	4 10.0	1 2.5	
	四和小学校区	50 100.0	11 22.0	13 26.0	12 24.0	30 60.0	14 28.0	7 14.0	12 24.0	3 6.0	30 60.0	36 72.0	38 76.0	28 56.0	3 6.0	0 0.0	
	山梨小学校区	24 100.0	4 16.7	11 45.8	5 20.8	15 62.5	7 29.2	2 8.3	8 33.3	2 8.3	12 50.0	14 58.3	19 79.2	12 50.0	2 8.3	2 8.3	
	みそら小学校区	9 100.0	0 0.0	3 33.3	1 11.1	5 55.6	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	3 33.3	5 55.6	2 22.2	2 22.2	2 22.2	0 0.0	
	栗山小学校区	23 100.0	1 4.3	4 17.4	7 30.4	15 65.2	7 30.4	4 17.4	3 13.0	0 0.0	14 60.9	17 73.9	15 65.2	14 60.9	2 8.7	1 4.3	
	和良比小学校区	89 100.0	6 6.7	40 44.9	15 16.9	53 59.6	25 28.1	8 9.0	19 21.3	11 12.4	45 50.6	56 62.9	56 62.9	54 60.7	8 9.0	2 2.2	
	吉岡小学校区	17 100.0	1 5.9	8 47.1	4 23.5	8 47.1	4 23.5	2 11.8	6 35.3	2 11.8	8 47.1	11 64.7	11 64.7	11 64.7	0 0.0	1 5.9	
	無回答	16 100.0	2 12.5	7 43.8	4 25.0	10 62.5	3 18.8	3 12.5	3 18.8	0 0.0	10 62.5	13 81.3	13 81.3	10 62.5	2 12.5	0 0.0	

※居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

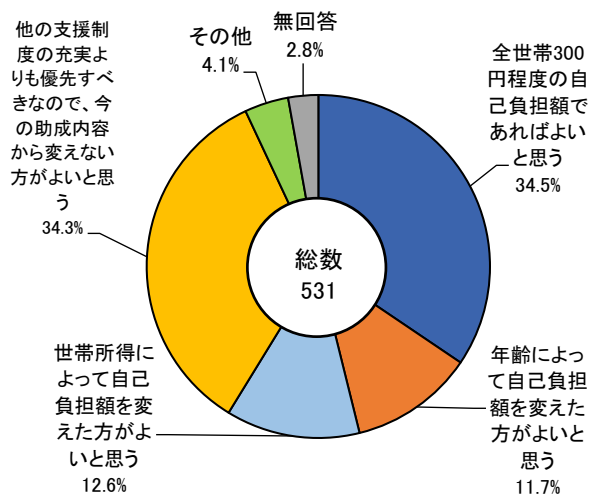
○充実を図ってほしい市のサービス（満足度別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなど）の充実	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童に集える場・機会の提供	心して暮らせる環境の整備	道路や公園など子どもが安心して遊べる環境の整備	授乳施設等の環境整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答
全体	531 100.0	61 11.5	177 33.3	123 23.2	319 60.1	138 26.0	59 11.1	93 17.5	49 9.2	257 48.4	328 61.8	336 63.3	291 54.8	55 10.4	16 3.0		
満足度	高い	46 100.0	4 8.7	12 26.1	5 10.9	22 47.8	12 26.1	4 8.7	3 6.5	1 2.2	20 43.5	22 47.8	28 60.9	24 52.2	5 10.9	1 2.2	
	やや高い	170 100.0	21 12.4	58 34.1	41 24.1	107 62.9	43 25.3	19 11.2	28 16.5	12 7.1	80 47.1	111 65.3	100 58.8	102 60.0	16 9.4	2 1.2	
	普通	210 100.0	25 11.9	64 30.5	42 20.0	127 60.5	52 24.8	20 9.5	43 20.5	22 10.5	111 52.9	136 64.8	143 68.1	114 54.3	14 6.7	5 2.4	
	やや低い	68 100.0	8 11.8	31 45.6	22 32.4	45 66.2	17 25.0	7 10.3	11 16.2	10 14.7	30 44.1	37 54.4	46 67.6	35 51.5	11 16.2	0 0.0	
	低い	23 100.0	3 13.0	10 43.5	12 52.2	16 69.6	11 47.8	8 34.8	5 21.7	4 17.4	13 56.5	17 73.9	15 65.2	13 56.5	6 26.1	1 4.3	
	無回答	14 100.0	0 0.0	2 14.3	1 7.1	2 14.3	3 21.4	1 7.1	3 21.4	0 0.0	3 21.4	5 35.7	4 28.6	3 21.4	3 21.4	7 50.0	

※満足度別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

問 32 支援の充実のための自己負担額引き上げについて

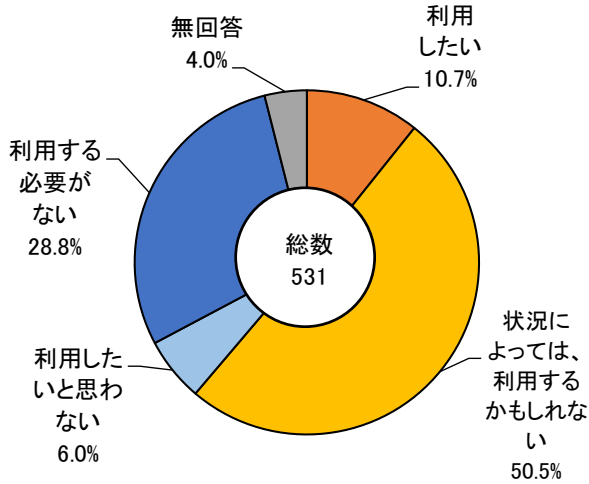
四街道市では、子ども医療費助成制度により、中学生までは無料、高校生等は 300 円（非課税世帯の場合は無料）で医療を受けることができますが、問 31 で〇をつけた支援を充実していくための費用を確保する目的で自己負担額を引き上げることとしたら、どのように思いますか。（〇はひとつ）



「全世帯 300 円程度の自己負担額であればよいと思う」が 34.5%で最も多く、「他の支援制度の充実よりも優先すべきなので、今の助成内容から変えない方がよいと思う」(34.3%)と拮抗しています。

問 33 配食事業の利用意向

経済的な理由や保護者の傷病等により食事の用意が困難な家庭のお子さんを対象に、有料で食事を配達する制度（配食事業）があれば、利用したいと思いますか。（〇は1つ）



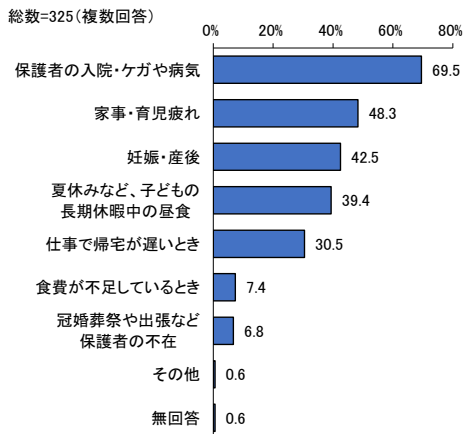
「状況によっては、利用するかもしれない」が50.5%で最も多く、「利用する必要がある」（28.8%）が続いています。

「利用したい」「状況によっては、利用するかもしれない」を合わせた割合は61.2%となっています。

問 33-1 利用したい状況

問 33 で「1」または「2」に〇をつけた方にかがいます。

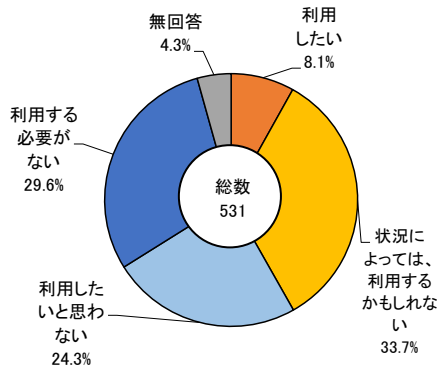
どのようなときに、このような配食事業を利用したいと思いますか。



「保護者の入院・ケガや病気」が69.5%で最も多く、「家事・育児疲れ」が48.3%、「妊娠・産後」42.5%が続いています。

問 34 子育て世帯訪問支援事業の利用意向

家事・育児等に対して悩みを抱えている家庭を対象に、有料で家事・育児等を支援する制度（子育て世帯訪問支援事業）があれば、利用したいと思いますか。（○は1つ）



「利用したい」が8.1%、「状況によっては、利用するかもしれない」が33.7%であり、回答者全体の約4割に子育て世帯訪問支援制度のニーズがあることがわかります。「利用する必要がない」は29.6%です。

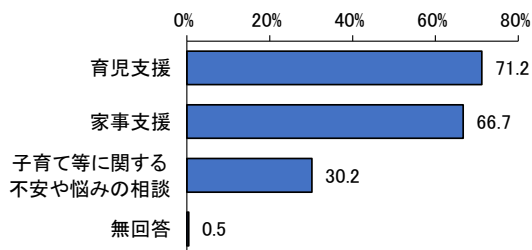
問 34-1 利用したいメニュー、希望する利用頻度

問 34 で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。

どのメニューを利用したいと思いますか。また、利用したいメニューについて、希望する利用頻度等をお答えください。

（あてはまるものすべてに○をつけ、[]内に数字でご記入ください。）

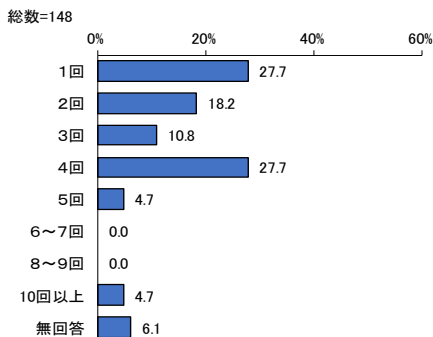
総数=222(複数回答)



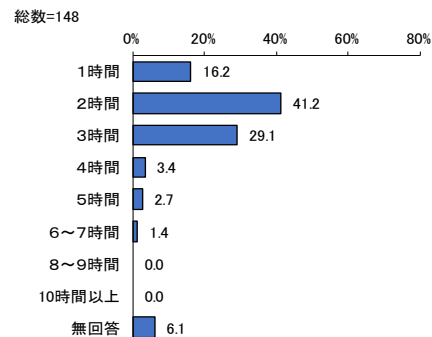
「育児支援」が71.2%で最も多く、「家事支援」が66.7%、「子育て等に関する不安や悩みの相談」30.2%で続いています。

(1) 家事支援

● 1か月あたり利用回数



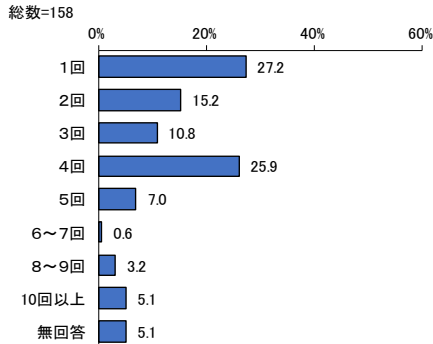
● 1回あたり利用時間



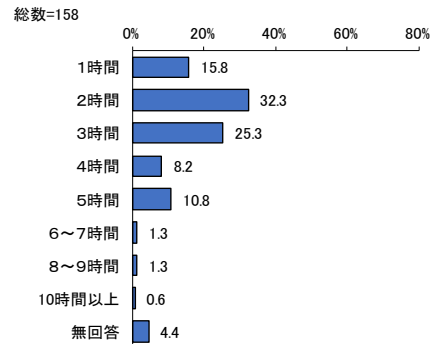
家事支援を利用する場合に希望する1か月あたりの利用回数は「1回」と「4回」がそれぞれ27.7%であり、1回あたりの利用時間は「2時間」が41.2%、「3時間」が29.1%となっています。

(2) 育児支援

●1か月あたり利用回数



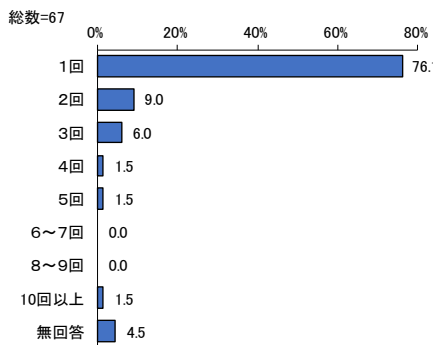
●1回あたり利用時間



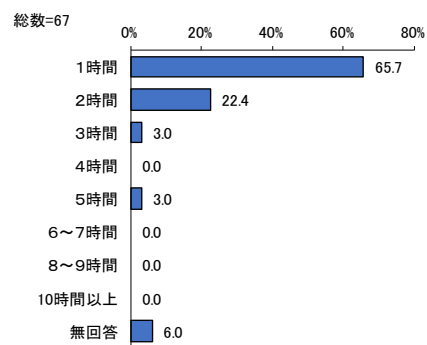
育児支援を利用する場合に希望する1か月あたりの利用回数は「1回」が27.2%、「4回」が25.9%で、1回あたりの利用時間は「2時間」が32.3%、「3時間」が25.3%となっています。

(3) 子育て等に関する不安や悩みの相談

●1か月あたり利用回数



●1回あたり利用時間



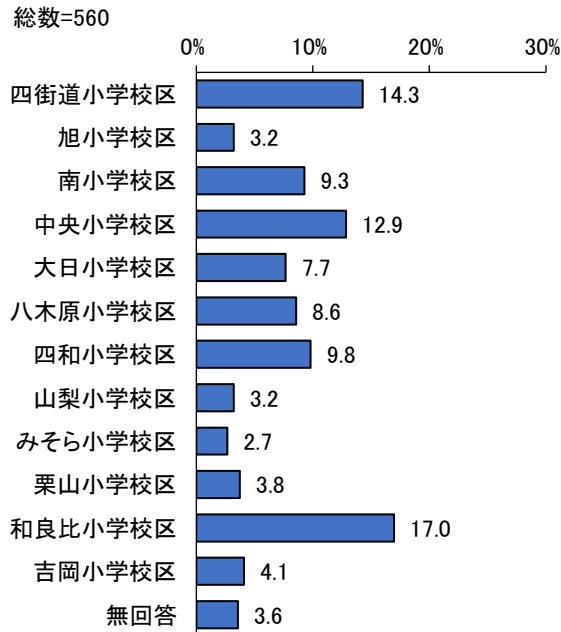
子育て等に関する不安や悩みの相談を利用する場合に希望する1か月あたりの利用回数は「1回」が76.1%で最も多く、1回あたりの利用時間は「1時間」が65.7%となっています。

【2】小学生調査結果

1 子どもと家庭の状況

問1 居住地区

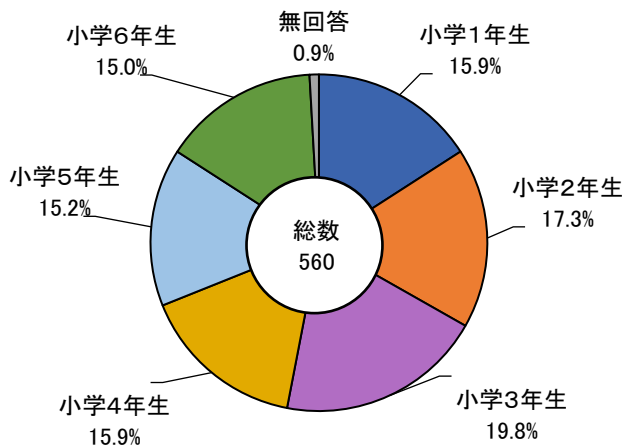
お住まいはどちらになりますか。(〇は1つ)



「和良比小学校区」が17.0%で最も多く、「四街道小学校区」が14.3%、「中央小学校区」が12.9%で続いています。

問2 子どもの学年

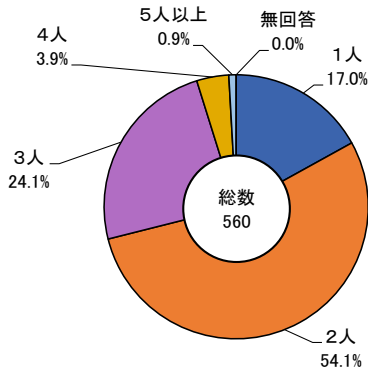
あて名のお子さんの学年は、次のうちどちらに該当しますか。(〇は1つ)



「小学3年生」が19.8%、「小学2年生」が17.3%、「小学1年生」と「小学4年生」がいずれも15.9%となっており、各学年とも15%～20%の範囲に収まっています。

問3 子どもの人数

あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。(〇は1つ)

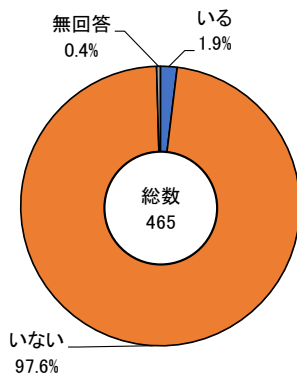


「2人」が54.1%で最も多く、「3人」が24.1%、「1人」が17.0%が続いています。

問3-1 多胎児の有無

問3で子どもの人数が2人以上と回答した人に対する設問

あて名のお子さんを含め、きょうだいの中にふたご、みつご等多胎児のお子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

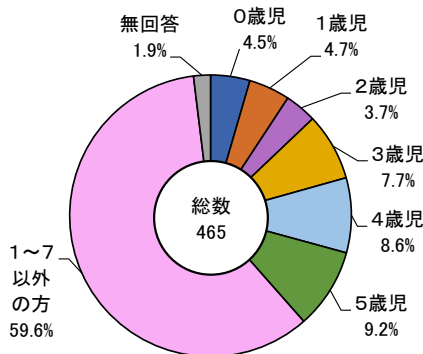


子どもの人数が2人以上であると回答した人に対して、きょうだいの中に多胎児がいるかどうかを聞いたところ、「いる」が1.9%、「いない」が97.6%となっています。

問3-2 末子の年齢

問3で子どもの人数が2人以上と回答した人に対する設問

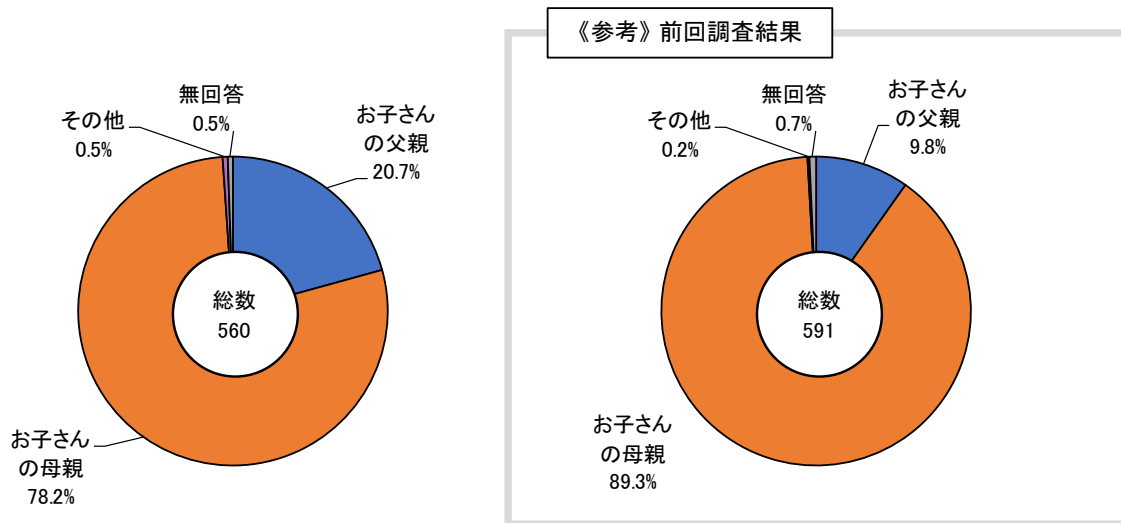
一番下のお子さん(末子)の生年月日はどちらになりますか。(〇は1つ)



子どもの人数が2人以上であると回答した人に対して、末子の年齢を聞いたところ、「5歳児」が9.2%で最も多く、「4歳児」が8.6%、「3歳児」が7.7%が続いています。

問4 回答者

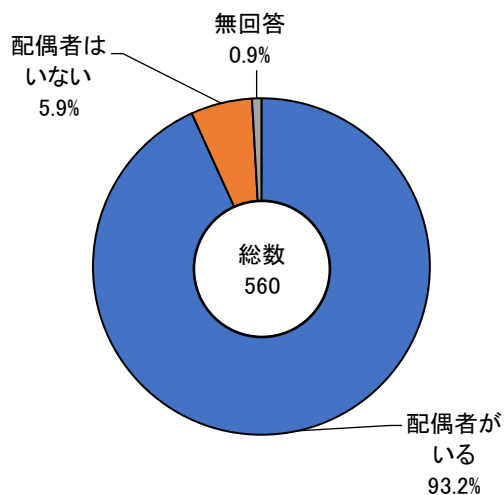
この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。(〇は1つ)



「お子さんの母親」が78.2%を占めており、「お子さんの父親」は20.7%となっています。前回調査では「お子さんの母親」が89.3%、「お子さんの父親」が9.8%となっており、今回調査の「お子さんの父親」は前回調査を約10ポイント上回っています。

問5 回答者の配偶関係

この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)



「配偶者がいる」が93.2%を占めており、「配偶者がいない」は5.9%となっています。

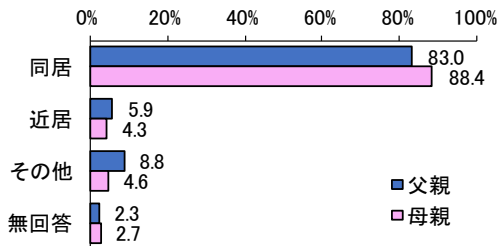
問6 家族の同居・近居の状況

あて名のお子さんと父母、祖父母の同居・近居（おおむね 30 分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。

（父親、母親：○は1つ、祖父母：あてはまるものすべてに○）

①父親・母親

総数=560

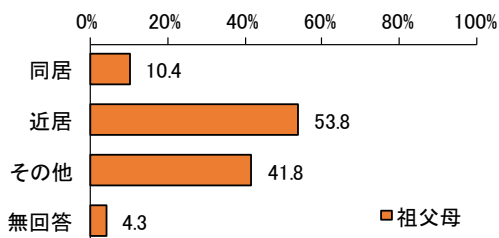


父親については、「同居」が 83.0%を占めており、「近居」は 5.9%となっています。

母親については、「同居」が 88.4%を占めており、「近居」は 4.3%となっています。

②祖父母

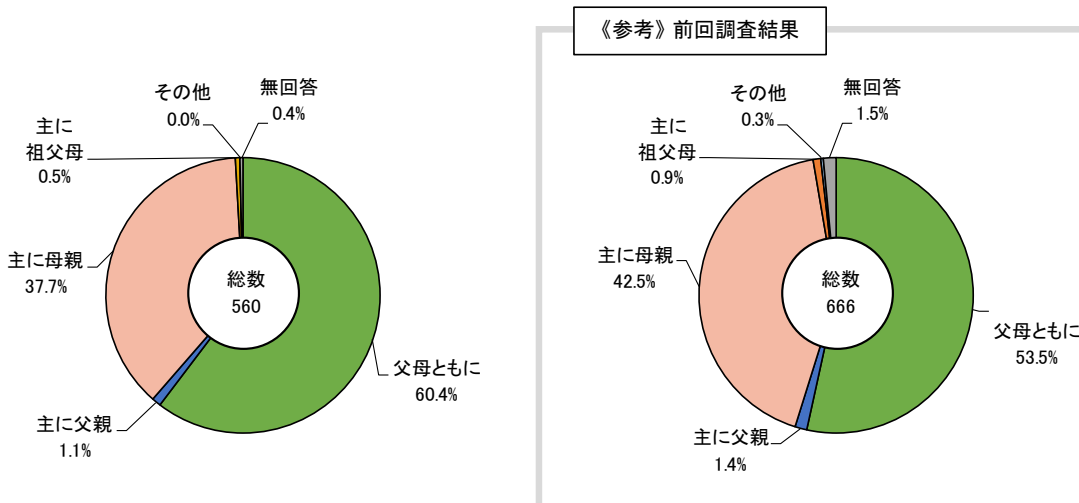
総数=560(複数回答)



祖父母については、「近居」が 53.8%で最も多く、「同居」は 10.4%です。なお、「その他」は 41.8%です。

問7 子育てを主に行っている人

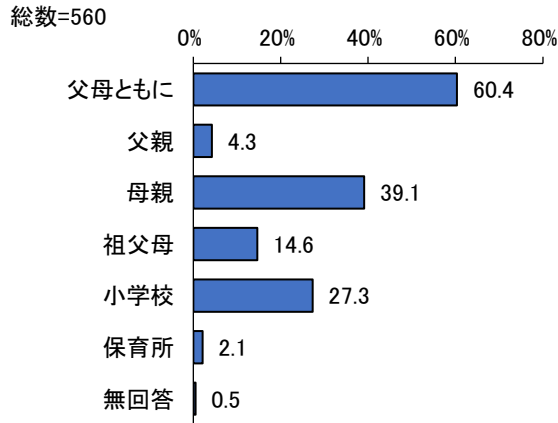
あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っている方はどなたですか。(○は1つ)



「父母ともに」が 60.4%で最も多く、「主に母親」が 37.7%で続いています。前回調査では「父母ともに」が 53.5%で、今回調査の「父母ともに」は前回調査を約7ポイント上回っています。

問8 日常的に子育てに関わっている人

あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。（あてはまるものすべてに○）

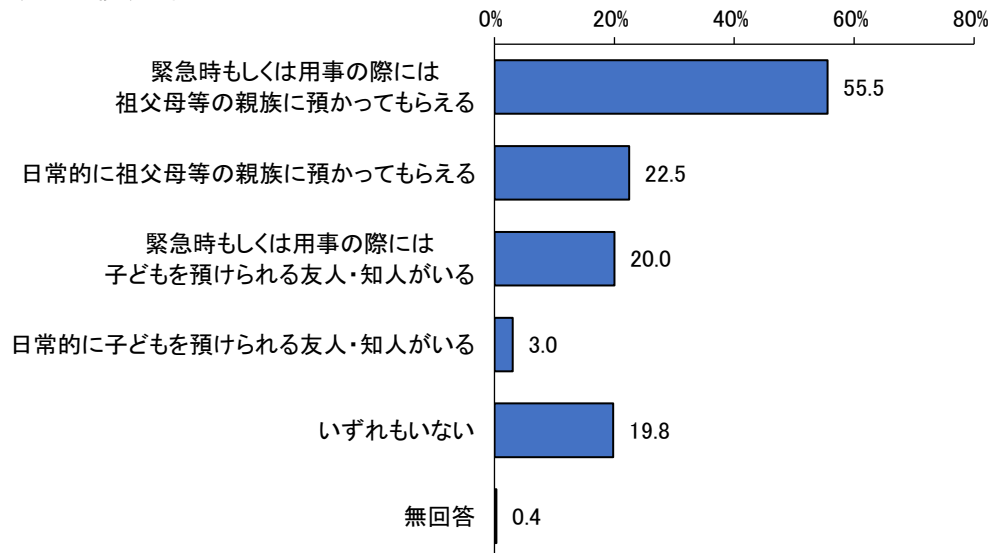


「父母ともに」が60.4%で最も多く、「母親」が39.1%、「小学校」が27.3%が続いています。

問9 日頃のサポートの状況

日頃、あて名のお子さんを預かってもらえる人はいますか。（あてはまるものすべてに○）

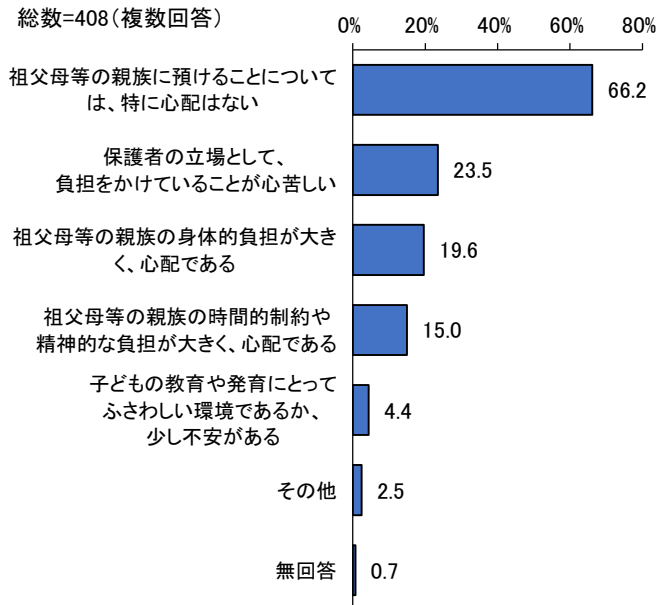
総数=560(複数回答)



「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる」が55.5%で最も多く、「日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる」が22.5%、「緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる」が20.0%が続いています。なお、「いずれもない」は19.8%です。

問9-1 祖父母等からのサポートの状況

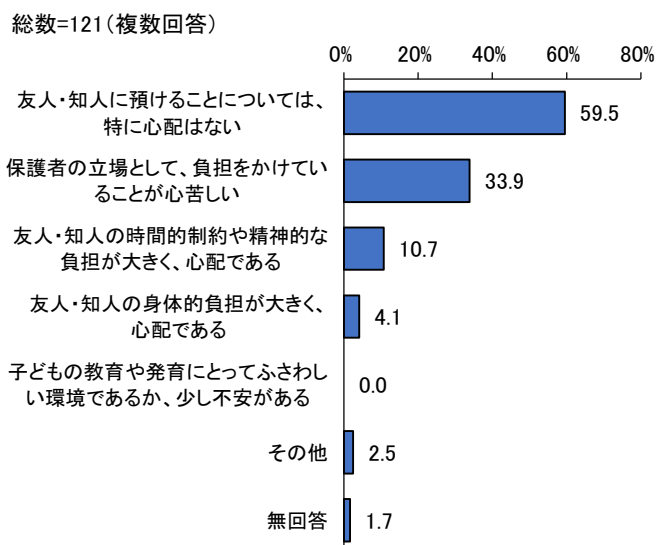
問9で祖父母等の親族に預かってもらえると回答した人に対する設問
祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)



祖父母等に預かってもらえると回答した人に対して、祖父母等からのサポートの状況について聞いたところ、「祖父母等の親族に預けることについては、特に心配はない」が66.2%で最も多く、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が23.5%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である」が19.6%で続いています。

問9-2 友人・知人からのサポートの状況

問9で友人・知人に預かってもらえると回答した人に対する設問
友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

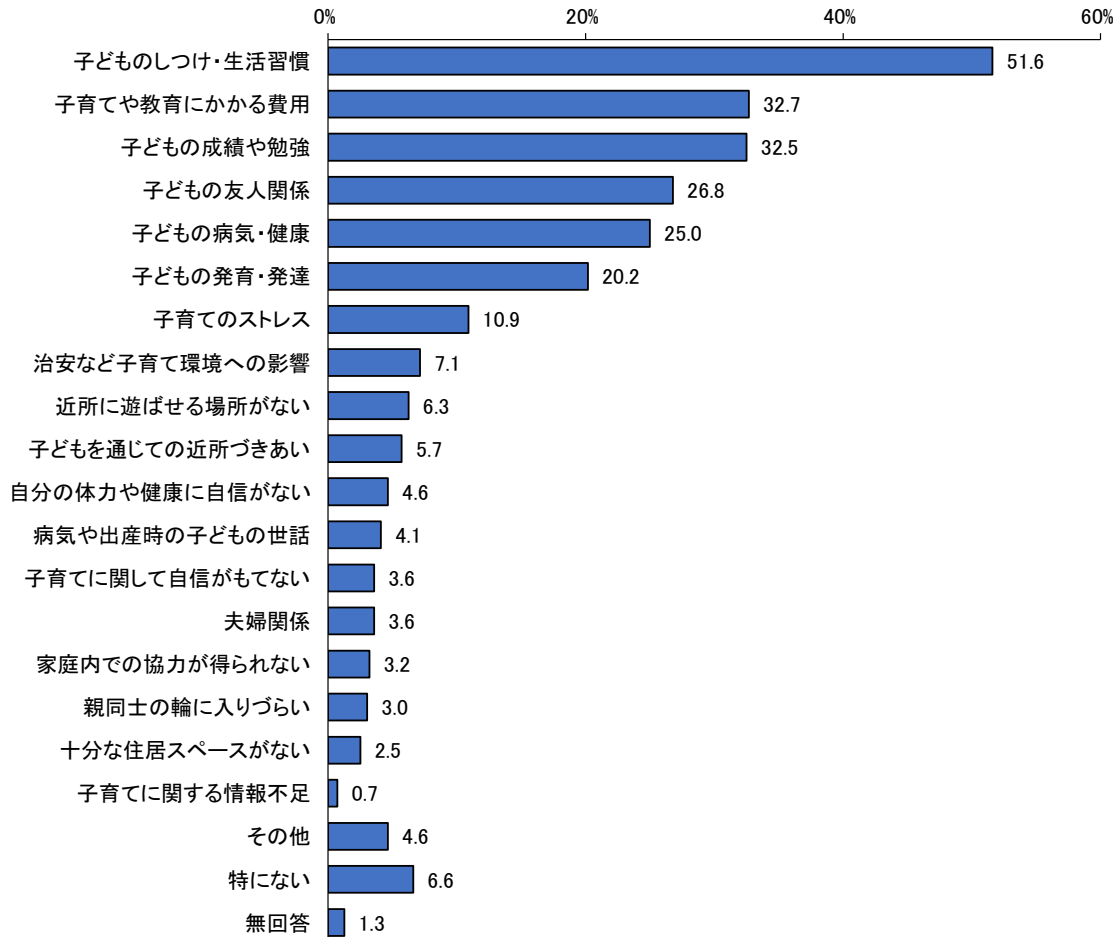


友人・知人に預かってもらえると回答した人に対して、友人・知人からのサポートの状況について聞いたところ、「友人・知人に預けることについては、特に心配はない」が59.5%で最も多く、「保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が33.9%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく、心配である」が10.7%で続いています。

問10 子育てする中で悩んだり不安に感じたりすること

あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困ったりしましたか。(〇は3つまで)

総数=560(複数回答)

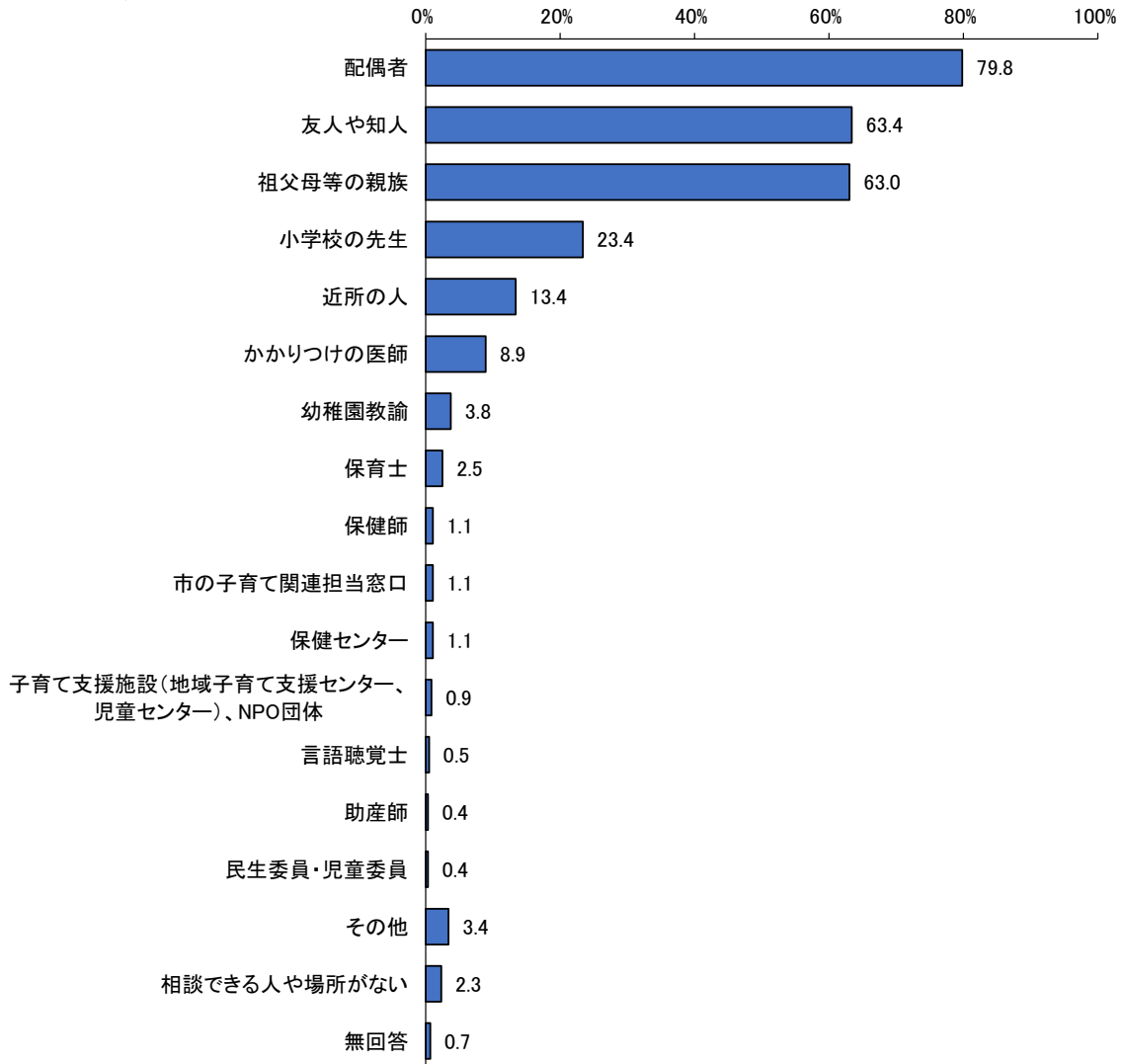


「子どものしつけ・生活習慣」が51.6%で最も多く、「子育てや教育にかかる費用」が32.7%、「子どもの成績や勉強」が32.5%で続いています。悩んだり不安に感じたり、困ったりすることが「特にない」は6.6%です。

問11 子育てをする上での相談先

あて名のお子さんの子育て（教育）をする上で、気軽に相談できる人や、相談できる場所はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

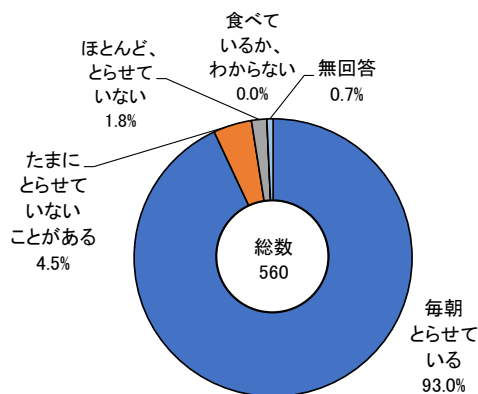
総数=560(複数回答)



「配偶者」が79.8%で最も多く、「友人や知人」が63.4%、「祖父母等の親族」が63.0%で続いています。「相談できる人や場所がない」は2.3%です。

問12 子どもの朝食の状況

ふだん、あて名のお子さんに朝食をとらせてから学校に行かせていますか。(〇は1つ)

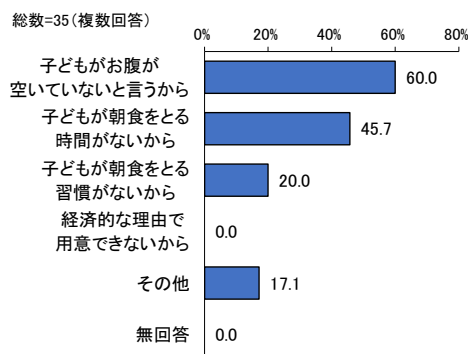


「毎朝とらせている」が93.0%を占めており、「たまにとらせていないことがある」は4.5%、「ほとんど、とらせていない」は1.8%です。

問12-1 朝食をとらせていない理由

問12で子どもに朝食をとらせていないことがあると回答した人に対する設問
あて名のお子さんに朝食をとらせていない理由をお答えください。

(あてはまるものすべてに〇)

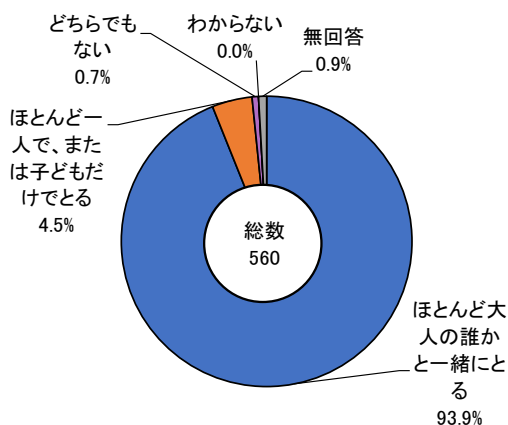


ふだん、子どもに朝食をとらせていないことがあると回答した人に対して、その理由を聞いたところ、「子どもが空腹が空いていないと言うから」が60.0%で最も多く、「子どもが朝食をとる時間がないから」が45.7%で続いています。

問13 子どもの夕食の状況

あて名のお子さんは、ふだん、夕食を大人の家族の誰かと一緒にとりますか。

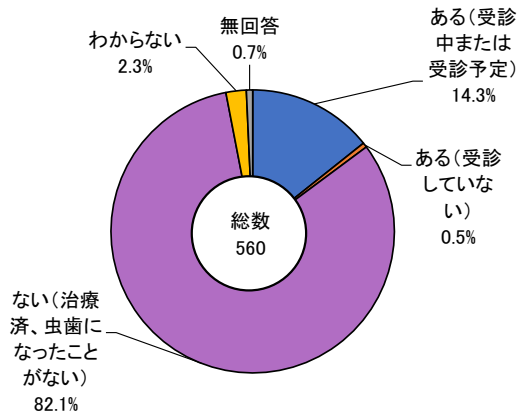
(〇は1つ)



「ほとんど大人の誰かと一緒にとる」が93.9%を占めており、「ほとんど一人で、または子どもだけでとる」は4.5%、「どちらでもない」は0.7%です。

問14 子どもの虫歯の状況

あて名のお子さんには、虫歯がありますか（ありましたか）。（〇は1つ）



「ない(治療済み、虫歯になったことがない)」が82.1%を占めており、「ある(受診中または受診予定)」が14.3%、「ある(受診していない)」が0.5%となっています。

○虫歯の状況（家庭の経済状況別）

		全体	ある(受診中または受診予定)	ある(受診していない)	ない(治療済み、虫歯になったことがない)	わからない	無回答
全体		560 100.0	80 14.3	3 0.5	460 82.1	13 2.3	4 0.7
経済状況	ゆとりあり	68 100.0	7 10.3	0 0.0	61 89.7	0 0.0	0 0.0
	普通	257 100.0	35 13.6	0 0.0	217 84.4	4 1.6	1 0.4
	苦しい	229 100.0	38 16.6	3 1.3	178 77.7	9 3.9	1 0.4
	わからない	3 100.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	2 66.7

※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

子どもの虫歯の状況を家庭の経済状況別にみると、経済状況にゆとりがあるという回答者では「ない(治療済み、虫歯になったことがない)」が89.7%であり、普通もしくは苦しいという回答者の割合を5ポイント以上上回っています。

2 放課後の過ごし方

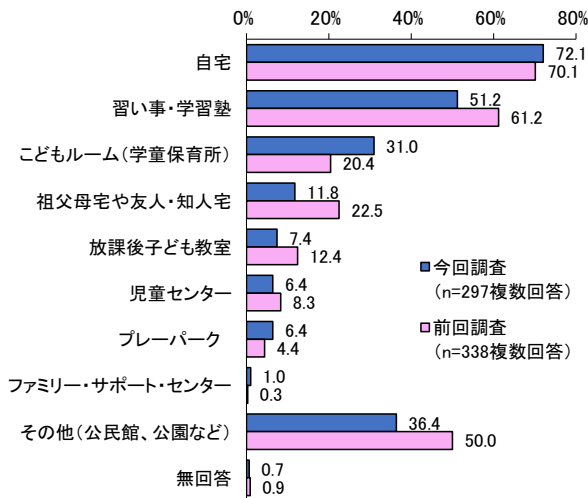
問 15 放課後に過ごさせたい場所(低学年)

小学1～3年生の児童の保護者に対する設問

あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○をつけて、□内に数字でご記入ください。）

① 過ごさせたい場所（低学年）



小学1～3年生の児童の保護者に対して、小学校低学年（1～3年生）の放課後に過ごさせたい場所を聞いたところ、「自宅」が72.1%で最も多く、「習い事・学習塾」が51.2%、「その他（公民館、公園など）」が36.4%で続いています。

前回調査では「自宅」が70.1%、「習い事・学習塾」が61.2%、「その他（公民館、公園など）」が50.0%となっています。

○ 過ごさせたい場所（母親の就労状況別）

	全体	自宅	友人・ 祖父母宅や 知人宅	習い事・ 学習塾	児童セ ンター	子 ども 放 課 後 教 室	こ ど も ル ー ム (学 童 保 育 所)	プ レ ー パ ー ク	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー	フ ァ ミ リ ー ・ サ ポ ー ト ・ セ ン タ ー (公 民 館 な ど)	そ の 他 (公 民 館 、 公 園 な ど)	無 回 答
全体	297 100.0	214 72.1	35 11.8	152 51.2	19 6.4	22 7.4	92 31.0	19 6.4	3 1.0	108 36.4	2 0.7	
母親 の 就 労 状 況	フルタイム	100 100.0	53 53.0	8 8.0	46 46.0	5 5.0	6 6.0	64 64.0	3 3.0	1 1.0	20 20.0	0 0.0
	パートタイム	116 100.0	87 75.0	16 13.8	59 50.9	9 7.8	13 11.2	23 19.8	11 9.5	2 1.7	51 44.0	1 0.9
	働いていない	72 100.0	68 94.4	10 13.9	42 58.3	5 6.9	3 4.2	3 4.2	5 6.9	0 0.0	35 48.6	0 0.0
	無回答	9 100.0	6 66.7	1 11.1	5 55.6	0 0.0	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1

※母親の就労状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

小学校低学年（1～3年生）の放課後に過ごさせたい場所を母親の就労状況別にみると、母親がフルタイム就労の場合は「こどもルーム（学童保育所）」が64.0%となっており、回答者全体の割合を33ポイント上回っています。一方、「自宅」(53.0%)、「その他（公民館、公園など）」(20.0%)は、回答者全体の割合を15ポイント以上下回っています。

母親が働いていない場合は、「自宅」(94.4%)、「習い事・学習塾」(58.3%)、「その他（公民館、公園など）」(48.6%)の割合が高く、回答者全体の割合を7ポイント以上上回っています。

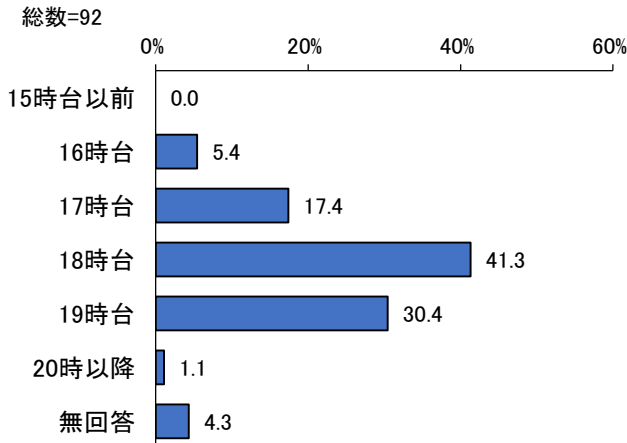
②週間利用日数（過ごさせたい場所別）【低学年】

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	214 100.0	32 15.0	54 25.2	31 14.5	30 14.0	43 20.1	1 0.5	11 5.1	12 5.6
祖父母宅や 友人・知人宅	35 100.0	16 45.7	13 37.1	2 5.7	0 0.0	1 2.9	0 0.0	0 0.0	3 8.6
習い事・学習塾	152 100.0	46 30.3	61 40.1	32 21.1	7 4.6	1 0.7	0 0.0	0 0.0	5 3.3
児童センター	19 100.0	6 31.6	3 15.8	2 10.5	1 5.3	2 10.5	0 0.0	0 0.0	5 26.3
放課後子ども教室	22 100.0	13 59.1	1 4.5	3 13.6	0 0.0	3 13.6	0 0.0	0 0.0	2 9.1
こどもルーム (学童保育所)	92 100.0	3 3.3	2 2.2	20 21.7	16 17.4	45 48.9	0 0.0	0 0.0	6 6.5
プレーパーク	19 100.0	9 47.4	5 26.3	2 10.5	0 0.0	1 5.3	0 0.0	0 0.0	2 10.5
ファミリー・サポート・ センター	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7
その他 (公民館、公園など)	108 100.0	31 28.7	28 25.9	26 24.1	12 11.1	7 6.5	0 0.0	0 0.0	4 3.7

※「自宅」「習い事・学習塾」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもルーム（学童保育所）」
「その他（公民館、公園など）」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

過ごさせたい場所別に週間利用日数をみると、最も多いのは自宅で「2日」(25.2%)、祖父母宅や友人・知人宅で「1日」(45.7%)、習い事・学習塾で「2日」(40.1%)、こどもルーム（学童保育所）で「5日」(48.9%)、その他（公民館、公園など）で「1日」(28.7%)となっています。

●こどもルームの利用時間（下校時から）



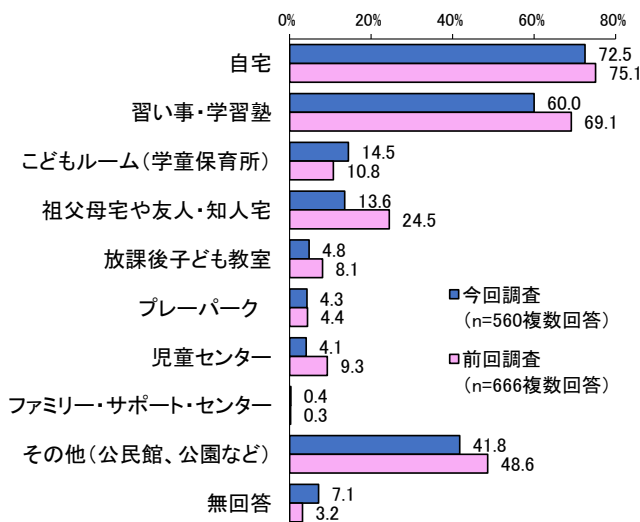
こどもルーム（学童保育所）の下校時からの利用時間は「18時台」が41.3%で最も多く、「19時台」が30.4%が続いています。

問 16 放課後に過ごさせたい場所(高学年)

あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。

（あてはまるものすべてに○をつけて、[]内に数字でご記入ください。）

① 過ごさせたい場所（高学年）



小学校高学年（4～6年生）の放課後に過ごさせたい場所を聞いたところ、「自宅」が72.5%で最も多く、「習い事・学習塾」が60.0%、「その他（公民館、公園など）」が41.8%で続いています。

前回調査では「自宅」が75.1%、「習い事・学習塾」が69.1%、「その他（公民館、公園など）」が48.6%となっており、今回調査の「習い事・学習塾」は前回調査を約9ポイント上回っています。

○ 過ごさせたい場所（母親の就労状況別）

		全体	自宅	友人・祖父母宅や知人宅	習い事・学習塾	児童センター	放課後子ども教室	こどもルーム(学童保育所)	プレーパーク	ファミリー・サポート・センター	その他(公民館、公園など)	無回答
全体		560 100.0	406 72.5	76 13.6	336 60.0	23 4.1	27 4.8	81 14.5	24 4.3	2 0.4	234 41.8	40 7.1
母親の就労状況	フルタイム	180 100.0	128 71.1	18 10.0	109 60.6	4 2.2	5 2.8	61 33.9	0 0.0	1 0.6	49 27.2	6 3.3
	パートタイム	239 100.0	172 72.0	41 17.2	141 59.0	13 5.4	14 5.9	17 7.1	18 7.5	1 0.4	121 50.6	17 7.1
	働いていない	123 100.0	96 78.0	15 12.2	78 63.4	6 4.9	8 6.5	3 2.4	5 4.1	0 0.0	61 49.6	10 8.1
	無回答	18 100.0	10 55.6	2 11.1	8 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 5.6	0 0.0	3 16.7	7 38.9

※母親の就労状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

小学校高学年（4～6年生）の放課後に過ごさせたい場所を母親の就労状況別にみると、母親がフルタイム就労の場合は「こどもルーム（学童保育所）」が33.9%となっており、回答者全体の割合を約19ポイント上回っています。一方、「その他（公民館、公園など）」(27.2%)は、回答者全体の割合を約15ポイント下回っています。

母親が働いていない場合は、「自宅」、「その他（公民館、公園など）」の割合が高く、回答者全体の割合を5ポイント以上上回っています。

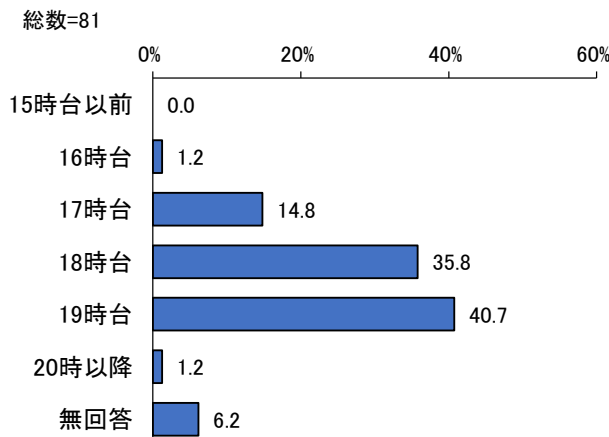
②週間利用日数（過ごさせたい場所別）【高学年】

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	無回答
自宅	406 100.0	57 14.0	104 25.6	71 17.5	35 8.6	86 21.2	4 1.0	19 4.7	30 7.4
祖父母宅や友人・知人宅	76 100.0	34 44.7	28 36.8	3 3.9	2 2.6	3 3.9	1 1.3	0 0.0	5 6.6
習い事・学習塾	336 100.0	69 20.5	157 46.7	74 22.0	13 3.9	6 1.8	1 0.3	0 0.0	16 4.8
児童センター	23 100.0	13 56.5	2 8.7	3 13.0	0 0.0	3 13.0	0 0.0	0 0.0	2 8.7
放課後子ども教室	27 100.0	16 59.3	4 14.8	2 7.4	1 3.7	3 11.1	0 0.0	0 0.0	1 3.7
こどもルーム（学童保育所）	81 100.0	4 4.9	11 13.6	15 18.5	9 11.1	37 45.7	1 1.2	0 0.0	4 4.9
プレーパーク	24 100.0	12 50.0	7 29.2	3 12.5	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 8.3
ファミリー・サポート・センター	2 100.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他（公民館、公園など）	234 100.0	51 21.8	71 30.3	56 23.9	15 6.4	23 9.8	0 0.0	1 0.4	17 7.3

※「自宅」「習い事・学習塾」「祖父母宅や友人・知人宅」「こどもルーム（学童保育所）」
「その他（公民館、公園など）」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

過ごさせたい場所別に週間利用日数をみると、最も多いのは自宅で「2日」（25.6%）、祖父母宅や友人・知人宅で「1日」（44.7%）、習い事・学習塾で「2日」（46.7%）、こどもルーム（学童保育所）で「5日」（45.7%）、その他（公民館、公園など）で「2日」（30.3%）となっています。

●こどもルームの利用時間（下校時から）



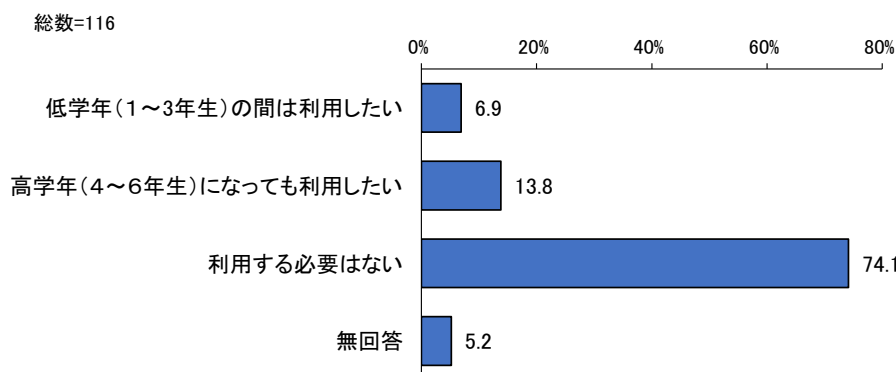
こどもルーム（学童保育所）の下校時からの利用時間は「19時台」が40.7%で最も多く、「18時台」が35.8%が続いています。

問17 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇期間中のこどもルームの利用希望

問15または問16で「こどもルーム（学童保育所）」を選択した人に対する設問
 あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期
 休暇期間中に、こどもルーム（学童保育所）の利用希望はありますか。なお、これらの事業
 の利用には、一定の利用料が発生します。（〇は1つ）

①土曜日

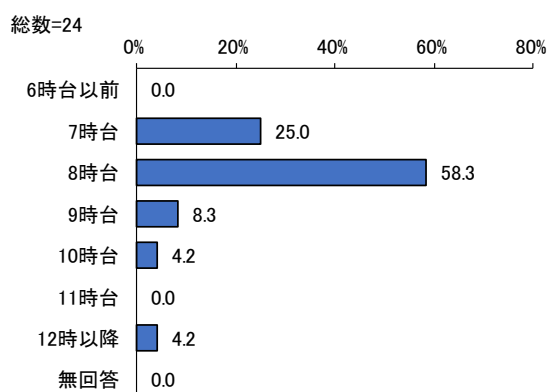
(1) 利用意向



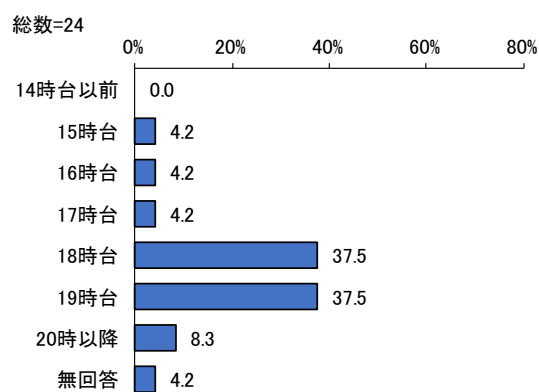
放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、土曜日の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が6.9%、「高学年になっても利用したい」が13.8%であり、「利用する必要はない」は74.1%です。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は20.7%となっています。

(2) 利用したい時間帯（開始時間）



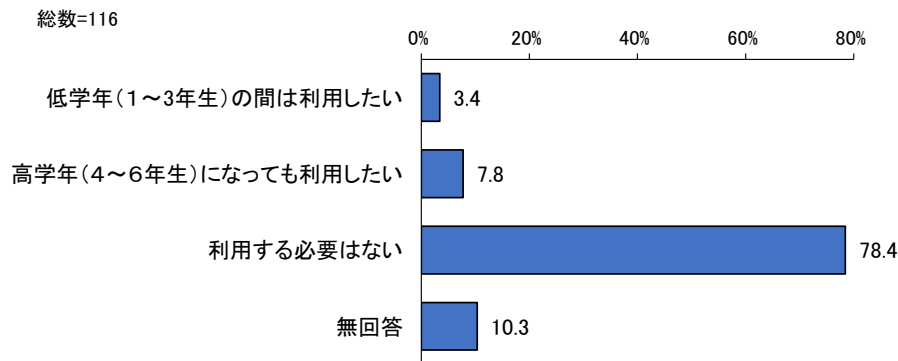
(3) 利用したい時間帯（終了時間）



土曜日にこどもルームを“利用したい”と回答した人は24人であり、希望する利用開始時間は「8時台」が58.3%（14人）で最も多くなっています。また、利用終了時間は「18時台」「19時台」がいずれも37.5%（9人）で最も多くなっています。

②日曜・祝日

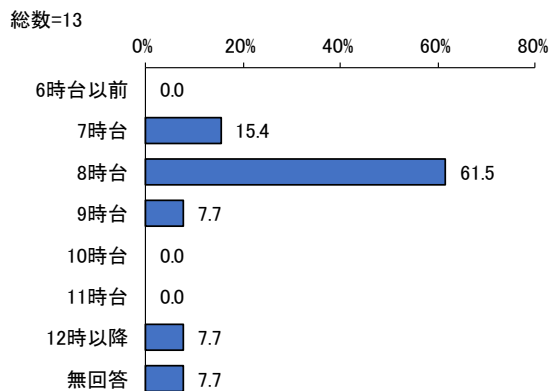
(1) 利用意向



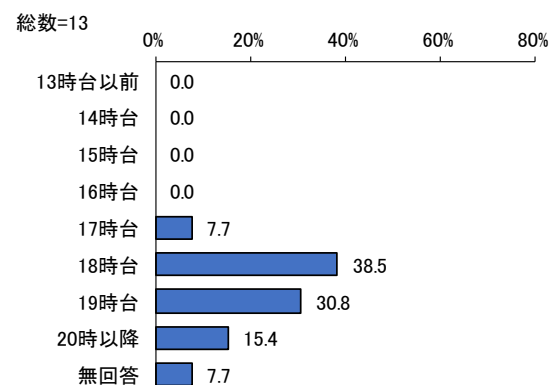
放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、日曜・祝日の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が3.4%、「高学年になっても利用したい」が7.8%であり、「利用する必要はない」は78.4%を占めています。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は11.2%となっています。

(2) 利用したい時間帯(開始時間)



(3) 利用したい時間帯(終了時間)

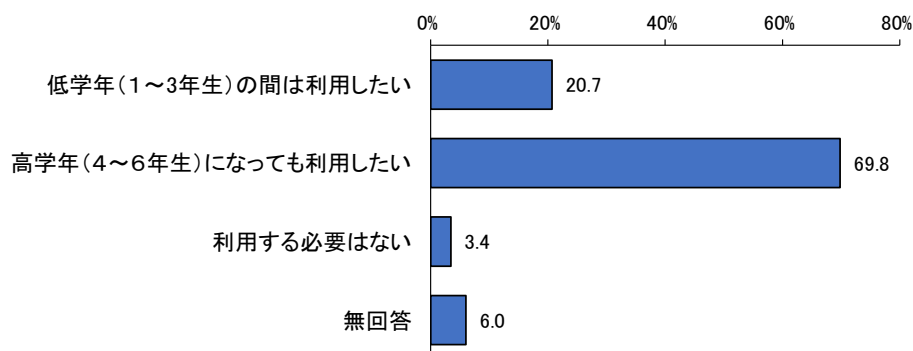


日曜・祝日にこどもルームを“利用したい”と回答した人は13人であり、希望する利用開始時間は「8時台」が61.5%（8人）、利用終了時間は「18時台」が38.5%（5人）です。

③夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

(1) 利用意向

総数=116

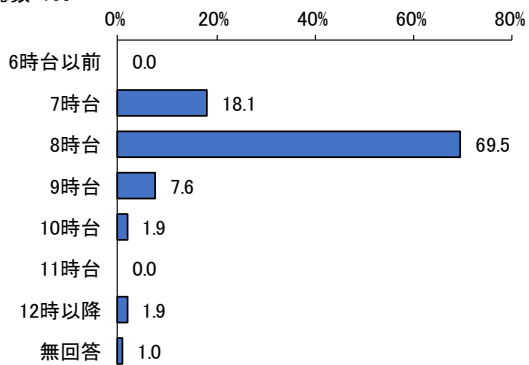


放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択した人に対して、夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中の利用希望を聞いたところ、「低学年の間は利用したい」が20.7%、「高学年になっても利用したい」が69.8%であり、「利用する必要はない」は3.4%です。

“利用したい”（「低学年の間は利用したい」「高学年になっても利用したい」の合計）は90.5%となっています。

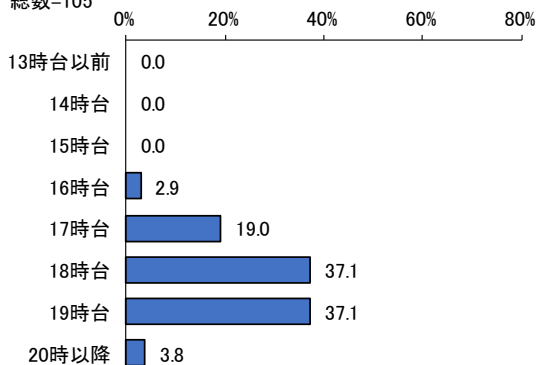
(2) 利用したい時間帯(開始時間)

総数=105



(3) 利用したい時間帯(終了時間)

総数=105



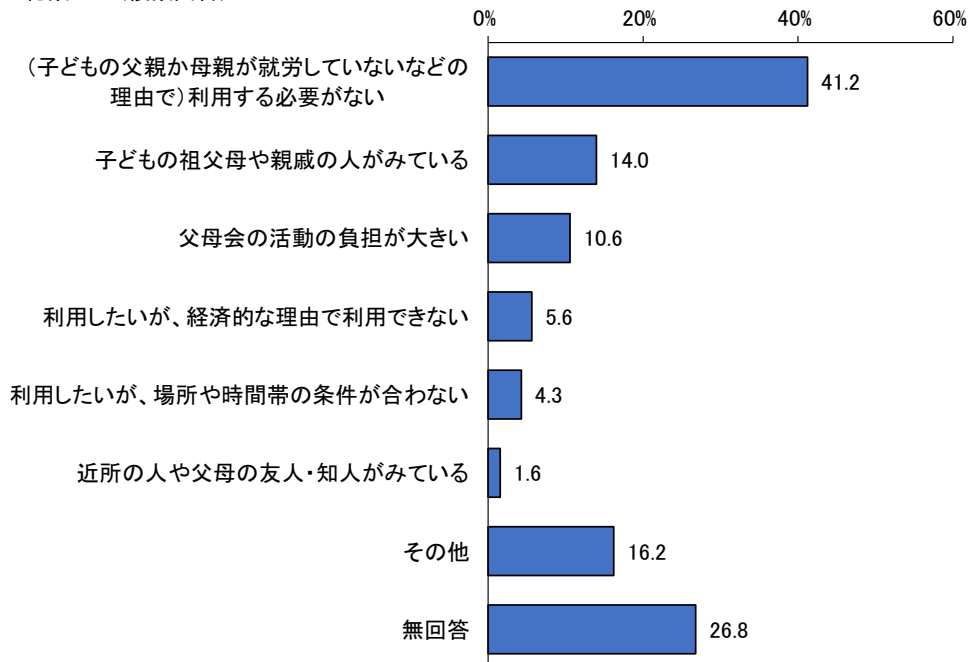
夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中にこどもルームを“利用したい”と回答した人は105人であり、希望する利用開始時間は、「8時台」が69.5% (73人) で最も多くなっています。また、利用終了時間は「18時台」「19時台」がそれぞれ37.1% (39人) で最も多くなっています。

問 18 こどもルームの利用を希望しない理由

放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム（学童保育所）」を選択していない人に対する設問

「こどもルーム（学童保育所）」の利用を希望しない理由をお答えください。
（あてはまるものすべてに○）

総数=444(複数回答)

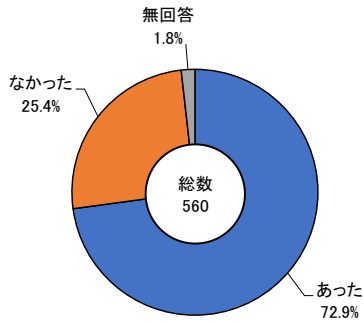


放課後に過ごさせたい場所として「こどもルーム」を選択しなかった人に対して、利用を希望しない理由を聞いたところ、「(子どもの父親か母親が就労していないなどの理由で)必要がない」が41.2%で最も多く、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が14.0%、「父母会の活動の負担が大きい」が10.6%で続いています。

3 子どもの病気の際の対応

問 19 病気・ケガにより学校やこどもルーム（学童保育所）を休んだことの有無

この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、学校やこどもルーム（学童保育所）を休まなければならなかったことはありましたか。（○は1つ）

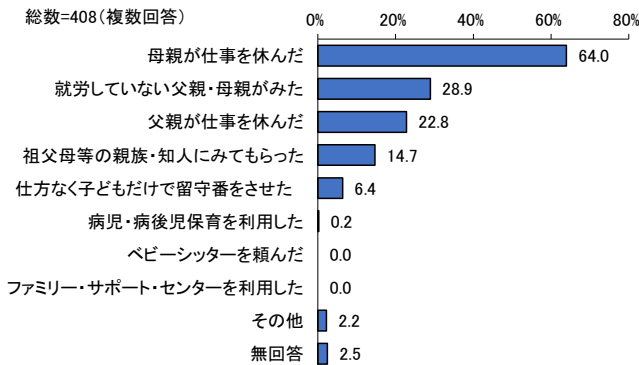


「あった」が 72.9%を占めており、「なかった」は 25.4%となっています。

問 19-1 対処方法

問 19 で学校やこどもルーム（学童保育所）が利用できなかったことがあったと回答した人に対する設問

この1年間、あて名のお子さんが病気やケガで学校やこどもルーム（学童保育所）を休まなければならなかったときの対処方法をお答えください。（あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。）



この1年間に、病気やケガで学校やこどもルーム（学童保育所）を利用できなかったことがあったと回答した人に対して、その際の対処方法を聞いたところ、「母親が仕事を休んだ」が 64.0%で最も多く、「就労していない父親・母親がみた」が 28.9%、「父親が仕事を休んだ」が 22.8%で続いています。

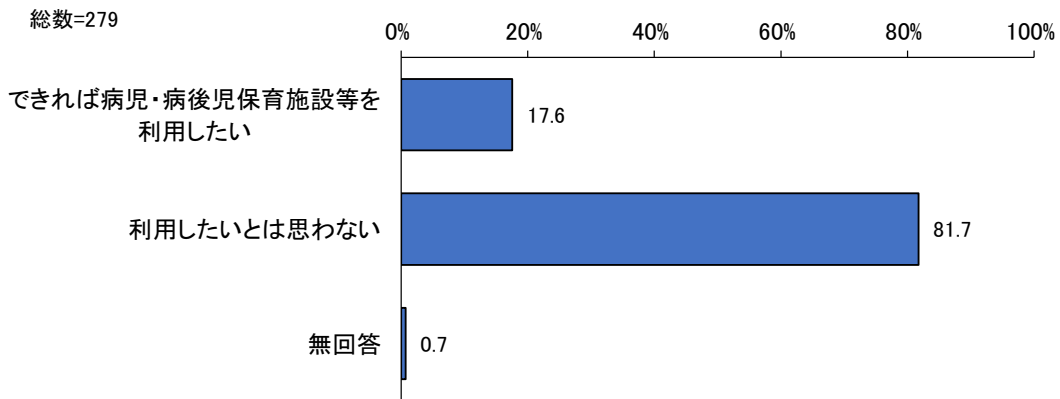
○年間対処日数（対処方法別）

	全体	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	11日	12日	13日	14日	15日以上	無回答
父親が仕事を休んだ	93 100.0	25 26.9	25 26.9	18 19.4	2 2.2	10 10.8	1 1.1	3 3.2	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	0 0.0	1 1.1	0 0.0	1 1.1	7 7.5
母親が仕事を休んだ	261 100.0	26 10.0	43 16.5	48 18.4	8 3.1	41 15.7	4 1.5	15 5.7	1 0.4	1 0.4	34 13.0	2 0.8	6 2.3	5 1.9	27 10.3		
就労していない父親・母親がみた	118 100.0	10 8.5	8 6.8	10 8.5	5 4.2	22 18.6	4 3.4	19 16.1	1 0.8	1 0.0	11 9.3	1 0.8	10 8.5	2 1.7	15 12.7		
祖父母等の親族・知人にみてもらった	60 100.0	9 15.0	16 26.7	11 18.3	2 3.3	4 6.7	0 0.0	4 6.7	1 1.7	0 0.0	3 5.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 16.7	
病児・病後児保育※を利用した	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	26 100.0	10 38.5	6 23.1	5 19.2	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 3.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 11.5	
その他	9 100.0	2 22.2	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	1 11.1	

※「父親が仕事を休んだ」「母親が仕事を休んだ」「就労していない父親・母親がみた」「祖父母等の親族・知人にみてもらった」の日数で最も多い割合に網掛けをしています。

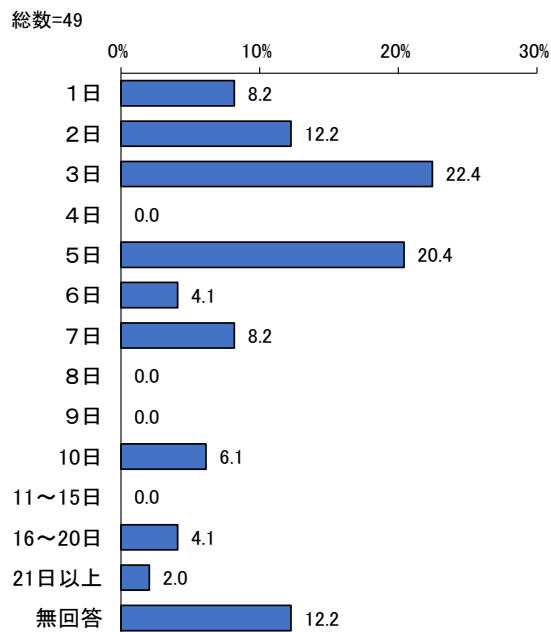
問 19-2 病児・病後児保育施設等の利用意向

問 19-1 で父親または母親が仕事を休んだと回答した人に対する設問
 その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが。利用したいと思った場合は、おおよその利用日数を□内に数字でご記入ください。(○は1つ)



この1年間に、病気やケガで学校やこどもルーム（学童保育所）を利用できなかったことがあり、父親または母親が仕事を休んで対処したと回答した人に対して、その際に病児・病後児のための保育施設を利用したかどうかを聞いたところ、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が17.6%、「利用したいとは思わない」が81.7%となっています。

【利用希望日数】



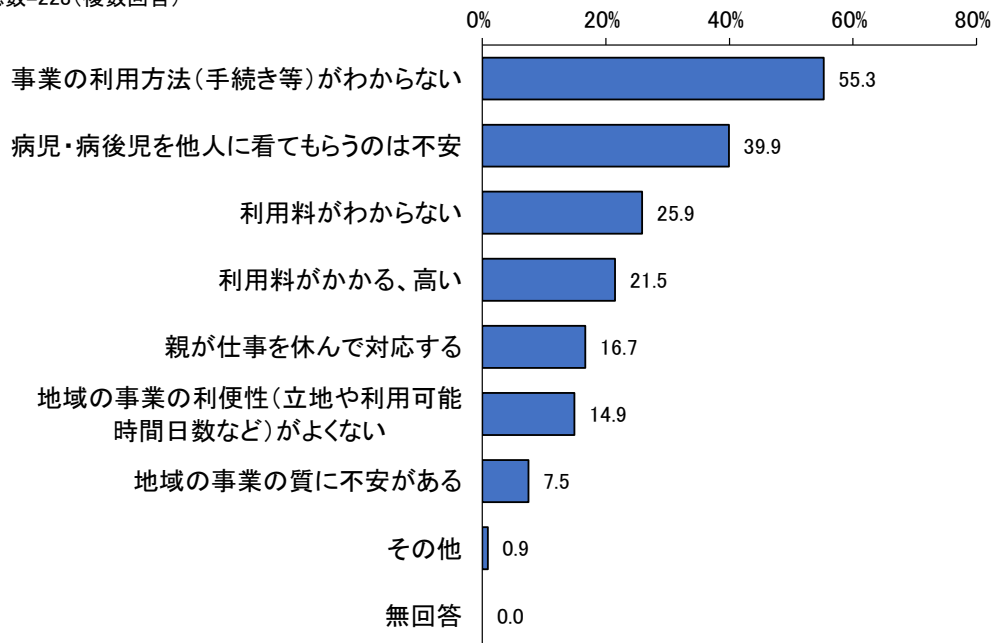
病児・病後児のための保育施設を利用したかったと回答した人の利用希望日数については、「3日」が22.4%で最も多く、「5日」が20.4%が続いています。

問 19-3 病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わない理由

問 19-2 で病児・病後児のための保育施設等を利用したいとは思わないと回答した人に対する設問

利用したいとは思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

総数=228(複数回答)



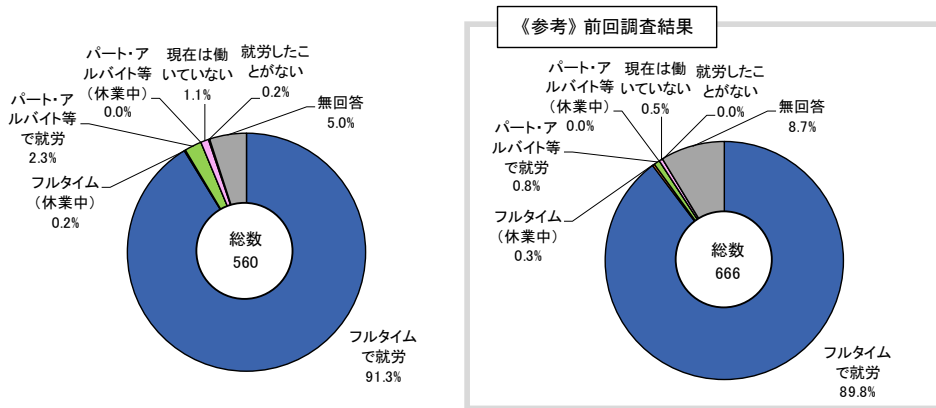
病児・病後児のための保育施設を利用したいとは思わないと回答した人に対して、その理由を聞いたところ、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」が55.3%で最も多く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が39.9%、「利用料がわからない」が25.9%が続いています。

4 保護者の就労状況

問20 父親・母親の就労状況

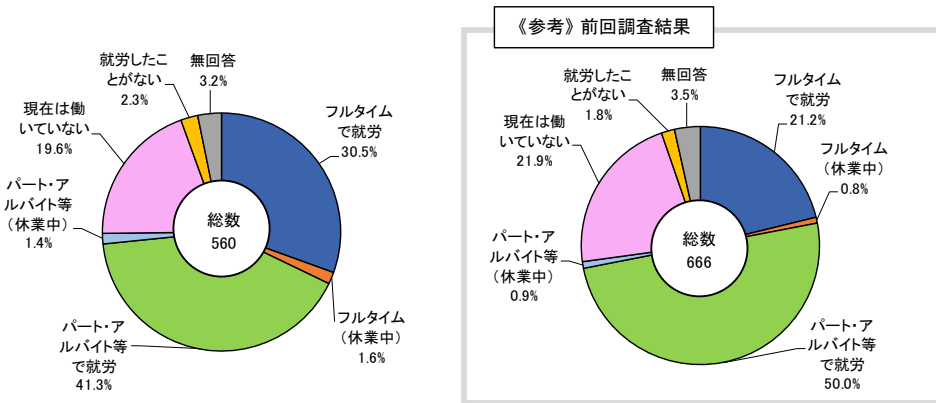
あて名のお子さんの保護者の就労状況（自営業、家族従業者含む）をうかがいます。
 (〇は1つ)

①父親



「フルタイムで就労」が91.3%を占めており、このほかの回答はいずれも1割に達していません。前回調査でも「フルタイムで就労」が89.8%となっています。

②母親



「パート・アルバイト等で就労」が41.3%で最も多く、「フルタイムで就労」が30.5%、「現在は働いていない」が19.6%が続いています。前回調査では「パート・アルバイト等で就労」が50.0%で、今回調査の「パート・アルバイト等で就労」は前回調査を約9ポイント上回っています。

- ・フルタイムで就労：「フルタイムで就労しており、(産休)・育休・介護休業中ではない」
- ・フルタイム(休業中)：「フルタイムで就労していたが、(産休)・育休・介護休業中である」
- ・パート・アルバイト等で就労：「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、(産休)・育休・介護休業中ではない」
- ・パート・アルバイト等(休業中)：「パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、(産休)・育休・介護休業中である」
- ・現在は働いていない：「以前は就労していたが、現在は働いていない」
- ・就労したことがない：「これまでに就労したことがない」

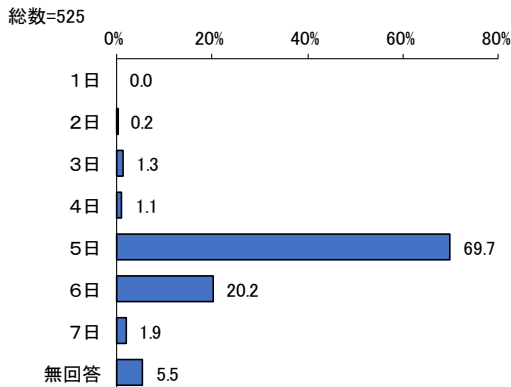
問 20-1 1 週あたりの就労日数、1 日あたりの勤務時間

問 20 で就労していると回答した人に対する設問

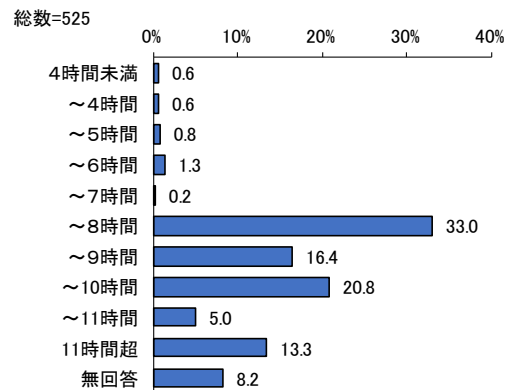
「1 週あたりの就労日数」と「1 日あたりの勤務時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や勤務時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
（□内に数字でご記入ください）

①父親

(1)1 週あたりの就労日数



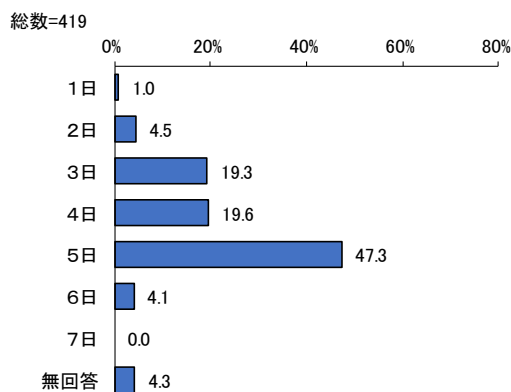
(2)1 日あたりの勤務時間



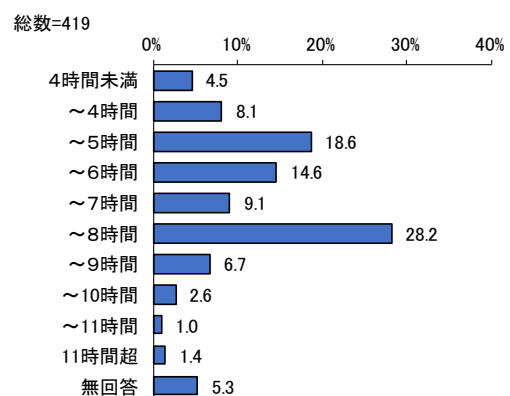
現在就労していると回答した父親に対して、1 週あたりの就労日数と1 日あたりの勤務時間を聞いたところ、就労日数は「5 日」が 69.7%で最も多く、「6 日」が 20.2%で続いています。勤務時間は「~8 時間」が 33.0%で最も多く、「~10 時間」が 20.8%、「~9 時間」が 16.4%で続いています。

②母親

(1)1 週あたりの就労日数



(2)1 日あたりの勤務時間



現在就労していると回答した母親に対して、1 週あたりの就労日数と1 日あたりの勤務時間を聞いたところ、就労日数は「5 日」が 47.3%で最も多く、「4 日」が 19.6%、「3 日」が 19.3%で続いています。勤務時間は「~8 時間」が 28.2%で最も多く、「~5 時間」が 18.6%、「~6 時間」が 14.6%で続いています。

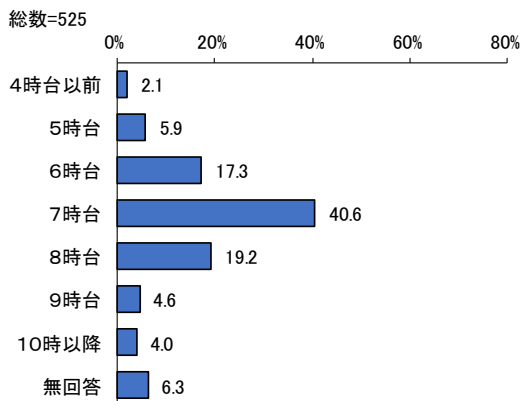
問 20-2 家を出る時刻、帰宅する時刻

問 20 で就労していると回答した人に対する設問

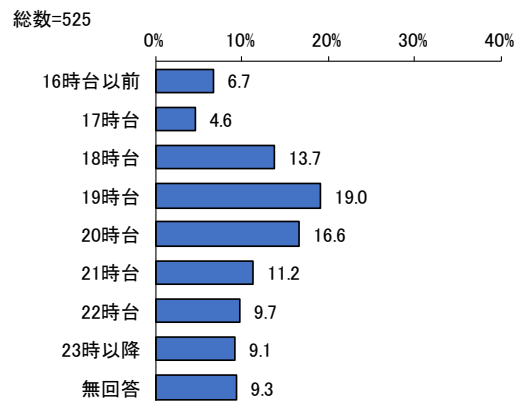
「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字でご記入ください。時刻は24時間制でご記入ください(例・18時))

①父親

(1)家を出る時刻



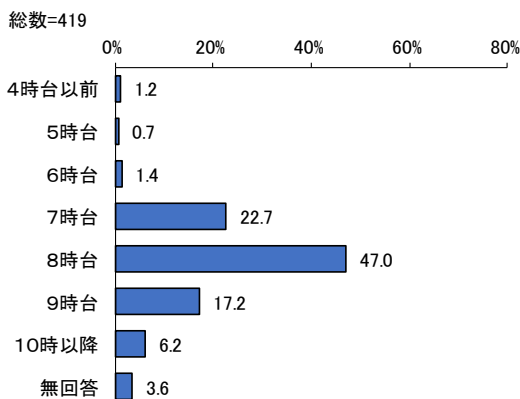
(2)帰宅時刻



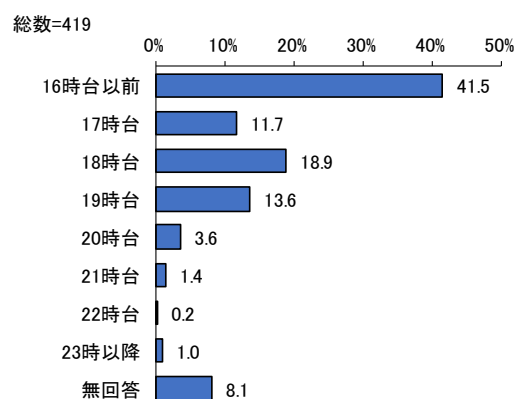
現在就労していると回答した父親に対して、家を出る時刻と帰宅時刻を聞いたところ、家を出る時刻は「7時台」が40.6%で最も多く、「8時台」が19.2%、「6時台」が17.3%が続いています。帰宅時刻については、「19時台」が19.0%、「20時台」が16.6%でともに多く、「18時台」が13.7%が続いています。

②母親

(1)家を出る時刻



(2)帰宅時刻



現在就労していると回答した母親に対して、家を出る時刻と帰宅時刻を聞いたところ、家を出る時刻は「8時台」が47.0%で最も多く、「7時台」が22.7%、「9時台」が17.2%が続いています。帰宅時刻については、「16時台以前」が41.5%で最も多く、「18時台」が18.9%、「19時台」が13.6%が続いています。

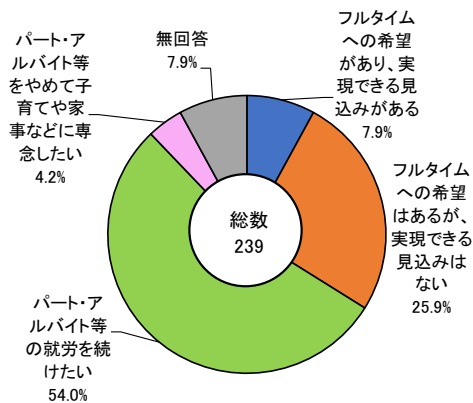
問 20-3 パート・アルバイト等で就労している人のフルタイムへの転換希望

問 20 でパート・アルバイト等で就労していると回答した人に対する設問
フルタイムへの転換希望はありますか。(○は1つ)

①父親

パート・アルバイト等で就労していると回答した父親に対して、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、回答者 13 人のうち 8 人が「パート・アルバイト等の就労を続けたい」と回答しています。

②母親



パート・アルバイト等で就労していると回答した母親に対して、フルタイムへの転換希望を聞いたところ、「パート・アルバイト等の就労を続けたい」が 54.0%で最も多く、「フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない」が 25.9%、「フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある」が 7.9%で続いています。

問 20-4 就労していない、就労したことがない人の今後の就労希望

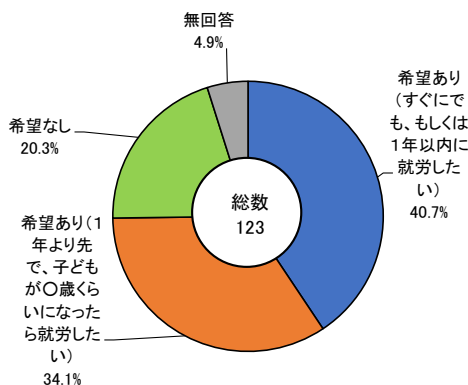
問 20 で就労していない、就労したことがないと回答した人に対する設問
今後の就労についての希望をお聞かせください。

(1～3のうち○は1つ、□内に数字でご記入ください)

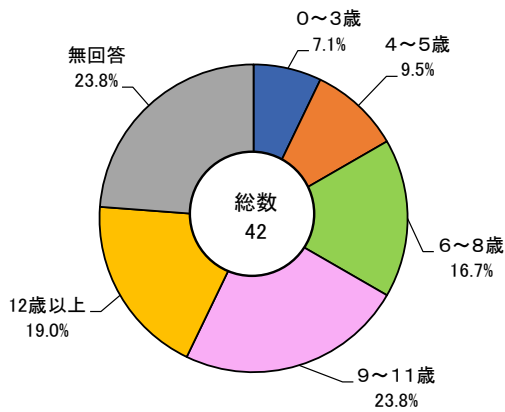
①父親

現在就労していないと回答した父親に対して、今後の就労希望を聞いたところ、回答者 7 人のうち 2 人が「希望あり（すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい）」と回答しています。就労形態は「フルタイム」「パートタイム、アルバイト等」がいずれも 1 人となっています。

②母親



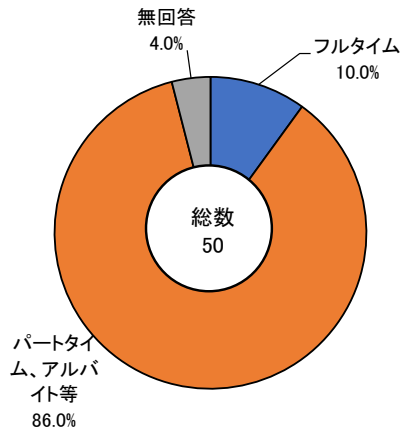
現在就労していないと回答した母親に対して、今後の就労希望を聞いたところ、「希望あり（すぐにも、もしくは 1 年以内に就労したい）」が 40.7%で最も多く、「希望あり（1 年より先で、子どもが 0 歳くらいになったら就労したい）」が 34.1%、「希望なし」が 20.3%で続いています。



子どもが大きくなってから就労したいと回答した母親が希望する子どもの年齢は、「9~11歳」が23.8%で最も多く、「12歳以上」が19.0%、「6~8歳」が16.7%が続いています。

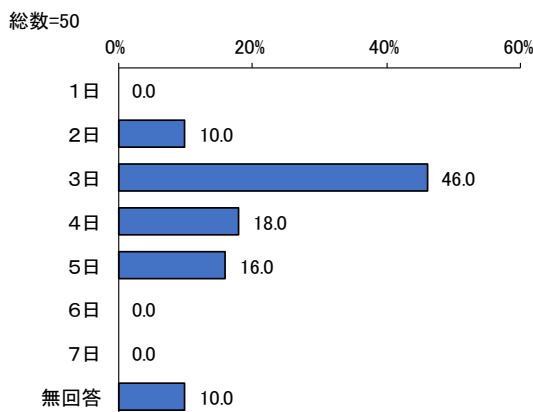
(1) 1年以内に就労したい母親

●就労形態

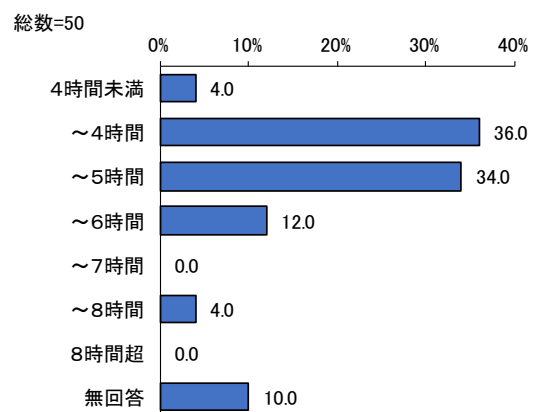


すぐにでも、もしくは1年以内に就労したいと回答した母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が86.0%を占めており、「フルタイム」は10.0%です。

●就労日数(1週あたり)



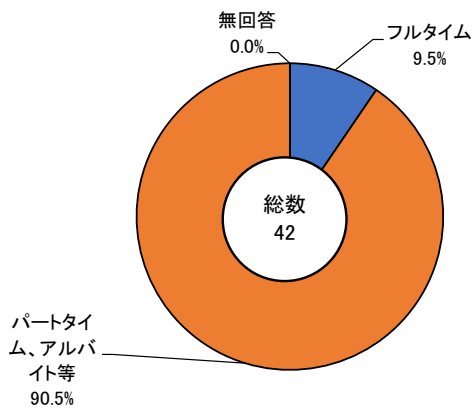
●就労時間数(1日あたり)



パートタイム、アルバイト等の場合の就労日数は「3日」が46.0%、「4日」が18.0%であり、就労時間数は「~4時間」が36.0%となっています。

(2) 1年より先で就労したい母親

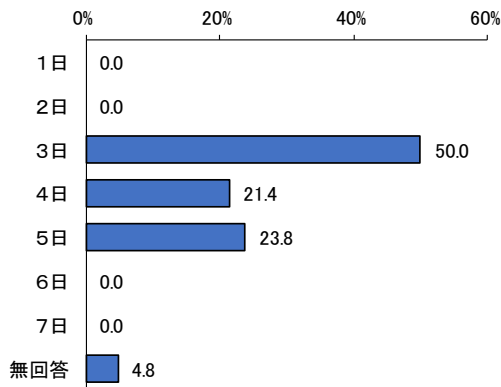
●就労形態



すぐにも、もしくは1年以内に就労したいと回答した母親が希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等」が90.5%を占めており、「フルタイム」は9.5%です。

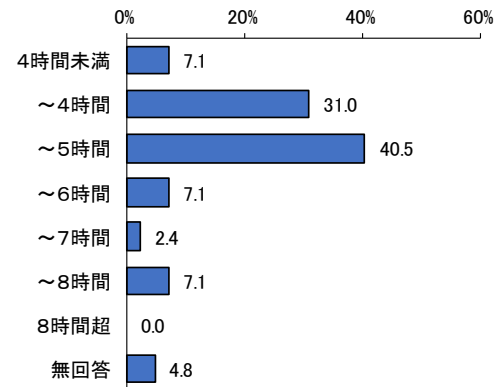
●就労日数(1週あたり)

総数=42



●就労時間数(1日あたり)

総数=42

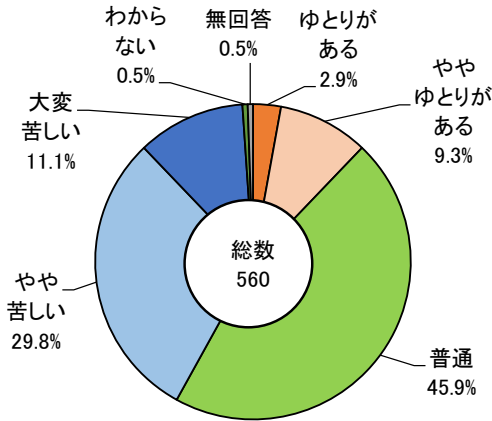


パートタイム、アルバイト等の場合の就労日数は「3日」が50.0%、「5日」が23.8%であり、就労時間数は「~5時間」が40.5%となっています。

5 家庭の経済状況等

問 21 家庭の主観的経済状況

現在の家計の状況を総合的にみて、どう感じますか。(〇は1つ)



“ゆとりあり”（「ゆとりがある」「ややゆとりがある」の合計）が12.2%、「普通」が45.9%、“苦しい”（「やや苦しい」「大変苦しい」の合計）が40.9%となっています。

○家庭の主観的経済状況（家庭形態別）

		全体	ゆとりがある	ややゆとりがある	普通	やや苦しい	大変苦しい	わからない	無回答	ゆとりあり	普通	苦しい
全体		560	16	52	257	167	62	3	3	68	257	229
		100.0	2.9	9.3	45.9	29.8	11.1	0.5	0.5	12.1	45.9	40.9
ひとり親家庭	ひとり親家庭	33	1	1	8	12	11	0	0	2	8	23
		100.0	3.0	3.0	24.2	36.4	33.3	0.0	0.0	6.1	24.2	69.7
	ひとり親家庭ではない	522	15	50	248	155	50	3	1	65	248	205
		100.0	2.9	9.6	47.5	29.7	9.6	0.6	0.2	12.5	47.5	39.3
	無回答	5	0	1	1	0	1	0	2	1	1	1
		100.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	40.0	20.0	20.0	20.0

※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

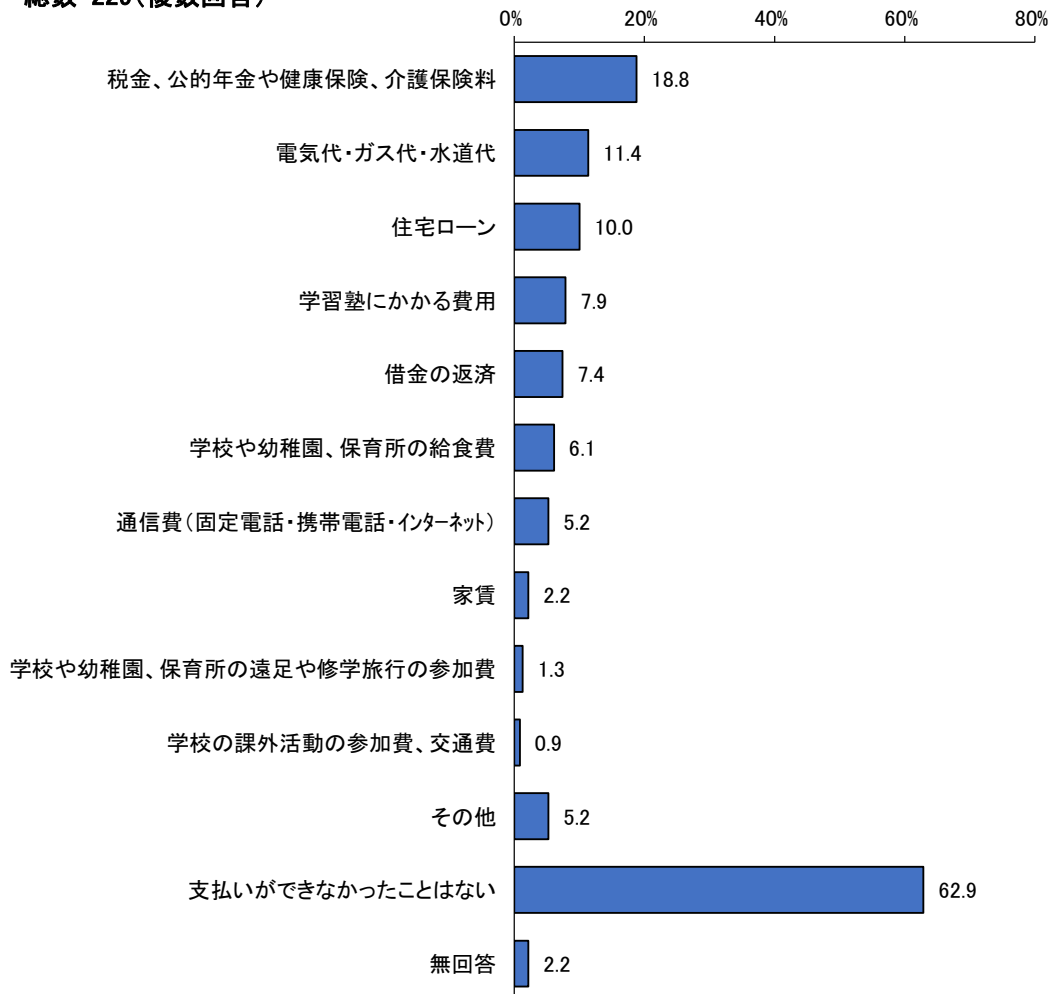
家庭の主観的経済状況を家庭形態別にみると、ひとり親家庭の“苦しい”の割合は69.7%を占めており、ひとり親家庭ではない回答者を約30ポイント上回っています。

問 21-1 経済的理由から支払いができなかった経験

問 21 で経済状況が苦しいと回答した人に対する設問

次の費用のうち、この1年間に経済的理由のために支払いができなかったものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

総数=229(複数回答)

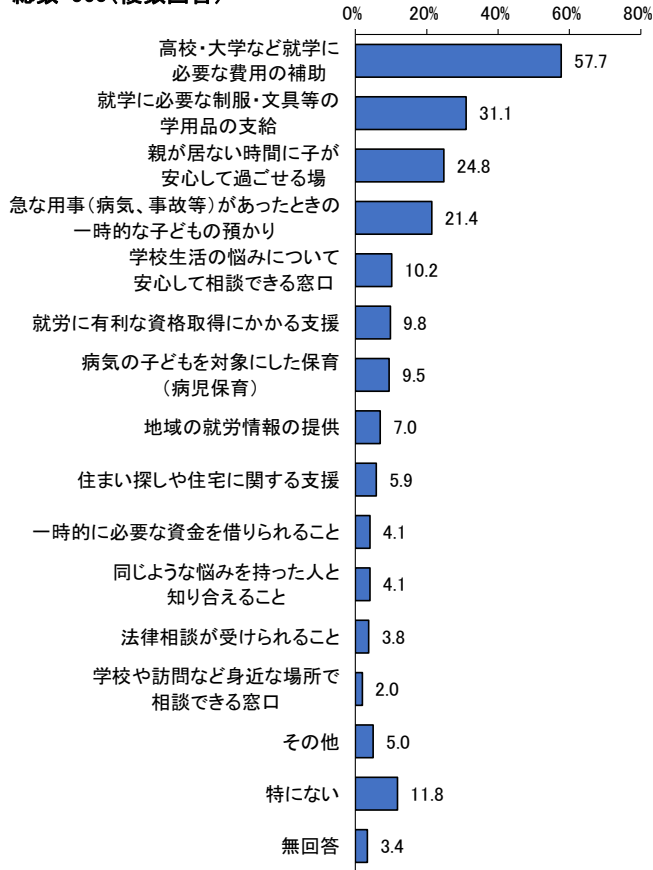


家計の状況が“苦しい”と回答した人に対して、この1年間に経済的理由で支払いができなかったものについて聞いたところ、支払いができなかったものとして「税金、公的年金や健康保険、介護保険料」が18.8%で最も多く、「電気代・ガス代・水道代」が11.4%、「住宅ローン」が10.0%、「学習塾にかかる費用」が7.9%が続いています。「支払いができなかったことはない」は62.9%となっています。

問22 特に必要としている公的な支援

あなたが現在、特に必要としている支援として、どのようなことがありますか。
(〇は3つまで)

総数=560(複数回答)



「高校・大学など就学に必要な費用の援助」が57.7%で最も多く、「就学に必要な制服・文具等の学用品の支給」が31.1%、「親が居ない時間に子が安心して過ごせる場」が24.8%で続いています。

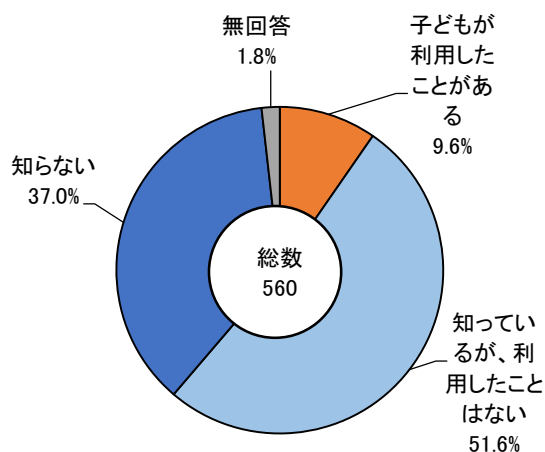
〇特に必要としている公的な支援（家庭の経済状況別、家庭形態別）

	全体	地域の就労情報の提供	就労に有利な資格取得	高校・大学など就学に必要な費用の補助	文書等に必要な学用品の支給	就学に必要な制服・文具等の学用品の支給	一時的に必要な資金を借りられること	住まい探しや住宅に関する支援	学校生活の悩みについて安心して相談できる窓口	学校や訪問など身近な場所や相談できる窓口	法律相談が受けられること	同じような悩みを持った人と知り合えること	親が居ない時間に子が安心して過ごせる場	急な用事(病気、事故等)があったときの預かり	病気の子どもを対象にした保育(病児保育)	その他	特にない	無回答
全体	560	39	55	323	174	23	33	57	11	21	23	4.1	139	120	53	28	66	19
	100.0	7.0	9.8	57.7	31.1	4.1	5.9	10.2	2.0	3.8	4.1	24.8	21.4	9.5	5.0	11.8	3.4	
経済状況	ゆとりあり	68	2	7	32	16	3	0	9	2	3	3	19	19	8	3	14	2
		100.0	2.9	10.3	47.1	23.5	4.4	0.0	13.2	2.9	4.4	4.4	27.9	27.9	11.8	4.4	20.6	2.9
	普通	257	17	23	139	60	2	10	32	5	12	14	66	50	22	9	34	11
		100.0	6.6	8.9	54.1	23.3	0.8	3.9	12.5	1.9	4.7	5.4	25.7	19.5	8.6	3.5	13.2	4.3
	苦しい	229	18	25	151	97	18	23	16	4	6	6	6	53	51	23	16	18
	100.0	7.9	10.9	65.9	42.4	7.9	10.0	7.0	1.7	2.6	2.6	2.6	23.1	22.3	10.0	7.0	7.9	1.3
	3	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	100.0	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
ひとり親家庭	ひとり親家庭	33	5	3	19	21	1	9	1	0	0	0	0	4	1	1	3	1
		100.0	15.2	9.1	57.6	63.6	3.0	27.3	3.0	0.0	0.0	0.0	3.0	12.1	3.0	3.0	9.1	3.0
	ひとり親家庭ではない	522	34	51	303	153	21	24	56	11	21	23	137	115	52	27	63	15
	100.0	6.5	9.8	58.0	29.3	4.0	4.6	10.7	2.1	4.0	4.4	26.2	22.0	10.0	5.2	12.1	2.9	
無回答	5	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	3
	100.0	0.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	60.0

※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

問 23 子ども食堂の認知

現在、市内では地域の社会福祉協議会（四街道中地区）が運営する「子ども食堂」（子どもが一人でも利用でき、安い値段で食事ができるという取組）が行われていますが、この取組を知っていますか。（○は1つ）



「子どもが利用したことがある」が 9.6%、「知っているが、利用したことはない」が 51.6%であり、回答者全体の6割強が子ども食堂を認知していることがわかります。「知らない」は 37.0%です。

○子ども食堂の認知（家庭の経済状況別）

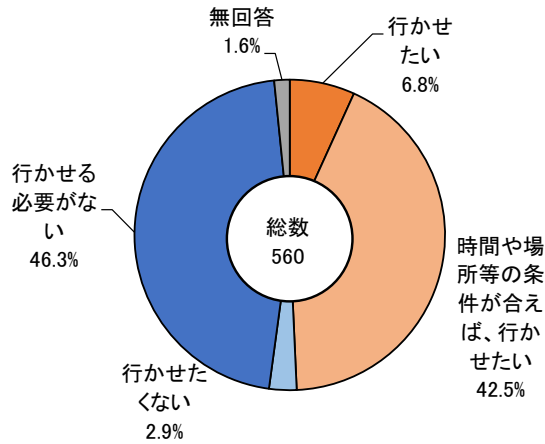
		全体	子どもが利用したことがある	知っているが、利用したことはない	知らない	無回答
全体		560	54	289	207	10
		100.0	9.6	51.6	37.0	1.8
経済状況	ゆとりあり	68	6	36	25	1
		100.0	8.8	52.9	36.8	1.5
	普通	257	27	146	80	4
		100.0	10.5	56.8	31.1	1.6
	苦しい	229	20	105	102	2
	100.0	8.7	45.9	44.5	0.9	
わからない	3	1	2	0	0	
	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	
無回答	3	0	0	0	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

子ども食堂の認知状況を家庭の経済状況別にみると、子ども食堂を認知しているのは経済状況を問わず5割以上となっています。経済状況が苦しいという回答者では、「知らない」が44.5%であり、回答者全体の割合を約8ポイント上回っています。

問 24 子ども食堂の利用意向

あなたは、あて名のお子さんをこのような「子ども食堂」に行かせたいと思いますか。
(○は1つ)



「行かせたい」が6.8%、「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」が42.5%であり、回答者全体の5割弱に子ども食堂のニーズがあることがわかります。「行かせる必要がない」は46.3%です。

○利用意向（家庭の経済状況別）

		全体	行かせたい	時間や場所等の条件が合えば、行かせたい	行かせたくない	行かせる必要がない	無回答
全体		560 100.0	38 6.8	238 42.5	16 2.9	259 46.3	9 1.6
経済状況	ゆとりあり	68 100.0	9 13.2	18 26.5	0 0.0	40 58.8	1 1.5
	普通	257 100.0	12 4.7	114 44.4	3 1.2	125 48.6	3 1.2
	苦しい	229 100.0	17 7.4	104 45.4	12 5.2	94 41.0	2 0.9
	わからない	3 100.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	0 0.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

子ども食堂の利用意向を家庭の経済状況別にみると、経済状況が苦しい回答者では「行かせたい」または「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」の割合がやや高く、5割を超えています。

○利用意向（家庭形態別）

		全体	行かせたい	時間や場所等の条件が合えば、行かせたい	行かせたくない	行かせる必要がない	無回答
全体		560 100.0	38 6.8	238 42.5	16 2.9	259 46.3	9 1.6
ひとり親家庭	ひとり親家庭	33 100.0	2 6.1	14 42.4	3 9.1	14 42.4	0 0.0
	ひとり親家庭ではない	522 100.0	36 6.9	222 42.5	13 2.5	244 46.7	7 1.3
	無回答	5 100.0	0 0.0	2 40.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0

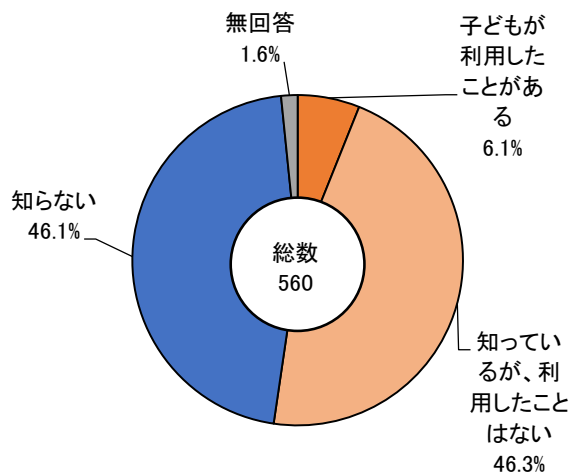
※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

子ども食堂の利用意向を家庭形態別にみると、ひとり親家庭の「行かせたくない」の割合は9.1%であり、ひとり親家庭ではない回答者や全体を上回っています。

問 25 無料塾の認知

現在、市内では学生ボランティアによる「寺子屋」や、地域の社会福祉協議会による中学生を対象とした学習支援の取組が行われていますが、この取組を知っていますか。

(○は1つ)



「子どもが利用したことがある」が6.1%、「知っているが、利用したことはない」が46.3%であり、回答者全体の5割強が無料塾の取組を認知していることがわかります。「知らない」は46.1%です。

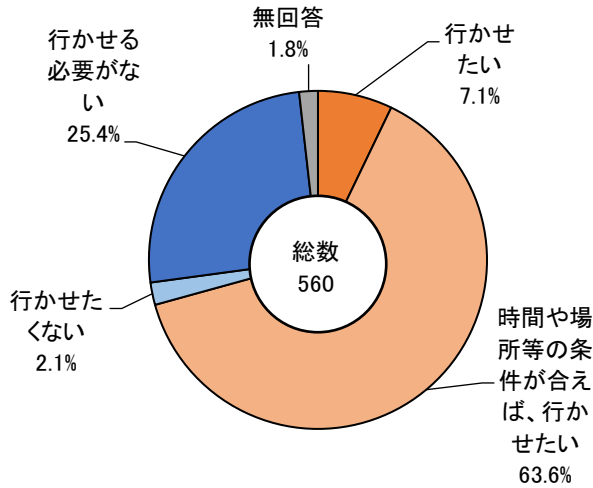
○無料塾の認知（家庭の経済状況別）

		全体	子どもが利用したことがある	利用しているが、利用したことはない	知らない	無回答
全体		560	34	259	258	9
		100.0	6.1	46.3	46.1	1.6
経済状況	ゆとりあり	68	6	34	28	0
		100.0	8.8	50.0	41.2	0.0
	普通	257	12	128	113	4
		100.0	4.7	49.8	44.0	1.6
	苦しい	229	16	97	114	2
		100.0	7.0	42.4	49.8	0.9
わからない	3	0	0	3	0	
	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
無回答	3	0	0	0	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

無料塾の認知状況を家庭の経済状況別にみると、無料塾を認知しているのは経済状況を問わず5割前後となっています。

問 26 無料塾の利用意向

あなたは、あて名のお子さんをこれらの学習支援の取組に行かせたいと思いますか。
(○は1つ)



「行かせたい」が7.1%、「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」が63.6%であり、回答者全体の7割強に無料塾のニーズがあることがわかります。「行かせる必要がない」は25.4%です。

○利用意向（家庭の経済状況別）

	全体	行かせたい	条件や時間や場所等の条件が合えば、行かせたい	行かせたくない	必要がない	行かせる必要がない	無回答
全体	560	40	356	12	142	10	
	100.0	7.1	63.6	2.1	25.4	1.8	
経済状況	ゆとりあり	68	6	39	0	23	0
		100.0	8.8	57.4	0.0	33.8	0.0
	普通	257	12	164	3	74	4
		100.0	4.7	63.8	1.2	28.8	1.6
	苦しい	229	22	151	8	45	3
		100.0	9.6	65.9	3.5	19.7	1.3
わからない	3	0	2	1	0	0	
	100.0	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	
無回答	3	0	0	0	0	3	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

無料塾の利用意向を家庭の経済状況別にみると、経済状況が苦しいと回答した人ほど「行かせたい」または「時間や場所等の条件が合えば、行かせたい」の割合がやや高くなっており、経済状況が苦しい回答者では75.5%となっています。一方、ゆとりがあるという回答者では「行かせる必要がない」が33.8%であり、回答者全体の割合を約8ポイント上回っています。

○利用意向（家庭形態別）

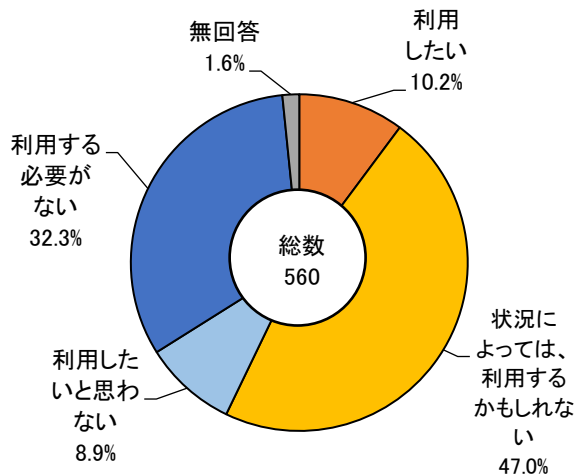
	全体	行かせたい	条件や時間や場所等の条件が合えば、行かせたい	行かせたくない	必要がない	行かせる必要がない	無回答
全体	560	40	356	12	142	10	
	100.0	7.1	63.6	2.1	25.4	1.8	
ひとり親家庭	ひとり親家庭	33	4	22	1	6	0
		100.0	12.1	66.7	3.0	18.2	0.0
	ひとり親家庭ではない	522	36	331	11	136	8
		100.0	6.9	63.4	2.1	26.1	1.5
無回答	5	0	3	0	0	2	
	100.0	0.0	60.0	0.0	0.0	40.0	

※家庭形態別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

無料塾の利用意向を家庭形態別にみると、ひとり親家庭の「行かせたくない」の割合は12.1%であり、ひとり親家庭ではない回答者や全体を5ポイント上回っています。

問 27 配食事業の利用意向

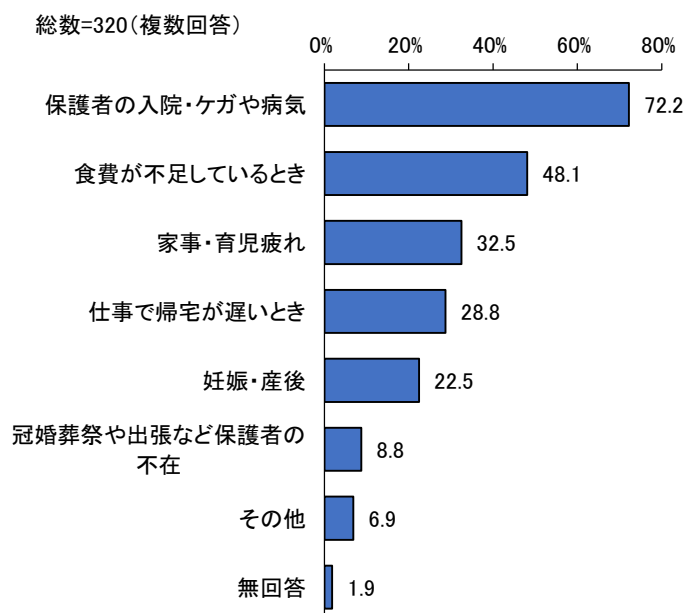
家事・育児等に対して悩みを抱えている家庭を対象に、有料で家事・育児等を支援する制度（子育て世帯訪問支援事業）があれば、利用したいと思いますか。（○は1つ）



「利用したい」が10.2%、「状況によっては、利用するかもしれない」が47.0%であり、回答者全体の6割弱に配食事業のニーズがあることがわかります。「利用する必要がある」は32.3%です。

問 27-1 利用したい状況

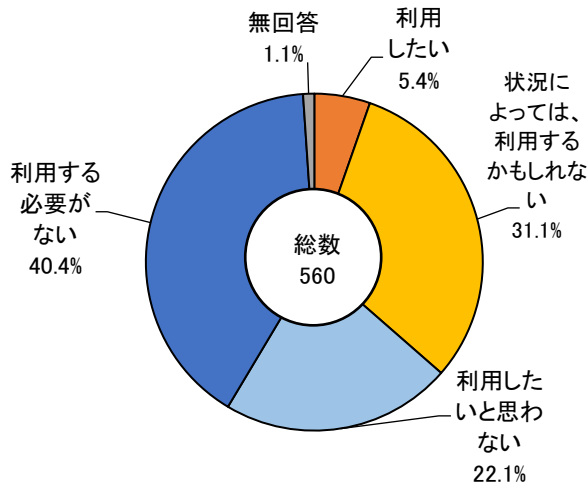
問 27 で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。どのようなときに、このような配食事業を利用したいと思いますか。



「保護者の入院・ケガや病気」が72.2%で最も多く、「食費が不足しているとき」が48.1%、「家事・育児疲れ」が32.5%で続いています。

問 28 子育て世帯訪問支援事業の利用意向

家事・育児等に対して悩みを抱えている家庭を対象に、有料で家事・育児等を支援する制度（子育て世帯訪問支援事業）があれば、利用したいと思いますか。（○は1つ）



「利用したい」が5.4%、「状況によっては、利用するかもしれない」が31.1%であり、回答者全体の3割台に子育て世帯訪問支援制度のニーズがあることがわかります。「利用する必要がない」は40.4%です。

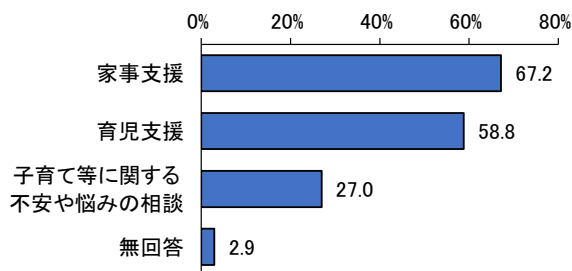
問 28-1 利用したいメニュー、希望する利用頻度

問 28 で「1」または「2」に○をつけた方にかがいます。

どのメニューを利用したいと思いますか。また、利用したいメニューについて、希望する利用頻度等をお答えください。

（あてはまるものすべてに○をつけ、[]内に数字でご記入ください。）

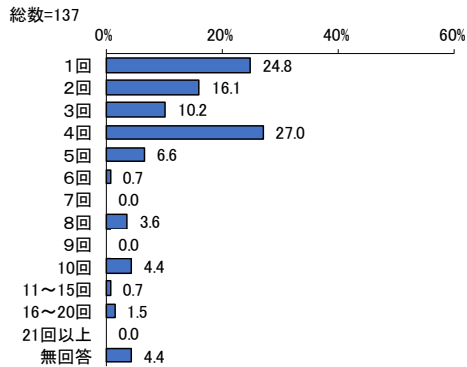
総数=204(複数回答)



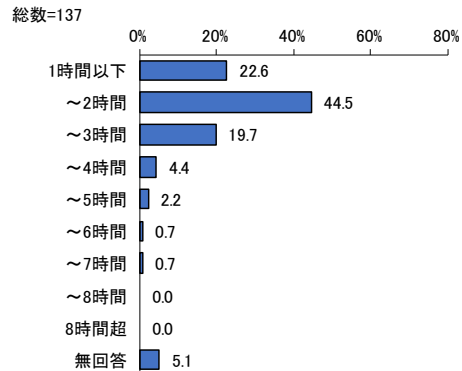
「育児支援」が67.2%で最も多く、「家事支援」が58.8%、「子育て等に関する不安や悩みの相談」27.0%が続いています。

(1) 家事支援

●1か月あたり利用回数



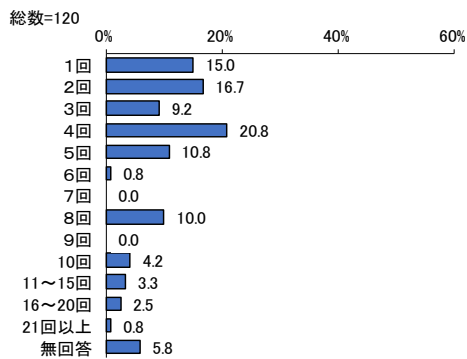
●1回あたり利用時間



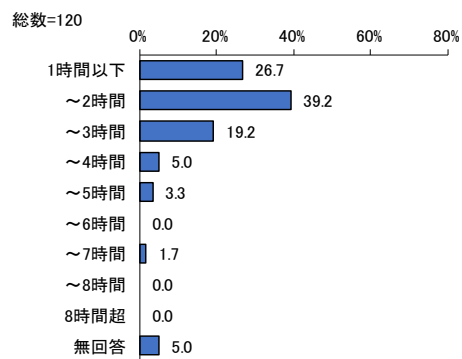
家事支援を利用する場合に希望する1か月あたりの利用回数は「4回」が27.0%、「1回」が24.8%であり、1回あたりの利用時間は「~2時間」が44.5%となっています。

(2) 育児支援

●1か月あたり利用回数



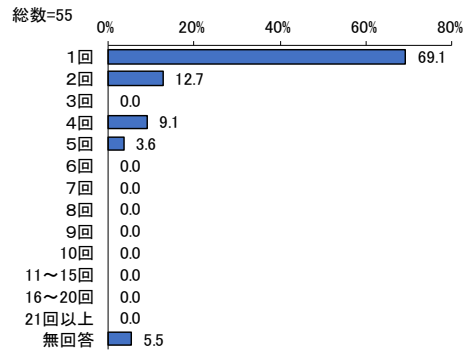
●1回あたり利用時間



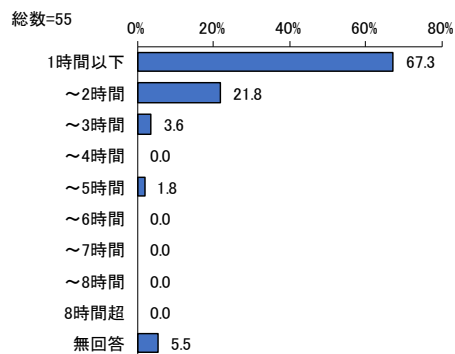
育児支援を利用する場合に希望する1か月あたりの利用回数は「4回」が20.8%、「2回」が16.7%で、1回あたりの利用時間は「~2時間」が39.2%、「1時間以下」が26.7%となっています。

(3) 子育て等に関する不安や悩みの相談

●1か月あたり利用回数



●1回あたり利用時間

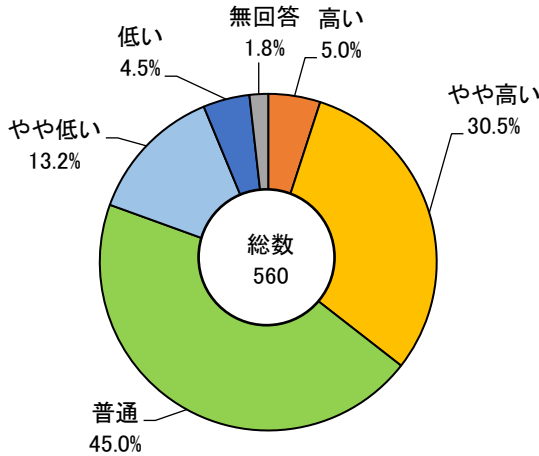


子育て等に関する不安や悩みの相談を利用する場合に希望する1か月あたりの利用回数は「1回」が69.1%で最も多く、1回あたりの利用時間は「1時間以下」が67.3%となっています。

6 子育てに関する市への意見等

問 29 住まいの地域における子育て支援や環境の満足度

お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、いかがですか。(〇は1つ)



「普通」が45.0%で最も多くなっており、「やや高い」「高い」を合わせた割合は35.5%、「低い」「やや低い」を合わせた割合は17.7%となっています。

回答を数値化(高い=5点、やや高い=4点、普通=3点、やや低い=2点、低い=1点)して平均を算出すると3.2点となります。

○満足度(居住地区別)

	全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点	
全体	560 100.0	28 5.0	171 30.5	252 45.0	74 13.2	25 4.5	10 1.8	199 35.5	252 45.0	99 17.7	3.2	
学区	四街道小学校区	80 100.0	6 7.5	23 28.8	38 47.5	9 11.3	4 5.0	0 0.0	29 36.3	38 47.5	13 16.3	3.2
	旭小学校区	18 100.0	0 0.0	4 22.2	8 44.4	3 16.7	2 11.1	1 5.6	4 22.2	8 44.4	5 27.8	2.8
	南小学校区	52 100.0	2 3.8	21 40.4	19 36.5	7 13.5	2 3.8	1 1.9	23 44.2	19 36.5	9 17.3	3.3
	中央小学校区	72 100.0	4 5.6	21 29.2	37 51.4	8 11.1	2 2.8	0 0.0	25 34.7	37 51.4	10 13.9	3.2
	大日小学校区	43 100.0	3 7.0	11 25.6	19 44.2	8 18.6	1 2.3	1 2.3	14 32.6	19 44.2	9 20.9	3.2
	八木原小学校区	48 100.0	3 6.3	9 18.8	25 52.1	7 14.6	2 4.2	2 4.2	12 25.0	25 52.1	9 18.8	3.1
	四和小学校区	55 100.0	3 5.5	19 34.5	20 36.4	8 14.5	4 7.3	1 1.8	22 40.0	20 36.4	12 21.8	3.2
	山梨小学校区	18 100.0	1 5.6	4 22.2	8 44.4	3 16.7	2 11.1	0 0.0	5 27.8	8 44.4	5 27.8	2.9
	みそら小学校区	15 100.0	0 0.0	3 20.0	10 66.7	2 13.3	0 0.0	0 0.0	3 20.0	10 66.7	2 13.3	3.1
	栗山小学校区	21 100.0	0 0.0	9 42.9	8 38.1	2 9.5	1 4.8	1 4.8	9 42.9	8 38.1	3 14.3	3.3
	和良比小学校区	95 100.0	4 4.2	36 37.9	40 42.1	11 11.6	2 2.1	2 2.1	40 42.1	40 42.1	13 13.7	3.3
	吉岡小学校区	23 100.0	0 0.0	5 21.7	12 52.2	3 13.0	2 8.7	1 4.3	5 21.7	12 52.2	5 21.7	2.9
	無回答	20 100.0	2 10.0	6 30.0	8 40.0	3 15.0	1 5.0	0 0.0	8 40.0	8 40.0	4 20.0	3.3

満足「普通」「不満」の居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

満足度を居住地区別にみると、多くの地区で「普通」が最も多くなっています。

○満足度（学年別）

		全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点	
全体		531 100.0	46 8.7	170 32.0	210 39.5	68 12.8	23 4.3	14 2.6	216 40.7	210 39.5	91 17.1	3.3	
子どもの学年	小学1年生	89 100.0	6 6.7	30 33.7	35 39.3	14 15.7	3 3.4	1 1.1	36 40.4	35 39.3	17 19.1	3.3	
	小学2年生	97 100.0	3 3.1	27.8 27.8	45 46.4	16 16.5	5 5.2	1 1.0	30 30.9	45 46.4	21 21.6	3.1	
	小学3年生	111 100.0	8 7.2	27 24.3	57 51.4	11 9.9	6 5.4	2 1.8	35 31.5	57 51.4	17 15.3	3.2	
	小学4年生	89 100.0	1 1.1	34 38.2	41 46.1	9 10.1	3 3.4	1 1.1	35 39.3	41 46.1	12 13.5	3.2	
	小学5年生	85 100.0	4 4.7	30 35.3	35 41.2	10 11.8	4 4.7	2 2.4	34 40.0	35 41.2	14 16.5	3.2	
	小学6年生	84 100.0	5 6.0	23 27.4	37 44.0	13 15.5	3 3.6	3 3.6	28 33.3	37 44.0	16 19.0	3.2	
	無回答	5 100.0	1 20.0	0 0.0	2 40.0	1 20.0	1 20.0	0 0.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	2 40.0	2.8

※ “満足” “普通” “不満” の年齢別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

満足度を学年別にみると、各学年とも「普通」が最も多くなっているほか、“満足”が“不満”を上回っています。

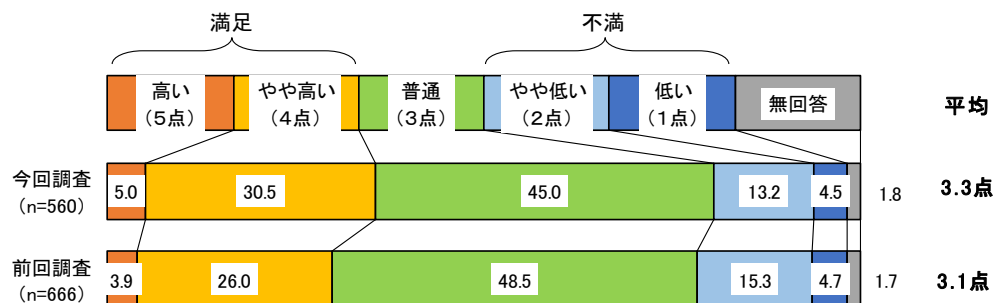
○満足度（家庭の経済状況別）

		全体	高い	やや高い	普通	やや低い	低い	無回答	満足	普通	不満	平均点
全体		531 100.0	46 8.7	170 32.0	210 39.5	68 12.8	23 4.3	14 2.6	216 40.7	210 39.5	91 17.1	3.3
経済状況	ゆとりあり	68 100.0	4 5.9	31 45.6	24 35.3	6 8.8	3 4.4	0 0.0	35 51.5	24 35.3	9 13.2	3.4
	普通	257 100.0	19 7.4	75 29.2	119 46.3	33 12.8	8 3.1	3 1.2	94 36.6	119 46.3	41 16.0	3.3
	苦しい	229 100.0	4 1.7	64 27.9	108 47.2	35 15.3	14 6.1	4 1.7	68 29.7	108 47.2	49 21.4	3.0
	わからない	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	1 33.3	0 0.0	4.0
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	-

※ “満足” “普通” “不満” の年齢別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

満足度を家庭の経済状況別にみると、経済状況が苦しいと回答した人ほど“満足”の割合が低く、“不満”の割合が高くなっており、経済状況が苦しい回答者では“満足”が29.7%、“不満”が21.4%となっています。

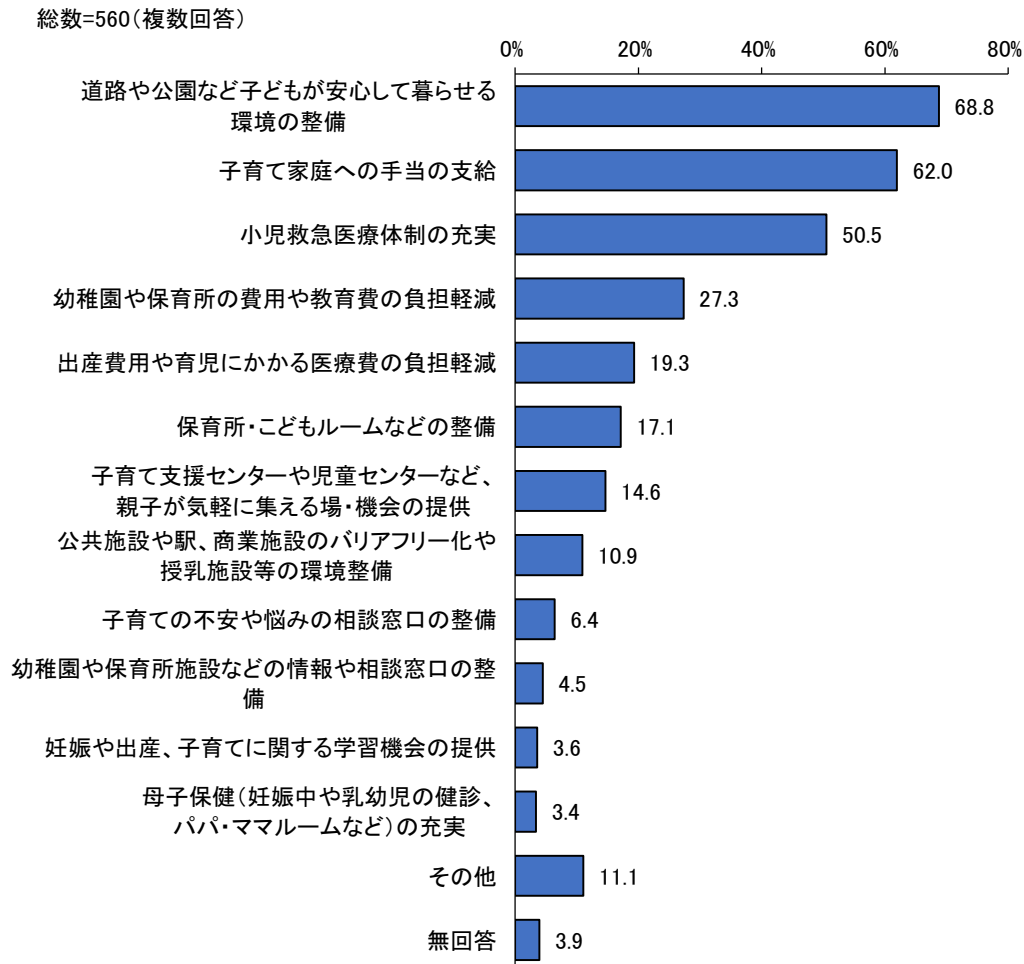
○前回調査結果との比較



今回調査では“満足”が35.5%で、前回調査の“満足”（29.9%）を5ポイント以上上回っています。なお、回答を数値化して平均を算出すると、今回調査の平均点は前回調査の3.1点を0.2点上回っています。

問 30 充実を図ってほしい市のサービス

今後、市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。
(あてはまるものすべてに○)



「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が68.8%で最も多く、「子育て家庭への手当の支給」が62.0%、「小児救急医療体制の充実」が50.5%が続いています。

○充実を図ってほしい市のサービス（居住地区別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなどの充実）	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供	心して暮らせる環境の整備	道路や公園など子どもが安心して遊べる環境の整備	授乳施設等の環境整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊産や出産、子育てに関する学習機会の提供	医療費の負担軽減	出産費用や育児にかかる費用の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答
全体	560 100.0	19 3.4	96 17.1	82 14.6	385 68.8	61 10.9	36 6.4	25 4.5	20 3.6	108 19.3	153 27.3	347 62.0	283 50.5	62 11.1	22 3.9			
学校区	四街道小学校区	80 100.0	5 6.3	19 23.8	12 15.0	61 76.3	12 15.0	8 10.0	6 7.5	6 7.5	22 27.5	21 26.3	45 56.3	49 61.3	9 11.3	2 2.5		
	旭小学校区	18 100.0	0 0.0	2 11.1	4 22.2	11 61.1	0 0.0	1 5.6	2 0.0	4 11.1	7 22.2	13 38.9	10 72.2	3 55.6	1 16.7	1 5.6		
	南小学校区	52 100.0	2 3.8	9 17.3	7 13.5	39 75.0	5 9.6	4 7.7	1 1.9	1 1.9	9 17.3	15 28.8	25 48.1	26 50.0	6 11.5	1 1.9		
	中央小学校区	72 100.0	1 1.4	11 15.3	14 19.4	46 63.9	10 13.9	2 2.8	2 2.8	0 0.0	11 15.3	21 29.2	44 61.1	38 52.8	7 9.7	3 4.2		
	大日小学校区	43 100.0	1 2.3	5 11.6	3 7.0	29 67.4	2 4.7	2 4.7	0 0.0	0 0.0	7 16.3	7 16.3	26 60.5	19 44.2	8 18.6	1 2.3		
	八木原小学校区	48 100.0	0 0.0	9 18.8	7 14.6	35 72.9	5 10.4	2 4.2	3 6.3	4 8.3	12 25.0	12 25.0	31 64.6	18 37.5	6 12.5	2 4.2		
	四和小学校区	55 100.0	1 1.8	7 12.7	9 16.4	38 69.1	9 16.4	2 3.6	4 7.3	2 3.6	12 21.8	19 34.5	40 72.7	27 49.1	7 12.7	1 1.8		
	山梨小学校区	18 100.0	1 5.6	2 11.1	2 11.1	11 61.1	3 16.7	1 5.6	1 5.6	2 11.1	4 22.2	6 33.3	10 55.6	9 50.0	2 11.1	2 11.1		
	みそら小学校区	15 100.0	1 6.7	1 6.7	3 20.0	10 66.7	1 6.7	3 20.0	1 6.7	0 0.0	3 20.0	4 26.7	10 66.7	10 66.7	2 13.3	0 0.0		
	栗山小学校区	21 100.0	1 4.8	7 33.3	3 14.3	15 71.4	2 9.5	2 9.5	0 0.0	0 0.0	3 14.3	7 33.3	15 71.4	8 38.1	2 9.5	0 0.0		
	和良比小学校区	95 100.0	5 5.3	18 18.9	11 11.6	64 67.4	7 7.4	5 5.3	3 3.2	2 2.1	14 14.7	23 24.2	65 68.4	47 49.5	6 6.3	4 4.2		
	吉岡小学校区	23 100.0	1 4.3	4 17.4	6 26.1	14 60.9	4 17.4	3 13.0	2 8.7	0 0.0	4 17.4	7 30.4	13 56.5	2 56.5	2 8.7	2 8.7		
	無回答	20 100.0	0 0.0	2 10.0	1 5.0	12 60.0	1 5.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	4 20.0	10 45.0	9 10.0	2 15.0		

※居住地区別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

○充実を図ってほしい市のサービス（満足度別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなどの充実）	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供	心して暮らせる環境の整備	道路や公園など子どもが安心して遊べる環境の整備	授乳施設等の環境整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊産や出産、子育てに関する学習機会の提供	医療費の負担軽減	出産費用や育児にかかる費用の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答
全体	560 100.0	19 3.4	96 17.1	82 14.6	385 68.8	61 10.9	36 6.4	25 4.5	20 3.6	108 19.3	153 27.3	347 62.0	283 50.5	62 11.1	22 3.9			
満足度	満足	199 100.0	9 4.5	31 15.6	28 14.1	138 69.3	21 10.6	8 4.0	5 2.5	6 3.0	40 20.1	52 26.1	113 56.8	103 51.8	17 8.5	9 4.5		
	普通	252 100.0	7 2.8	44 17.5	36 14.3	166 65.9	27 10.7	21 8.3	15 6.0	12 4.8	49 19.4	70 27.8	167 66.3	126 50.0	28 11.1	8 3.2		
	不満	99 100.0	3 3.0	20 20.2	17 17.2	77 77.8	13 13.1	5 5.1	5 5.1	2 2.0	19 19.2	30 30.3	63 63.6	50 50.5	15 15.2	0 0.0		
	無回答	10 100.0	0 0.0	1 10.0	1 10.0	4 40.0	0 0.0	2 20.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 10.0	4 40.0	4 40.0	2 20.0	5 50.0		
	満足度	560 100.0	19 3.4	96 17.1	82 14.6	385 68.8	61 10.9	36 6.4	25 4.5	20 3.6	108 19.3	153 27.3	347 62.0	283 50.5	62 11.1	22 3.9		

※満足度別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

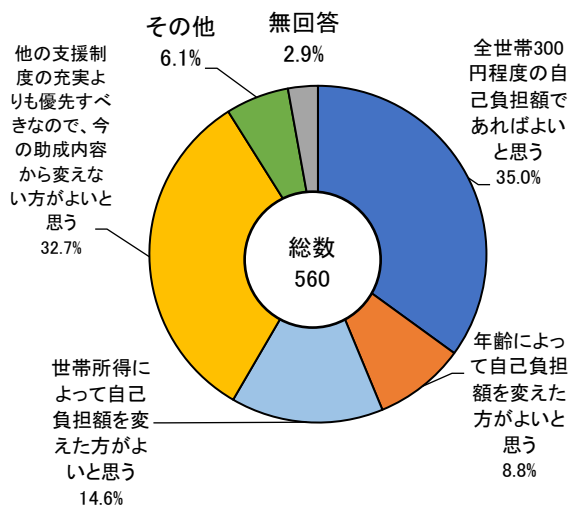
○充実を図ってほしい市のサービス（家庭の経済状況別）

	全体	母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなど）の充実	保育所・こどもルームなどの整備	子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供	心して暮らせる環境の整備	道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備	授乳施設等の環境整備	公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や	子育ての不安や悩みの相談窓口の整備	幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備	妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供	出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減	幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減	子育て家庭への手当の支給	小児救急医療体制の充実	その他	無回答
全体	560 100.0	19 3.4	96 17.1	82 14.6	385 68.8	61 10.9	36 6.4	25 4.5	20 3.6	108 19.3	153 27.3	347 62.0	283 50.5	62 11.1	22 3.9		
経済状況	ゆとりあり	68 100.0	4 5.9	9 13.2	12 17.6	51 75.0	9 13.2	2 2.9	2 2.9	2 2.9	9 13.2	16 23.5	31 45.6	37 54.4	5 7.4	2 2.9	
	普通	257 100.0	8 3.1	48 18.7	34 13.2	190 73.9	23 8.9	18 7.0	14 5.4	9 3.5	36 14.0	66 25.7	149 58.0	137 53.3	25 9.7	9 3.5	
	苦しい	229 100.0	7 3.1	39 17.0	36 15.7	142 62.0	29 12.7	16 7.0	9 3.9	8 3.5	63 27.5	70 30.6	166 72.5	107 46.7	32 14.0	8 3.5	
	わからない	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 66.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 33.3	0 0.0	1 33.3	1 33.3	2 66.7	0 0.0	0 0.0	
	無回答	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 100.0	

※家庭の経済状況別の割合が全体の割合を5ポイント以上上回っているものについて、網掛けをしています。

問 31 支援の充実のための自己負担額引き上げについて

四街道市では、子ども医療費助成制度により、中学生までは無料、高校生等は300円（非課税世帯の場合は無料）で医療を受けることができますが、問31で○をつけた支援を充実していくための費用を確保する目的で自己負担額を引き上げることとしたら、どのように思いますか。（○はひとつ）



「全世帯300円程度の自己負担額であればよいと思う」が35.0%で最も多く、「他の支援制度の充実よりも優先すべきなので、今の助成内容から変えない方がよいと思う」(32.7%)と拮抗しています。

*** 資料編（調査票） ***

1 就学前児童調査票

就学前児童

四街道市子育て支援に関するアンケート調査 ご協力のお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、令和2年3月に「四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～（計画期間：令和2年度～令和6年度）」を策定し、計画的に各種の子ども・子育て支援事業を実施しています。

このたび、令和7年度からの新たな計画策定に向けて、市が確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、市民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握することといたしアンケート調査を実施することとしました。

調査結果は、今後の本市の子ども・子育て支援施策を検討する上で、大変重要な資料となります。ご多忙のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和5年12月

四街道市長 鈴木 陽介

本アンケートは、便利なインターネットでもご回答いただけます。

～インターネットからご回答いただく場合～

次のアドレスまたは、右の二次元コードからアンケート画面へお入りいただき、

12月27日(水)までに ご回答ください。

アドレス：<https://form.aooker.jp/Q/aut/ja/yotukaidoumae/>

※インターネットからご回答いただく場合は、本調査票の返信は不要です。



～郵送でご回答いただく場合～

本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、

12月27日(水)までに 郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)



ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

調査担当：四街道市健康こども子育て支援課（TEL：043-421-6124）

※調査票の発行・集計は、調査会社が行います。

ご回答にあたってのお願い

※この調査は、市内にお住まいの小学校就学前のお子さんから、無作為で1,000人を選び、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。

※令和5年10月1日時点の住民基本台帳をもとにお送りしているため、封筒のあて名に記された住所や氏名、保護者が現在と異なる場合はご容赦ください。設問には、現在お子さんを養育している方がご回答ください。

※無記名での調査であり、回答された方やご家族等が特定されることはありません。

※ここでご回答いただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではないので、将来、利用希望を変更していただくことは差し支えありません。

※特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。

※回答は、選択肢に○をつけていただく場合と、数字などを記入いただく場合があります。

※選択肢の場合、設問によってお選びいただく数が増えますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。

※数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時～18時）でご記入ください。

※設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、注意書きや失印に従ってご回答ください。特に指定がない場合は、次の設問にお進みください。

【用語の定義】

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

- ・ **お 子 さん**：特に注記がない限り、この調査票を送った封筒のあて名に記されているお子さんのことをいいます。また、父親・母親・祖父とは、あて名に記されているお子さんから見た結構を示します。
- ・ **幼 稚 園**：学校教育法に定める、3～5歳児に対して教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・ **保 育 所**：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設（児童福祉法第39条）
- ・ **認定こども園**：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・ **子 育 て**：教育・保育その他の子どもの健全な成長のために行われる支援
- ・ **教 育**：期11までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、期12以降においては幼児期の幼稚園等における教育の意味で用いています。

あて名のおさんご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいはどちらになりますか。 (〇は1つ)

小学校区	進学区域
1. 四街道小学校区	下志津新田、四街道、四街道1丁目、四街道3丁目、大臼の一部、さつきヶ丘
2. 旭小学校区	山梨、中野の一部、南畑谷間、上野、和田、旭ヶ丘3丁目の一部、旭ヶ丘5丁目、みそら1丁目
3. 南小学校区	竜崎、物井の一部、長母、むねの里3丁目、むねの里4丁目、むねの里5丁目
4. 中央小学校区	栗山の一部、内黒田の一部、大臼の一部、龍波の一部、みのり町、中央
5. 大臼小学校区	内黒田の一部、龍波、大臼の一部、龍放ヶ丘
6. 八木原小学校区	内黒田の一部、物井の一部、栗山の一部、千代田1丁目、千代田2丁目、千代田3丁目、千代田4丁目、千代田5丁目、池袋1丁目、池袋2丁目、むねの里1丁目、むねの里2丁目、むねの里6丁目
7. 四和小学校区	四和2丁目の一部、和泉比の一部、めいわ1丁目、めいわ2丁目、めいわ5丁目
8. 山梨小学校区	小松木、旭ヶ丘1丁目、旭ヶ丘2丁目、旭ヶ丘3丁目の一部、旭ヶ丘4丁目
9. みそら小学校区	高山、中台、中野の一部、みそら2丁目、みそら3丁目、みそら4丁目、たのぶの杜
10. 栗山小学校区	栗山の一部、龍波の一部、さちが丘1丁目、さちが丘2丁目、つくし産1丁目、つくし産2丁目、つくし産3丁目、内黒田の一部
11. 和泉比小学校区	四和2丁目の一部、和泉比の一部、美しが丘1丁目、美しが丘2丁目、美しが丘3丁目、めいわ3丁目、めいわ4丁目
12. 西畑小学校区	吉崎、真の台1丁目、真の台2丁目、真の台3丁目、真の台4丁目

問2 あて名のおさんの生年月日は、次のうちどちらに該当しますか。 (〇は1つ)

1. 令和4年4月2日～令和5年4月1日	2. 令和3年4月2日～令和4年4月1日
3. 令和2年4月2日～令和3年4月1日	4. 平成31年4月2日～令和2年4月1日
5. 平成30年4月2日～平成31年4月1日	6. 平成29年4月2日～平成30年4月1日

問3 あて名のおさんを名め、おさんは何人いらっしゃいますか。 (〇は1つ)

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

問3-1 問3で「2」～「5」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。あて名のおさんを名め、きょうだいの中にふたご、みつご等多胎児のおさんはいらっしゃいますか。 (〇は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

問3-2 問3で「2」～「5」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。一番下のお子さん（末子）の生年月日はどちらになりますか。 (〇は1つ)

1. 令和5年4月2日以降	2. 令和4年4月2日～令和5年4月1日
3. 令和3年4月2日～令和4年4月1日	4. 令和2年4月2日～令和3年4月1日
5. 平成31年4月2日～令和2年4月1日	6. 平成30年4月2日～平成31年4月1日
7. 平成29年4月2日～平成30年4月1日	

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか、あて名のお子さんからみた関係でお答えください。
※別居のあて名に併記された保護者の方はある必要はありません。(Oは1つ)

1. お子さんの父親 2. お子さんの母親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただける方の配偶関係についてお答えください。(Oは1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんご父母、祖父祖母の同居・近居(おおよそ30分以内程度で行き来できる範囲)の状況についてうかがいます。(父親、母親：Oは1つ、祖父祖母：あてはまるものすべてにO)

■父親
1. 同居 2. 近居 3. その他 ()

■母親
1. 同居 2. 近居 3. その他 ()

■祖父祖母
1. 同居 2. 近居 3. その他 ()

問7 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)を主にやっている方はどなたですか。(Oは1つ)

1. 父母ともに 2. 主に父親 3. 主に母親 4. 主に祖父祖母 5. その他 ()

問8 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(どこ)ですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 父母ともに 2. 父親 3. 母親 4. 祖父祖母
5. 幼稚園 6. 保育所 7. 認定こども園 8. その他 ()

問9 日頃、あて名のお子さんを預かってもらえますか。(あてはまるものすべてにO)

1. 日常的に祖父祖母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の都合には祖父祖母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の都合には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9-2へ

問10へ

問9-1 問9で「1」または「2」にOをつけた方にうかがいます。祖父祖母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてにO)

1. 祖父祖母等の親族に預けることについては、特に心配はない
2. 祖父祖母等の親族の身体的負担が大きく、心配である
3. 祖父祖母等の親族の時間的・精神的負担が大きく、心配である
4. 保護者の立場として、負担をかけていることが心ざしい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問9-2 問9で「3」または「4」にOをつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてにO)

1. 友人・知人に預けることについては、特に心配はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である
3. 友人・知人の時間的・精神的負担が大きく、心配である
4. 保護者の立場として、負担をかけていることが心ざしい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安を感じたり、困りましたか。(Oは9つまで)

1. 子どものしつけ・生活習慣 2. 子どもの発育・発達
3. 子どもの病気・健康 4. 子どもの成績や勉強
5. 子どもの友人関係 6. 子どもを遊ばせる場所がない
7. 十分な住居スペースがない 8. 近所に遊ばせる場所がない
9. 治安など子育て環境への影響 10. 自分の体力や健康に自信がない
11. 病気や出発時の子どもの世話 12. 家庭内での暴力が得られない
13. 職団土の職に入りづらい 14. 子育てに関する情報不足
15. 子育てに親が自信がもてない 16. 子育てのストレス
17. 夫婦関係 18. 子育てで教育にかかる費用
19. その他 () 20. 特になし

問11 あて名のお子さんの子育て(教育)をする上で、気軽に相談できる人や、相談できる場所はどこですか。(あてはまるものすべてにO)

1. 配偶者 2. 祖父祖母等の親族
3. 友人や知人 4. 近所の人
5. 保護師 6. 助産師
7. 言語聴覚士 8. 保育士
9. 幼稚園教諭 10. 小学校の先生
11. 民生委員・児童委員 12. カカつつけの医師
13. 市の子育て関連担当窓口 14. 保健センター
15. 子育て支援施設(地域子育て支援センター、児童センター、NPO団体、児童センター) 16. その他 ()
17. 相談できる人や場所がない

あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

※ここでいう「定期的な教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問12-1に示した事業が含まれます。

問12 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(Oは1つ)

1. 利用している → 問12-1へ 2. 利用していない → 問12-5へ

問12-1 問12で「1」にOをつけた方にうかがいます。あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。(あてはまるものすべてにO)

また、選択した事業について、施設の名前と現在の利用状況、希望する利用日数や利用時間をお答えください。【利用開始時間と利用終了時刻等は、24時間制でご記入ください(例：18時)】

利用している事業	利用している場所	現在の利用状況 (数字をご記入ください)	希望する利用時間等 (数字をご記入ください)
1. 幼稚園 (通常の幼稚園利用)	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の幼稚園を延長して預かる事業)	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
3. 認可保育所・保育園 (認可保育所などの認可を受けた保育施設)	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
4. 認定こども園 (幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
5. 小規模保育事業 (主に3歳未満の子どもの預かる定員6～19人程度の保育事業で、所在地が市町村の認可を受けたもの)	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
6. 家庭的保育事業 (保育ママのような保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	※四街道市内にはありません 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
7. 事業所内保育事業 (企業が事業所内で提供する事業で、四街道市が認可の認可を受けたもの)	※四街道市内にはありません 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、市町村が独自に認証・認定した施設)	※四街道市内にはありません 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
9. 企業主導型保育事業 (企業が事業所内で提供する認可外の保育事業。従業員の子供、一般住民も利用可能な施設あり)	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
10. 居宅訪問型保育事業 (ベビーシッターなど保育者が子どもの自宅まで行く事業で、四街道市などの認可を受けたもの)	※四街道市内にはありません 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時

利用している事業	利用している場所	現在の利用状況 (数字をご記入ください)	希望する利用時間等 (数字をご記入ください)
11. その他の認可外の保育施設・ベビーシッター	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
12. ファミリー・サポート・センター (会員制または地域住民が子どもを預かる事業)	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時
13. その他 ()	1. 市内 2. 市外 ()市	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時	1週あたり()日 1日あたり()時 ()時～()時

問12-2 問12で「1」にOをつけた方にうかがいます。平日に定期的な教育・保育の事業を利用されている理由をお答えください。(あてはまるものすべてにO)

1. 子どもの身の回りの世話を主にしている方が、現在就労している
2. 子どもの身の回りの世話を主にしている方に、就労予定がある・求職中である
3. 子どもの身の回りの世話を主にしている方に、家族・親族等を介している
4. 子どもの身の回りの世話を主にしている方に、病気や障害がある
5. 子どもの身の回りの世話を主にしている方が学生である
6. 1～5までの事情はないが、子どもの教育のため
7. その他 ()

問12-3 問12で「1」にOをつけた方にうかがいます。現在利用している教育・保育の事業に対してどの程度満足されていますか。問12-1にある事業のうち、主に利用しているものの番号を記入した上で、該当する満足度にOをつけてください。

主に利用している事業 →

満足度
1. 満足 2. やや満足 3. どちらでもない 4. やや不満足 5. 不満足

問12-4 問12で「1」にOをつけた方にうかがいます。現在利用している教育・保育の事業所を選択した理由をお答えください。(Oはいくつでも)

1. 住みから近いから 2. 保護者の通勤に便利だから
3. 教育・保育の費用が良いから 4. 教育・保育にかかる費用が良いから
5. 長期間利用できるから 6. 職員・スタッフの対応が良いから
7. 建物・設備が充実しているから 8. 評判が良いから
9. きょうだいや友達を利用しているから 10. 子どもの発達状況や障害に配慮できるから
11. 送迎バスが利用できるから 12. 希望していた施設に入らなかったから
13. 空きがあったのが当該施設のみだったから 14. その他 ()
15. 特になし

問12-5 問12で「2」に○をつけた方にうかがいます。教育・保育の事業を利用されていない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. (子どもの父親が母親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない
2. 子どもの祖父や祖母の人がみている
3. 近所の人や父兄の友人・知人がみている
4. 利用したいが、保育・教育の事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の場所や時間等の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や選択など、期待できる事業がない
8. 子どもはまだ小さいため() 遅くならなかったら利用しようと考えている
9. その他()

問13 すべての方にうかがいます。あて名のお子さんに関して、現在、利用している、利用していないにかかわらず、「定期的に利用したい」と考える教育・保育事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。（あてはまるものすべてに○）

利用したい事業	利用したい場所
1. 幼稚園 (通常の就園時間の利用)	1. 市内 2. 市外()市
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業)	1. 市内 2. 市外()市
3. 認可保育所・保育園 (超過年齢などの認可を受けた保母施設)	1. 市内 2. 市外()市
4. 認定こども園 (幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設)	1. 市内 2. 市外()市
5. 小規模保育事業 (3歳未満の子どもの預かる定員6~19人程度の保育事業で、四街道市など市町村の認可を受けたもの)	1. 市内 2. 市外()市
6. 家庭的保育事業 (保育ママのような保育者の家庭等で子どもを保育する事業)	1. 市内 2. 市外()市
7. 事業所内保育事業 (企業が主に従業員用に運営する事業で、四街道市など市町村の認可を受けたもの)	1. 市内 2. 市外()市
8. 自治体の認証・認定保育施設 (認可保育所ではないが、市町村が独自に認証・認定した施設)	1. 市内 2. 市外()市
9. 企業主導型保育事業 (企業が事業所内で運営する認可外の保育事業、従業員のほか、一般住民も利用可能な地域特有利)	1. 市内 2. 市外()市
10. 居宅訪問型保育事業 (ベビーシッターのような保育者が子どもの家庭で保育する事業で、四街道市などの認可を受けたもの)	1. 市内 2. 市外()市
11. その他の認可外の保育施設・ベビーシッター	1. 市内 2. 市外()市
12. ファミリー・サポート・センター (会員登録した地域住民が子どもを預かる事業)	1. 市内 2. 市外()市
13. その他()	1. 市内 2. 市外()市
14. 特になし	

問13-1 問13で「1」~「13」に○をつけた方にうかがいます。あなたが○をつけた中で、最も利用したいものはどれですか。下の特内に「1」~「13」の番号を1つだけ記入してください。

最も希望する教育・保育事業 →

7

問17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことのあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。①~⑧の事業ごとに、A~Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

	A 知っている	B これまでに利用したことがある	C 今後利用したい
①) ババ・ママルーム	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
②) ババ・ママルーム	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
③) 産後ケア事業	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
④) おやこカウンセリング	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
⑤) 子育て相談室	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
⑥) 児童センターで実施している子育て支援事業	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
⑦) 子育て支援センター	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
⑧) 子育てサロン	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>
⑨) 公民館で実施している子育て教室	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>	はい <input type="radio"/> いいえ <input type="radio"/>

あて名のお子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問18 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生する場合があります。（○は1つ）

※教育・保育事業とは、幼稚園、認可保育所、認定保育所などの事業を指します。祖父祖母等の親類・知人による預かりは含みません。

(1) 土曜日

1. ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯: []時から[]時まで(24時間制で記入)

2. 月に1~2回は利用したい } 利用の理由: []

3. 利用希望はない

(2) 日曜・祝日

1. ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯: []時から[]時まで(24時間制で記入)

2. 月に1~2回は利用したい } 利用の理由: []

3. 利用希望はない

問19 幼稚園を利用している方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休暇期間中の教育・保育事業の利用希望はありますか。なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。（○は1つ）

1. ほぼ毎日利用したい } 利用したい時間帯: []時から[]時まで(24時間制で記入)

2. 週に数日利用したい } 利用の理由: []

3. 利用希望はない

9

【こども誰でも通園制度(仮称)について】

政府は、令和5年6月13日に閣議決定した「こども未来戦略方針」において、全ての子育て家庭に対して、多様な働き方やライフスタイルにかかわらずに形で支援を強化するため、就労条件を問わず時間単位等で柔軟に利用できる「こども誰でも通園制度(仮称)」を創設し、令和6年度から制度の本格実施を見据えながら試行的事業を実施する方針を示しました。

●概要

利用対象者	生後6か月以上3歳未満
利用時間	月一定時間まで (令和6年度からの試行的事業では一人当たり月10時間までを想定)
実施場所	保育所、認定こども園、小規模保育事業所、家庭的保育事業所、地域子育て支援拠点事業所(子育て支援センター)等

問14 こども誰でも通園制度(仮称)が上記のとおり実施される場合、利用を希望しますか。希望する場合は、併せて利用の頻度及び理由を記入してください。（○は1つ）

1. 固定・特定の曜日に利用したい } 利用の頻度: 1か月あたり[]回程度
2. 不規則・変動的に利用したい } 利用の理由: []
- 3.今のところ利用希望はないが、今後の状況によっては検討したい
4. おおそく利用しないと思う

あて名のお子さんの地域の子育て支援事業(子育て支援センターなど)の利用状況についてうかがいます。

問15 あて名のお子さんは、現在、子育て支援センターなど(親子が集まって遊んだり、相談したり、情報提供を受けたりする場)を利用していますか。利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を[]内に数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

1. 子育て支援センター「地域子育て支援拠点事業」
- 1か月あたり[]回程度
2. その他、四街道市で実施している類似の事業(団体名:)
- 1か月あたり[]回程度
3. 利用していない

問16 問15のような子育て支援センターなどについて、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用回数を増やしたいと思いませんか。利用したい場合は、おおよその利用回数(頻度)を[]内に数字でご記入ください。（あてはまるものすべてに○）

1. 利用していないが、今後利用したい
- 1か月あたり[]回程度
2. すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい
- 1か月あたりさらに[]回程度
3. 新たに利用したり、利用回数を増やしたいとは思わない

8

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。(平日の教育・保育を利用する方のみ)

このページの設問は、問12で「1(教育・保育事業)を利用している」を選択した方にうかがいます。問12で「2(教育・保育事業)を利用していない」を選択した方は、問21へお進みください。

問20 教育・保育事業を利用している方にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったことはありましたか。（○は1つ）

1. あった 2. なかった → 問21へ

問20-1 問20で「1」に○をつけた方にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の教育・保育事業が利用できなかったときの対応方法をお答えください。（あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。【平日程度でも、1日としてください】）

対応方法	日数
1. 父親が仕事を休んだ	__日
2. 母親が仕事を休んだ	__日
3. 就労していない父親・母親がみた	__日
4. 祖父祖母等の親類・知人にみてもらった	__日
5. 育児・病後児保育等を利用した	__日
6. ベビーシッターを頼んだ	__日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	__日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	__日
9. その他()	__日

※育児・病後児保育: 病気にかかった子どもや、病気の回復期にある子どもが集団保育の通常期間、保育所・児童館などに併設された専用スペース等において行う保育サービスです。

問20-2 問20-1で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。その際、できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが、利用したいと思った場合は、おおよその利用日数を[]内に数字でご記入ください。（○は1つ）

1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい []日 → 問21へ
2. 利用したいとは思わない

問20-3 問20-2で「2」に○をつけた方にうかがいます。利用したいとは思わない理由をお答えください。（あてはまるものすべてに○）

1. 育児・病後児を他人に頼ってもらうのは不安
2. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間・回数など)がよくない
3. 地域の事業の質に不安がある
4. 利用料がかかる、高い
5. 利用料がわからない
6. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
7. 親が仕事を休んで対応する
8. その他()

10

あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問21 この1年間で、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、あて名のお子さんを家庭以外の場が一時的に預けたことはありましたか。
 (あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を〔 〕内に数字でご記入ください。)
 【半日程度でも、1日としてください】

1. 利用した(預けた)ことがある	年間〔 〕日
(利用した事業)	
① 保育所などの一時預かり	年間〔 〕日
② 幼稚園の預かり保育	年間〔 〕日
③ ファミリー・サポート・センター	年間〔 〕日
④ 夜間看護事業：トワイライトステイ*	年間〔 〕日
⑤ ベビーシッター	年間〔 〕日
⑥ その他()	年間〔 〕日

2. 利用していない

※トワイライトステイ：保護者が仕事等の理由によって恒久的に在宅が困難になるなど、一時的に児童の養育が困難になった場合、児童養護施設等で生活指導や夕食の提供などを行うサービスです。
 (現在自治体では実施しておりません)

問21-1 問21で「2」に○をつけた方にうかがいます。現在利用していない理由をお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 預に利用する必要がない	2. 利用したい事業が地域にない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 立地や利用時間がよくない
5. 利用料がかかる、高い	6. 利用料がわからない
7. 事業の利用方法(手続等)がわからない	8. 自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
9. その他()	

問22 あて名のお子さんについて、私用やリフレッシュ目的、保護者の通院や出産などのため、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますが、なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。
 (あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を〔 〕内に数字でご記入ください。)
 【半日程度でも、1日としてください】

1. 利用したい	年間〔 〕日
(理由別)	
① 私用(買物、買い事等)、リフレッシュ目的	年間〔 〕日
② 冠婚葬祭、親の病気	年間〔 〕日
③ 不定期の就労	年間〔 〕日
④ その他()	年間〔 〕日

2. 利用する必要はない

問22-1 問22で「1」に○をつけた方にうかがいます。問22の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 保育所などの一時預かり	2. 幼稚園の預かり保育
3. ファミリー・サポート・センター	4. 夜間看護事業：トワイライトステイ
5. ベビーシッター	6. その他()

問23 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、あて名のお子さんを泊り先で家族以外に預けられた経験があることはありましたか。預け先が見つからなかった場合も含みます。
 (あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を〔 〕内に数字でご記入ください。)
 【半日程度でも、1日としてください】

1. あった

(対応方法)	年間〔 〕泊
① 祖父母等の親族・知人に預けられた	年間〔 〕泊
② 短入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した(児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	年間〔 〕泊
③ ②以外の保育事業(冠婚葬祭預かり、ベビーシッター等)を利用した	年間〔 〕泊
④ 預け先が見つからず、やむを得ず子どもを同行させた	年間〔 〕泊
⑤ 預け先が見つからず、やむを得ず子どもだけで留守番をさせた	年間〔 〕泊

2. なかった

問23-1 問23で「1」の1に○をつけた方にうかがいます。その場合の困難度はどの程度でしたか。
 (○は1つ)

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

あて名のお子さんが5歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。
 (⇒お子さんが5歳未満の方は、問27へ)

問24 あて名のお子さんについて、小学校低学年(1～3年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○をつけて、〔 〕内に数字でご記入ください。)

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事・学習塾	週〔 〕日くらい
4. 児童センター	週〔 〕日くらい
5. 放課後子ども教室*	週〔 〕日くらい
6. こどもルーム(学童保育所)**	週〔 〕日くらい 下校時から〔 〕時まで
7. プレーパーク	週〔 〕日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
9. その他(公民館、公園など)	週〔 〕日くらい

※1 放課後子ども教室：地域の力などを活用、放課後や週末に小学校や公園等で学習・スポーツ・文化芸術活動などを提供する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 こどもルーム(学童保育所)：保護者の就労等により家庭にいない場合などに、児童館の下、子どもの生活の場を提供するものです。なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。

問25 あて名のお子さんについて、小学校高学年(4～6年生)のうちは、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○をつけて、〔 〕内に数字でご記入ください。)

1. 自宅	週〔 〕日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週〔 〕日くらい
3. 習い事・学習塾	週〔 〕日くらい
4. 児童センター	週〔 〕日くらい
5. 放課後子ども教室	週〔 〕日くらい
6. こどもルーム(学童保育所)	週〔 〕日くらい 下校時から〔 〕時まで
7. プレーパーク	週〔 〕日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週〔 〕日くらい
9. その他(公民館、公園など)	週〔 〕日くらい

問26 問24または問25で「6」(こどもルーム(学童保育所))に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日、日曜日・祝日、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中に、こどもルーム(学童保育所)の利用希望はありますか。
 なお、これらの事業の利用には、一定の利用料が発生します。
 (○は1つ)

(1) 土曜日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	利用したい時間帯を24時間制(例・18時)でご記入ください
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	利用したい時間帯を24時間制(例・18時)でご記入ください
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. 低学年(1～3年生)の間は利用したい	利用したい時間帯を24時間制(例・18時)でご記入ください
2. 高学年(4～6年生)になっても利用したい	
3. 利用する必要はない	

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問27 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、専業主婦等を含む)をうかがいます。(○は1つ)
 ※フルタイムとは、週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。

父親(○は1つ)	母親(○は1つ)
1. フルタイムで就労しており、専休・介護休業中ではない	1. フルタイムで就労しており、専休・専休・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労していたが、専休・介護休業中である	2. フルタイムで就労していたが、専休・専休・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、専休・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、専休・専休・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、専休・介護休業中である	4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、専休・専休・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は働いていない	5. 以前は就労していたが、現在は働いていない
6. これまでに就労したことがない	6. これまでに就労したことがない

問 27-1 問 27 で「1」～「4」に○をつけた方（就労している方）にうかがいます。「1週あたりの就労日数」と「1日あたりの勤務時間（就業時間を含む）」をお答えください。就労日数や勤務時間が一定でない場合は、もっとも多い1週間についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 [()内に数字をご記入ください]

父親	母親
週に〔 〕日 1日あたり〔 〕時間	週に〔 〕日 1日あたり〔 〕時間

問 27-2 問 27 で「1」～「4」に○をつけた方（就労している方）にうかがいます。「家を出る時刻」と「帰宅時刻」をお答えください。勤務が一定でない場合は、もっとも多い1週間についてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。 [()内に数字をご記入ください。時刻は24時間制でご記入ください（例・18時）]

父親	母親
家を出る時刻：〔 〕時、帰宅時刻：〔 〕時	家を出る時刻：〔 〕時、帰宅時刻：〔 〕時

問 27-3 問 27 で「3」または「4」に○をつけた方（パート・アルバイト等で就労している方）にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。 (○は1つ)

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けたい	3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい

問 27-4 問 27 で「5」または「6」に○をつけた方（就労していない、就労したことのない方）にうかがいます。今後の就労についての希望をお聞かせください。 (1～3のうち○は1つ。〔 〕内に数字をご記入ください)

父親	母親
1. 希望あり（すぐにも、もしくは1年以内に就労したい）	1. 希望あり（すぐにも、もしくは1年以内に就労したい）
【希望する就労形態】（1つを選んでください） ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間	【希望する就労形態】（1つを選んでください） ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間
2. 希望あり（1年より先で、子どもが〔 〕歳くらいになったら就労したい）	2. 希望あり（1年より先で、子どもが〔 〕歳くらいになったら就労したい）
【希望する就労形態】（1つを選んでください） ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間	【希望する就労形態】（1つを選んでください） ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間
3. 希望なし	3. 希望なし

15

問 28-1 問 28-1 で「1」または「2」に○をつけた方（育児休業から復帰/復帰予定の方）にうかがいます。育児休業から職場に復帰したは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか、あるいはそれ以外でしたか。 (○は1つ)

※年度初めの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合は「1」に当てはまります。年度初めの入所を希望して復帰したが、実際に希望する保育所に入所できなかったという場合は「2」を選択してください。また、年度初めの入所を希望したが、入所できなかったため復帰休業を延長して年度初め以降で復帰した場合は「2」を選択してください。

※問 28-1 で「2」（復帰予定）を選んだ方は、復帰点での見込みをお答えください。

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 年度初めの入所に合わせたタイミング	1. 年度初めの入所に合わせたタイミング
2. それ以外	2. それ以外

問 28-3 問 28-1 で「1」または「2」に○をつけた方（育児休業から復帰/復帰予定の方）にうかがいます。育児休業からは、「希望」にお子さん何歳頃か月のときに職場復帰しましたか、また、お勤め先の育児休業の制度の期間内、何歳頃か月のときまで取りかかったですか。 [()内に数字をご記入ください]

※問 28-1 で「2」（復帰予定）を選んだ方は、復帰点での見込みをお答えください。

父親	母親
復帰の時期〔 〕歳〔 〕か月 所 望〔 〕歳〔 〕か月	復帰の時期〔 〕歳〔 〕か月 所 望〔 〕歳〔 〕か月

実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。該当しない方は、問 28-4 に選んでください。希望の時期に職場復帰しなかった理由をお答えください。

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 希望する保育所に入所するため	1. 希望する保育所に入所するため
2. 配偶者や家族の希望があったため	2. 配偶者や家族の希望があったため
3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため	3. 経済的な理由で早く復帰する必要があったため
4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため	4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5. その他 ()	5. その他 ()

【希望より早く復帰した方】

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 希望する保育所に入れなかったため	1. 希望する保育所に入れなかったため
2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため	2. 自分や子どもなどの体調が悪くなったため
3. 配偶者や家族の希望があったため	3. 配偶者や家族の希望があったため
4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため	4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため
5. 子どもをみてくれる人がいなかったため	5. 子どもをみてくれる人がいなかったため
6. その他 ()	6. その他 ()

17

すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 29 ある方のお子さんが生まれた時、父親のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたが、父親、母親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、該当する数字をご記入ください。

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した（取得中である）	2. 取得した（取得中である）
3. 取得していない	3. 取得していない
取得していない理由 (下から当てはまる番号すべてを選んで数字をご記入ください)	取得していない理由 (下から当てはまる番号すべてを選んで数字をご記入ください)

【選択肢】

- 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
- (産休後) 仕事に戻り復帰しなかった
- 仕事に復帰するのが難しくなった
- 昇給・資格などが遅れそうだった
- 収入減となり、経済的に苦しくなる
- 保育所(園)などに預けることができた
- 配偶者が育児休業制度を利用した
- 配偶者が無職。祖父母等の親族にみてもらえなど、制度を利用する必要がなかった
- 子育てや家事に専念するため退職した
- 職場に育児休業の制度がなかった(就業規則に定めなかった)
- 有給休暇のため育児休業の取得要件を満たさなかった
- 育児休業を取得できることを知らなかった
- 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、選択した
- その他 ()

問 29-1 問 29 で「2」に○をつけた方にうかがいます。育児休業取得後、職場に復帰しましたが、(○は1つ)

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 育児休業取得後、職場に復帰した	1. 育児休業取得後、職場に復帰した
2. 現在も育児休業中である	2. 現在も育児休業中である
3. 育児休業中に離職した	3. 育児休業中に離職した

16

問 28-4 問 28-1 で「1」または「2」に○をつけた方（育児休業から復帰/復帰予定の方）にうかがいます。もし、あて名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる保育所等があれば、1歳になるまで育児休業を取得しましたか。 (○は1つ)

※問 28-1 で「2」（復帰予定）を選んだ方は、復帰点での見込みをお答えください。

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 1歳になるまで取得した(した)	1. 1歳になるまで取得した(した)
2. 1歳になる前に職場復帰した(した)	2. 1歳になる前に職場復帰した(した)

問 28-5 問 28-1 で「1」または「2」に○をつけた方（育児休業から復帰/復帰予定の方）にうかがいます。もし、お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としては、あて名のお子さんが何歳頃か月のときまで取りかかったですか。 [()内に数字をご記入ください]

※問 28-1 で「2」（復帰予定）を選んだ方は、復帰点での見込みをお答えください。

父親	母親
〔 〕歳〔 〕か月	〔 〕歳〔 〕か月

問 28-6 問 28-1 で「1」に○をつけた方（育児休業から復帰した方）にうかがいます。該当しない方は、問 28 に選んでください。育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。 (○は1つ)

父親 (○は1つ)	母親 (○は1つ)
1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった)	1. 利用する必要がなかった(フルタイムで働きたかった)
2. 利用した	2. 利用した
3. 利用しなかった	3. 利用しなかった
4. 利用できるなかった	4. 利用できるなかった

問 28-7 問 28-6 で「3」または「4」に○をつけた方にうかがいます。短時間勤務制度を利用できなかった(利用できるなかった)理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

父親	母親
1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった	1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が多かった	2. 仕事が多かった
3. 短時間勤務にするに給与が減額される	3. 短時間勤務にするに給与が減額される
4. 短時間勤務にするに保育所の入所申請の優先順位が下がる	4. 短時間勤務にするに保育所の入所申請の優先順位が下がる
5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した	5. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6. 配偶者が無職。祖父母等の親族にみてもらえなど、子どもをみてくれる人がいた	6. 配偶者が無職。祖父母等の親族にみてもらえなど、子どもをみてくれる人がいた
7. 子育てや家事に専念するため退職した	7. 子育てや家事に専念するため退職した
8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)	8. 職場に短時間勤務制度がなかった(就業規則に定めなかった)
9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった	9. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10. その他 ()	10. その他 ()

18

問29 子どもが原則1歳になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等の期間について、健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。（〇は1つ）

- 1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っている
- 2. 育児休業給付のみ知っている
- 3. 保険料免除のみ知っている
- 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

四街道市の子育てに関する取組等へのご意見をうかがいます。

問30 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、いかがですか。（〇は1つ）



問31 今後、市に対して、どのような子育て支援の充実を望みたいと期待していますか。（あてはまるものすべてに〇）

- 1. 母子保健（妊婦中や乳幼児の検診、パパ・ママルームなど）の充実
- 2. 保育所・こどもルームなどの整備
- 3. 子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供
- 4. 遊池や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備
- 5. 公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境整備
- 6. 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備
- 7. 幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備
- 8. 妊婦や出産、子育てに関する学習機会の提供
- 9. 出席費用や育児にかかる医療費の負担軽減
- 10. 幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減
- 11. 子育て家庭への手当の充実
- 12. 小児救急医療体制の充実
- 13. その他（ ）

問32 四街道市では、子ども医療費助成制度により、中学生までは無料、高校生等は300円（多摩地区等の場合は無料）で医療を受けることができますが、問31で〇をつけた支援を充実していくための費用を確保する目的で自己負担額を引き上げることとしたら、どのように思いますか。（〇はひとつ）

- 1. 全世界 300 円程度の自己負担額であればよいと思う
- 2. 年齢によって自己負担額を変えた方がよいと思う
- 3. 世帯所得によって自己負担額を変えた方がよいと思う
- 4. 他の支援制度の充実よりも優先すべきなので、今の助成内容から変えない方がよいと思う
- 5. その他（ ）

問33 経済的な理由や保護者の傷病等により食事の用意が困難な家庭のお子さんを対象に、食料で食事を配達する制度（配食事業）があれば、利用したいと思いませんか。（〇は1つ）

- 1. 利用したい
- 2. 状況によっては、利用するかもしれない
- 3. 利用したいと思わない
- 4. 利用する必要がない

問33-1 問33で「1」または「2」に〇をつけた方にうかがいます。どのようなときに、このような配食事業を利用したいと思いませんか。（〇は3つまで）

- 1. 妊娠・産後
- 2. 保護者の入院・ケガや病気
- 3. 冠婚葬祭や出張など保護者の不在
- 4. 仕事で帰宅が遅いとき
- 5. 家事・育児疲れ
- 6. 夏休みなど、子どもの長期休暇中の昼食
- 7. 食費が不足しているとき
- 8. その他（ ）

※配食事業：四街道市においては未実施ですが、今後の実施の必要性や提供量を検討するための検証です。1食 100円～400円程度の自己負担で、実費バランスに配慮した弁当を自宅に配達する方式を想定しています。利用にあたっては、案件や季節の登録を設ける場合があります。

問34 家事・育児等に対して悩みを抱えている家庭を対象に、有料家事・育児等を支援する制度（子育て世帯訪問支援事業）があれば、利用したいと思いませんか。（〇は1つ）

- 1. 利用したい
- 2. 状況によっては、利用するかもしれない
- 3. 利用したいと思わない
- 4. 利用する必要がない

問34-1 問34で「1」または「2」に〇をつけた方にうかがいます。どのメニューを利用したいと思いませんか。また、利用したいメニューについて、希望する利用頻度等をお答えください。（あてはまるものすべてに〇をつけ、[]内に数字でご記入ください。）

利用したいメニュー (〇をつけてください)	希望する利用頻度等 (数字をご記入ください)
1. 家事支援 (食事の準備、洗濯、掃除、買い物代行サポートなど)	1か月あたり[]回 1回あたり[]時間
2. 育児支援 (育児のサポート、保育園等の送迎、遊池の留守り、外出時の補助など)	1か月あたり[]回 1回あたり[]時間
3. 子育て等に関する不安や悩みの相談	1か月あたり[]回 1回あたり[]時間

※子育て世帯訪問支援事業：四街道市においては未実施ですが、今後の実施の必要性や提供量を検討するための検証です。1回 180円～930円＋1時間ごとに300円～1,500円程度の自己負担で、派遣員が自宅に訪問して、家事や育児を支援・代行する方式を想定しています。利用にあたっては、案件や季節の登録を設ける場合があります。

子育て（教育を含む）をする上で必要な周囲からのサポートのことや、市の子育て支援に関するご意見、ご要望を自由に記入してください。

アンケート調査は以上で終わりです。

お忙しいところ、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。

調査票は、同封の返信用封筒にお入れいただき、**12月27日(水)**までに

郵便ポストにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

2 小学生調査票

小学生

四街道市子育て支援に関するアンケート調査 ご協力のお願い

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。
本市では、「子ども・子育て支援法」に基づき、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、令和2年3月に「四街道市こどもプラン～第2期子ども・子育て支援事業計画～（計画期間：令和2年度～令和6年度）」を策定し、計画的に各種の子ども・子育て支援事業を実施しています。

このたび、令和7年度からの新たな計画策定に向けて、市が確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、市民の皆様の教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」などを把握することを目的としたアンケート調査を実施することとしました。

調査結果は、今後の本市の子ども・子育て支援施策を検討する上で、大変重要な資料となります。ご多忙のことと存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいませう。ようお願い申し上げます。

令和5年12月

四街道市長 鈴木 陽介

本アンケートは、便利なインターネットでもご回答いただけます。

～インターネットからご回答いただく場合～

次のアドレスまたは、右の二次元コードからアンケート画面へお入りいただき、

12月27日(水)までに ご回答ください。

アドレス：<https://form.aooker.jp/Q/aut/ja/yotukaidousyousaku/2/>

※インターネットからご回答いただく場合は、本調査票の返信は不要です。



～郵送でご回答いただく場合～

本調査票に直接ご記入いただき、同封の返信用封筒に入れて、

12月27日(水)までに 郵便ポストに投函してください。(切手は不要です。)



ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

調査担当：四街道市健康こども子育て支援課（TEL：043-421-6124）

※調査票の開封・集計は、調査会社が行います。

ご回答にあたってのお願い

※この調査は、市内にお住まいの小学生のお子さんから、無作為で1,000人を選び、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。

※令和5年10月1日時点の住民基本台帳をもとにお送りしているため、封筒のあて名に記された住所や氏名、保護者が現在と異なる場合はご容赦ください。設問には、現在お子さんを養育している方がご回答ください。

※無記名での調査であり、回答された方やご家族等が特定されることはありません。

※ここでご回答いただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではないので、将来、利用希望を変更していただくことは差し支えありません。

※特にことわりのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。

※回答は、選択肢に○をつけていただく場合と、数字などをご記入いただく場合があります。

※選択肢の場合、設問によってお選びいただく数異なりますので、注意書きに従ってください。また、「その他」をお選びいただいた場合は、()内に具体的な内容をご記入ください。

※数字で時間（時刻）をご記入いただく場合は、24時間制（例：午後6時～18時）でご記入ください。

※設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、注意書きや失印に従ってご回答ください。特に指定がない場合は、次の設問にお進みください。

【用語の定義】

この調査票における用語の定義は以下のとおりです

・お子さん：特に注記がない限り、この調査票を返った封筒のあて名に記されているお子さんのことをいいます。また、父親・母親・祖父母とは、あて名に記されているお子さんから見た結果を示します。

あて名のおさんとご家族の状況についてうかがいます。

問1 お住まいはどちらになりますか。(〇は1つ)

小学校区	進学区域
1. 四街道小学校区	下志津新田、四街道1丁目、四街道3丁目、大臼の一部、さつきヶ丘
2. 旭小学校区	山梨、中野の一部、南畑谷間、上野、和田、旭ヶ丘3丁目の一部、旭ヶ丘5丁目、みそら1丁目
3. 南小学校区	竜崎、物井の一部、長母、もねの里3丁目、もねの里4丁目、もねの里5丁目
4. 中央小学校区	栗山の一部、内黒田の一部、大臼の一部、龍渡の一部、みのり町、中央
5. 大臼小学校区	内黒田の一部、龍渡、大臼の一部、龍放ヶ丘
6. 八木原小学校区	内黒田の一部、物井の一部、栗山の一部、千代田1丁目、千代田2丁目、千代田3丁目、千代田4丁目、千代田5丁目、池尻1丁目、池尻2丁目、もねの里1丁目、もねの里2丁目、もねの里6丁目
7. 四和小学校区	四和南2丁目の一部、和泉比の一部、めいわ1丁目、めいわ2丁目、めいわ5丁目
8. 山梨小学校区	小名木、旭ヶ丘1丁目、旭ヶ丘2丁目、旭ヶ丘3丁目の一部、旭ヶ丘4丁目
9. みそら小学校区	高山、中台、中野の一部、みそら2丁目、みそら3丁目、みそら4丁目、たけおの杜
10. 栗山小学校区	栗山の一部、龍渡の一部、さちが丘1丁目、さちが丘2丁目、つくし原1丁目、つくし原2丁目、つくし原3丁目、内黒田の一部
11. 和泉比小学校区	四和南2丁目の一部、和泉比の一部、美しが丘1丁目、美しが丘2丁目、美しが丘3丁目、めいわ3丁目、めいわ4丁目
12. 西岡小学校区	吉崎、真の台1丁目、真の台2丁目、真の台3丁目、真の台4丁目

問2 あて名のおさんの学年は、次のうちどちらに該当しますか。(〇は1つ)

1. 小学1年生	2. 小学2年生
3. 小学3年生	4. 小学4年生
5. 小学5年生	6. 小学6年生

問3 あて名のおさんを含め、おさんは何人いらっしゃいますか。(〇は1つ)

1. 1人	2. 2人	3. 3人	4. 4人	5. 5人以上
-------	-------	-------	-------	---------

問3-1 問3で「2」～「5」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。あて名のおさんを含め、きょうだいの中にあて名、みつご等多数のお子さんはいらっしゃいますか。(〇は1つ)

1. いる	2. いない
-------	--------

問3-2 問3で「2」～「5」のいずれかに○をつけた方にうかがいます。一歳下のお子さん（木子）の生年月日はどちらになりますか。(〇は1つ)

1. 令和5年4月2日以前	2. 令和4年4月2日～令和5年4月1日
3. 令和3年4月2日～令和4年4月1日	4. 令和2年4月2日～令和3年4月1日
5. 平成31年4月2日～令和2年4月1日	6. 平成30年4月2日～平成31年4月1日
7. 平成29年4月2日～平成30年4月1日	8. 1～7以外の方：[]年[]月

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか、あて名のお子さんからみた関係でお答えください。
※別居のあて名に併記された保護者の方がある必要はありません。(〇は1つ)

1. お子さんの父親 2. お子さんの母親 3. その他 ()

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(〇は1つ)

1. 配偶者がいる 2. 配偶者がいない

問6 あて名のお子さんご父母、祖父母の同居・近居（おおよそ30分以内程度で行き来できる範囲）の状況についてうかがいます。(父親、母親：〇は1つ、祖父母：あてはまるものすべてに〇)

■父親
1. 同居 2. 近居 3. その他

■母親
1. 同居 2. 近居 3. その他

■祖父母
1. 同居 2. 近居 3. その他

問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主にしている方はどなたですか。(〇は1つ)

1. 父母ともに 2. 主に父親 3. 主に母親 4. 主に祖父母 5. その他 ()

問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（どこ）ですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 父母ともに 2. 父親 3. 母親 4. 祖父母
5. 小学校 6. その他 ()

問9 日曜、あて名のお子さんを預かってもらえますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 日常的に祖父母等の親族に預かってもらえる
2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族に預かってもらえる
3. 日常的に子どもを預けられる友人・知人がいる
4. 緊急時もしくは用事の際には子どもを預けられる友人・知人がいる
5. いずれもない

問9-2へ

問10へ

問9-1 問9で「1」または「2」に〇をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族に預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 祖父母等の親族に預けることについては、特に心配はない
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく、心配である
3. 祖父母等の親族の精神的・精神的負担が大きく、心配である
4. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問13 あて名のお子さんは、ふだん、夕食を大人の家族の誰かと一緒にとりますが。(〇は1つ)

1. ほとんど大人の誰かと一緒に 2. ほとんど一人で、または子どもだけで
3. どちらでもない 4. わからない

問14 あて名のお子さんには、虫歯がありますか（ありましたか）。(〇は1つ)

1. ある（受診または受診予定） 2. ある（受診していない）
3. ない（治療済、虫歯にならなかった） 4. わからない

あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問15 小学1～3年生の児童の保護者の方にはうかがいます。あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。)

1. 自宅	週 [] 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [] 日くらい
3. 習い事・学習塾	週 [] 日くらい
4. 児童センター	週 [] 日くらい
5. 放課後子ども教室*	週 [] 日くらい
6. こどもルーム（学童保育所）**	週 [] 日くらい 下校時から [] 時まで
7. プレーパーク	週 [] 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週 [] 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 [] 日くらい

* 放課後子ども教室：地域の力を活用して、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化体験活動などを実施する施設です。保護者の意向の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。
** こどもルーム（学童保育所）：保護者が児童等により適切な環境にない場合などに、指導の下、子どもの生活の場を提供するものです。なお、事業の利用には、一定の利用料が発生します。

問16 すべての方にうかがいます。あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）のうち、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。)

1. 自宅	週 [] 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 [] 日くらい
3. 習い事・学習塾	週 [] 日くらい
4. 児童センター	週 [] 日くらい
5. 放課後子ども教室	週 [] 日くらい
6. こどもルーム（学童保育所）	週 [] 日くらい 下校時から [] 時まで
7. プレーパーク	週 [] 日くらい
8. ファミリー・サポート・センター	週 [] 日くらい
9. その他（公民館、公園など）	週 [] 日くらい

問9-2 問9で「3」または「4」に〇をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんを預かってもらっている状況についてお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

1. 友人・知人に預けることについては、特に心配はない
2. 友人・知人の身体的負担が大きく、心配である
3. 友人・知人の精神的・精神的負担が大きく、心配である
4. 保護者の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
6. その他 ()

問10 あて名のお子さんを育てている間に、どんなことで悩んだり不安に感じたり、困りましたか。(〇は3つまで)

1. 子どものしつけ・生活習慣 2. 子どもの発達・発達 3. 子どもの病気・健康
4. 子どもの成績や勉強 5. 子どもの友人関係 6. 子どもを通じての近所づきあい
7. 十分な住居スペースがない 8. 近所に遊ばせる場所がない 9. 近所など子育て環境への影響
10. 自分の体力や健康に自信がない 11. 病気や虫歯等の子どもの世話 12. 家庭内の協力力が得られない
13. 精進士の補に入りづらい 14. 子育てに関する情報不足 15. 子育てに関して自信がもてない
16. 子育てのストレス 17. 夫婦関係 18. 子育てや教育にかかる費用
19. その他 () 20. 特にない

問11 あて名のお子さんの子育て（教育）をする上で、気軽に相談できる人や、相談できる場所はどこですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 配偶者 2. 祖父母等の親族 3. 友人や知人
4. 五所の人 5. 保健師 6. 助産師
7. 言語聴覚士 8. 保育士 9. 幼稚園教諭
10. 小学校の先生 11. 民生委員・児童委員 12. かかりつけの医師
13. 市の子育て関連担当窓口 14. 保健センター
15. 子育て支援施設（地域子育て支援センター、児童センター）、NPO 団体
16. その他 () 17. 相談できる人や場所がない

問12 ふだん、あて名のお子さんに朝食をとらせてから学校に行かせていますか。(〇は1つ)

1. 毎朝とらせている
2. たまにとらせていないことがある
3. ほとんど、とらせていない
4. 食べているか、わからない

問13へ

問13へ

問12-1 問12で「2」または「3」に〇をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんに朝食をとらせていない理由をお答えください。(〇はいくつでも)

1. 子どもが朝食をとる時間がないから 2. 子どもが朝食をとる習慣がないから
3. 子どもがお腹が空いていないと思うから 4. 経済的な理由で用意できないから
5. その他 ()

問17 問15または問16で「6」(こどもルーム(学童保育所))に〇をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日・日曜日・祝日、あて名のお子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中に、こどもルーム(学童保育所)の利用希望はありますか。(あてはまるものすべてに〇をつけて、それぞれの日数を[]内に数字でご記入ください。)

(1) 土曜日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯を24時間制（前・18時）
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } でご記入ください
3. 利用する必要はない []時から []時まで

(2) 日曜・祝日

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯を24時間制（前・18時）
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } でご記入ください
3. 利用する必要はない []時から []時まで

(3) 夏休み・冬休みなどの長期休暇期間中

1. 低学年（1～3年生）の間は利用したい } 利用したい時間帯を24時間制（前・18時）
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい } でご記入ください
3. 利用する必要はない []時から []時まで

問18 問15、問16のいずれにも「6」(こどもルーム(学童保育所))に〇をつけなかった方にうかがいます。「こどもルーム(学童保育所)」の利用を希望しない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに〇)

1. (子どもの父親か母親が働いていないなどの理由で) 必要がない
2. 子どもが祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、経済的な理由で利用できない
5. 利用したいが、場所や時間帯の条件が合わない
6. 父母会の活動の負担が大きい
7. その他 ()

あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問19 この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで、学校や子どもルーム(学童保育所)を休まなければならなかったことはありましたか。(〇は1つ)

1. あった 2. なかった → 問20へ

問19-1 問19で「1」に○をつけた方にうかがいます。この1年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校や子どもルーム(学童保育所)を休まなければならなかったときの対応方法をお答えください。(あてはまるものすべてに○をつけて、それぞれの日数を〔 〕内に数字でご記入ください)
【半日程度でも、1日としてください】

対応方法	日数
1. 父親が仕事を休んだ	— 日
2. 母親が仕事を休んだ	— 日
3. 就労していない父親・母親がみた	— 日
4. 祖父母等の親族・知人にみてもらった	— 日
5. 病院・病院児保育*各利用した	— 日
6. ベビーシッター各頼んだ	— 日
7. ファミリー・サポート・センターを利用した	— 日
8. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	— 日
9. その他()	— 日

※病院・病院児保育：病気にかかった子どもが、病気の回復期にある子どもが集団保育の恩恵を期間、保育所・学童保育などと併せて利用可能なサービス等において行う保育サービスです。(病室1棟から小学校6年生以上の児童が対象です)

問19-2 問19-1で「1」または「2」に○をつけた方にうかがいます。その際、できれば病院・病院児のための保育施設等を利用したいと思いましたが、利用したいと思った場合は、おおよその利用日数を〔 〕内に数字でご記入ください。(〇は1つ)

1. できれば病院・病院児保育施設等を利用したい []日 → 問20へ
2. 利用したいと思わない

問19-3 問19-2で「2」に○をつけた方にうかがいます。利用したいと思わない理由をお答えください。(あてはまるものすべてに○)

1. 病院・病院児に他人に看てもらえない	2. 地域の事業の利用費(立地や利用可能曜日数など)がよくない
3. 地域の事業の質に不安がある	4. 利用料がかかる。高い
5. 利用料がわからない	6. 親が仕事を休んで対応する
7. その他()	

7

あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問20 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。(〇は1つ)
※フルタイムとは、週5日程度・1日8時間程度の就労を指します。

父親(〇は1つ)	母親(〇は1つ)
1. フルタイムで就労しており、育児・介護休業中ではない	1. フルタイムで就労しており、産休・育児・介護休業中ではない
2. フルタイムで就労していたが、育児・介護休業中である	2. フルタイムで就労していたが、産休・育児・介護休業中である
3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、育児・介護休業中ではない	3. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労しており、産休・育児・介護休業中ではない
4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、育児・介護休業中である	4. パート・アルバイト等(フルタイム以外)で就労していたが、産休・育児・介護休業中である
5. 以前は就労していたが、現在は働いていない	5. 以前は就労していたが、現在は働いていない
6. これまでに就労したことがない	6. これまでに就労したことがない

問20-1 問20で「1」～「4」に○をつけた方(就労している方)にうかがいます。「1」あたりの就労日数と「1」あたりの勤務時間(残業時間を含む)をお答えください。就労日数や勤務時間が一定でない場合は、もっとも多いターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください)

父親	母親
週に〔 〕日 1日あたり〔 〕時間	週に〔 〕日 1日あたり〔 〕時間

問20-2 問20で「1」～「4」に○をつけた方(就労している方)にうかがいます。「家を出る時間」と「帰宅時間」をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いターンについてお答えください。産休・育児・介護休業中の場合は、休業に入る前の状況についてお答えください。(〔 〕内に数字でご記入ください。時刻は24時間制でご記入ください(例:18時))

父親	母親
家を出る時刻:〔 〕時 帰宅時刻:〔 〕時	家を出る時刻:〔 〕時 帰宅時刻:〔 〕時

問20-3 問20で「3」または「4」に○をつけた方(パート・アルバイト等で就労している方)にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。(〇は1つ)

父親(〇は1つ)	母親(〇は1つ)
1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けたい	3. パート・アルバイト等の就労を続けたい
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事などに専念したい

8

問20-4 問20で「5」または「6」に○をつけた方(就労していない、就労したことがない方)にうかがいます。今後の就労についての希望をお聞かせください。(1～3のうち〇は1つ、〔 〕内に数字でご記入ください)

父親	母親
1. 希望あり(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい) 【希望する就労形態】(1つを選んでください) ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間	1. 希望あり(すぐにも、もしくは1年以内に就労したい) 【希望する就労形態】(1つを選んでください) ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間
2. 希望あり(1年より先で、子どもが〔 〕歳くらいになったら就労したい) 【希望する就労形態】(1つを選んでください) ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間	2. 希望あり(1年より先で、子どもが〔 〕歳くらいになったら就労したい) 【希望する就労形態】(1つを選んでください) ア、フルタイム イ、パートタイム、アルバイト等 【希望する就労時間】 1週あたり〔 〕日 1日あたり〔 〕時間
3. 希望なし	3. 希望なし

問22 あなたが現在、特に必要としている支援として、どのようなことがありますか。(〇は3つまで)

1. 地域の就労情報の提供
2. 就労に有利な経路取得にかかる支援
3. 高校・大学など就学に必要な費用の補助
4. 就学に必要な制服・文具等の学用品の支給
5. 一時的に必要な資金を借りられること
6. 住まい探しや住宅に関する支援
7. 学校生活の悩みについて安心して相談できる窓口
8. 学校や訪問など身近な場所で相談できる窓口
9. 法律相談が受けられること
10. 同じような悩みを持った人と知り合えること
11. 親が悩んでいる時に子が安心して話せる場
12. 急な用事(病気、事故等)があったときの一時的な子どもの預かり
13. 病気の子どもを対象にした保育(病院児保育)
14. その他()
15. 特にない

問23 現在、市内では地域の社会福祉協議会やボランティア団体が運営する「子ども食堂」(子どもが一人でも利用でき、安い値段で食事ができるという取組)が行われていますが、この取組を知っていますか。(〇は1つ)

1. 子どもが利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

問24 あなたは、あて名のお子さんをこのような「子ども食堂」に行かせたいと思えますか。(〇は1つ)

1. 行かせたい 2. 時間や場所等の条件が合えば、行かせたい
3. 行かせたくない 4. 行かせたくない

問25 現在、市内では学生ボランティアによる「寺子屋」や、地域の社会福祉協議会による中学生を対象とした学習支援の取組が行われていますが、この取組を知っていますか。(〇は1つ)

1. 子どもが利用したことがある 2. 知っているが、利用したことはない
3. 知らない

問26 あなたは、あて名のお子さんをこれらの学習支援の取組に行かせたいと思えますか。(〇は1つ)

1. 行かせたい 2. 時間や場所等の条件が合えば、行かせたい
3. 行かせたくない 4. 行かせたくない

9

あて名のお子さんの家庭の経済状況についてうかがいます。

問21 現在の家計の状況を総合的にみて、どう感じますか。(〇は1つ)

1. ゆとりがある 2. ややゆとりがある 3. 普通
4. やや苦しい 5. 大変苦しい 6. わからない

問21-1 問21で「4」または「5」に○をつけた方にうかがいます。次の費用のうち、この1年間に経済的理由のために支払いができなかったものはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家賃	2. 住宅ローン
3. 電気代・ガス代・水道代	4. 通信費(固定電話・携帯電話・インターネット)
5. 学費にかかる費用	6. 学校や幼稚園、保育所の給食費
7. 学校や幼稚園、保育所の遠足や修学旅行の参加費	8. 学校の課外活動の参加費、交通費
9. 借金の返済	10. 税金、公的年金や健康保険、介護保険料
11. その他()	12. 支払いができなかったことはない

10

問27 経済的な理由や保護者の傷病等により食事の用意が困難な家庭のお子さんを対象に、有料で食事を配達する制度（配食事業）があれば、利用したいと思いませんか。（〇は1つ）

1. 利用したい	2. 状況によっては、利用するかもしれない
3. 利用したいと思わない	4. 利用する必要がない

→ 問28へ

問27-1 問27で「1」または「2」に〇をつけた方にうかがいます。過去に、どのようなときに、このような配食制度があれば利用したいと思いませんか。（〇は3つまで）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 妊娠・産後 | 2. 保護者の入院・ケガや病気 |
| 3. 結婚葬祭や出張など保護者の不在 | 4. 仕事で帰宅が遅いとき |
| 5. 家事・育児疲れ | 6. 夏休みなど、子どもの長期休暇中の前夜 |
| 7. 食費が不足しているとき | 8. その他（ ） |

※配食事業：四街道市においては未実施ですが、今後の実施の必要性や提供量を検討するための設問です。1食100円～400円程度の自己負担で、栄養バランスに配慮した弁当や自宅に配達する方式を想定しています。利用にあたっては、条件や事前の登録を要する場合があります。

問28 家事・育児等に対して悩みを抱えている家庭を対象に、有料で家事・育児等を支援する制度（子育て世帯訪問支援事業）があれば、利用したいと思いませんか。（〇は1つ）

1. 利用したい	2. 状況によっては、利用するかもしれない
3. 利用したいと思わない	4. 利用する必要がない

→ 問29へ

問28-1 問28で「1」または「2」に〇をつけた方にうかがいます。どのメニューを利用したいと思いませんか。また、利用したいメニューについて、希望する利用頻度等をお答えください。（あてはまるものすべてに〇をつけ、[]内に数字でご記入ください。）

利用したいメニュー (〇をつけてください)	希望する利用頻度等 (数字をご記入ください)
1. 家事支援 (食事の準備、洗濯、掃除、買い物の代行やサポートなど)	1か月あたり[]回 1日あたり[]時間
2. 育児支援 (育児のサポート、保育所等の送迎、遊園地の見守り、外出時の補助など)	1か月あたり[]回 1日あたり[]時間
3. 子育て等に関する不安や悩みの相談	1か月あたり[]回 1日あたり[]時間

※子育て世帯訪問支援事業：四街道市においては未実施ですが、今後の実施の必要性や提供量を検討するための設問です。1回190円～930円+1時間ごとに300円～1,500円程度の自己負担で、支援員が自宅に訪問して、家事や育児を支援・代行する方式を想定しています。利用にあたっては、条件や事前の登録を要する場合があります。

四街道市の子育てに関する取組等へのご意見をうかがいます。

問29 お住まいの地域における子育て環境や支援への満足度は、いかがですか。（〇は1つ）

満足度が低い ← 1 2 3 4 5 → 満足度が高い

問30 今後、市に対して、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。（あてはまるものすべてに〇）

- 母子保健（妊娠中や乳幼児の健診、パパ・ママルームなど）の充実
- 保育所・こどもルームなどの整備
- 子育て支援センターや児童センターなど、親子が気軽に集える場・機会の提供
- 道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備
- 公共施設や駅、商業施設のバリアフリー化や授乳施設等の環境整備
- 子育ての不安や悩みの相談窓口の整備
- 幼稚園や保育所施設などの情報や相談窓口の整備
- 妊娠や出産、子育てに関する学習機会の提供
- 出産費用や育児にかかる医療費の負担軽減
- 幼稚園や保育所の費用や教育費の負担軽減
- 子育て家庭への手当の支給
- 小児救急医療体制の充実
- その他（ ）

問31 四街道市では、子ども医療費助成制度により、中学生までは無料、高校生等は200円（非課税世帯の場合は無料）で医療を受けることができますが、問30で〇をつけた支援を充実していくための費用を確保する目的で自己負担額を引き上げることとしたら、どのように思いませんか。（〇はひとつ）

- 全世界300円程度の自己負担額であればよいと思う
- 年齢によって自己負担額を変えた方がよいと思う
- 世帯所得によって自己負担額を変えた方がよいと思う
- 他の支援制度の充実よりも優先すべきなので、今の助成内容から変えない方がよいと思う
- その他（ ）

子育て（教育を含む）をする上で必要な周囲からのサポートのことや、市の子育て支援に関するご意見、ご要望を自由に記入してください。

アンケート調査は以上で終わりです。
お忙しいところ、ご協力をいただきまして、ありがとうございました。
調査票は、同封の返信用封筒にお入れいただき、**12月27日(水)**までに郵便ポストにご投函くださいますよう、お願い申し上げます。

子育て支援に関するアンケート調査

調査結果報告書

四街道市

発行日 令和6年3月

発行者 四街道市健康こども部子育て支援課

住 所 〒284-8555 四街道市鹿渡無番地

TEL 043-421-6124 FAX 043-424-2011

